第 6 章

資料編



目　次

6-1　東大 YMCA 戦後 80 年史年表（1945 年～2025 年） **177**

6-2　記録資料 **349**

6-2-1　歴代理事長一覧（1906 年度～2025 年度） 349

6-2-2　歴代常務理事等一覧（新舎：1975 年度～2025 年度） 350

6-2-3　歴代理事・監事・評議員一覧（1947 年度～2025 年度） 351

6-2-4　舎生数の推移（1945 年～2025 年） 367

6-2-5　会館・寄宿舎概略図 373

6-1 東大 YMCA 戦後 80 年史年表

（1945 年～2025 年）

凡　例

1. 本年表の記載事項は、東京大学学生キリスト教青年会（東大 YMCA）の理事会・評議員会資料、会報、事業活動報告、各種行事関係資料等から抜粋したものである。

2. なお、1945～57 年の記載事項は、原則として「東京大学基督教青年会年表」（通称「荒木年表」）から転記した。以下、57 年までの事項のうち、出典を明らかにする必要がある場合には、「荒木年表」に基づく事項には(a)と付記し、(a)以外の当会保存資料に基づき追記した事項には、タイトル末尾に(y)と注記している。
　※荒木年表は、荒木亨氏（57 年文、後に、国際基督教大学教授）が精魂込めて取りまとめたもので、1868 年（明治元年）から 1952 年（昭和 27 年）までの当青年会の歴史を網羅している。

3. 記載事項のうち、理事会等の公式会議、式典・公開講演会等の主要な行事、会報発行・その他重要な活動の報告は、年月日記載の右欄に個別に記載し、年度ごとの定例行事、事業部活動報告などは、理事会の年度別事業報告としてまとめて記載している。

4. また、理事会あるいは会報等の内容をまとめて記載している欄に、その他の資料に基づく事項を挿入・追記した場合には、「＃」の記号を頭書して出典を区別することとした。「はがき通信」からの出典は末尾に「㋮」と付記している。

5. 1945～57 年の記載事項は、「東京大学基督教青年会年表」（通称「荒木年表」、以下(a)と略記）から転記している。なお、(a)以外の当会保存資料に基づき追記した事項には、タイトル末尾に(y)と注記した。

東京大学学生キリスト教青年会（東大 YMCA）の戦後 80 年史年表

（1945 年～2025 年）

年　月　日	事　項
1945 年（昭和 20 年）	
1945/3/29	家庭組合の件につき、来訪・問合わせ多し
1945/3/30	隣家の数世帯、強制疎開のため一時青年会に入る
1945/4/3	夜、空襲あり
1945/4/5	区役所に電線修繕督促（5～6 日）
1945/4/12	終日、町会との交渉
1945/4/15	岩住理事長宅を見舞う
1945/4/17	町会往復 3 回。4/18 区役所に追分小との間の疎開路地使用の交渉、拒否される。4/20 区役所に電力・電話線の修理督促。4/24 土木課に電力線修理交渉。5/3 電話線修理
1945/4/23	舎内総会：会計良好のため食費 15 円（旧 17 円）、維持費 7 円（旧 10 円）に値下げ
1945/4/25	同盟会館後片付けを応援（25～26）
1945/4/29	印刷用紙 500 枚を春日町古道具屋にて購入、天長節祝賀晩餐会用
1945/5/9	**ドイツ無条件降伏**
1945/5/11	電話開通。5/12 電力線修理依頼に団子坂下に行く。5/23 修理成る。
1945/5/24	B-29、250 機来襲、撃墜 10 機を数う。追分町電停前湯屋横の通路まで消失。魚屋・豆腐屋罹災。電力線また故障
1945/6/4	基督教研究会（永松主事、「宗教と道徳との関係」）　出席者 9 名
1945/8/6	**8/6 広島に原爆投下、8/9 長崎に原爆投下、8/14 ポツダム宣言受諾、8/15 終戦詔勅放送、太平洋戦争終結**
1945/10/12	学内紹介講演会：賀川豊彦氏
1945/12/15	クリスマス祝会
1946 年（昭和 21 年）	
1946/3/10	理事会
1946/3/17	青年会総会
1946/3/30	役員会
1946/5/13	創立記念日
1946/5/18	新入生歓迎会、並びに事業懇談会
1946/6/1	第 58 回創立記念祝賀会　星島二郎氏商工大臣就任、衆議院議員（片山哲、河野密、鈴木義男、星島二郎、松沢兼人、森戸辰男）当選祝賀会

1946/9/16	住谷悦治氏「吉野先生の時代について」
1946/9/21	全日本基督教学生青年会協議会：東山荘にて
1946/9/26	紹介講演会：今中次麿氏「科学と信仰」
1946/9/28	役員会、このほか 11/4、11/11、11/18、11/25 に同会を開催
1946/10/2	舎内卒業生祝賀会
1946/10/7	理事会、このほか 10/14（主事問題、その他)、10/21、10/28、12/2 に同会を開催
1946/10/17	青年会館接収を恐れて、外務省、司令部、終戦事務局宗教部へ行く
1946/11/6	二高・忠愛寮訪問
1946/11/14	舎内総会
1946/11/16	舎外生を対象として、矢内原教授の「イエス伝の研究」
1946/12/14	クリスマス祝会
1946/12/22	役員会（永松主事、辞意を表明）
1947 年（昭和 22 年）	
1947/2/3	役員会、このほか 2/10 に役員会開催
1947/2/19	定期理事会：斎藤理事長、河田、岡本、石原、江口、渡辺、赤坂各理事、永松主事、稲木監事が出席 ◎1946 年度決算と 47 年度予算、永松主事辞任（後任　木下氏）の件(y) ＊永松前主事より木下主事に事務引継完了(a)
1947/3/15	定期総会開催(y)　※(a)は日程を 4/15 と記載
1947/4/28	事業執行委員会を開催、このほか 5/5 及びその後、毎月曜日に開催
1947/5/6	植村環女史 紹介講演会
1947/5/25	新入会員歓迎会
1947/6/17	第 59 回創立記念祝会　並びに国会議員当選祝賀会（片山首相、森戸文相ら出席）（荒）
1947/7/11	東大 YMCA 夏期学校（～7/31　15 日間）を実施。　高専科 56 名、中等科 87 名参加 校長は木下順二氏、講師は在舎生で、田浦武雄、北村一男、住谷一彦、菅川薫、中平健吉、石原力、五十嵐雄一、岡本途也、小川章、江口篤壽、浦田常治、佐藤秀之
1947/9/26	定期理事会：斎藤理事長、石原、河田、木村各理事。吉利監事、吉川主事、学生理事が出席 ◎同盟加入の件、◎60 周年記念事業の件など ※青年会同盟加入の件、60 周年記念事業の件、家屋修繕寄付金募集の件、その他を審議(y)※（a)では日付を/27 と記載

1947/9/29	卒業生予餞会
1947/9/30	事業委員会
1947/10/1	バイブルクラス
1947/10/5	青年会同盟加盟申請
1947/10/7	祈祷会（毎週学内)、同盟委員会
1947/10/18	青年会連盟委員会
1947/10/23	学内紹介講演会　講師；斉藤惣一氏「戦後における学内運動の動向」
1947/10/27	事業委員会、このほか 11/3 に同委員会を開催
1947/11/4	例会　吉川需氏「キリストの容貌」
1947/11/12	早天祈祷会
1947/11/15	連盟委員会
1947/11/19	ハメルン氏帰国記念バイブルクラス
1947/11/21	聖書研究会（北森嘉蔵氏)、於：山上御殿
1947/11/22	文化祭に YMCA 合唱団出席
1947/11/23	カトリック研究会と討論会　「カトリシズムとプロテスタンティズム」、「学生運動の回顧と展望」にも出席
1947/11/24	事業委員会、このほか 12/1、12/8 にも同委員会を開催。12/8 は舎内総会も開催
1947/12/13	クリスマス祝会
1947/12/19	学生協議会
1947/12/20	学生青年会連絡委員会
1947/12/28	学生クリスマス礼拝（東京女子大チャペル）
1948 年（昭和 23 年）	
1948/1/8	夏期学校準備会に連盟代表として石原委員長出席、於：近江八幡
1948/1/26	事業委員会、このほか 2/1、2/9、2/16（新旧理事引継会を兼ねる)、4/20（学生運動のこと、60 周年記念行事の件)、4/26 にも同委員会を開催
1948/2/6	定期理事会準備会
1948/2/7	定期理事会：斎藤理事長、石原、河田、藤田各理事が出席 ◎理事改選の件（三田村理事⇦木村監事)、木下主事辞任⇐吉川需氏(y)
1948/4/27	舎内総会
1948/5/1	新入会員歓迎会並びに 5 月例会（森有正氏講話）
1948/5/3	事業委員会を開催、このほか 5/10 にも同委員会を開催
1948/5/3	60 周年記念講演会（森戸辰男氏「平和と政治」、鵜沢総明氏「極東裁判の弁護を終わりて」)
1948/5/11	第 2 回 60 周年記念講演会（河村又介氏「基督教と憲法との関係」、堀内

	謙介氏「世界の平和と国際連合」。5/12 松田智雄氏「宗教改革と新しき人の創造」、赤岩栄氏「基督教の現実的課題」
1948/5/26	事業委員会、このほか 6/7、6/14、6/21、6/28、6/13、6/20、9/27、10/11 に同委員会を開催
1948/6/2	6 月例会（吉利和監事奨励）
1948/6/29	文化部主催舎内討論会
1948/9/27	入舎選考会
1948/9/29	定期理事会：斎藤理事長、石原、河田、藤田、木村各理事、吉利監事、吉川主事、学生理事（石原、中平、菅川、乙守、橋本、田浦監事）が出席(y) ◎寄宿舎部屋代値上げの件（学生 40 円から 100 円、先輩 60 円を 150 円、一舎の先輩は 225 円）（荒） ◎専任主事銓衡依頼の件（河田氏、有能な青年主事の必要を説く） ◎YM 憲法第 9 条一部改正の件：(学生理事の任期を 2 年から 1 年に変更) ※(a)では日付を 9/25 と記載
1948/10/2	例会
1948/10/4	学内祈祷会、このほか 10/11、10/25、11/1、11/8、11/15、11/22、11/29（聖研あり）、12/6、12/13 にも同会を開催
1948/10/9	舎内総会、事業懇談会（各部割り当てと文化発表会、展覧会の件）このほか 12/3 にも同会を開催
1948/10/26	舎内聖研（森岡巌氏）
1948/10/29	学内基督者懇談会
1948/10/30	舎内講演会（木山美智雄氏「基督者の見たるソ連」）
1948/10/30	文化発表会・展覧会（～11/1）
1948/11/16	学内文化講演会（佐藤定吉氏「科学と宗教」
1948/11/30	学内聖研（松村寛三郎氏）
1948/12/2	アジア学生懇談会｛平和問題｝
1948/12/7	文化講演会（森有正氏「実存と信仰」）
1948/12/7	セイロン島会議出席者壮行会（於：東京 YMCA）
1948/12/10	YM・YW 合同クリスマス祝会
1948/12/11	クリスマス礼拝　大村 阿佐ヶ谷教会牧師(y)　152 名参加(a)
1948/12/12	東大 YMCA クリスマス祝会(y)　第 1 部：ピアノ演奏（岩下昭比古氏)、舎生コーラス、オルガン二重奏（森有正先生、吉川需先生）　第 2 部：劇「人は何によって生きるか」（トルストイ作）
1948/12/14	例会（安田重雄氏奨励）

1948/12/20	事業委員会（クリスマス反省）
1949 年（昭和 24 年）	
1949/1/21	舎内総会、このほか 6/6 にも同会を開催
1949/1/31	定期理事会：斎藤理事長、他理事が出席(y) ◎各部事業報告の件：庶務部、連絡部、文化部、聖書研究部、共励部より報告 ◎1949 年度予算の件 ◎会館営繕のための寄付金募集の件 ◎憲法第 9 条一部改正の件、舎費値上げの件（学生 200 円、先輩 500 円)、火災保険を 2 倍（70 万円）とする件(a)
1949/2/5	青年会総会
1949/2/7	事業委員会、このほか 5/13、5/23、9/19、9/26、10/3、11/7、11/14、11/17、11/21、11/28、12/5、12/12、12/19 に同委員会を開催
1949/5/16	事業懇談会、このほか 6/6、6/23（映画界準備）に同懇談会を開催
1949/5/28	61 回創立記念・新入生歓迎会
1949/7/2	映画会「禁男の家」
1949/10/1	定期理事会：斎藤理事長、他理事が出席 ◎会館営繕のための寄付金募集の件
1949/12/10	クリスマス祝礼拝　司会：植木光教氏、聖書：宮田光雄氏、祈祷：山崎保興氏、説教：宮本武之助氏、祝祷：白井牧師、祝会劇「郭公」(y)
1950 年（昭和 25 年）	
1950/1/28	定期理事会：斎藤理事長、他理事が出席(y) ◎1950 年度予算の件 ◎理事改選の件：藤田理事が辞意を表明⇒後任に堀豊彦氏 ◎1950 年度には、6 月と 11 月に子供会を開催。近所の子供達、延べ 100 人以上が社交室で遊んだ（このために中野兄は 16 ミリの映写技師の免許を取得)
1950/2/4	臨時理事会：斎藤理事長、他理事が出席、学生理事：山崎、宮田、宮原、岩島、松村 ◎理事改選の件：斎藤理事長を再任、藤田氏に謝意(y)
1950/4 月	ケール夫人とルイス夫人により、スタンレージョーンズの「道」をテキストとしてバイブルクラスあり
1950/5/11	紹介講演　D・リーバー氏「世界における青年会」及び、隅谷三喜男氏「学問と信仰」
1950/5/13	創立 62 周年記念並びに新入生歓迎会
1950/5/29	学内早天祈祷会

1950/6/26	聖書研究会（福田正俊氏「ロマ書」、16 名出席）、このほか 7/3 第 2 回（18 名）、11/11 第 3 回（9 名）、11/18 第 4 回（7 名）、11/25 第 5 回（10 名）の各聖研が行われた。
1950/6/27	臨時理事会：斎藤理事長、他理事が出席(y) ◎会館修繕資金寄付募集を決定
1950/6/29	文化講演会（松田智雄氏　「社会科学とキリスト者の実践」）
1950/10/2	第 1 回修築募金発起人会、10/17 石川清宅にて発起人実行委員会、 10/20 募金開始、60 名・10 万円を目標
1950/10/7	定期理事会：斎藤理事長、他理事が出席(y) ◎各部事業報告
1950/10/20	神学研究会：熊野義孝氏「今日の神学の根本問題」
1950/12/16	クリスマス祝会　参会者 130 名(y)
1951 年（昭和 26 年）	
1951/1/29	定期理事会　斎藤理事長、他理事が出席(y) ◎各部事業報告、◎1951 年度予算の件、◎総会を開催する件
1951/2/10	総会開催(y) ◎1951 年度役員改選の件、◎1951 年度予算の件、◎舎費値上げの件、 ◎会費値上げの件
1951/6/30	会報 31 号（復刊第 1 号）発行(y) ＊斎藤勇理事長　「本会創立者　大西祝博士」 ＊宮田光雄氏　「基督教文化の問題」 ＊M・H　「姉への手紙」 ＊OB 寄稿　16 篇 ＊各部事業報告 ◆聖研部：5/29 学内早天祈祷会（ペンテコステに際して学内伝道のため）、聖研 6/26、7/3、11/11、11/18、11/25　福川正俊 東京神学大学教授により、ロマ書を中心として」、10/20「神学研究会　熊野義孝先生」 ◆文化部： ▷5/11 講演会　リーパー 東京 YMCA 同盟主事　「世界における学生 YMCA」 ▷5/11 講演会　隅谷三喜男 東大助教授　「学問と信仰」 ▷6/29 講演会　松田智雄 立教大学教授「社会科学とキリスト者の実践」 ◆連絡部 ▷学生 YMCA 同盟の活動に参加：

	6/3 ベネット博士講演会「キリスト教とコミュニズム」 6/17～18 関東部会、我が国最初の野外伝道音楽会「ラクーア音楽伝道会」を開催（約 3,000 名の市民が集う） 11/18 世界祈祷週間青年の夕べなど その他　東山荘夏期学校など ◆共励部（スポーツ、音楽などのレクリエーション係）:「お池のコーラス」（三四郎池のほとりで行う讃美歌の合唱練習）は 4 年前に始まったが最近、東大 Y 舎生は殆ど参加していない様子　※(a)にも同記載あり ◆庶務部 ▷5/13 創立 62 周年記念・新入生歓迎会 ▷6/15　M・G・フィッシャー氏（青年会育ての親）を迎え懇談会（YMCA 運動・会館修築など）※(a)にも記載 ▷11/4　平井好一先輩（運輸審議会委員）を囲む会「アメリカ視察報告」　※(a)にも記載 ◆会館修築資金募金の中間報告：在舎生 34 名、先輩 183 名、申込総額 667 千円。目標額 80 万円 ◆1951 年度役員名簿（2/10 総会決定）　理事長：斎藤勇氏、理事：堀豊彦、木村健二郎、石原謙、河田茂氏（以上、特別会員）、岩島久夫、松村寛三郎、加藤庄六、宮原守男、永山和夫氏（以上、通常会員）、監事：吉利和氏、(特別)、今井義量氏（通常）
1951/7/20	第 2 回発起人会（1 月より 7 月まで、学生訪問により 80 名、10 万円募金）
1951/7/25	募金計画樹立（大西定彦氏の招待で、小石川日立会館において有志協議会)。8 月までに主に大西氏の斡旋による募金 20 万円、9/15 現在で、応募者 30 名、再応募者 20 名より 20 万円、11/30　YWYF より 60 万円。9 月～12 月まで再募金を継続し、応募者 71 名、再応募者 15 名、計 30 万円となる。
1951/10/11	定期理事会　斎藤理事長、他理事が出席(y) ◎苅野委員辞任に伴う後任選出の件（前例により選挙次点者・小野寺氏を推薦決定） ◎会館修繕の件：修繕資金の管理を河田理事に委任、修繕計画を石原憲治理事に委任。
1951/12/13	有志発起人実行協議会（星島二郎氏の招待により、衆議院 2 号議員室にて）
1952 年（昭和 27 年）	
1952/1/28	臨時事業委員会（学生サナトリウム問題、単独にて資金募集は拒絶）

1952/1/30	定期理事会　斎藤理事長、他理事が出席(y) ◎役員改選の件：現役員に石原憲治、宮本武之助、高見穎治、石川清氏を加えることを決定 ◎総会開催の件、◎52 年度予算の件、会館修築募金の件(y)
1952/2/4	事業委員会、このほか 2/11、10/20、11/11、12/1 に同会を開催
1952/2/5	舎内総会、このほか、3/1、4/28、5/20、6/17、7/1、9/23（フィッシャー氏より 400 ドル、同盟を経て届く）、10/21、11/12、12/4、12/5（若泉氏のインド行き、その他）に同会を開催
1952/2/9	総会開催(y)
1952/2/14	臨時理事会(y) ◎理事長互選の件：堀豊彦理事長が選任（新任)、吉利和監事（重任）を決定 ◎評議員会設置の件、◎OB 会の件（規約制定の件承認)、◎斎藤理事長への記念品贈呈の件 ◎建物登記の件、◎学生集会等の周知の件、◎会報及び名簿印刷の件
1952/2/16	二舎生　下宿斡旋広告を朝日に掲載、2/23 同広告をキリスト新聞に掲載
1952/2/25	寄宿舎委員会、このほか 10/18、11/11、11/30 に同会を開催
1952/3/3	予餞会
1952/3/22	毎週火曜バイブルクラス（ブラウンリー「マルコ伝」)
1952/3/25	第 1 回神学研究会　福田正俊氏「神認論」　（バルト「教義学要綱」による）
1952/5/9	聖書研究会：宮本武之助氏「キリストにおける統一」
1952/5/13	創立記念式(y)
1952/5/13	臨時理事会にて、堀理事長、他理事が出席。(y) ◎斎藤前理事長に記念品贈呈の件 ◎修築募金推進の件（3 月段階で追加募金 90 名、10 万円、5 月段階では募金進捗せず、なお 50 万円を要する状況）(a)。
1952/5/24	レコードコンサート、このほか 6/28 にも開催
1952/5/24	舎内晩祷開始
1952/5/30	神学研究会「創造」、そのほか 6/20 第 3 回、9/20「贖罪」、11/13（井上良雄氏「復活」）に同会を開催
1952/5/31	新入生歓迎会・OB 会
1952/6/1	ペンテコステ早天祈禱会
1952/6/6	聖書研究会「新しい人と平和」
1952/6/16	修築募金のための演劇会（新演劇研）

1952/6/19	学生サナトリウムのための音楽会（浅野千鶴子氏独唱）
1952/6/27	理事会
1952/7/5	青年会臨時総会（憲法一部改正）
1952/7/7	旅行（～8 日、修善寺・戸田）
1952/8/17	理事会（通常会計より 27 万円繰り入れ）
1952/9/19	聖書研究会：ダルマラージ教授の「奥義」、及びハブルンド主事を囲む夕食会。このほか、10/24　「キリストのプレローマ」、11/7　「カイロスの活用」の聖研を開催
1952/11/10	舎内音楽会
1952/11/17	ボイドア卿講演会
1952/11/21	米国留学土産幻灯会
1952/11/27	理事会：残額 7 万円の募金の件
1952/12/16	待降節祈禱会
1952/12/17	若泉氏送別会
＊＊＊＊＊＊＊＊東京大学基督教青年会　年表（通称「荒木年表」　は、以上 1952 年までを収録して完成＊＊＊＊＊＊＊＊	
1953 年（昭和 28 年）	
1953/2/12	定期理事会：堀理事長、他理事が出席
1953/5/13	創立 65 周年記念式典並びに祝賀会　式辞：堀理事長、感謝祈祷：小松武治先輩 修築が完成した会館にて先輩 30、舎生 27、舎外生 4 の計 61 名が参加「のんき」の出前
1953/11/17	定期理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎各部事業報告 ◎二舎の経営方針の協議
1953/12/10	会報 33 号発行 ＊堀豊彦理事長　「創立 65 周年記念式辞」 ＊矢内原忠雄 東大総長　「YMCA か YMA か」 ＊粂野文雄氏　「東大キリスト者平和の会の過去と現在」 ＊石原憲治氏　「大学青年会の諸問題」 ＊先輩短信：鵜沢総明氏、大島広氏、片山哲氏、藤田逸男氏、今中次磨氏、奈良常五郎氏、原崎郁平氏、桃原英治氏、茶村修吾氏、宮本武之助氏「信仰の洞察と愛の責任」、松本輝男氏「日平産業を退社して」 ＊各部報告 ◆庶務部：式典・祝会などを担当、10/28 選挙権を守る学生運動に参加 ◆文化部：図書室の整理と利用促進に着手

	6 月宮本武之助先生による学内伝道集会、参会者；60 余名 9 月 CA クールソン教授（理論物理学会議で来日）の講演、社交室において満員の参会者あり ◆共励部：4 月と 6 月に舎内音楽会。その他、同志会との卓球大会など開催 ◆連絡部： 6 月　九州水害救援募金 8 月　夏期学校（東大 YMCA が準備委員長） 10 月　ラングーン大学哲学部教授のラブー博士との懇談会、前田教授と舎生が参加 ▷その他、東大キリスト者連合会の基督教講座（前田護郎先生と関根正雄先生)、井上良雄先生の講演会、連合会総会（1953/5/25 山上会議所にて開催）などの報告 ◆その他、各階人物評
1953/12/10	クリスマス礼拝並びに祝賀会　説教：鈴木正久 駒込教会牧師
1954 年（昭和 29 年）	
1954/2/12	定期理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎理事長互選の件：堀理事長を推挙 ◎1952 年度決算の件、◎1953 年度予算の件 ◎通常会費を 200 円とする案で総会に上程 ◎入舎基準の件：インターン、大学院生の入会の取扱い
1954/2/20	総会開催 ◎総会後の定期理事会において、理事長は互選により、堀氏を再任 ◎各部事業報告 ◎青年会史の編纂の件：5 万円の事業予算で、編纂に着手を決定。学生会員 荒木亨兄に編纂作業を委託、完成目標は 1955 年末とする。
1954/5/15	創立記念式典
1954/12/1	会報 34 号発行 ＊吉川需 主事「青年会史編纂について」　（編纂事業に着手。既存の年表は、1903 年（明治 35 年）に 東大青年会創立 15 周年記念として作成された「中央学生基督教青年会史」のみ（1937 年に、青年会創立 50 周年記念事業として編纂に着手するも頓挫した） ＊荒木亨氏（1957 年文）　「青年会 70 年の歩みから」 ＊各部報告 ◆聖書研究部：6/5 早天祈禱会（三四郎池にて)」、6/9 と 6/25 聖書研究会、

	6/18 神学研究会：宮本武之助氏　「人間性について」 ◆文化部：英国レスター女史の講演会「平和問題について」 ◆共励部：レコードコンサート、舎内音楽会、昇仙峡への旅行などを実施 ◆連絡部：5 月　日本学生平和会議に参加、連合会主催の聖書研究会（関根正雄先生、前田護郎先生による)、YM 同盟主事リーバー氏の洞爺丸事故による遭難の報告
1954/12/11	クリスマス祝礼拝
1955 年（昭和 30 年）	
1955/2/26	定期理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎各部事業報告、◎会計報告
1955/5 月	創立記念式典
1955/11/17	定期理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎各部事業報告、◎年表の編纂 ◎入舎基準：大学院生の入舎取扱承認
1955/12/17	クリスマス祝礼拝　説教：松尾喜代司 荻窪北教会牧師（本会会員）「頌め讃える為帰って来た一人」、第 2 部晩餐会（司会：堀豊彦理事長)、第 3 部親睦会（各階コーラス、演奏、演劇）
1955/12/25	会報 35 号発行 ＊斎藤勇 前理事長　「フィッシャー氏・鵜沢両博士」 ＊吉川需主事「挨拶」(1958 年から 8 年間主事として在籍） ＊荒木亨氏（1957 年文)「青年会史料編纂準備を顧みて」(「青年会史粗年表」完成） ＊各部報告 ◆聖書研究部：4～12 月に、1 回の神学研究会と 6 回の聖書研究会を熊野義孝氏と倉松功 信濃町教会副牧師を迎えて実施 ◆文化部：森有正兄再渡仏に際し、座談会を開催 ◆共励部：5/3 新旧舎生対抗野球大会、5/5 同志会対抗卓球大会、11/3 都下 野猿峠親睦ピクニック（31 名参加)、11/26 舎内音楽会 ◆連絡部：「全国学 Y 代表者懇談会」が初開催、学内キリスト者連合会の聖書講座（中沢洽樹先生、前田護郎先生)、12/18 子供クリスマス（社交室にて 50 人の子供が参加）
1956 年（昭和 31 年）	
1956/2/9	定期理事会：堀理事長、他理事、及び年表担当の荒木亨氏が出席 ◎各部事業報告、◎年表の編纂、◎総会：2/11 に開催
1956/5/13	創立記念式典

1956/5/20	会報 36 号発行 ＊岩井要氏「吉川主事の後を継いで」 ＊荒木亨氏（1957 年文）「青年会史編纂事業経過報告」 ＊富森啓児氏「YM に生活する者として」 ＊「鈴木一郎兄を囲んでの舎内座談会」（世界学生基督教連盟総会に出席前の懇談会）
1956/11/20	定期理事会、堀理事長、他理事が出席 ◎各部事業報告 ◎史料：130 円程度で 1,000 部を配布。50 部程度を地方、学 Y 同盟に配布 ◎二舎の件：解消する方針で調査開始
1956/11/30	会報 37 号発行 ＊堀豊彦理事長　「青年会の置かれている地位」（東大が 1949 年春に新制に切り替わった後の学生生活の変遷、寄宿舎の運営の課題など） ＊石原憲治氏　「中国の大学を訪ねて」（1955/11/9 片山哲氏団長の中国訪問団に参加） ＊富森啓児理事　「最近の聖研活動より」 ＊鈴木一郎氏　「世界学生基督教連盟 WSCF 総会」 ＊舎生投稿 3 篇 ＊各部報告 ◆庶務部：創立記念式典、クリスマス祝礼拝に行事に加え、「今青年会では、青年会の在り方について再び問い合おうとする気運が生じている」と報告 ◆聖書研究：前年の参加者減少を克服し、毎回 10 名を超える参加者を得ており、教会生活と YMCA 活動との両立などについての取り組みを報告 ◆文化部：会報発行と図書室の整理 ◆共励部：同志会との野球大会や卓球大会、狭山丘陵ハイキング（23 名参加） ◆連絡部：WSCF への鈴木兄の派遣とキリスト者学生運動の自治回復、東大 YMCA が果たすべき役割など報告 ＊「東京大学学生基督教青年会史を 1956 年早々に発刊。B5 版 350 頁の大冊で、頒布価格 100 円 ＊10/19 第 10 回東大 YMCA OB 会開催（第 1 回は 1951/6/5）
1957 年（昭和 32 年）	
1957/1/21	定期理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎各部事業報告

	◎二舎の件：既住の先輩の全員退舎を決定 ◎舎費：学生一般の部屋代を 100 円値上げ。◎56 年度決算の件、57 年度予算の件
1957/5/14	臨時理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎臨時総会開催議題の件 ◎主事の件：平沢・近藤両主事退職を了解、後任は未定。当面大口氏が主事補佐を担う。
1957/11/15	定期理事会、堀理事長、他理事が出席 ◎各部報告、◎募金報告、◎電話をもう 1 本引く件、◎基本財産の保管の件
1957/12/4	会報 39 号発行 ＊堀豊彦理事長　「『アドベント』に想う」 ＊OB 寄稿： 河田茂氏「人工衛星と聖書」、清水孜氏「半年の跡を顧みて」、河田茂氏「賛育会病院後援会」 ＊特集「就職についての討議 ＊荒木亨氏「舎にいる友へ」 ＊各部報告 ◆総務部：1957 年 3 月の青年会機構改革により、「庶務部」から「総務部に改称」 ◆聖研部：6/8 ペンテコステ早天祈禱会（奨励：藤田牧師)、5/2「信仰と社会的実践―原水爆問題」など ◆財務部（本年度より新設)：青年会会計の逼迫、部屋代、使用料など値上げなどが課題 ◆連絡部：6/15 青年会 OB 会、その他同盟夏期学校等への参加 ◆文化共励部（文化部と共励部を一本化）
1957/12/14	クリスマス祝会　説教；宮本武之助氏　110 名参加
1958 年（昭和 33 年）	
1958/1/20	定期理事会、堀理事長、他理事が出席 ◎理事改選の件：吉利和と木村健二郎氏の後任に高見穎治氏、宮原守男氏を推す。 ◎史料年表の件：荒木氏に謝意を表し、記念品を贈呈する。年表の配布方法を検討する。
1958/3/17	定期理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎各部報告、◎二舎利用の検討 ◎主事の件：管理主事の後任に高山茂七郎氏が候補。そのほか、諸活動

	を支援する主事に鈴木一郎氏を推す。◎会館問題研究委員会の件、◎青年会史売りさばきの件：キリスト教新聞に広告を出す。
1958/10/13	理事会 ◎旧 MDS 室を東大セツルメント法律相談室に貸与することを決定
1958/11/8	紹介講演会　講師：大塚久雄教授　「近代思想史上のプロテスタンティズム～特に職業理念について」　（駒場にて、学生 150 名が参加）　※会報 41 号に講演録
1958/12/8	会報 41 号発行 ＊巻頭言：堀豊彦理事長 ＊修養会特集（10/20～22）　主題「キリスト者学生の生き方」 ・開会式：堀理事長「東大学生基督教青年会について」、舎生発題（二神・村井兄）、講演：鈴木正久氏「基督者の自由」と「ロマ書第 7 章」、宮本武之助氏「主題講演」と「自由討議」、飯島宗享氏「基督者の実存」、堀豊彦氏「我が国における近代国家の生成と破綻」 ・修養会の反省と感想など ＊各部報告 ◆総務部：10/6 フィッシャー氏未亡人　来日歓迎会（会館にて 30 余名参加） ◆財務部：高山主事指導のもとで会館財務事務を行う。「青年会年表」の販売残部が多く、販売促進を目指す。 ◆聖研部： 中川秀恭 北海道大学文学部教授を囲む夕食懇談会 12/1 椎名麟三氏による新入舎生歓迎講演会 ◆文化共励部：10/25 舎内卓球大会、11/8 舎生マラソン大会
1958/12/13	クリスマス祝礼拝
1959/1/31	青年会総会
1959 年（昭和 34 年）	
1959/3/24	東大 YMCA 会館問題懇談会：本郷学士会館にて、理事・監事・主事のほか先輩会員が出席。※「東大 YMCA 建築委員会」とも称している。
1959/4/27	1959 年度第 1 回理事会　出席者：堀豊彦理事長（1923 卒）、高見頴治（1924 年卒）　宮原守男監事（1952 年卒）、高山茂七郎主事（1917 年卒）、鈴木一郎主事（1958 年卒）、以下新任学生理事：佐々木文彦、二神康郎、磯田一雄、成田勝彦、三宅晋兄及び高橋雅二学生監事 ◎予算案、◎舎生の自発的な寄宿舎塗装作業など報告 ◎地下室を診療所（今村一男氏）に貸与決定
1959/5/13	創立 71 周年記念式典　式辞：堀豊彦理事長「過去 71 年は偉大である

	が、現在我々は一応これを忘れ去って未来の 71 年を考えるべきではないか」、式典後社交室にて軽食・懇談会、先輩のスピーチあり
1959/6/20	会報 42 号発行 ＊高見頴治氏（1899 年文）「年表を読んで」 ＊高井康雄氏（1947 年農）「終戦前後の寄宿舎生活」（打ち続く空襲の中、寄宿舎は奇跡的に消失を免れた。舎生は 6-7 人のみ。終戦後、大塚久雄先生は自宅を進駐軍に接収され、当会館に寄宿された。社会科学面では大塚先生、信仰面では鈴木正久 西片町教会牧師、文化面では木下順二氏・森有正氏と接触があり、誠にパラダイスの時代だった、と記述） ＊三浦永光兄「舎生間の交わり」、富森啓児氏「青年会の歴史と改革」 ＊報告「最近の寄宿舎」　4 月の入舎選考（応募者 34 名）により 11 名が入舎、6 月現在、一般舎生数は 33 名、院生・主事・事務員・炊事員を合わせて宿舎常駐人口は 40 名 舎費は 1 か月 4,550 円、朝 6 時半に各階に分かれて早祷を実施など ＊各部報告 ◆聖書研究部：聖書研究会、基督教思想研究会、神学研究会等の後援、クリスマスなど諸行事を予定 ◆文化共励部：図書の整理、荒木年表読書会 ◆財務部；耐用年限を過ぎた会館の処分問題が焦眉の急との認識 ◆連絡部：現在会員数は約 800 名 ◆1958/12/12 舎生有志の文集「あめんどう」創刊号（第 1 号発行：発行責任者：黒瀬壽男氏） 文集は、「学生基督者共同体として現在の僕たちの真剣に考えていることを記録し、僕たちの世代の使命を明らかにするための共有財産とする」心構えで発刊 寄稿は、清水孜、村井仁、武田勝彦、黒川次郎、橋本章、野口吉三郎、山本憲男、川原正言、堀健二、長綱良昌、高橋雅二、萩野瑞、佐々木文彦、コンノエイジ、三宅晋、西岡義喬、黒瀬壽男、西岡義喬の各兄 ※3 月に第 2 号は発刊済みで、「実存と信仰」（成田）、「絶対化の悲劇」（村井）などの真剣な追求があり、第 3 号は来る 7/1 発行予定、との記述があるが、第 2 号、第 3 号は保存されていない。 ◆宗教音楽研究会合唱団誕生：グレゴリオ聖歌から、バロック時代の教会音楽までを歌う混声合唱団。顧問は野村良雄先輩、指揮は池宮英才 東京女子大音楽主任
1959/8/31	鈴木一郎主事が渡独（9 月末まで）、主事代行は野崎昭弘氏
1959/10/19	講演会　講師：杉山好 先生　「ヒルティの幸福論について」

1959/10/19	東大 YMCA 1959 年度特別研究集会（～21 日）：当会館において開催、講師は、堀豊彦理事長、関根正雄 東京教育大助教授、松田智雄 東京大学経済学部教授、藤森元日本 YMCA 同盟主事、宮本信之助 国立教会牧師・東京女子大教授、宮本武之助 東京神学大学教授・本会会員、赤岩栄 代々木上原教会牧師、中川秀恭 北海道大学文学部長、窪田暁子 日本 YWCA 幹事
1959/12/11	元理事 河田茂氏の葬儀　（葬儀委員長は片山哲氏）
1959/12/12	クリスマス祝礼拝　説教：熊野義孝 武蔵野教会牧師
1959/12/20	会報 43 号発行 ＊巻頭言：石川清理事（1917 年卒）　※今年は「宣教百年」、カトリック信徒を含めクリスチャンは現在約 40 万人 ＊「伊勢湾台風救援活動について」　橋本章兄、T・U 生 ＊魚住昌良氏「ミュンヘン便り」 ＊「特別研究会」（10/19～21 修養会）に参加して　萩野瑞兄、中村和郎兄 ＊安保改定反対声明まで（反対決議は 10/30 の事業懇談会にて） ＊各部報告 ◆聖研部：5/17 ペンテコステ早天祈禱会（奨励：生原優氏）、 5/28「早祷問題を巡って」（講師：西川哲治氏）、 7/9 菅井準一先輩を囲む会 ＃聖書研究会：土曜聖研月 2 回。木曜聖研：年 2 回を実施 ＃駒場紹介講演会　講師：堀豊彦理事長 ◆文化共励部：年表を読む会、子供会を 2 回開催 ◆連絡部：11/19「ミュラー博士の講演会」（連合会主催） ＃連絡部の対外的活動は活発で、梶村委員を中心に連合会委員会、学 Y 指導者会議、連合会主催の講演会と聖書講座等に積極的に参加した。 **※「＃印」は、会報以外の事業報告等他資料から追記した事項を示す。**
1960 年（昭和 35 年）	
1960/1/28	1959 年度第 2 回理事会
1960/3/5	河田茂氏追悼会（1959/12/8 帰天）　礼拝司式：松尾喜代司牧師、追悼の辞：佐伯俟牧師、堀豊彦氏理事長。社交室にて、約 70 名出席
1960/4/30	定例理事会：堀理事長、他理事 6 名、監事が出席 ◎高山主事から「大修築案」報告（予算 38 万円、大屋根・ベランダなどの手入れ） ◎女子学生の入舎希望について：堀理事長談「今年の東大の一番の変化は男女共学になったこと。先日、当寄宿舎に入りたいという女子学生が来た。理事会にも諮って断ったが、いずれ女子の入舎は考えなければな

	らない」 ◎今村一男氏（1965 年医）「文京第一医院」を二舎に開業
1960/5/13	創立 72 周年記念式典　挨拶：堀豊彦理事長、約 40 名出席。式典後晩餐会、その後の懇談で、先輩会員と学生会員の交流のために、先輩宅に 4－5 名の学生が訪問する形式を想定して、今後懇談会を企画したい、との希望が話題に上った。
1960/10/5	会報 44 号発行 ＊吉利和理事（1943 年医）　「河田茂先生を想う」 ＊山崎幸一郎氏（1923 年卒）　「あのころ」 ＊各部報告 ◆聖研部：「聖研読書会」発足 ◆文化共励部：4/5 夜子供会の映画会、約 60 人の子供が参加 ◆財務部：59 年 3 月に「会館問題懇談会」を開催し、会館の存廃が議論されたが、当分大丈夫ということで、大規模な修理を計画した。 ◆連絡部：連合会の駒場講演会、YM/YW 連盟のゼミに参加 ◆宗教音楽研究会合唱団の活動が続く。 ◆59/10/19 に「現代日本研究会」が発足。目的は、現代に生きるキリスト者学生として、その社会的責任を明らかにすることで、安保改定、刑法改正、ILO 条約などを取り上げた。
1960/10/29	定例理事会：堀理事長、他理事 8 名と監事が出席 ◎大修築工事は予算を超え、約 63 万円となり、特別積立金等で賄う。
1960/12/17	クリスマス祝礼拝　舎生 22 名が参加
1961 年（昭和 36 年）	
1961/1/22	会報 45 号発行 ＊年頭所感：堀豊彦理事長 ＊修養会報告特集（60/10/18～20 に開催）　主題：「東大学生基督教青年会と私」 開会礼拝：船木弘毅先生、講演：堀先生・永松先輩・佐伯先生、学生発題、修養会の感想など ＊同盟の夏期学校報告 ＊寄宿舎便り：一般舎生数は現在 32 名。食堂にテレビと石油ストーブが入り、楽しい交わりの場となる。 ＊「先輩を訪問する会のその後」　第 1 回は 11/20 福場吉夫先輩（1918 年卒）宅に招かれ、学生 5 人が訪問、第二回は 12/13 山崎幸一郎先輩（1924 年卒）宅に招かれ、学生 4 人が訪問 ＊各部報告

	◆聖研部：木曜聖研：講師の石島三郎氏による「ヨハネ黙示録」が間もなく 8 回で終了する。安保闘争や浅沼事件が祈祷会でも取り上げられた。 ◆宗教音楽研究会合唱団：11/19 駒場祭で演奏会、12/3 学 Y 合唱団との合同演奏会。会員数は 46 名、常時出席者数は約 30 名 ◆読書会：来年から西川哲治先生を月 1 回招いて原書の読書会を予定 ◆聖書を読む会：11/25 から開催。ほぼ毎日夜、舎生 10 名前後が参加
1961/5/13	第 73 周年創立記念式典　挨拶：堀豊彦理事長、学生と先輩 5 名が出席。式典後に晩餐会開催
1961/5/17	臨時理事会 ◎新星学寮（東南アジアの留学生を対象とした文化団体）より、改修工事のために一時、二舎の使用依頼があり、7 月以降 3 か月の使用を許可。13 名が滞在 ◎客間の使用は「学部時代に舎生であったものが引き続き大学院に在学中の者に限る」こととした。 ◎石原理事から「本木セツルメント」の活動報告があり、最近 200 万円の基金で旧家を買い入れ、近く発会式を行うとのこと。 ◎1960 年度決算は、合計約 158 万円規模、1951 年度予算は、合計 125 万円規模 ◎1951 年度役員：特別会員理事は、堀豊彦理事長、石川清、石原憲治、高見頴治、吉利和の各理事と宮原守男監事、通常会員としては、笹野修一、梶村慎吾、萩野谷興、柳沢忠、原田明夫の各理事と長島章監事
1961/5/20	五月祭講演会　講師：浅野順一 渋谷美竹教会牧師「今日の時代と聖書の信仰」※会報 46 号に講演録
1961/6/20	会報 46 号発行 ＊高見頴治理事（1925 年卒）　「土佐旅行」 東大 YMCA において「東京クルセード反対実行委員会」を発足し、研究会、講演会、反対声明、ビラまきなどの活動を実施 ＊OB 寄稿：駿河敬次郎氏「先輩として」、青本健作氏「友人への手紙」 ＊先輩を訪問する会：5/28 駿河敬次郎先輩宅を訪問 ＊寄宿舎だより：一般舎生数は 30 名、他に客間に 3 名の諸兄が在住 ＊各部報告 ◆聖研部：渡辺信夫牧師を招き、イザヤ書を研究。 5/21 ペンテコステ早天祈祷会（伊藤之雄 西片町教会副牧師による奨励） ＃5/21 ペンテコステ早天祈禱会　小石川植物園において、伊藤之雄牧

	師による説教 ※ペンテコステは以上の 2 つの記述があり、いずれかが正しいのか不明 ◆連絡部：東大キリスト者学生連合会主催の前田護郎先生による聖書講座 ◆財務部：二舎の修理を実施、一舎も修繕計画あり。卓球台を新規購入 ◆文共部：初めて新入会員歓迎ピクニックを実施、同志会対抗卓球大会などを実施 ◆宗教音楽研究会合唱団：五月祭に講演と演奏の集い「耳で聞く音楽史」を開催 ＊片山哲氏、星島二郎氏の両先輩が、ドイツ・クリスチャン・アカデミーと西独政府の招きにより、1 か月間渡独した。
1961/9/18	定例理事会：堀理事長、他理事・監事が出席 ◎寄宿舎内規改正（今後の青年会の発展を期待して新しい内規を制定）：目的、舎生の規定、入舎選考、誓約書、退舎、集会、総会、寄宿舎委員など。なお、早禱の出席者の減少により、10 月の舎内総会において、早禱を廃止し、新たに夕祷が設けられた。 ◎客間の提供規程 ◎二舎の今後の取扱
1961/12/16	会報 47 号発行 ＊堀豊彦理事長　「この年のクリスマスに」 ＊野崎昭弘氏（1959 年理）「かけだしものの雑感」 ＊青年会同盟と女子青年会カンファレンス合同の夏期学校報告 ＊先輩訪問：10/20 山井浩先輩（1917 年卒） ＊「あめんどうの会」発足（パッペンハイム著「近代人の疎外」をテキストに 10 月に研究会を発足、月 2 回を予定） ＊各部報告 ◆聖研部：引き続きイザヤ書を学ぶ。早祷から夕祷へ切り替え。聖書を読む会はサムエル記を学ぶ。11/23 聖研部主催「青年会問題討論会」を開催、18 名が出席 ◆財務部：会館の窓枠修理完成（北側諸室の二重窓化など） ◆宗教音楽研究会合唱団：8 月に野尻湖で合宿。11 月駒場祭に出演
1962 年（昭和 37 年）	
1962/1/29	青年会総会 ◎1962 年度事業部報告 ◎新役員の選任：先輩理事は、堀、高見、石原、吉利、西川の各氏。理事長は互選により、堀氏の再任を決定

1962/2/9	第 1 回理事会 ◎1962 年度事業部報告 ◆4/27 聖書研究会（月 1 回）　渡辺信夫牧師による「イザヤ書研究」 ◆5/20 同志会との恒例ピンポン大会
1962/3/7	理事会
1962/4/23	梶村慎吾兄　広島―アウシュビッツ平和行進出発
1962/5/13	第 74 回創立記念式典　35 名出席
1962/5/19	五月祭講演会　講師：西川哲治 東大教授・牧師　「自然・科学・信仰」 終了後、講師と出席者で懇親会を開催
1962/7/4	米国大学生交歓会：ニューイングランドの大学生約 20 名を招待して平和問題、信仰問題等を議論
1962/7/12	会報 48 号を発行 ＊堀豊彦理事長　「創立記念日の祈念」 ＊栗原基氏（1901 年文）　「台町青年会寄宿舎時代の思い出」 ＊橋本章氏（1959 年法）　「4，5 年前と・・・・・」 ＊寄宿舎だより：大論争の末に舎費を月 5,400 円に値上げ。舎の屋上に「露天シャワー」が完成 ＊海外だより：4/23「広島―アウシュビッツ平和大行進」14 名が横浜港を出港、東大 Y から梶村慎吾兄が参加 ＊大学管理制度を巡って、中央教育審議会が　「大学の管理・運営」についての原案をまとめ、発表。　舎でも大学の自治・学問の自由が失われることへの懸念を表明 ＊各部報告 ◆総務部：創立記念日に際し、「現在の最も大きい問題は、寄宿舎と青年会との関係で、我々青年会が信仰者の集まりとして生命を持っているか、という問題」、との記載あり。堀豊彦理事長は毎週午後に来舎し、話し合いの機会を持っている。 ◆財務部：防火・避難用具の整備、台所の改造計画など ◆聖研部：西川先生により、マルコ伝を学ぶ。 ◆連絡部：会員総数は約 900 名となり住所録の整備が重要 ◆文共部：図書整理、講演会、レクリエーションなど ◆宗教音楽研究会合唱団：4 年目、マタイ受難曲を手掛ける。 ＃6/10 ペンテコステ早天祈禱会　講師：澄田健一郎師、小石川植物園にて ＃5/3 新入生歓迎ハイキング ＃7/4 米国ニューイングランド大学 20 名来訪、交歓会を開催

1962/10/4	修養会　講師：西川哲治牧師。水上町の東大谷川寮にて実施、参加者16名
1962/11/5	駒場における青年会紹介講演会　講師宮本武之助先生「現代を如何に生きるか」
1962/12/15	クリスマス祝礼拝　説教：鈴木正久 西片町教会牧師、　出席者約120名
1963年（昭和38年）	
1963/1/26	第2回理事会 ◎1963年度事業報告 ◆聖書研究会：小西芳之助 高円寺教会牧師を講師に迎え、ロマ書全16章を8回に分けて研究 ◆6/2 ペンテコステ早天祈祷会　前夜は12名、祈祷会は26名が出席 ◆10/26 修養会（～28日：）主題は「青年会と信仰」、東大山中寮にて、18名参加
1963/1/31	青年会総会　青年会OB会の開催要望など
1963/2/10	会報49号発行 ＊修養会特集号 奨励：西川哲治氏「われらの信仰の基礎と表明」 「修養会を終わって」　徳永隆史、諏訪頼一、岩切哲朗の各兄 ＊海外だより：梶村慎吾氏 ＊各部報告 ◆財務部：台所改修（総工費：20万円余） ◆聖研部：10/28　修養会を東大谷川寮にて実施。木曜聖研は、西川哲治先生によるマルコ伝
1963/5/19	創立記念式典
1963/5/19	五月祭講演会　講師：松田智雄先生「平和を求める者」　※大塚久雄先生ご病気のため急遽依頼して実現した。
1963/8/19	会報50号発行 ＊特集：「スラムの人々の隣人に」足立区本木町で行なわれているセツルメント活動の紹介と協力依頼 ・石原憲治氏「同情者に訴える」（本木スラム、バタヤ、ハーモニカ長屋、隣保館設立など） ・文共部では、隣保館にて子供たちの学生指導を行っている。 ＊OB寄稿：青本健作氏「駆け出し雑感」、　徳永隆史「随想―勝手なこと」 ＊各部報告

	◆財務部：環境改善事業に取り組む。社交室の改修計画あり。青年会の年会費は現在 300 円 ◆聖研部：▷木曜聖研は、小西芳之助 高円寺東教会助牧師を招き、ロマ書を学ぶ。出席者は 12 名 ▷6/2 ペンテコステ早天礼拝：大串元亮 信濃町教会牧師、小石川植物園にて 26 名出席。 ◆連絡部：創立記念式典の案内は、住所がわかる東京近辺在住者に約 100 枚を発送、返事は 55 通 ◆文共部：新入生歓迎ハイク、六中女子ソフトボール部との対抗試合、各階対抗卓球大会などを実施。セツル学習教師派遣事業 ◆宗教音楽研究会合唱団：池宮英才先生の指揮でバッハカンタータ 4 番ほか小曲に取り組む。
1963/11/16	駒場祭での青年会紹介講演会・映画　講師：梶村慎吾兄「広島―アウシュビッツ平和行進」ほか
1963/12/5	会報 51 号発行 ＊特集「ICL ジャパン発足」　石川清氏「I．C．L に就いて」 ※米国からの ICL(International Christian Leadership)使節団来日を契機に、石川清氏（当会 OB）を会長として、社会人として活動している信徒の結びつきのために「ICL ジャパン」が設立された。 ＊梶村慎吾兄「広島―アウシュビッツ平和大行進」 ＊修養会報告：10/26～28　山中寮にて実施、テーマは「青年会と信仰」 ▷高沢金吾兄「我々の信仰と青年会のあり方についての私見」 ▷筒井正明兄「修養会に出席して感じたこと」 ＊各部報告　◆聖研部：修養会報告 ＊駒場祭講演会：「広島―アウシュビッツ平和大行進」の記録映画と講演
1963/12/14	クリスマス祝礼拝　説教：西川哲治先生
1964 年（昭和 39 年）	
64/1/23	理事会 ◎新青年会館設立の件 ◎学生主事の問題
64/1/30	青年会総会
64/5/13	創立記念式典　出席 OB：堀豊彦、高山茂七郎、山井浩、福場吉夫、清水孜、橋本章、高見頴治、野崎昭弘、永松克巳、星島二郎、山崎保興先輩の 11 名

64/5/24	五月祭講演会　講師：菅野猛 工学部教授　「職業と信仰」　　来会者約 90 名　※会報 52 号に講演要旨
64/6 月	臨時理事会 ◎南委員会室を「ぶどうの会」の拠点として使用するという賃貸契約に対し、舎生側より反対意見が出され、本件は見送られた。
64/9/24	定例理事会
64/10/15	会報 52 号発行 ＊堀豊彦理事長「キリストにある一人の人」 ＊OB 寄稿：徳久俊彦氏（1953 年経）「信仰と社会人」、中島伸一氏（1963 年卒）「信仰とは」、山崎保興氏「ある回想」 ＊山崎幸一郎氏（1924 年卒）「朴羅会 40 周年記念旅行記」（大正末期から昭和初期に青年会寄宿舎で暮らした世代の OB 会） ＊川上征兄「SCM 合同カンファレンスに参加して」（セイロン・カンディにて開催） ＊事業部報告 ◆聖研部：木曜聖研は、従来のお一人の講師による通年講義の形を改め、2 か月ごとに異なった講師を招く形式とした。前半は、赤岩栄代々木上原教会牧師「現代教会の疑問点」、野呂芳夫牧師（青山学院大学）「現代のキリスト教」を講師に招いて実施、後半は、関根正雄先生（教育大学）「聖書解釈の諸問題」及び「福音と律法」、隅谷三喜男先生「社会科学の見地より見た日本社会とキリスト教」、高木幹太氏「現代に生きるキリスト者」 ＃5/5 新入舎生歓迎ハイキング（丹沢大野山） ＃5/17 ペンテコステ早天礼拝　中村彊根津教会牧師により、小石川植物園で実施
64/11/15	駒場祭講演会　講師：飯島宗亨 東洋大学教授「プラハ平和協議会の意義」　20-30 名が参加
64/12/12	クリスマス祝会　先輩出席 15 名
1965 年（昭和 40 年）	
65/1/23	理事会 ◎各理事の年間活動報告　※学生主事に月額 5 千円を支給することが決定
65/1/28	青年会総会　※95 通の案内状を出し、返信は 27 名。堀、高見、高山氏など 7 名の先輩が出席 ※事務員の給与が 1 万円から 1 万 3 千円に増額、学生の部屋代が 500 円から 550 円、卒業生の年会費が 300 円から 500 円に改定した。

65/5/13	創立 77 周年記念式典　式辞：石原憲治理事
65/5 月	五月祭講演会　講師：大塚久雄先生「行動的禁欲についてー戦後日本が獲得した自由と民主主義は幸福を約束するか」
65/7/1	会報 53 号発行 ＊堀豊彦理事長「ベトナムを巡る問題に寄せて」 ＊関場理一氏（日本宗平協国際部）「宗教者平和運動の前進の為にー原理論争からの脱出」、川上征氏「宗平協の平和運動 ＊OB 寄稿：宮原守男監事（1952 年法）　「三河島事件の弁護人として」 ＊事業部報告 ◆総務部：学部別舎生数：本郷（法 7、経 2、文 2、工 6、理 2、農 3、薬 0、医 7）　駒場教養 4　大学院 2　合計 35 名 ◆聖研部：木曜聖研の形式を模索中。今年は、舎生からの問題提出を中心に「現代における愛の意味」、「人間疎外」、「職業と人生の意義の関連」、「平和問題」などに取り組む。定常的には毎日 10 時から夕祷、水曜に合同夕祷を持つ。6/6 青山学院の宮谷宣史先生を招きペンテコステ礼拝を実施 ◆文化共励部：新入生歓迎仮装ハイキング（高尾山） ◆財務部：寄宿舎の老朽化問題、物価の高騰に腐心 ◆連絡部：12/17 木曜聖研に寄与するための東京女子大との懇談会（東京女子大との合同聖研を実施、他学 Y との交流、機関誌の交換など ＃10/31～11/2 修養会　谷川寮において、舎生のみ 17 名で実施。主題「聖書の理解」 ＃11/3 同志会との卓球大会 ＃11 月末　卒業生の寄付による「教養文庫」を計画・開始 ＃12 月～1 月　東京女子大 YWCA との読書会、合同聖研
65/12/15	会報 54 号発行　　特集：信仰と自己変革 ＊森明麿氏　「信仰と使命感―小さき者の回想」 ＊宮田光雄先生　「信仰と自己革新」 ＊中村惺氏（1958 年農・東大理学部生物学科助手） ＊井出千束兄「信仰と自己変革」
1966 年（昭和 41 年）	
1966/5/13	第 78 回創立記念式
1966/5/22	五月祭講演会　講師：西川哲治 東大理学部教授「合理的思惟と信仰」
1966/7/1	会報 55 号発行　「学生会員の生活と意見」 ＊高沢金吾学生主事「近頃の印象」

	＊筒井正明兄「継ぎはぎの帯」、久保田信行兄「雑記帳ぱらぱら巡り」、須藤自由児「A 君へ」 ＃3/25 連絡部報創刊号　発行（田辺功理事）：事業部巡り、聖研ゼミ、本年度予算など。その後、 4/15-No4：五月祭、事業部巡り（聖研部）、YM 七不思議など 4/28-No5：聖研ゼミ特集号（全国学生聖研セミナー）、 5/3-No6：創立記念式典、舎費値上げなど、 5/12-N07：五月祭講演会、 5/13-No8：食事アンケート、仮装ハイキング、酒談義（筒井正明）など、 6/10-No9：連絡部アンケート、6 月月間計画表、舎生便覧（便利ノート）、酒談義 2、東京女子大 YWCA との交歓会、 6/30-No10：夕拷報告（井出千束）、酒談義 3～4、フィリピン・ワークキャンプ（須藤自由児）、 11/13-No11：東大 YMCA とは？ 67/1/22-No12：聖研の盛況、事業部新体制発足、以上 ＃5/3　木曜聖研講師は牧野信次氏に依頼することを決定 ＃5/3　新入生歓迎仮装ハイキング（陣馬高原～相模湖）、16 名参加 ＃6/5　ペンテコステ早天祈祷会：小石川植物園にて。前日には矢内昭二牧師を囲んで「我々と教会」について討論
1966/12/10	クリスマス祝会　鈴木正久牧師 劇「ホテルジフテリアの殺人」（探偵喜劇）
1967 年（昭和 42 年）	
1967/1/20	理事会
1967/1/28	青年会総会
1967/2/1	会報 56 号発行 ＊中沢源一郎氏（1930 年文）　「ブラジルからの手紙」 ＊石原次郎氏（1931 年法）　「彼の理想は大きく実った」 ＊木下順二氏（1944 年文）　「東大 YMCA との第 1 章」（木下氏は 1936 年入寮、1953 年の退舎まで 17 年間在舎） ＊原田明夫氏（1963 年法）　「寄宿舎の思い出」 事業報告等他資料から追記 ＃66/7/15　東大 YMCA 夏期学校　主題「福音による現代の再建―交わりの回復を求めてー」 シンポジウム（飯坂良明、藤田若雄、武藤一雄、渡辺信夫の各氏）、西村秀夫氏講演「現代の学生の思想状況」、　北森嘉蔵氏講演「我々

	の先輩はいかに生きたか」、　パネル討議 聖書研究：熊沢義宣牧師「イエスキリストとの出会い」 ＃66/6/15 東京女子大との第 1 回交歓会　テーマ：「『沈黙』（遠藤周作著）に見る人間の生き方」 ▷66/7/6 東京女子大との第 2 回交歓会　講演：梶村慎吾氏「平和は作り出すもの」 ＃66/10/21～23 修養会　講師：八木誠一氏　テーマ：「復活」（イエスの復活、パウロの復活体験）　東大谷川寮にて 14 名参加
1967/5/10	理事会
1967/5/13	創立 79 周年記念式典　礼拝式辞：吉利和理事、先輩出席 5 名
1967/5/21	五月祭講演会　講師：武田清子 国際基督教大学教授　「伝統的価値の連続と非連続―キリスト教の土着化について」
1967/7/5	会報 57 号発行　特集「青年会寄宿舎生活のあり方」 ＊大島廣氏（1909 年法）「60 年前の台町会館」※かつて台町にあった YM 会館の様子を詳しく描く。 ＊岡田良一氏（1941 年法）「30 年前の青年会」※昭和 10 年代の戦前の様子を詳しく描く。 ＊五十嵐雄一氏（1948 年法）「‘すいとん’の頃」※戦争直後の舎の生活を描く。木下順二、森有正、大塚久雄の各氏が在舎した時代 1946/3/3 東京基督教学生会発足（一橋大、早大、東女大など十数校が参加）、1946 年に夏期学校を開催など ＊清水弘之兄「無題」、国生肇兄「故郷の友へ」 ＊事業部報告 ◆総務部：舎生便覧発行 ◆聖研部：木曜聖研は荒井献先生（青山学院）を招き、ヨハネ福音書を学ぶ。参加者 18-9 名。5/14 白山教会において、ペンテコステ早天祈禱会、奨励は牧野信次 美竹教会牧師、参加者 24-5 名 ◆文共部：仮装ハイキング（長瀞） ◆連絡部：連絡部報の発行開始（これまでに 3 号）、学 Y ニュースにも委員（国生肇兄）を送ることとした。（他の事業報告等によると）しかし、問題があり途中で中止
1967/9/23	理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎事業部中間報告及び展望 ◎文集、クリスマス、その他 ◎理事改選の件：堀理事長より 2 年任期の終了する機会に辞任したいとの申し出あり、慰留意見多し。

1967/12/9	クリスマス祝礼拝　説教：鈴木正久 牧師　　先輩出席 13 名 舎生劇「瓜子姫とアマンジャク」
1967/12/10	会報 58 号発行 ＊吉利和理事（1928 年医）「キリスト教と私－誇りと反省」 ＊宮原守男監事（1952 年法）「マルクス主義とキリスト教」 ＊事業部報告 ◆総務部：施設訪問（かね子学園、中井児童学園、石神井学園） ◆聖研部：木曜聖研は、引き続き荒井献先生によるヨハネ伝。旧約研究は 12 月に開始予定 ◆修養会は、11 月 3～5 日に東大山中寮にて開催。講師は招かず、「聖書と信仰」、「キリスト教と平和の問題」、「YM の生活について」、「キリスト教と職業倫理」などのテーマで討論、参加者 17 名 ◆文共部：合同夕梼の試行。各階対抗卓球大会とサッカー大会。文集発行の予定 ◆連絡部：連絡部報 4 号を発行 ◆財務部：寄宿舎老朽化に伴い小修理多し。クリスマス祝会は入場券を販売
1968 年（昭和 43 年）	
1968/1/25	定例理事会 ◎決算報告
1968/1/27	青年会総会
1968 頃	「あめんどう」復刊第 2 号発行　発行責任者：川越厚兄 ※復刊 1 号と 2 号が作成された記録があるが、2 号は確認できない。 筒井正明、二木成侗、佐藤良逸、乙田間寂士、タケチャンチュー・ショクーン、井出千束、川越厚、片平洌彦、西田芳弘、久保田信行、荒井献（聖研）、岡本謙一、X・M、こくしょうはじめ、垣内史堂、町沢静夫、清水弘之、中島誠、名無権兵衛、浅田巌、赤尾直人、榊裕之、湯原哲夫各兄
1968/5/11	創立 80 周年記念式典　説教：佐伯倹 品川教会牧師（1921 年法）「更新の時」、 記念講演：荒木亨氏（1952 年文）「年表落穂拾い」、懇談会スピーチは、片山哲氏ほか 9 名。舎生の他、OB9 名が参加　※説教・スピーチ詳細は会報 56 号に掲載
1968/5 月	五月祭講演会　講師：西村秀夫先生（教養学部）「大学における人間の諸問題」
1968/6/27	理事会：堀理事長、他理事が出席

	◎会館建築の件：会館の老朽化による危険性から新築が急務との認識 ◎創立 80 周年記念行事の件 ◎入舎基準の件：カトリック信者の入会について議論。※「YM はプロテスタントの寮であることを建前として確認し、今後 Ecumenical Movement を通じて他教派と積極的にかかわっていくべし」との意見が出された。
1968/7/15	会報 59 号発行 ＊堀豊彦理事長　「創立 80 周年記念式典に因みて」 ＊沢田節蔵氏（1909 年卒）「創立 80 周年のお祝いに寄せて」、片平洌彦兄「創立記念式典について」 ＊三浦斧吉氏「帝大基督教青年会の思ひ出」（大正 7-8 年ごろ―弁護士） ＊石原力氏｛戦時中の青年会｝、徳久俊彦氏（1953 年経）「雑感」、二神康郎氏（1960 年農）「青年会 80 周年に出席して」、原田健氏（1918 年卒）「所感」（1916 年 3 月に新会館が完成、それまでは千駄木町に借家住まい。新渡戸稲造先生の秘書）、　青木康氏（1954 年法）「記念会に出席して」 ＊寄宿舎だより：一般舎生 31 名と客間に 3 名在舎 各部報告 ◆総務部：2/11「建国記念の日」討論集会、5 月に「YM の歴史を学ぶ会」など ◆聖研部：木曜聖研は、西村俊昭先生（青山学院・砧教会）の指導のもと、旧約の預言者について学ぶ。 ＃特別講義：木田献一 青山学院大学神学部助教授を講師として 12/15「預言と契約」、1/19「預言と歴史」を学ぶ。 ◆文共部：3 月に 68 年度卒業生との親善サッカー大会、5 月初めに「新入生歓迎仮装ハイキング」（丹沢）、6 月東京女子大との合同読書会 ◆財務部：退舎生有志が南委員会室の壁塗りの奉仕。消防署より「危険建造物」に指定されており、再建に向けた動きもあり。 ＃新企画として、10 月上旬に「清水弘之氏を囲む会」、10 月下旬に「佐藤良逸氏を囲む会」を開催した。 ◆連絡部：名簿改訂作業に着手。学 Y を超えて対外的な交流を志向 ＃68 年度は、多くの舎生が何らかの形で東大闘争に参画したため、舎の活動は低迷した。 ＃5/3 新入生歓迎仮装ハイキング（丹沢）
1968/12/14	クリスマス祝礼拝　説教：松尾 荻窪北教会牧師　「生の倫理―学園闘争の中で」

1969 年（昭和 44 年）	
1969/1/18	東大闘争終結　1/19 安田講堂陥落
1969/1/27	理事会：堀理事長、他理事が出席。 ◎理事改選の件：堀理事長、石原憲治理事より辞任の申し出あり⇒1/30 の総会を控え、すぐには決定できず来年に持ち越す。
1969/1/30	総会
1969/2/24	臨時理事会：堀豊彦理事長、他理事が出席 ◎理事改選の件：任期満了に伴い、堀豊彦理事と高見穎治理事は再選、石原憲治理事は退任、後任は高井康雄氏。宮原守男監事は再選 **◎会館の再建について、「再建問題委員会準備会」を発足（2/25）**
1969/5/17	創立記念式典　説教：徳永五郎先輩「荒野の試み」　出席者：OB10 名、舎生 30 余名
1969/6/27	理事会；高見、堀、石原の先輩理事、高山主事、五十嵐、片平、佐藤、森、赤尾、川越の学生理事 ◎再建委員会の発足の件など
1969/9/25	理事会：堀豊彦理事長、他理事が出席 ◎事業報告の件：学生理事より、東大闘争の余波で、YM の事業活動が減少したこと、 ◎80 周年記念事業の件
1969/9/29	会報 60 号発行 ＊五十嵐正宣氏（1967 年医・前学生主事）　「感想」 ＊増田陸郎氏（1938 年医）　「東大 YMCA―わが心の学舎によせて」 ＊関谷正彦氏（1928 年法・聖公会司祭）　「東大 YMCA の思い出」 ＊湯原哲夫学生主事　「雑感」 ：事業部報告 ◆連絡部：東大基督者連合会の聖書研究会（荒井献先生による使徒行伝）に参加、その他、靖国神社法案に関する問題」や他の学生 YMCA との交流に取り組む。 ◆文共部・聖研部：東大闘争が安田講堂陥落で一旦終結した状況下で、活動が困難 11/26 読書会「マルクス主義とキリスト教」 ◆総務部：6/7 舎生便覧を配布、6/14 卒業生を送る夕食会、 6/11 連絡部報を拡大改組し、「YM Monday」と称する事業部報を月 2 回発行、10/9 同第 6 号発行 ▷6 月末カナダ SCM3 名が来訪、7/5 まで当舎に滞在。7/5 歓迎レセプションを開催

	▷靖国神社法案に関して、研究会、討論会を行い、7/20 教団主催のデモに参加 ＃ペンテコステ早天祈禱会　講師：藤村和義先生（渋谷教会）「聖霊を受けるとはどういうことか」　雨天のため YM にて参加者 22 名 ＃6/25～27 夏期合宿　伊豆下田の東大下賀茂寮にて ＃8/26～28 修養会　上野原キャンプ場にて ＃1969 年 11 月現在：舎生数 23 名（空室 10 室）※寄宿舎の再建が具体化するなかで、入舎選考が困難な状況あり ＃1969/7/7 先輩を訪問する会：宮原守男監事宅
1969/12/13	クリスマス祝礼拝　説教：小西芳之助牧師。参加者：舎生 35 名、OB16 名。客人約 50 名
1970 年（昭和 45 年）	
1970/1/24	理事会：堀理事長欠席、その他理事出席 ◎44 年度決算の件、◎45 年度予算の件
1970/5/8	創立 83 周年記念式典　説教：徳永五郎氏　先輩 10 名が参加
1970/7/7	会報 61 号発行 ＊黒川弘氏（1935 年法）「日曜学校創設の思い出」 ＊OB 寄稿：関谷正彦氏「思い出」、小田原登志郎氏「S・S（日曜学校）破竹会（昭和 8 年・9 年卒業組）そのほか」 ＊舎生寄稿 3 篇 ＊事業部報告 ◆総務部：合同祈禱会には 20 名近い出席。混乱の時代から、平和なよそおいと楽しい交流を取り戻しつつある。 ◆連絡部：「一昨年以前では、大学に機動隊が入ることは社会的にも大事件であったが、今では日常茶飯事となってしまい・・・・・」という状況を嘆きつつ、地味に活動する。 ◆聖研部：東大 YMCA は信仰共同体として存在しているのか？など、舎生にとってより根源的な問いが様々な形をもって発せられている状況。聖書は一体我々に何を語るか？これが聖研での問い返し。 ◆財務部：修理費の増大から新舎を夢想 ◆文共部：各学部とも正常化しつつ、日常に埋没。五月祭参加は見送り。共同体とは何か？という問題が大きい。 ＃1969/10/10～12 修養会　代々木・オリンピック記念青少年総合センターにて、10 名参加。テーマ：「私にとってキリスト（教）とは何か」。従来の聖研部主催から超事業部主催に変更、「キリスト者の団体としての自覚的再出発のスタートが切れた」との評価あり。

	＃11/3 卓球大会（文京女子短大学生も参加、これが機縁となり、暮れに発生した火災時に舎生が駆けつけて消火・救援活動に協力した） ＃秋から冬にかけて、計 3 回クラシック・コンサートを実施 ＃読書会　椎名麟三著「懲役人の告発」　参加者：10 数名
1970/9/19	理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎入舎基準の件：69 年度入試中止に伴う新入生の減少を受けて、大学院生の増加を承認
1970/12/12	クリスマス祝礼拝　聖研：月本昭男兄
1971 年（昭和 46 年）	
1971/1/3	関西 OB 会
1971/1/23	理事会：堀理事長、他理事が出席 理事選任の件：堀豊彦、高見穎治、高井康雄理事を再選
1971/1/23	総会
1971/1/30	会報 62 号発行 ＊住谷悦治氏（1922 年法・同志社大学総長） ＊鈴木厚氏（1927 年卒）「思い出すこと」（旧館震災と復興を記述） ＊野村良雄氏（1932 年文卒）「信仰の歩みのジグザグ」 ＊原田郁夫氏（1952 年工）「世の中変わった」 ＊榊裕之氏「メッセージ」 ＊舎生寄稿 3 篇 ＊事業部報告 ◆総務部：修養会（2 回上野原と検見川）開催。有志によるグループ活動）イエス論研究、絵画、早稲） ◆聖研部：キリスト者の多くが、神学者、聖職者を含めて「正統」信仰の上に、どかりと座り居眠りをしている状況で、聖書研究が困難ではある。まだ見ぬ真理を求めて真剣な模索が行われている。
1971/5/8	創立記念式典　説教；徳永五郎先生（1953 年卒）
1971/6/17	定期理事会：堀豊彦理事長、他理事が出席 ◎会館再建の件：会館の再建築をなすことを決定。このため、「再建準備委員会」を設置し、この件を諮問し、成案を得た段階で、臨時総会を招集して最終決定するとの申し合わせを決議した。榊主事より「再建に関する他大学の動向」について報告 ◎1970 年度事業報告の件： ◆第 1 回木曜聖研（4/22）西村秀夫氏　「東大闘争と信仰」 ◆ペンテコステ 5/29～30）根津教会中村牧師 ◎入舎基準の件：来年 3 月の卒業生が 10 名を超え、一時的に舎生が減

	少するので、大学院生の継続在舎を認めたいと提案あり
1971/7/8	第 1 回再建準備委員会を開催。堀理事長より経過説明のうえ、理事会の諮問を受け、17 名の委員にて発足。委員長に植田武彦氏、副委員長に山崎幸一郎氏を選出 岩井要氏の概算を考慮して検討した結果、考えうる案として A 案：転地による地価落差利用案、B 案：用地の一部売却残部使用案、C 案：用地の全部使用・他施設（住宅公団等）との同居案、の三案を検討することとなり、そのための必要事項調査を進めることを決定
1971/7/10	会報 63 号発行　再建特集号 ＊堀豊彦理事長「会館再建について」 ＊榊裕之氏「寮再建に関する動向」 ＊OB 寄稿：馬場進氏「思うこと」、楠田洋氏「OB の一人ひとりを結集して」、西川哲治氏「再建計画に際して」、二神康郎氏「舎のこと」 ＊舎生寄稿 2 篇 ＊第 1 回再建準備委員会報告 ＊事業部報告 ◆総務部：総務部方針「事業懇談会に向けて」、再建問題への取り組み。6/25～27 夏期合宿（東大下賀茂寮にて） ◆聖研部：木曜聖研は、4/22 西村秀夫先生を招き「大学問題と信仰」、6/24 佐古純一郎先生を招き「美的実存と宗教的実存」を学ぶ。 5/30 ペンテコステ祈禱会（中村 根津教会牧師）
1971/8/19	第 2 回再建準備委員会を開催。具体的な検討の結果、A（移転案）については、土地売却先としては地形等から一般不動産には不利で、文京区への売却案が有望、B（一部売却案）については、有効な分割の可能性からみて困難、C（他施設との同居案）については、日照権問題の解決等が当方に委ねられるため、住宅公団等との同居はほぼ絶望的、となった。今後、土地売却の可能性や文京区内での代替地の可能性を追求することとした。
1971/9/20	第 3 回再建準備委員会を開催（9/20）、第 4 回（11/26）において、野村不動産（白山町の代替地を紹介）、大成建設（土地の売却と代替地の買収）、高層スティールハウス工業（土地買収）、東海興業（青年会の土地と隣接地にマンションを建設する案）と順次打ち合わせを行った。
1971/12/25	会報 64 号発行 ＊吉岡直人兄「新しい生命への躍動―再建準備委員会からの報告」 ＊清水正之兄「遠藤周作『沈黙』とその映像を巡って」 ＊事業部報告 ◆総務部：11/17 東京都教育委員会の調査（舎の現況、寄付行為、登

	記、財務、理事会・監事等の調査で、前回は数十年前)、再建問題への対応 ◆聖研部：今年は神学的に偏ることなく周辺領域との関わり方・聖書の読み方を探ろう、という方針 ◆文共部：スポーツ大会や卒業生を囲む会を実施したが、今少し盛り上がりに欠ける。
1972 年（昭和 47 年）	
1972/1/17	定例理事会 ◎再建につき、理事会としては最終的交渉権限を再建準備委員会に委嘱するとの提案を可決
1972/1/27	1972 年度総会 ◎「独立の建物を建て白山に移る」方針で、高層スティール工業との交渉を再建準備委に委ねること、最終決定は臨時総会で行うことを確認
1972/2/14	第 5 回再建準備委員会を開催（2/14)、第 6 回再建準備委員会（3/7)、第 7 回再建準備委員会（3/21）において、高層スティール工業、東海興業と交渉。また「小さくても土地付きを」との意見あることも踏まえ、同居案、移転案を検討することとした。第 6 回委員会出席者は、植田、山崎、高見、高山、岩井、石原、楠田、馬場の先輩委員と、榊、月本、岩見、藤本、若原、市川、田中潔、尾山、篠原、清水久、吉岡の各兄 なお、2/3 に「舎内準備委員会」を発足し、舎生の取り組みを活発化した。2/29 舎内再建準備討論会（石川、岩見、月本、尾山、若原、鐸木、高本、中村、田中令、藤本、市川、篠原、吉岡、森田、広井、山形、田中潔、小堀の各兄が出席)、3/3 舎内再建準備委員会を開催
1972/3/31	第 8 回再建準備委員会を開催。東海興業の提案と高層スティール工業の提案を比較検討し、僅差ながら、東海興業案が有利と判断し、理事会に「東海興業と契約する案」を答申することに決定
1972/4/8	定期理事会：堀理事長、他理事が出席 ◎会館再建の件：再建準備委員会から 2 年間の経過報告のうえ、最終答申を提出。準備委を解消し、新たに「再建委員会」を発足させ（委員長は堀理事長)、再建事業を開始することを決議
1972/4 月	復活祭記念祝礼拝　説教：山本将信 西片町教会牧師
1972/5 月	創立記念式典　記念講演は堀豊彦理事長、片山哲元首相出席
1972/9/15	会報 65 号発行 ＊森原元夫氏（1927 年法)「東大 YMCA の思い出」 ＊田中潔兄「妙高高原での夏期修養会」(7/27～29)。テキストはルター「キリスト者の自由」

	＊総務部： 再建計画では、一時期 72 年 3 月と目されていた旧舎取り壊しの予定が、夏休み頃に遅れ、さらに 1 月以降などと徐々に遅れたため、年間計画や予算が立たず、舎生の活動は停滞せざるを得なかった。加えて、再建関係の雑務のため相当多忙であったことなどにより、新舎生の入舎も少なく、舎生数は年度初めより半減してしまったとの嘆きあり ◆聖研部：5/21 にペンテコステ祈禱会　説教：山本牧師（西片町教会）　※各部とも再建間近で舎生が減少し、活動は低調に推移。木曜聖研は 72 年度中開催できなかった。
1972/9 月	定例理事会、臨時総会： ◎会館再建の件：「青年会会館・寄宿舎の再建についての基本方針」を承認、再建委員会の設置及び総務、財務、建築、募金契約の各小委員会の設置を承認 ◎事業計画の件：5/13 創立記念式典及び夕食会を開催予定
1972/10/7	再建委員会　堀、高見、山崎、石原次郎、岩井、榊、植田、小堀、楠田、月本、浦西、藤本、篠原、吉岡、田中潔、市川の各氏が出席 ◎契約の件：10/7 東海興業と合意（東海興業の大幅な譲歩あり） ◎募金委員報告（吉岡氏）、設計経過報告（岩井氏）
1972/11/11	後期理事会： ◎運営委員会を置く件 ◎東海興業から提供される 3,000 万円の使途の件 ◎青年会憲法の改正⇒寄付行為の改正の件 ◎会費及び部屋代改正の件、留学生受け入れの件など
1972/12/9	理事会 ◎東海興業との契約内容の報告を承認 ◎契約に伴う本会の基本財産処分の件 ◆本会の基本財産である青年会館と寄宿舎を取り壊し、又基本財産である同敷地（285.6 坪：評価額 44.663 千円）を東海興業㈱に提供する。この土地の代償として、①同社が隣接地を含めた地上に建築する 14 階建てマンションの 1～4 階の一部（延べ 455 坪及び共有土地 260.41 ㎡：持ち分比 13,4%）を会館・寄宿舎として、②金 3,500 万円を、③建物の内 1 戸分（23,878 坪）を東海興業から提供を受けること、以上を可決した。 ◎寄宿舎・会館の設計の件 ◆寄宿舎・会館の設計について、設計者：岩井要氏から説明を受けるとともに、東海興業との詳細な折衝は岩井氏に一任することを承認した。
1972/12/9	クリスマス祝礼拝　説教：池明観 徳成大学教授、講話：堀豊彦理事長

	「明日の青年会に向けて」 祝会にて、山崎幸一郎氏が再建委員会から報告
1973 年（昭和 48 年）	
1973/1/15	1972 年度後期理事会 ※6 月開催の理事会が延期されて 1 月に開催となった ◎事業部活動報告 ◆6 月　夏期修養会　ルター著「キリスト者の自由」をテキストに読書会、東大池之平寮にて ◆舎生選考会 ◆11～12 月　週 1 回計 5 回のロマ書講話：山本将信 西片町教会牧師 ◆73/1/15 同志会との合同礼拝・卓球大会　同志会から 6 名参加 ◎高山先生の退職金の件、◎再建中の仮事務所設置の件 ◎舎生の新理事紹介：市川祐三（総務）、浦西友義（聖研）、田中令穂（連絡）、片山啓（文共）中田晴雄（財務）、田中潔（監事）
1973/1/23	募金委員会 ◎年代別のほか、地域別募金も必要（関西地区は柴谷先輩がまとめる） ◎事務の専従者を置くべきか？　募金期間の延長、募金名簿の作成など
1973/1/28	定例理事会：堀理事長、高見理事ほか学生理事が出席 ◎72 年度事業報告、◎72 年度決算 ◎学生理事の交替　総務：田中潔⇒市川、聖研：鐸木道剛⇒浦西、連絡：広井⇒田中令穂、文共：山下逸喜⇒片山、財務：森田⇒中田晴雄、監事：田中潔 ◎仮事務所の件（神田 YMCA などの間借りか、敷地内仮設事務所か？） ◎事業部予算の件： ・仮集会室（木曜聖研）⇒アパート、堀先生の教会、堀先生宅の 2 階などを検討、 ・夏季修養会⇒堀先生の小諸別荘などを検討 ・再建中の舎生会員への援助 ・特別寄付金（東海興業から 3,000 万円）の受け取りと取扱い（運営委員会による運用など） ◎理事選任の件：高井理事の辞意は慰留、理事長は再建が緒に就いた段階で辞任の意向、若い理事と監事は留任し、二神、野崎、徳久氏等を核メンバーに予定する。 ◎名称は、「東京帝国大学学生基督教青年会」から「東京大学学生基督教青年会」に変更する。（理事会決議） ◎年次別 OB 会　1/20 拡大三八会：幹事は高沢金吾氏（1964 年工卒）

	「若竹」にて
1973/1/31	青年会総会：先輩出席 7 名 ◎1972 年度活動報告 ◎1972 年度決算：年会費 1,000 円で 163 名が納入（募金活動により住所確認が取れた会員は約 600 名） ◎再建準備の件 ◆募金委員会：応募者 155 名で総額約 750 万円 ◆建築委員会：契約書を作成中、都からの許可を取得次第、取り壊しに着手、周辺住民との調整も必要。仮事務所は東京 YMCA と折衝中。高山主事、木村庸五理事の辞任を承認（暫定的に月本主事が事務処理を引き継ぐ。同盟に対し東大 YMCA への 350 万円の援助を要請。二神、野崎氏などにより運営員会を構成
1973/3/12	特別理事会：舎の引っ越し事務所の移転等について懇談
1973/3/24	「懐旧舎記念会」　開催　※百年史では 3/27 と記載 舎生、先輩、家族など計 100 余名が参加 プログラム：住谷悦治氏「吉野作造先生と東大 YMCA」 礼拝、乾杯：片山哲氏　先輩スピーチ（原田健、堀豊彦、岩井要、吉川需、星島二郎の各氏ほか)、山本安英さんの朗読、音楽、食事（スキヤキ、呑気のおでん、南米のコーヒー・サンドイッチ）
1973/3/28	旧舎引っ越し、閉鎖準備、解体工事 ▷新舎で使う備品、書籍、レコード等をまとめて、仮設倉庫に保管 ▷舎生の緊急連絡網の整備、毎月 1 回の短信の発出（吉岡兄)、▷舎生集会は月 1 回 ▷5/6 ピアノ、オルガン等の搬出。二舎取り壊し開始 ▷5/25 寄宿舎本体の取り壊し開始。(5/23 旧舎最後の住人・高幣兄が退舎)
1973/4/12	はがき通信第 1 号　発行： ▷高山主事が 73 年 1 月末に辞職　▷会館建築中の仮事務所は「日本キリスト教会館」(新宿区戸塚 1-551)　▷東海興業から「建築確認申請」が認可された旨報告、まもなく取り壊しに着手　▷3 月末に舎生は寄宿舎を出て、分散下宿　▷月本・岩見両学生理事は 3 月末に辞任し、後任に吉岡兄、篠原兄が就任
1973/5/12	創立記念式典　本郷ルーテル教会にて礼拝。講演：西川哲治先生、東大山上会議所にて式典。先輩・舎生計 30 名出席
1973/7/27	東海興業との間で新舎建築工事契約締結（於：東海興業東京支店） 堀理事長、高見理事、山崎幸一郎、植田武彦、石原次郎、榊裕之の各先輩、舎生は月本主事、篠原、吉岡、市川兄が陪席

1973/7/28	はがき通信第 2 号　発行 ▷会館は撤去工事後、現在基礎工事中。　▷東海興業と契約調印、▷募金額が伸びず、▷事務主任として三井豊秋氏（慶応大出身）を迎えたことなど ※その後、はがき通信は、理事長、専務理事、事務局から会員への情報伝達手段として、年に数回の発行が続けられ、最後のはがき通信は 2001 年 9 月 27 日の第 78 号とみられる。なお、はがき通信から引用した事項は末尾に㋮と記載
1973/9/20	理事会及び再建委員会：日本キリスト教会館にて開催 ◎再建関係 ◆新舎建設工事契約の報告 ◆特別寄付金（3,500 万円）の運用 ◆募金活動について、舎生が先輩宅を訪問するなど活動を強化 ◎舎生援助金（活動補助金）の給付を決定（資金運用により 150 万円を目途） ◎事業報告： ◆4/12 舎生集会、決定事項は以下のとおり ▷第 1 回木曜聖研は 4/25、堀理事長宅にて ▷第 1 木曜は事業委員会（理事集会)、第 2 木曜は事業懇談会（全舎生集会及び退舎生夕祷)、いずれも西片町教会集会室にて ▷仮事務所に、堀理事長、高見理事のほか吉岡、篠原の両学生主事、その他舎生が当番制の交替で詰めることとした。 ◆6/7 舎生理事集会、6/13 定例舎生集会、6/22 木曜聖研（講演：西村俊昭氏、エゼキエル書）予定、場所はいずれも西片町教会集会室にて ◆7/18～7/21　舎生修養会、長野県サントピア学者村（堀理事長の別荘）にて開催（片山啓兄）
1973/10/4	定例理事会　西片町教会集会室にて開催 ◎事業部報告 ◎舎生活動補助金の運用の件：青年会から舎生に対し年額 140 万円を給付
1973/10/4	舎外における舎生活動開始 ▷10/5 総務発行の葉書通信　創刊　※「集会のお知らせ」など ▷10/4 舎生理事集会、10/11 舎生全体集会　西片町教会集会室にて開催。各理事の活動報告、舎生による募金活動の提案、活動援助金の使途を決定。各舎生には 5,000 円を支給、ただし連絡がない舎生には支給しない。会計の管理は片山兄。また、舎生の集会用の部屋を別途確保することとした。

	▷11/18 活動援助金（各自 5,000 円）を支給。対象は 18 名 ▷舎生の活動拠点として、亀井兄が近くのマンションの 1 室を借り、2 部屋のうち 1 部屋を YM 舎生の共用スペースとすることを決定（費用は活動援助金から応分の負担をする） ▷7/11「若手会」　寿司屋「若竹」にて開催
1973/12/15	クリスマス祝礼拝： 日本福音本郷ルーテル教会にて礼拝、説教：岡田 本郷ルーテル教会牧師の「時は流れて」 その後、赤門横の学士会館別館にて記念祝会
1974 年（昭和 49 年）	
1974/1/24	理事会：日本キリスト教会館にて開催 ◎運営委員会設置の件：再建後の会館等の運営のあり方を検討するために、運営委員会を発足させる。そのために 4 月中旬に運営委員会準備会を設置して、その準備に当たらせる。 ◎舎生の活動（1973/10 月～1 月） 10/21 東大 YMCA 秋の登山　目的地：奥多摩・鷹ノ巣山（日帰り）、担当：市川兄 11/1 舎生理事集会、11/8 舎生集会、いずれも西片町教会集会室にて ◎舎生への活動補助金　支給対象者は、月本、山下、市川、浦西、亀井、篠原、清水（久）、鐸木、高幣、田中（キ）、田中（令）、藤本、吉岡、片山、柳元、谷本、中田の各兄 ▷1/17 舎生理事会及び舎生集会：理事候補者を決定　聖研：片山、文共：柳元、財務：田中令、連絡：谷本、総務：中田、監事：田中潔 ◎年次別 OB 会 10/7 会館再建若手会　幹事：飯高茂氏（1965 年卒）・筒井正明（1966 年卒）氏　「若竹」にて
1974/1/31	本会総会：日本キリスト教会館にて開催 ◎堀理事長から総括報告 ◎1973 年度決算・1974 年度予算 ◎理事改選の件：任期満了の理事全員を改選、吉利和氏は退任、岩井氏が就任。学生理事は、片山（総務）、柳元（文共）、田中令（財務）、谷本（連絡）、中田（総務）、田中（監事）
1974/3/11	運営委員会（準備会）：同盟会議室にて ◎議長選出：石原氏と馬場氏の連立議長制 ◎募金、新舎生の募集、OB と舎生の結び付け・組織化、外国人留学生の件など
1974/4/9	運営委員会：同盟会議室にて

	◎舎生の募金のための先輩訪問開始、募金活動の資料と堀理事長の名刺（紹介状）をもらうこと
1974/5/11	創立記念式典　礼拝説教：徳永五郎牧師、本郷ルーテル教会にて 祝会：学士会館本郷赤門分館にて
1974/5/21	運営委員会：議長は石原次郎氏、YMCA 同盟会議室にて 構成は OB：徳久、石原、馬場の 3 氏、理事：岩井要、高井の 2 氏、舎生：吉岡、片山の 2 兄 常任の委員の他、オープンシステムとして会員の自由な参加を求める。 委員会は毎月第 3 火曜日に開催
1974/6/19	運営委員会：YMCA 同盟会議室にて。　※会議室の関係で翌日に変更開催 ◎専務理事の給与と仕事、◎備品調達の決定手続き
1974/7/9	運営委員会主催第 1 回懇談会　講話：西川哲治 東大・高エネルギー物理学研究所教授（1949 年理、本会理事、元豊島岡教会副牧師）「信仰と科学」、講話後、夕食懇談会。日本基督教会館にて
1974/9/17	運営委員会：YMCA 同盟会議室にて ◎新しい事務員募集の件 ◎事務監督及び企画立案のために専務理事を置く件 ◆舎生の活動（2 月～9 月） ▷2/7 舎生集会、3/7 舎生理事会及び舎生集会、7 日に募金未申込者の確認し、14 日舎生集会にて訪問の分担を決める予定、4/11 舎生理事会及び舎生集会いずれも向ヶ丘マンション舎生集会室にて ▷5/9 舎生集会は週 2 回（第 2・3 木曜）開催を決定、その後 5/23、6/13、6/27 に開催。 ▷9/19 舎生集会：事務主任の三井氏が病気入院中のため、高見先生と堀理事長及び舎生が交代で事務室に詰めることとした。いずれも向ヶ丘マンションにて ◆7/15 夏期修養会（～16 日）：千葉県御宿町　民宿石井荘、清水、篠原、亀井、柳元の 4 名参加
1974/9/26	新会館上棟式、堀理事長以下 10 名余が出席、現場視察。石油ショックによる建設資材の不足等により、大型建築工事は困難に直面しているが、3 月の竣工を目指している。日立製作所の駒井先輩が各方面に尽力 ㋭5 号
1974/10/15	運営委員会：YMCA 同盟会議室にて ◎岩井氏と柳元兄から、新しい家具調度の調達について説明あり ◎事務員採用の件
1974/10/22	定例理事会

	◎家具調度購入の件：家具調度の購入費は 1,300 万円までとする。購入は岩井氏に陪審 2 名をつけて一任する。
1974/11/19	運営委員会：YMCA 同盟会議室にて ◎東海興業より、来年 2 月末には新会館・寄宿舎に入居可能の見込みとの報告あり。これを受けて、新館への入居希望を確認する予定
1974/12/14	クリスマス祝礼拝　説教：高見穎治理事、日本福音本郷ルーテル教会にて 祝夕餐会は、東大山上会議所にて
1974/12/17	運営委員会：YMCA 同盟会議室にて ◎徳久氏より会計の中間報告 ◎落成式後の人事・組織 ㋭5 号（11/29）にて堀理事長談：「2 月末の会館完成見込みを受けて、本会として新しい出発であるから詮衡を厳正にし、キリスト者たることを重要条件とすること、外国人留学生の入舎は考慮を要し未決定」
1975 年（昭和 50 年）	
1975/1/13	募金・運営合同委員会：鐸木、徳久、山崎、楠田、馬場、石原など各氏が出席 ◆募金申込額が目標額 3,000 万円に対して未達のため、再募金を決定 ◆募金方法について、①事務局から「募金趣意書」を出す、②各年代で募金実行委員を決めて、活動する。募金実行委員を選任し、1 月末に招集する。
1975/1/24	理事会：YMCA 同盟会議室にて、出席：堀、高見、亀井、中田、片山、柳元 ◎理事会のもとに、以下の小委員会（担当理事）を設置する。①財政・運営小委員会：経常収支と新財政システム（石原、馬場）、②組織・機構小委員会：役員・職員制度の改正（岩井、徳久）、③学生小委員会：入舎詮衡規準と寄宿舎生活の規約・学生の仕事等（高見、高井） ◆舎生の活動（74 年 10 月～75 年 3 月） 舎生集会：1974/10/11、11/14、12/12、1975/1/16（出席：月本、清水、篠原、柳元） 3/14 臨時舎生集会、その後、若竹にて追い出しコンパ。集会はいずれも向ヶ丘マンション 204 号にて
1975/1/27	募金委員会　出席：亀井、木村、馬場、石原、鐸木、高見、植田、永松、徳久、岩井、高井の各氏
1975/1/30	青年会総会：日本キリスト会館にて　※これに先立ち 1/24 理事会、1/27 募金委員会を開催

	◎過去 1 年間の歩みの報告、募金目標 3,000 万円に対し約 600 万円未達の件 ◎完成後の青年会の運営
1975/3/15	東大 YMCA 新会館・寄宿舎が完成。引き渡し後、3/17 から下宿等に分宿中の旧舎生 7 名が入居開始（3 月末卒業予定の短期滞在者を含む）
1975/4/7	本会事務所を日本 YMCA 同盟の仮事務所から移転
1975/4/26	新会館竣工記念式（司式：佐伯俟牧師）。堀理事長挨拶、岩井要理事の建築経過報告、日本 YMCA 同盟大和久総主事の祝辞。その後、祝賀会、参会者 120 名
1975/5/12	理事会（再建後第 1 回） ◎理事定員を 15 名とする。 ◎馬場氏への報酬は暫定的に 10 万円とする。 ◎事務員の加藤さんの報酬は 10 万円とする。勤務は(月)～(土)で(土)は午前中のみ ◎今後の収支見通し、事業部より決算・予算報告、今後の事業部の活動体制など
1975/5/21	◆合同祈祷会開始（毎月第三水曜日)。第 1 回は 5/21、司会：馬場理事、成瀬、篠原理事、根岸、牛島、山浦、原田（郁)、木村（庸）各 OB が出席。年度内に 10 回開催 ◆夕食座談会開始（毎月第二金曜日)、当初エントツ（すき焼き）としたが、その後普通の食事に変更、食事代 1，500 円。年度内に 5 回開催、高井康雄、岩島哲夫、清水護氏らが席話
1975/10/22	青年会総会： ◎予算・決算の件、会館再建の件：状況報告 ◎寄付行為改正の件：「名称の‘帝国’を削除」、「理事数を変更（先輩 5 名→10 名、学生 5 名とする)、「住所変更」、「事業年度の変更（4 月～3 月→11-10 月） ◎理事改選の件：先輩理事は堀、高見、高井、西川、岩井、馬場専務理事に加え、増員により駿河、成瀬、野崎、徳久の 4 名が被選。※堀理事長が辞任
1975/7/18	理事会： ◎再建・青年会の収支報告、基本財産の確定 ◎大塚氏を中心とした学 Y の集まりの件 ◎理事定員、理事改選の件：先輩理事は 10 名、学生理事は 5 名とし、9/6 青年会総会に向けて馬場氏を中心に候補者の検討を進める。 ◆その他　馬場氏報告：賄いの調理師解雇の件 ◆舎生の活動（4 月～9 月）

	▷4/2 舎生集会、4/11 舎内総会、4/20 舎生選考会あり（4 名入舎)、6/18 舎内総会、7/9 舎内総会、7/16 入舎選考会 ◆合同祈祷会：6/18：感話　牛島信義氏 ◆年次別 OB 会：6/4 エントツ会（13 名出席)、6/10 朴羅会（13 名出席） ◎その他：清水事務員が退職、後任は加藤せつ氏
1975/9/6	青年会総会　※再建後初の総会 ◎75 年度予算・74 年度決算の件、会館再建の件：状況報告 ◎寄付行為改正の件：「名称の‘帝国’を削除」、「理事数を変更（先輩 5 名→10 名、学生 5 名とする)、「住所変更」、「事業年度の変更（4 月～3 月→11～10 月） ◎理事改選の件：先輩理事は高見、高井、岩井、馬場、駿河、成瀬、野崎、徳久、学生理事は、清水、篠原、片山、柳元、中田を選任した。 ※堀理事長が辞任
1975/10/25	公開講演会　講師：宮本武之助氏　「現代神学の動向」
1975/11/29	大塚久雄氏を囲む会：「近代合理主義批判とは」
1975/12/13	クリスマス祝礼拝・祝賀会　説教：神保勝世氏「キリストへの思い」。60 名参加 高見新理事長の挨拶、堀豊彦前理事長に記念品贈呈 ※11 月に新舎生 5 名が入会し、現在 16 名となり、昔日の舎の賑わいが戻った感あり、と亀井学生主事が報告　㈫8 号
1975/12/29	高見穎治理事長急逝
1976 年（昭和 51 年）	
1976/1/16	第 5 回月例座談会　講師高井康雄　本会理事「アフリカ・ガーナでの研究報告」、講演後、お好み焼きの会を開催
1976/1/31	理事会：高見穎治理事長急逝（12/29）を受けて開催、馬場進専務理事の他、野崎、岩井、徳久、成瀬、高井、駿河の各先輩理事が出席。学生は、片山（総務)、合田、篠原（企画)、半田（財務)、清水（聖研)、西、柳元（文共）沢、中塚、芦田の各兄が出席、 議長は高井理事 ◎75 年度事業報告 ◆聖研部：聖書研究会は近隣教会の牧師及び木田献一先生を招き 4 回開催 ◆修養会：7 /14～16　伊豆大島・山海荘にて 10 名全員が参加。討論テーマ「東大 YMCA の活動と生活」、読書会「イエスとその時代」（荒井献著）

	◆10/15 事業懇談会、舎内総会、10/22 にも舎内総会：留学生の入舎問題など ◎1975～76 年度事業計画 ◆高見理事長の記念会を 3/12 に開催 ◆新理事長に高井氏、成瀬氏を推す声、多数あり。⇒3 月理事会にて決定する。西川哲治氏の理事就任を了承 ◆堀理事長感謝募金の件（総額 114 千円）
1976/3/27	定期青年会総会：（予算総会）駿河理事が議長となり、以下の事項を審議 ◎現況　会員数：1032 人、舎生数：20 名 ◎76 年度事業計画及び予算の件 ◎理事改選及び理事長推挙の件： 堀豊彦、高井康雄、岩井要、中田晴雄、柳元章、片山啓以上 6 名は任期満了、高見顕治は逝去、清水正之、篠原正雄の 2 名は辞任。寄付行為第 10 条 11 項による定員 10 名乃至 15 名の処、満場一致を以て、高井康雄（重任）、岩井要（重任）、柴谷貞雄（就任）、石川憲彦（就任）、学生理事は合田隆史、西正典、中塚隆、宮内啓行の 4 名（就任）を選出した。退任及び就任の期日は 1976 年 3 月 31 日 新理事会は、任期中の馬場、駿河、成瀬、徳久、野崎、半田の各理事を加えて、14 名で構成。総会後の理事会にて、新理事長に高井康雄氏（47 年農・東大農学部教授）の就任が決定、同氏は、国際土壌学会副会長で、西片町教会会員 ◎年会費の改定（1,000 円→2,000 円）の件など ◎その他 ◆堀豊彦元理事長からオルガン購入費、高見顕治前理事長から OB 談話室の書棚・書籍等寄付あり ◆合同祈祷会：成瀬理事「希望について」
1976/5/8	創立記念式典　説教：松尾喜代司 日本キリスト教団荻窪北教会牧師（1922 法卒）「限界生活における信仰」、奏楽は堀理事長寄贈のオルガンにより成瀬理事が演奏
1976/5/8	青年会総会　※創立記念礼拝の後 出席者：高井康雄、堀豊彦、松尾喜代司、馬場進、岩井要、成瀬治、石原次郎、片平洌彦、石川憲彦、森原元夫、小林辰美、山口栄一、柿谷均、片山啓、三井和彦、西正典、岩崎英二、中塚隆、田浦宏己、倉光泰隆、植田武彦、鈴木宜之、半田武比古の各氏。（理事以外を含む） ◎故高見前理事長の後任の高井理事長あいさつ ◎現況：舎生数は 24 室中 22 名収容。昨年度は舎生数が少なかったた

	め、事業部活動は低調 ◎75 年度決算及び事業報告 ◎月例合同祈祷会： 5/19（感話：清水正之）、6/16（桜岡忠雄）、7/21（馬場進）、9/15（高井康雄）、10/20（西正典）、11/17（垣内史堂）、1/19（岩崎英二）、2/16（徳久俊彦）、3/16（岩井要）
1976/5/10	会報 65-2 号発行 **※65 号は実は 1972/9/15 に発行されており、新会館が完成後、前号から約 4 年を経て発行されたため、同じ 65 号としてしまった模様。従って本号を便宜的に 65-2 号と称する。** ＊馬場進専務理事「再建 2 年目を迎えて」　※会館新築の経緯を報告 ＊岩井要氏「新会館の建築に寄せて」　※建築家・設計者の立場で報告 ＊中島伸一氏「再建された寄宿舎を訪問して」 ＊各部報告 ◆総務部：在舎生はほぼ 20 名に達した。課題は「東大学生キリスト教青年会」という名称の内実化、学生の自立的活動 ◆聖研部：木田献一先生（青山学院・旧約聖書学）を招き、旧約を学ぶ。舎内においては信仰の問題を議論しあう場の創設が課題。＃合同祈禱会は 1975 年度に 10 回開催 ◆文共部：第 1 に書籍の整理、特に図書カードの作成に取り組み中、第 2 に以前の夕椿ノート、食堂ノート、庶務日誌の製本・保存、第 3 に舎生の文集作成 ◆企画部：講演会、座談会等の実施。1/16 高井理事の講演「ガーナの国際会議報告」、2/13 岩島久夫氏「防衛問題」など
1976/5/14	「東大 YMCA 文集」創刊号発行　発行者：東大 YMCA 文共部 三井和彦、清水正之、灰本周三、高麗犬某、半田武比古、柿谷均、林靖邦、山口栄一、片山啓、ケロッペ・フォン・シノハラ、宮内啓行、岩崎英二、小林辰美、中塚隆、倉光泰隆、G&G,I　各位
1976/5/15	理事会 ◎6-10 月行事予定 ◎貸事務室問題の件（かねて賃貸を折衝中の学会センターより適正価格にて買取りたい旨の意向が出されたため、その対応を協議する） ◎東大 YMCA の運営組織の件 総会、理事長・理事会、専務理事・財務担当理事・事業担当理事、監事、各事業部、各寄宿舎委員など ◎寄宿舎運営の件（舎生総会、寄宿舎委員の分担業務、寄宿舎会計、東大 YMCA に相応しい舎風の確立、会館施設利用規定作成委員会の件な

	ど
1976/6/5	公開講演会：奈良常五郎氏による「海外医療事業について」
1976/9/25	理事会：高井康雄理事長、馬場進、柴谷貞雄、駿河敬次郎、徳久俊彦、岩井要理事、宮原守男監事、他学生理事出席。欠席は成瀬治、野崎昭弘理事 ◆合同祈祷会、夕食座談会計 6 回 ◆公開講演会予定（11/6 松田智雄氏、11/20 加藤常昭氏） ◆クリスマス祝礼拝予定（12/11 説教は堀理事長に依頼） ◆聖書研究会（木田献一氏「聖書の信仰」） ◎会館・寄宿舎の評価と税務の報告・承認：　床面積 1,502.59 ㎡で課税評価額は 106,683,900 円、うち課税床面積は 1 階 OB 室など 271.16 ㎡、非課税床面積は、寄宿舎室・食堂など 1231.43 ㎡、固定資産税は年額 304,957 円。所有マンション部分は、床面積 76,69 ㎡、固定資産税は年額 104,960 円。土地の減免決定額は 29,870 円。 ◎その他 ・1 階貸事務室の借主は、（財）学会事務センターで、敷金 300 万円、家賃月額 20 万円、1976/10/1 から契約更新期間 2 か年で賃貸開始 ・堀元理事長からの特別寄付金 1,173,000 円はルームクーラー設置及びオルガン購入に充当、高見前理事長からの同寄付金 300,000 円は、書棚及び書籍購入に充当 ・駿河理事による賛育会近況報告
1976/11/4	故 森有正氏葬儀　国際基督教大学教会堂にて、葬儀委員長：清水二郎、司会：佐古純一郎、祈祷：加山久夫、故人略歴：成瀬治、弔辞：清水二郎、中川秀恭、垣花秀武、木下順二、阿部良雄 森有正氏は、1976 年 10 月 18 日、パリにて帰天、64 歳
1976/11/13	公開講演会　講師：松田智雄氏　「文化の構造的危機―文化密度の都市集中と地方拡散―」
1976/11/20	公開講演会　講師：加藤常昭氏「社会主義独逸における基督教」
1976/12/11	会報 66 号発行 ＊高井康雄理事長（1947 年農）「感謝せん、今ぞ年は終れり」 ＊OB 寄稿：井上隆一氏（1920 年卒）、斎藤勇氏（1911 年卒）「この会、この設備」、石原憲治氏（1919 年卒）「私の信仰生活とその近況」、松沢兼人氏（1921 年卒）「東大 YM の底力」、住谷悦治氏（1922 年卒）「心のふるさと」堀豊彦氏「東大青年会にありて」、森明麿氏（1925 年卒）「二つの尊い足跡を訪ねて」、好川増輔（1927 年卒）「思い出と感謝」、馬場久吉氏（1930 年卒）想い出のひとこまを」、牛島信義氏（1930 年卒）「ナイル河」、平川信弘氏（1935 年卒）「ストーク・ボー

	ジズの教会」、楠田洋氏「OB よ、もう一度集まろう」、成瀬治理事（1950 年卒）「森さんの部屋にいた頃」、谷啓輔（1953 年卒）「東山荘の思い出」、宮越正美氏（1953 年卒）「雑感」、荒木亨氏（1957 年卒）「東大青年会と私」、　飯高茂氏（1967 年卒）「舎で考えること」、その他短信あり
1976/12/11	クリスマス祝礼拝　説教：堀豊彦 前理事長 祝会　挨拶：高井理事長、舎生劇「白いりゅう 黒いりゅう」　小林辰美脚本監督、團紀彦・山口栄一主演
1977 年（昭和 52 年）	
1977/2/5	理事会：高井理事長、他理事出席 ◎事業報告：月例集会の曜日変更、合同祈祷会の司会者、理事一部改選（→総会に付議）の件など。その他、継続中の荒井献氏による聖研は 7 月終了予定とのこと。また、地方学 Y 訪問再会については、賛成意見と「東大 Y のあり方の整理が未了の段階で時期尚早」、あるいは、「同盟の夏期ゼミナールへの多数出席が優先との反対意見あり」とのこと
1977/3/26	定期総会： ◎1976 年度事業報告の件 ◆会員現勢　はがき通信第 10 号に、現状で、名簿記載：1032 名、通信発送数：620 名、会費納入：254 名、舎生数：20 名。なお「結婚・身の上相談、貸室、集会、宿泊、調査、印刷その他よろず雑務歓迎、受付」（馬場進専務理事）との記載あり　㈥10 号 ◆合同祈禱会：※以下 3 篇は会報 68 号に記録 4/21 高井康雄理事長 8/10 成瀬治（1950 年文）　「悔い改めと自由」 10/12 赤星進氏　「真の信仰」 11/9 清水博氏（1956 年医）　「簡素な生活」 ◆7/12 夏期修養会を式根島の民宿にて開催。3 泊 4 日、10 名参加 ◆夕食座談会：4/16 久保田省吾（54 年法・日商岩井㈱食品部長）「将来の食品問題」、5/14 紅山雪夫、6/11 渡辺守道、7/9 高井康雄、9/10 すき焼き懇談、10/8 すき焼き懇談、11/26 牛島信義、12/4 木下順二氏「森有正氏を偲ぶ」、1/14 三宅泰雄氏、2/10 駿河敬次郎氏、3/11 柴沼明氏 ◎1976 年度会計報告の件、1977 年度予算の件 ◎理事・監事改選の件：3/31 現在の役員名簿：（理事長）高井康雄、（専務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、成瀬治、徳久俊彦、岩井要、野崎昭弘、石川憲彦の各氏、（学生理事）岩崎英二、柿谷均、宮内啓行、山口栄一、倉光泰隆の各兄、（監事）宮原守男、片山啓

	の両氏
1977/5/7	創立 89 周年記念式典　説教：高井理事長、司会：成瀬理事、46 名参加（京都から、住谷悦治、堀、森原、桜岡、石原の各氏、若手会多数を含む）㈿13 号
1977/5/21	公開講演会（五月祭参加）：宮田光雄氏「現代をいかに生きるかー現代のボンヘッファー像を巡って」 ※会報 67 号に講演録
1977/6/6	駿河敬次郎氏（1944 年医）が、イタリア政府より「偉大なる科学者」としてコメンタドーレ勲章を受賞
1977/6/25	公開講演会：講師：内田芳明 横浜国大教授　「現代を如何に生きるかー内村鑑三と現代」　※会報 68 号に講演録
1977/7/1	会報 67 号発行 ＊舎生論考「ボンヘッファー『抵抗と信徒』を読んで」舎生 13 名から投稿 ＊先輩からの寄稿：平川信弘氏（1935 年文）「言語学と私」、　小林進一氏（1939 年経）「信仰の反芻」、　山本富雄氏（1941 年経）「東大 YMCA の追憶」、　宮腰正美（1953 年法）「奄美のこと」、　清水博（1956 年医）「近況の中から」 ＊先輩訪問：1977/1/18 片山哲氏（堀元理事長と馬場理事）、1/22 斎藤勇（高井理事長と馬場理事）との記載あり
1977/7/2	理事会：高井理事長、他理事出席 ◎下半期事業計画の件（クリスマス祝礼拝、合同祈祷会、公開講演会、聖書研究会、夕食座談会） ◎外国人留学生入舎要項の一部改正の件（「プロテスタント教会員たること」に“原則として“を挿入、舎生の面接を省略のうえ専務理事及び理事長が詮衡すること、「保証人を置く」を追加すること）
1977/10/22	秋季公開講演会：熊沢義信 東京神学大学教授　「現代を如何に生きるかー神学の視点より」　※会報 68 号に講演録
1977/12/10	公開講演会；今堀和友 東大医学部教授　「再臨問題について」　※会報 69 号に講演録
1977/12/17	クリスマス祝礼拝
1977/12/17	東大 YMCA 会報 68 号発行 ＊寄稿：高井康雄理事長（1947 年農）「全世界に真の光を」、　山浦勘蔵氏（1931 年工）「いちじく談義」、　黒沼栄一氏（1941 年理）「無題」、　駿河敬次郎理事（1944 年医）「賛育会きょうこのごろ」、野崎昭弘（1959 年理）「『就職戦争』の思い出」

1978 年（昭和 53 年）	
1978/1/14	理事会： ◎1978 年度事業計画 ◎寄付行為の形式改正の件（東京都要請の「評議員会設置の適否」） ◎役員選出機関は総会か、評議員会か」） ◎新年度予算の件
1978/3/25	総会：高井理事長は海外出張のため欠席、議長は駿河理事 ◎1977 年度事業報告及び 78 年度事業計画の件 ◆聖書研究会：木田献一先生（青山学院大学）による旧約聖書の講義 ◆夏季修養会：7/12～14 東京 YMCA 野辺山高原センターにて。岩井、徳久、野崎の各先輩が参加 ◆講演会：本年度は五月祭講演会を出発点として、「現代を如何に生きるか」というテーマのもとに複数の講演会を実施した。　※講演録は会報 68 号に掲載 ◆合同祈禱会： 6/8 第 24 回合同祈禱会　奨励：中沢宣夫 立教大教授（1953 年文・聖アウグスティヌス研究の権威）㋭ 6/14 橋本光男氏（1949 年理）　「主にある喜び」　※会報 69 号に報告 8/10 第 26 回合同祈禱会　奨励：成瀬治理事（西洋史）「悔い改め」㋭14 号 10/12 赤星進 小山日赤病院精神科部長（1943 年医）㋭14 号 1/11 大口邦雄氏（1956 年理）「芥種一粒ほどの信仰あらば」※会報 69 号に報告 3/8 木村庸五氏（1970 年法）「アジアの証言－韓国への拒絶―」※会報 69 号に報告 ◆月例夕食座談会 9/22 吉川需氏㋭14 号（90 歳） ◆先輩訪問：7/5 高井康雄理事長と清水博 薬学部教授が緒方章先輩を訪問。 ◎1977 年度決算・1978 年度予算の件 ◎理事改選の件（高井、柴谷、駿河、成瀬、徳久、岩井、野崎、石川憲彦の各理事は任期満了のところ再選、清水博理事は新任、星野利幸、三沢和彦、高谷武良、大江博の各学生理事は新任、理事総数は、任期中の馬場進、山口栄一理事 2 名を加え、計 15 名。理事長は互選により高井理事長が推挙され、引き続き就任、監事は半田武比古氏が就任 ◎その他

	◆図書・資料の整理：精力的に行われた。蔵書はキリスト教関係が約500冊、一般図書が約300冊あり、旧来の3階書庫では収まり切れないので、4階談話室を「図書室」に改装した。
1978/5/13	創立90周年記念礼拝・後懇親会：説教 西川哲治氏 ※礼拝後77年度決算報告あり
1978/6/17	公開講演会：深瀬忠一 北大法学部教授（1953年法） 「新しい時代に向かってー三度パリの屋根の下で考えたこと」 ※会報69号に講演録
1978/7/8	定例理事会： ◎下半期事業計画 ◎寄付行為の形式改正の件（継続審議）、◎会費・部屋代の件 ◎入舎詮衡の件（3月退舎、総務部編集「舎生便覧」の作成、寄宿舎運営方針など）
1978/7/14	会報69号（70周年記念号）発行 ＊90周年特別寄稿：堀豊彦元理事長（1924年法）「所懐」 ＊寄稿：松沢兼人氏（1921年法）「ある出会い」、 稲生晋呉氏（1934年医）90周年に寄せる」、 合田隆史（1978年法）「三年坂」、その他舎生から5篇 ＊文共部作成の図表「青年会事業部の変遷」（1929～1972年）を掲載 ※木下順二先輩から「森有正氏の著作集編纂のため当会にある資料を提供してほしい」旨の依頼があり探したが、同氏の文章があると思われる会報36号若しくは38号に限って発見できなかったので、手元にお持ちの方はお貸し願いたいとの記述あり ＃4/4 合同祈祷会 講師：市瀬晴夫先生（東京銀行診療所長、1943年医） ＃4/23「キリスト者平和の会」（堀豊彦夫妻及び他大学教授、学生などによる原爆被害者慰問、平和アピールなどの活動団体）集会、当会館和室にて、15-6名 ＃4/28 OB 座談会 講師：吉利和先輩（1938年医、浜松医大学長、1974/1/31理事退任） ＃5/15 OB座談会 講師：高井康雄理事長「インドネシア・タイの農業の将来」 ＃6/5 ガーナ大学研究生短期滞在（和室）
1978/9/20	片山哲先生記念会を開催（賛育会と合同） 先生のご遺族の出席のもと、島村亀鶴 富士見町教会牧師による司式で記念礼拝を行い、その後夕食会を開催。企画部では小冊子「東大YMCAに於ける片山哲氏」を作成 ※会報70号に報告、合わせて明治41年と43年の同氏の「早祷日誌」

	を掲載
1978/11/25	秋季公開講演会　講師：住谷一彦氏（1949 年文）:「マックスウェーバーと私」　※会報 71 号に講演録
1978/12/16	クリスマス祝礼拝　説教：村上伸 東京女子大教授（4 年間の西独教会での奉仕後帰国)。祝賀会では、吉川需氏と岩下昭比古氏のバッハ「パッサカリヤとフーガ」は当夜の圧巻、高沢金吾兄一家の童話劇あり。㈿18 号
1978/12/16	会報 70 号発行 ＊馬場進専務理事（1930 年経)「東大青年会の進路　その 2」 ＊新聖研講師紹介：村上伸 東京女子大教授「今考えていること」 ＊寄稿：篠原正雄氏（1971 年理)「寄宿舎再建史―私の再建メモより―」 ＊寄稿：松野新（1919 年工)「私の人生観」 ＊片山哲先生記念会の報告 ＊6/15 医学部医学科出身者の会の開催報告 ＃10/11 合同祈禱会　奨励；野崎昭弘理事（山梨大学工学部教授） ＃10/18OB 座談会　講師：石川憲彦氏「小児の心の病から見た現代の人間」
1979 年（昭和 54 年）	
1979/1/20	理事会 ◎1979 年度事業計画の件（合同祈祷会、公開講演会、聖書研究会、夕食座談会など） ◎1979 年度収支予算の件など ◎次期総会の件：理事改選及び予算・決算など ◎舎費値上げを検討中：月額 1 万円から 1 万 2 千円（大学院生は割増）に値上げする案などについて議論開始（舎生からの馬場専務理事への質問、11/27 これに対する回答などを経て継続審議）
1979/3/31	定期総会： ◎78 年度事業報告及び 79 年度事業計画の件、◎78 年度決算・79 年度予算の件 ◆聖書研究会：昨年に引き続き村上伸 東京女子大教授先生指導のもと、バルトの「キリスト教倫理Ⅲ」を学ぶ。 ◆月例座談会 石川憲彦、野崎昭弘、清水博、馬場進の各理事が卓話　㈿16 号 ◆その他：木下順二氏著の新刊「龍が見える時」（森有正氏在舎の頃の微笑ましい 1 章あり）

	◎役員改選の件（馬場理事は任期満了のところ再選、学生理事は任期満了の 4 名に対し選挙の結果、水本和実、岡村善文、岡田謙介、飯島康一が被選就任、監事は宮内啓行が就任。※本報告は 4/15 に会員各位に送付
1979/5/12	創立記念礼拝：奨励は宮本武之助氏「信仰の秩序」、懇親会の卓話は荒木亨 国際基督教大学教授「青年会の歴史が私に残したもの、与えたもの」　※会報 71 号に講演録
1979/5/26	五月祭講演会：新見宏 聖書協会主事による「聖書における人権」　※会報 72 号に講演録
1979/7/7	会報 71 号発行 ＊巻頭言：高井康雄理事長（1947 年農）「終戦直後の舎生活を振り返って」 ※本号から「巻頭言」の掲載開始 ＊馬場進専務理事（1930 年経）「東大青年会の進路　その 3」 ＊松野四郎氏（1931 年工）「電池とわたくし」、　稲生晋呉（1934 年医）「モンペリエ訪問記」
1979/7/7	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎下半期事業計画： ◆合同祈祷会 ◆聖書研究会（バルト基督教倫理講座、村上伸 東京女子大教授、78/10 開講～79/9/19 最終、下半期は東駒形教会の雨宮栄一牧師によるルカ伝の研究） ◆公開講演会、座談会、関西 OB 会 9/27 など ◆客室利用料金の改定 ◆その他：学生主事に関すること、舎生募集と詮衡時期・方法について懇談
1979/11/10	公開講演会：杉山好教授「バッハとプロテスタンティズム」（於：東大教養学部図書館内視聴覚教室）　※会報 73 号に講演録
1979/12/15	クリスマス祝礼拝：説教 西川哲治氏「あなたにはゆるしがあるので」
1979/12/15	会報 72 号発行 ＊座談会：堀豊彦元理事長　「吉野作造先生と私」　※10/24 に開催 ＊寄稿：馬場進専務理事（1930 年経）「ギデオン国際大会の記」 ＃6/13 合同祈禱会　奨励：関谷正彦先生（1927 年卒、聖公会司祭） ＃6/30　OB 座談会　小島均 東京神学大学元財務理事（1918 年卒）「イスラエルにおける聖蹟訪問」 ＃6 月～7 月　入舎詮衡の結果を巡って、舎生と馬場専務理事・理事長との間で異例の長期にわたる論争あり（詮衡基準、入舎選考会の制度な

	どが論点）
1980 年（昭和 55 年）	
1980/1/26	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎80 年度上半期事業計画：客室利用料金の改定の件など
1980/3/29	1980 年度定期総会： ◎1979 年度事業報告及び 80 年度事業計画の件、 ◆聖書研究会は、村上伸先生による「バルトの学び」が終了し、10 月から雨宮栄一 東駒形教会牧師による「ルカ福音書」を学ぶ。 ◎1979 年度決算及び 80 年度予算の件 ◎理事・監事改選の件（結果、高井、馬場、柴谷、駿河、成瀬、徳久、岩井、清水、野崎、石川憲彦の各氏、学生理事は岡村善文、岡田謙介、大島誠、水本和実、高谷武良の各兄、監事は宮原守男、岩崎英二の両氏が就任
1980/5/10	創立記念礼拝及び懇談会　説教：雨宮栄一牧師。礼拝後「本会創立百年に向けて」夢と希望を語る懇談茶話会を開催。㈥21 号
1980/6/7	公開講演会：講師 武田清子国際基督教大学教授　「キリスト者と天皇制」　※会報 74 号に講演録
1980/7/5	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎1980 年度下半期事業計画：合同祈祷会、聖書研究会（東駒形教会 雨宮栄一牧師に引き続き依頼の方向）、公開講演会、クリスマス祝礼拝、座談会など ◎その他：入舎選考の方針案（募集の時期、ポスター、選考委員会の時期など）、「全会一致の決定原則と「キリスト者たらんとするもの」等についての議論など
1980/7/10	会報 73 号発行 ＊巻頭言：高井康雄理事長（1947 年農）「小さいものが最も大きい」 ＊OB 寄稿：小島均氏（1918 年）「大正時代の青年会の音楽家たち」、大岩鉱氏（1927 年）「ある祈祷会の記録」、鈴木厚氏（1927 年）「その頃の青年会と吉野作造先生」（※関東大震災の翌年入舎で、会館の一部に損傷が見られたものの、寄宿舎は一舎、二舎ともに超満員」との記述あり）、稲生晋呉氏（1934 年）「三度チュビンゲンへ」、黒岩栄一氏（1941 年）「日本基督教団信仰告白（1954 年 10 月制定）はそのままでよいのだろうか」
1980/9/27	関西地区 OB 会：高井理事長、堀豊彦、馬場進、平井好一氏（87 歳）、加藤せつの各氏が出席、参加者 26 名
1980/11/29	秋季公開講演会：杉山好東大教授「バッハ三講」　（11/29「若きバッ

	ハ」、12/6「壮年期のバッハ」、12/20「円熟期のバッハ」の 3 日間にわたる講演会　）　※会報 75 号に講演録
1980/12/13	クリスマス祝礼拝　礼拝説教：雨宮栄一 東駒形教会牧師　「博士たちの贈物」 舎生劇「きりしとほろ上人伝」（原作：芥川龍之介）　65 名参加
1980/12/13	会報 74 号発行 ＊特別寄稿：堀豊彦元理事長「守成は創業より難しい」 ＊舎生寄稿 11 篇 ＊OB 寄稿：松野四郎氏（1931 年）「私の近況（世間の動き）」、　石倉一郎氏（1934 年）「今中次麿先生を偲ぶ」、　平川信弘氏（1935 年）「バッハを聴く会」、　大木善和氏（1961 年）「中国とキリスト教―後藤基己を偲んで」 ＊舎生寄稿 9 篇
1981 年（昭和 56 年）	
1981/2/7	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎1981 年度上半期事業計画：合同祈祷会、聖書研究会（雨宮栄一牧師は 3 月末に終了予定、沢正彦牧師に依頼）、公開講演会、クリスマス祝礼拝、座談会など ◎寄宿舎の定員を 25 名とする件 ◎寄宿舎に関する法規の確認の件（寄宿舎非課税の条件、客室は課税対象、仮宿制度の再検討）
1981/3/28	定期総会及び理事会： ◎1980 年度事業報告及び新年度事業計画承認の件 ◆舎生数 20 名、うち留学生 3 名（韓国・台湾・北米）㈥20 号 ◆聖書研究会：講師：雨宮栄一牧師　ルカ福音書を学ぶ。㈥20 号 ◆合同祈禱会: （10 月）奨励：関谷正彦氏㈥22 号 2/11 岩井要氏 3/11 石川憲彦氏 ◆月例座談会： 4～6 月に 3 回に亘る成瀬理事を囲む会 10/22 川竹和夫（1949 年文・NHK 放送世論研究所長）「日本のテレビ視聴について」㈥22 号 11/27・1/29 成瀬理事 ◆夏季修養会：7 月　伊豆天木山荘にて ◆OB 座談会： 9/25 成瀬治先輩「ルーマニアの学会参加のはなしなど」

	10/22 河竹和夫先輩（NHK 放送世論調査所長） 1/23 野崎昭弘理事・国際基督教大学教授「チェコ、ルーマニアの印象」㈼20 号 2/26 中平健吉先輩（1949 年法）「長年の法曹生活・人権闘争」 ◆年次別 OB 会：12/9「朴羅会」　銀座交詢社にて、伊賀、堀、植田、湯浅、加藤、平尾、大岩、森原、山崎（幹事）、馬場（陪席）の各氏が出席　㈼23 号 ◆10/10 明治大学 YMCA と野球試合 ◆客室利用料金：洋室：3,000 円・和室：2,300 円（一般はそれぞれ 3,500 円と 2,800 円）㈼21 号 ◎80 年度仮決算及び新年度予算承認の件 ◎理事・監事改選の件（学生理事 平野明宏、小山哲司、前川守、星地亜都司の 4 名選出、学生監事 藤井信吾を選出）
1981/4/25	特別講演会：野村実氏「生命への畏敬ー現代の医療とキリスト教倫理ー」（東大 YMCA の協力で礼拝堂で行われた日本キリスト者医科連盟関東部会の講演会）　※会報 75 号に講演録
1981/5/9	創立記念礼拝及び懇談会　説教：奈良常五郎 大阪 YMCA 総主事（本会 OB）「東大 YMCA の使命」　※会報 75 号に説教録
1981/6/13	公開講演会　講師：隅谷三喜男先生　「現代科学と世界観」　※会報 76 号に講演録
1981/7/4	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎1981 年度下半期事業計画：合同祈祷会、聖書研究会（沢正彦牧師、テキストは秋田実著「聖書の思想」）、公開講演会、クリスマス祝礼拝、座談会など
1981/7/10	会報 75 号発行 ＊巻頭言：高井康雄理事長「クウオ・バディス・ジャパン」 ＊舎生寄稿 11 篇 ＊OB 寄稿：堀豊彦元理事長「平凡に、然乍らきびしくー新入生諸君を迎えてー」、西山竜平氏（1931 年）「エントツ随想」、松沢兼人氏（1921 年）「門田を探している」、馬場久吉氏（1930 年）「お別れのご挨拶」
1981/12/10	会報 76 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事「前向きに生きよう」 ＊舎生寄稿 10 篇 ＊OB 寄稿：今川憲次氏（1931 年文）「三宅泰雄君の著書を読んでーがん病床からの生還ー」
1981/12/19	公開講演会：杉山好 東大教養学部教授「バッハにおける男性的と女性的ーマグニフィカトを巡って」

	杉山先生のバッハ講義は今後定例化し、他の講演会がある場合でもこれを開催する方針とした。 ※会報 77 号に講演録
1981/12/12	クリスマス祝礼拝　説教：西村俊昭牧師　「人間とは何者か」　※会報 78 号に説教録 舎生劇：「神の子」（原作：舎生・大谷遊介）
1982 年（昭和 57 年）	
1982/1/30	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎1982 年度下半期事業計画：合同祈祷会、聖書研究会（沢正彦牧師に引き続き依頼の方向）、公開講演会、創立記念礼拝、クリスマス祝礼拝、座談会など ◎1982 年度収支予算に関する件 ◎寄宿舎運営に関する件（大学院マスター1 年なら入舎選考が受けられるとすることなど）
1982/3/27	総会：高井理事長は海外出張のため欠席、議長は駿河理事。 ◎1981 年度事業報告及び 82 年度事業計画承認の件 ◆舎生総数が新舎になってから最大の 25 名を記録（残室は 1 室） ◆聖書研究会：雨宮栄一牧師に替わり、沢正彦牧師（東大、延世大院、ブリンストン神学校に学び、韓国教会史の釈書）を迎える。㈥24 号 ◆夏期修養会：15～17 日、主題は「生と死」、講師は沢正彦 日本基督教団小岩教会牧師、バプテスト天城山荘にて実施 ◆合同祈禱会：4/11 成瀬理事 ◆5/21 座談会：講師は柳生望 立教女学院教授・アメリカ文学者「アメリカのプロテスタンティズム」 ◆OB 座談会： 6/25 森岡巌先輩（1949 年法・新教出版社社長） 9/23 増田陸郎先輩（1938 医・いのちの電話理事） 10/28 野津甫先輩（1943 文・朝日新聞）・佐藤宏一先輩（42 年・東京商工会議所）共催、 ※以上 76 号に記録 11 月　清水博氏（1956 年・東大教授）　「社会における個と社会性について」 2 月　山本富雄先輩（1941 年・リクルートセンター　）「就職情報」 ◆10/4 早稲田大学 YMCA とソフトボールの試合 ◎1981 年度決算及び 82 年度予算承認の件 ◎理事改選の件（全員の任期満了に伴い、高井、馬場、柴谷、駿河、成瀬、徳久、岩井、清水、野崎、月本昭男の先輩理事及び岩城照彦、高倉

	鉄夫、塩見順一、星地亜都司、戸辺一之の学生理事が選出された)。監事改選の件（全員の任期満了に伴い、宮原守男、藤井信吾の両氏が選出された)。 ◎総会後の理事会において、互選により、高井理事長と馬場常務理事（役職名を「専務理事」とする）を選任した。
1982/5/8	創立記念礼拝及び懇親会　礼拝：宮本武之助 前フェリス女学院院長（1930 年卒）　「キリスト・イエスにあって神に生きるもの」　※会報 77 号に説教録 卓話：月本昭男氏（1971 年文・チュービンゲン大学に学び帰国) 「ドイツより見た日本」㈥集会案内
1982/6/26	公開講演会：講師 菊池吉弥 高座渋谷伝道所牧師　「生きることの意味」　※会報 78 号に説教録
1982/7/3	理事会：高井理事長、他理事出席 ◎下半期事業計画の件：合同祈祷会、聖書研究会（教団小岩教会 沢正彦牧師、テキスト 秋田稔著「聖書の思想」)、公開講演会（12/8)、OB 座談会など ◎百年史編纂準備委員会設置の件
1982/7/10	「斎藤勇先生（7 月 4 日帰天）のお別れの会」　弔辞：高井康雄理事長 信濃町教会にて、堀先生ほか会員多数が参列
1982/7/10	会報 77 号発行 ＊巻頭言：高井康雄理事長（東大農学部教授)「地はあなたのためにのろわれ」 ＊舎生寄稿 12 篇 ＊OB 寄稿：佐藤宏一先輩（1942 年）「大戦勃発前后の学生基督教青年会」
1982/9/18	臨時理事会決議：①東京都教育委員会宛て基本財産処分の件（1982/9/30 認可申請→1982/10/13 処分承認)、②マンション土地・建物売買契約の件（当会所有の 809 号室を売却するため、1980/9/20 付け「一般媒介契約書」を三井信託銀行不動産部上野支店長あてに手交、媒介価格 3,500 万円、手数料成約価格の 3.5%＋6 万円)、(1982/12/23 売買契約成立、価格 3,300 万円)、(1983/1/8 売買手続き完了、1983/1/10 登記完了)
1982/12/11	クリスマス祝礼拝　説教：澤正彦 日本基督教団小岩教会牧師　「下向し給う神」 舎生劇：講談劇「裸の王子様」(原作ワイルド)
1982/12/15	会報 78 号発行 ＊巻頭言：松尾喜代司氏（1921 年）　「関東大震災（1922 年 9 月）前

	後の東大 YMCA 会館の様子」 ＊追悼：「斎藤勇先生を悼む」　高井康雄理事長「感謝の辞」、堀豊彦元理事長「斎藤勇先生追慕」 大木善和（1961 年医・社会精神科医）「故斎藤先生を悼んで」 ＊舎生寄稿 6 篇 ＊OB 寄稿：吉田弘治（1979 年）「立ち返る門出」
1982/12/18	公開講演会：村上伸先生「ナチスに処刑された神学者―ボンヘッファー」　駒場構内にて　※会報 79 号に講演録
1983 年（昭和 58 年）	
1983/1/29	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎上半期事業計画の件、合同祈祷会、聖書研究会、公開講演会、OB 座談会など ◎1983 年度予算の件 ◎マンション売却の件など
1983/3/18	吉野作造先生 50 周年記念会　会館礼拝堂にて 松野新、松沢兼人、松尾喜代司、菱沼勇、堀豊彦、鈴木厚、森原之夫、関谷正彦、堀江薫雄、小関紹夫、宮本武之助、牛島信義、佐藤次郎、石原次郎、大沢寿一の各氏など 28 名が出席 当日、冊子「目で見る吉野作造」を配布。㈿28 号
1983/3/31	定期総会： ◎1982 年度事業報告及び 1983 年度事業計画の件 ◆舎生総数 25 名ながら、減少し、新舎生も入らず 9 月現在の舎生は 18 名 ◆夏期修養会：(7/15～)　栄光海の家、テーマ「アッシジの聖フランチェスコ」 ◆合同祈禱会；10/14 吉利和 浜松医科大学長　㈿26 号 ◆11 月　大沢 YMCA との合同聖研（第 1 回）開催 ◆OB 座談会： 4/22　岩井要先輩（1944 年工・当会館設計者）　「現代ウサギ小屋考―日本の建築文化を考える」 5/27　奥田健二先輩（1949 年・日本鋼管）　「日本経営の虚像と実像」 6/24　宮田親平先輩（1954 年・文芸春秋社）　「ジャーナリズムと科学と宗教」 9/30　寺内正義先輩（1964 年・NHK）　「報道の最近の潮流と取材の実体験」 10/28　成瀬治先輩（1950 年・東大教授）

	11/15　岡本途也先輩（1947 年医・昭和大学教授）　「聴覚のはなし」 2 月　榊裕之先輩（1968 年工・東大助教授）　「電子工学のはなし」 ◎1982 年度決算及び 1983 年度予算の件（マンション収入の大幅減、マンションを売却し、有価証券として基本財産に繰り入れる件）など ◎その他： ◆節電・節約のため電力容量を減少（トランスの取り換え） ◆ザンビア文化交流使節団と夕食会、礼拝堂にて
1983/5/14	創立 95 周年記念礼拝・懇親会　式辞：高井康雄理事長。懇親会にて 1982 年度決算報告、新会員の紹介、茶話会を行う。
1983/5/28	春季公開講演会　講師：清水博 東大薬学部教授「新しい生命観と人間像」　※五月祭参加の形で教室を借りる初めての試み　※会報 80 号に講演録
1983/7/2	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎下半期事業計画の件、◎玄関庇補修の件など
1983/7/10	会報 79 号（吉野作造先生特集号）発行 ＊巻頭言：高井康雄理事長「創立 95 周年にあたって」 ＊寄稿：「吉野作造先生 50 周年記念会より」　松沢兼人氏（1921 年法）、　堀豊彦元理事長、松野新氏（1919 年）、鈴木厚氏（1927 年法）、堀江薫雄氏（1928 年法）、関谷正彦氏（1928 年法）、小関紹夫氏（1929 年法）、菱沼勇氏（1923 年法）、佐藤次郎氏（1939 年医）、石原次郎氏（1931 年法）、大沢寿一氏（1932 年工）、西山竜平氏（1931 年文）、松尾喜代司氏（1922 年法）、黒川弘氏（1935 年法） ＊OB 寄稿：石倉一郎氏（1934 年経）「感想ー吉野先生を偲ぶー」、　吉利和氏（1938 年医）「木下順二君の『本郷』を読んで」 ＊舎生寄稿 7 篇
1983/11/12	公開講演会：杉山好東大名誉教授　於　駒場
1983/12/10	クリスマス祝礼拝　説教：神保勝世 横浜共立学園長（1930 年卒）「僕となりしキリストの従順」、オルガン：岩下昭比古氏。祝会：高井理事長あいさつ 参加者は、堀、森原、関谷、岡崎、根岸、越智、神保、石原、清水氏等「朴羅会」、嶋三四郎、山本富雄、能美英彦氏等「五九六サン会」のほか、駿河、徳久、白井、大木、萩野、合田・宮内新婚カップル、「若手会」、「八三会」など多数。名物のんき、若竹すし、南米コーヒーなども楽しむ。 舎生劇：「クリスマス・キャロル」　㈫29 号
1983/12/10	会報 80 号発行 ＊巻頭言：堀豊彦元理事長（1924 年法）「美しく清らけく」

	＊舎生寄稿 8 篇 ＊追悼：馬場進専務理事「故山崎幸一郎氏を悼む」、　湯浅恭三氏（1924 年法)「告別のことば」 ＊OB 寄稿：清水護先輩（1931 年文)「特集号の英文寄稿に思う」、佐藤宏一先輩（1942 年経)「未だに解せぬこと」 ＃夏期修養会：アモス書のレジュメあり
1984 年（昭和 59 年）	
1984/1/28	定期理事会：高井理事長、他理事出席 ◎84 年度事業計画の件、◎84 年度予算の件
1984/3/31	定期理事会及び総会 ◎総会議案の件 ◎新年度入舎選考結果の件（学部 9 名、新入生 2 名)、 理事会終了後、定期総会：会員総数 584 名、出席会員数 42 名 ◎1983 年度事業報告並びに 74 年度事業計画承認の件 ◆聖書研究会：1983 年度より月本昭男 立教大学講師による「イエスのたとえ話」を学ぶ。 ◆夏季修養会（7 月）　講師：月本昭男氏、バプテスト天城山荘にて ◆合同祈禱会： 4/28　成瀬治理事 5 月　小林喜成 福島信夫教会牧師 6 月　野崎理事 7 月　望月 学 Y 主事 8 月　馬場進専務理事 10/13　山本富雄 賛育会理事（1941 年経)「賛育会のために」 11 月　島田 中渋谷教会牧師 12 月　馬場進専務理事 2 月　石原力 虎の門病院医師 3 月　木村庸五 弁護士 ◆OB 座談会 4 月　高井理事長 5 月　高久史麿先輩（1954 年・東大病院)「医学教育と人間像」 6 月　磯田一雄先輩（1960 年)「学校教育のあり方や教育の基本原理」 9/29 加美山節先輩（1943 年経・三洋証券・前東京 YMCA 常議員会長)「日本的経営と資本主義の精神」 10/27　川村勝通先輩（1949 年文・東京放送)「民間放送の展望」 ◎83 年度収支決算並びに 84 年度収支予算承認の件（うち年会費の 2,000 円⇒3,000 円への増額については、次回総会で決定することとし

	た） ◎理事全員の任期満了に伴う理事改選の件（高井康雄、成瀬治、馬場進、柴谷貞雄、駿河敬次郎、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男の各理事及び宮原守男監事の全員重任を決定、学生理事は、上野直之、小谷賢昇、佐藤真二、西道隆臣及び監事は、星地亜都司の各兄が選出された。） ◎決算・予算、事業報告・計画及び理事・監事改選の件で、理事会提案のとおり可決。 ◎理事長の選任：総会後の理事会において、高井理事長（76 年から 8 年間在位）の辞意を尊重し、後任に互選により成瀬理事長(日キ教団中渋谷教会・西洋近代氏が専門)が選任された。
1984/5/12	創立記念礼拝：特別講演 三浦永光 津田塾大教授「環境の危機と進歩の恩恵」　※会報 81 号に講演録
1984/6/9	公開講演会：荒井献教授　「平和への道―イエスに応えてー」　※会報 82 号に講演録
1984/7/2	定期理事会：成瀬新理事長を議長として、理事 13 名が出席、下期事業計画等を審議。㈼31 号
1984/7/10	会報 81 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長　「創立 96 周年にあたって」 ＊舎生寄稿 11 篇
1984/11/29	定期理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎第 4 四半期事業計画の件（合同祈禱会、OB 座談会など） ◎来年度入舎選考の時期 ◎寄付行為の一部改訂の件
1984/12/8	公開講演会　講師：杉山好東大教授「俗の中の聖－J・S バッハ（クリスマスオラトリオの世界)」　　駒場にて
1984/12/15	クリスマス礼拝：説教 奈良常五郎 前日本キリスト教海外医療協力会総主事　「乙女マリアの信仰」 祝会：大江博兄のピアノ、岩下昭比古氏のオルガン演奏。 堀豊彦、原田明夫、柳沢忠、水本兄のほか、小山哲司夫妻など家族の出席多し。 舎生劇：シラノ・ド・ベルジュラック」（原作ロスター）
1984/12/15	会報 82 号発行 ＊特別寄稿：　堀豊彦元理事長「高木八尺先生（1914 年法・東大教授）追慕」 ＊特別寄稿：　松野新「受胎告知」 ＊夏期修養会報告：舎生より 7 篇

	＊舎生寄稿 9 篇 ＊OB 寄稿：岩見宣治氏（1971 年工）　「石原憲治先生（1919 年工・1984/7/11 帰天）を偲んで」　※石原先生は本木セツルメント活動の創始者 ＊OB 寄稿：大谷遊介氏（1983 年文)「友好を通じて理解へ（日中青年交流―今後の課題)」
1985 年（昭和 60 年）	
1985/1/26	定期理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎寄付行為の形式変更の件（1985/10/22 付け東京都教育委員会認可済の現行寄付行為につき、1984/6/5 同委員会の査察の際の要請を受けて、条文の整理・文体の改訂等を行う） ◎1985 年度事業計画の件（合同祈禱会、聖書研究会：日本聖書神学校川島貞雄教授に依頼予定)、座談会など ◎1985 年度予算の件 ◎東京大学学生基督教青年会特別規則の改訂（1984 年第 3 回理事会にて改訂した経緯あり）の件：　寄付行為 14-15 条により、その一部として定めるもの。①会員は、通常会員（東大の学生)、特別会員（教職員、卒業生など)、名誉会員（特別功労があった者で、総会で推薦）の三種とする。②通常・特別会員のうち福音的基督教会に属するものを「正会員」、属さないものを「準会員」とする、③総会は毎年 1 回開催、④本会に、総務、聖研、企画、文共、財務の 5 部を置く、などが含まれる。
1985/3/30	定期理事会及び定期総会 ◎1984 年度事業報告及び 1985 年度事業計画の件 ◆聖書研究会：　引き続き月本昭男理事を講師として「ヨブ記」を学ぶ。 夏季修養会（7/18～20）　八王子セミナーハウスにて。 ◆合同祈禱会： 4/12　雨宮栄一 東駒形教会牧師 5 月　馬場進専務理事 6 月　黒川弘氏（社会福祉法人 乳児保護協会） 8 月　馬場進専務理事 9 月　山本将信 日本基督教団西片町教会牧師 11 月　上田光正 日本基督教団美竹教会牧師 12 月　関谷正彦 聖公会司祭 2 月　早川先生 3 月　原先生

	◆OB 座談会： 4 月　成瀬治新理事長 6 月　中所武司先輩（1968 年工）「計算機ソフトウェアの諸問題」 9 月　五十嵐雄一先輩（199 年法・ジャスコ）「流通のはなし」 10 月　大江博先輩（1979 年経・外務省）「フランス・ベルギー滞在のとき」 1 月　町沢静夫先輩（1968 年文・医　国立精神衛生研究所） ◎84 年度決算及び 85 年度予算の件 ◎年会費の 2,000 円⇒3,000 円への増額の件、寄付行為改訂の件など
1985/5/11	創立 97 周年記念礼拝及び 新会館 10 周年記念会・懇親会　説教：小田原登志郎 活水学院長　「エオマの旅人」
1985/6/8	公開講演会　神奈川大学 弓削達教授「今平和を作り出すもの　～ローマからの声～」　※会報 84 号に講演録
1985/7/6	定期理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1985 年度下期事業計画の件、◎設備補修工事の件、◎寄付行為改正の件
1985/7/10	会報 83 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長（50 年文）「友のために祈る」 ＊舎生寄稿　10 篇 ＊OB 寄稿： 山本富雄先輩（1941 年経）　「日本人を考える」 平川信弘先輩（1935 年文）「馬場（久吉）先輩（1930 年経・1985/1/5 帰天）に捧ぐー静岡の伝道時代」
1985/7/20	夏期修養会（～22 日）テーマ「異端とは何か＝異端と正統の間」　山中湖畔東大ロッジにて
1985/11/9	関西地区 OB 会：阪急グランドビルにて、20 名が参加。東京より馬場・徳久両理事、事務局加藤氏が出席。これを機に、柴谷理事を代表として、関口哲生、渡邉肇、佐々木鋼八、村尾裕史氏等の肝いりで、関西 OB 会が発足した。㈥36 号
1985/12/5	公開講演会　講師：西村和雄 都立大学助教授　「社会科学の世界」
1985/12/14	クリスマス礼拝　説教：中沢宣夫 立教大学教授　「大いなる歓喜」 舎生劇「クリスマスの星」、岩下兄のバッハ、小林兄のフルートの演奏。61 名が参加
1985/12/15	会報 84 号発行 ＊舎生寄稿　9 篇 ＊OB 寄稿：

	松野新（1919 年・弁理士）氏「私の人生観」 片平洌彦氏（1969 年医）「軍事費を削って飢えと病いの克服を　―被爆 40 周年のクリスマスの祈り－」
1986 年（昭和 61 年）	
1986/1/30	定期理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1986 年度事業計画の件、設備補修工事の件 ◎1986 年度予算の件、修繕工事の件 ◎創立 100 周年記念準備委員会設置の件
1986/3/29	定期総会：先輩理事・学生理事の十数名が出席。委任状 193 通 ◎1985 年度事業報告 ◆聖書研究会：5-7 月は、内田和彦 草加福音教会牧師、9-3 月は、雨宮栄一 教団東駒形教会牧師 ◆合同祈禱会： 4 月　澤正彦 教団小岩教会牧師 6 月　赤星進先輩（赤星クリニック） 8 月　馬場進専務理事 9 月　落合則男 日本 YMCA 同盟学生部主事 11 月　成瀬理事長 1 月　入江建久 国立公衆衛生院建築物衛生室長 3 月　今村一男先生 ◆夏期修養会（7/21～23）　東大山中寮にて ◎1986 年度事業計画 ◎1985 年度決算及び 86 年度予算 ◎理事任期満了による改選 成瀬治、馬場進、柴谷貞雄、駿河敬次郎、高井康雄、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男の理事 10 名を再任、及び学生理事は、高嶋祐一郎（再任）、三沢和彦、小林和夫、井原和人、近藤信和の 4 名を新任として選出した。監事は宮原守男と小川有実の両氏を選任した。
1986/4/14	堀豊彦元理事長（1986/4/9 帰天）の葬儀 武蔵野教会において、司式は熊野清牧師、弔辞：馬場進専務理事
1986/5/10	創立記念礼拝　式辞：成瀬治理事長、特別講演会：斎藤総衛 日本 YMCA 同盟総主事　「世界の YMCA の現状と日本の YMCA の役割」 ※会報 85 号に講演録
1986/5/10	創立 100 周年記念行事準備協議会：記念礼拝・祝会、100 年史、記念募金、準備実行委員会の設置

1986/6/28	公開講演会：佐古純一郎 二松学舎大学文学部長「椎名林蔵―その信仰と文学―」　※会報 86 号に講演録
1986/7/5	定期理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1986 年度下半期事業計画の件、寄付行為改訂に関する件（合同祈禱会、聖書研究会など)、寄付行為改正の件、寄宿舎食費改正の件（現行は舎費月額 32,500 円（うち食費 8.500 円）のところ、食費を 500 円値上げすることを舎内総会で申し合わせた旨の報告があり、理事会はこれを承認した） ◎100 周年準備委員会の件（百年史、記念式、記念募金）など
1986/7/10	会報 85 号（堀豊彦先生追悼特集）発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長　「主のみ言葉をきくことのききん」 ＊追悼特集：馬場進専務理事「感謝とお別れの辞」、石原次郎氏（1931 年法)「堀先生の思い出」、高井康雄元理事長「堀先生を偲んで」、住谷一彦氏（1941 年文)「『特別の人』、堀先生」、渡邉守道氏（1949 年法)「堀先生を偲ぶ」、宮田光雄氏（1951 年法)「堀豊彦先生とドイツ教会闘争」、深瀬忠一氏（1953 年法)「堀先生の親身の愛」、野崎昭弘氏（1959 年理)「堀先生とフッサールの写真」、木下毅氏（1960 年法)「堀先生との邂逅」、　月本昭男氏（1971 年文)「無形の宝」、原研治氏（1972 年医)「堀先生を偲んで」、西正典氏（1978 年法)「堀先生の思い出」、その他寄稿 16 篇 ＊舎生寄稿　11 篇
1986/9/27	定期理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1986 年度下半期事業計画の件 ◎設備補修工事の件 ◎寄付行為改訂に関する件：東京都教育委員会と折衝の結果、双方検討の上、改めて折衝することとなった。要点は、財団法人は、所管官庁の寄付行為の雛型に依り「評議員」の設置を必要とするも、本会は社団法人的性格により「評議員会」はなく、「会員」による「総会」を最高議決機関としていること、及び、総会成立の定足数に関しても他とは異なることである。 ◎創立 100 周年記念準備の件（史料整理、記念礼拝・祝会、記念誌、講演会など)
1986/10/25	関西 OB 会：　柴谷貞雄理事（1932 年法）のあいさつの後、講演①　小林哲也 京都大学前教育学部長（1953 年教)「国立大学の管理を巡る問題」、講演②　村尾裕史 日本イーライ・リリー㈱副社長（1959 年医)「遺伝子工学の現状」が行われた。阪急グランドビルにて、20 人参加

1986/11/29	公開講演会　講師：斎藤友紀雄 いのちの電話常任理事　「こころの危機と人間の成長」　※会報 87 号に講演録
1986/12/10	会報 86 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長　「地には平和を」 ＊舎生寄稿　16 篇 ＊OB 寄稿 北彰氏（1973 年文)「お力をお貸しください！」 坂口忠氏（1941 年農)「久しぶりの会誕生記」　※1964～1970 年卒の会 関口哲生氏・小谷賢昇氏「東大 YMCA 関西 OB 会の発足について」 梶村慎吾氏（1969 年法)「東大 YMCA と賛育会」 ＃7/17～19　夏期修養会　講師：川上盾先生。三浦海岸（民宿グリーンハウス）にて、15 名参加
1986/12/13	クリスマス祝礼拝　説教：関谷正彦 聖公会司祭　「受肉降誕の意義（愛の奇蹟)」 堀先生甲子夫人、森原夫妻、神保、大塚、楠田、粂野、入江、梶村、片平、徳久、岩井、野崎、月本、岩崎、飯島、塚本の各先輩などが出席 舎生劇「よみがえった改心」（オーヘンリー原作、新井崇脚色）　㈥37 号
1987 年（昭和 62 年）	
1987/1/29	定期理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1987 年度事業計画の件 ◎巣鴨ときわ教会から「会堂建築工事中の 1987 年 4～11 月の間の日曜日の礼拝堂使用させてほしい」との申し込みがあり、承認した。
1987/3/26	定期理事会及び定期総会：理事会は成瀬理事長、他理事、先輩、学生の 24 名が出席。199 通の委任状。総会付議案件の件 ◎1986 年事業報告及び 87 年度事業計画の件 ◆聖書研究会（講師は弓町本郷教会 川上盾伝道師） ◆夏期修養会：　7/17～19 日　三浦海岸グリーンハウスにて　※会報 86 号に報告 ◆合同祈禱会： 4 月　山本将信 西片町教会牧師　「地の塩、世の光」 6 月　石原力 賛育会病院長　「よきサマリア人」 8 月　馬場進専務理事　「私の戦争体験」 9 月　西村俊昭 砧教会牧師　「畏れ」 10 月　加藤久幸 日本 YMCA 同盟協力主事・農村伝道神学校　「神の声か、民の声か」

	11 月　雨宮栄一 東駒形教会牧師　「ステパノの死」 1 月　磯田一雄 成城大学教授 3/12 佐藤良逸氏（1969 年法・朝日新聞社） ◆OB 座談会 4 月　成瀬理事長を囲む会 5 月　紅山雪夫先輩（1935 年法）「海外旅行の話など」 5/30　松隈潤先輩（国際飢餓対策機構）の帰国報告会 6 月　石川憲彦先輩（1973 年医） ◎86 年度決算及び 87 年度予算の件 ◎寄付行為改訂の件：評議員会の新設など、改訂案を満場一致で可決、東京都教育委員会に提出、認可の日を以って実施　㈱38 号
1987/3/29	堀豊彦先生一周年記念会開催　特別講師：学習院大学 飯坂良明教授
1987/5/9	第 99 回創立記念礼拝・懇談会　式辞：馬場専務理事「創立百周年を迎えるに際して」、講演：落合則夫 日本 YMCA 同盟学生部主事「日本 YMCA 同盟学生部と東大 YMCA のつながり」
1987/6/6	春季公開講演会　講師：吉利和 日赤医療センター病院長　「まぼろしと真実」
1987/7/2	1987 年度第 1 回理事会 ◎下半期事業計画、◎100 周年記念行事、◎寄付行為改訂の件（評議員の選出方法など）、予算・決算の形式改正の件、など
1987/7/10	会報 87 号発行 ＊舎生寄稿 7 篇 ＊OB 寄稿：梶村慎吾氏「賛育会後援会について」 ＊三沢和彦氏「東大 YMCA 百年史についての報告」、その中で 100 年間の主要トピックスは以下のとおりと整理 ①青年会創立（明 21）、②台町会館（明 31～）、③追分会館（大 5～）、④賛育会設立（大 6）、⑤全国高等学校伝道隊（大 6～）、⑥日曜学校開校（昭 6）、⑦SCM 運動（昭 6 頃）、⑧信仰告白会（昭 15）、⑨東大キリスト者平和の会（昭 26）、⑩青年会改革論（昭 30 頃）、⑪現会館再建（昭 50）
1987/9/25	1987 年度第 2 回理事会： ◎下半期事業計画の件 ◎創立 100 周年記念事業の件（1988/5/14、宮本武之助氏による説教と礼拝の後、東大山上会館に移動して懇談会を行う計画） ◎寄付行為改訂に関する件 ◎公益法人会計の見通しに関する件など
1987/11/10	臨時理事会：新寄付行為により新たに評議員の選出委嘱の件

	新評議員は、森原元夫（1927 年法)、小田原登志郎（1934 年法)、岡田良一（1941 年法)、楠田洋（1942 年法)、能美英彦（1943 年工)、五十嵐雄一（1948 年法)、石原力（1948 医年)、橋本光男（1949 年理)、岩下昭比古（1952 年農)、高久史麿（1954 年医)、今村一男（1955 年医)、荒木亨（1957 年文)、二神康郎（1960 年農)、原田明夫（1963 年法)、梶村慎吾（1969 年法)、岩見宣治（1971 年工)、市川祐三（1974 年経)、浦西友義（1974 年経)、合田隆史（1978 年法)、大谷遊介（1983 年文）の各氏、計 20 名。就任は 1988/1/28 の第 1 回評議員会
1987/11/14	秋季公開講演会　講師：杉山好教授「J・S バッハにおける個と共同体」
1987/12/10	会報 88 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長「家庭でクリスマスを」 ＊舎生寄稿　7 篇 ＊OB 寄稿：渡邉肇史（58 年経)「関西 OB 会開催」講演①　中島昭夫 朝日新聞社記者「速報競争と人権」、講演②　岩井健作 日本キリスト教団神戸教会牧師「幾つもの葬儀」 ＃11/15 早稲田 Y とのソフトボール大会 ＃11/27　OB 座談会　講師：西田氏（NHK 国際報道部）
1987/12/12	クリスマス祝礼拝：説教日本聖書神学校教授 西村俊昭牧師　「十字架を見上げる」 森原、関谷、神保、小田原、黒川、大塚、合志、楠田、能美の先輩、成瀬、駿河、徳久、岩井の各理事、梶村、岩城、山口、など OB34 名が参加 舎生劇：「椿説伊国慾自立雅話（チンセツアウトノミヤ)」（作：小川有美）
1987/12/24	寄付行為の全面改訂が東京都教育委員会より認可、翌 25 日に法務局への登記を完了
1988 年（昭和 63 年）	
1988/1/28	1987 年度第 1 回評議員会・定期理事会（於：神田美土代町東京 YMCA 本館） ◎1988 年度事業計画の件：合同祈祷会、聖書研究会（講師は城西教会 徳永五郎牧師） ◎1988 年度予算の件、理事及び監事全員の任期満了に伴う改選の件など ※寄付行為改訂に伴う評議員会の第 1 回、新旧学生理事が参加。
1988/5/6	1988 年度第 1 回評議員会・88 年度第 1 回理事会（議事は評議員会と同じ）

	◎1987 年度事業報告の件 ◆寄付行為改正後も事業は順調に終了 ◆聖書研究会：統一テーマを「主の祈り」として「十戒・主の祈り」（関田正雄著）を通読 ◆夏期修養会：7/23～25 日東大山中寮に於いて、講師は、川上盾 弓町本郷教会伝道師。　※会報 88 号に報告 ◆合同祈禱会： 4 月　山本将信 西片町教会牧師　「海上の嵐」 5 月　鈴木みづえ姉（本会学生会員）　「家族について」 6 月　中川健朗氏（1985 年工・科学技術庁） 8 月　馬場進専務理事　「今の時を生かして用いなさい」 9 月　雨宮栄一 東駒形教会牧師　「み名をとなえて」 11 月　成瀬治理事長 3 月　山下逸喜先輩（1975 年文・メリルリンチ投資顧問） ◆OB 座談会： 10 月　岩見宣治先輩（1971 年工）「新会館建設時の苦労話など」 11 月　吉川需先生 ◆百年史編集会を舎生全員で隔月に開催 ◎87 年度決算の件 ◎創立 100 周年記念行事の件
1988/5/14	創立 100 周年記念式典 ▷礼拝：聖書朗読：野崎昭弘理事、祈祷：宮原守男監事、奨励：宮本武之助氏　「キリスト・イエスにおける神の作品」、祝祷：関谷正彦師、奏楽：岩下昭比古氏　　※会報 89 号に説教録 ▷祝賀会：司会：徳久俊彦理事、挨拶：成瀬治理事長、祝辞：福田垂穂日本 YWCA 同盟委員長、小林道彦 東京 YWCA 総主事、植松健一早稲田大学 YWCA 会長、川田宏 賛育会理事長、乾杯：加美山節 東京 YWCA 常議員会議長。招待者は、同盟、東京 Y、元理事長のご遺族、聖研・講演会の講師。 参加者は、木村健二郎、森原元夫、堀江薫雄、中江、柴谷貞雄、吉利和、田浦武雄、原田真、山崎保興、山口栄一家 4 名、大島誠夫妻など先輩を含めて 100 余名。参加者名は㋭42 号 ▷百周年記念募金は、6/13 現在で、申込者 185 名、申込額 740 万円（目標額：1,000 万円）。㋭41 号
1988/5/14	定期理事会： ◎1987 年度事業報告の件：1987 年度は期初より舎生 24 名、うち留学生（韓国 3 名、タイ 1 名）

	◆1987 年度聖書研究会（講師：川上盾 弓町本郷教会伝道師）「コンピューター・人工知能・人間」　※会報 89 号に講演録
1988/6/11	公開講演会 講師：野崎昭弘理事（34 年理・国際基督教大学教授）
1988/7/7	定期理事会：成瀬理事長、他理事出席。 ◎1988 年度下半期事業計画の件： 聖書研究会：徳永五郎牧師（1954 年文）による「マルコ福音書」、合同祈禱会、OB 座談会など ◎営繕の件：暖房用ボイラーの取替え、共用電話機 2 台取替え
1988/7/10	会報 89 号（創立 100 周年記念特集号）発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長　「義にして自由なキリスト者」 ＊創立 100 周年記念礼拝　奨励：宮本武之助氏「キリスト・イエスにおける神の作品」 ＊100 周年を迎えて 馬場進専務理事　「創立百周年記念式典を越えて」 荒木亨氏　「東大青年会の意義」 三沢和彦氏　「百年記念誌編集を終わって」 小林和夫氏　「百年記念誌編集に参加させて頂いて」 村山斉氏　「百周年記念式典を終えて」 徳久俊彦氏　「百周年記念式を終えて」 ＊百周年記念礼拝当日の舞台裏 加藤篤史兄氏「受付」、　柴谷光信兄「百周年記念に参加して」、　柳谷雄介、兄「会場」、　木村梯一兄「創立百周年記念式典の放送設備について」、　大賀英史兄「食事」　小西順人兄「百周年記念式典の写真を撮って」、　横尾譲兄「看護」 ＊舎生寄稿　7 篇
1988/9/1	定期理事会：成瀬理事長、他理事出席 ◎1988 年度下半期事業計画の件：合同祈禱会、OB 座談会、営繕の件など
1988/10/15	関西 OB 会　新阪急ビルに於いて、100 周年記念行事報告を中心に懇親会、東京からの理事長他 4 名を含む 35 名が出席
1988/12/3	秋季公開講演会　講師杉山好 東大教授　「バッハと敬虔主義」　※会報 91 号に講演録
1988/12/10	クリスマス祝礼拝　説教：徳永五郎 城西教会牧師　「非常な喜び」、奏楽：岩下昭比古氏 参加 OB は、梶村慎吾、入江建久、大木善和、原田明夫、片平洌彦、山口栄一、岩崎英二、宮内啓行、塚本文武兄など 舎生劇：「銀河鉄道の夜」（女性会員第 1 号の鈴木みづえ姉も出演）　㈥

	43 号
1988/12/10	会報 90 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長「大きな転機にのぞんで」 ＊舎生寄稿　6 名 ＊OB 寄稿：渡邉肇氏（1958 年経)、三沢和彦氏（学生主事)、徳久俊彦氏（1953 年経）　「冷や汗ものの誤植のこと」 ＊関西 OB 会報告 ＊舎生事業報告　①SCM 神石農業聖研報告　2 篇、②中四国夏期学校 5 篇
1989 年（昭和 64 年／平成元年）	
1989/1/26	定期理事会 ◎1989 度事業計画の件： ◆聖書研究会（講師は月本昭男理事)、合同祈禱会、座談会、学 Y 合同集会など ◎学生主事の委嘱（三沢兄） ◎1989 年度予算の件（炊事係給与の舎生負担分 500 円増額など） ◎百周年記念募金収支（1988 年 12 月現在)：寄付金 812 万円、事業支出 357 万円、差引残高 455 万円）
1989/1/28	88 年度第 2 回評議員会：1/26 開催の理事会に同じ
1989/5/13	創立記念礼拝・懇親会　奨励：高井康雄前理事長「創立 101 周年に向けて」
1989/5/13	1989 年度定期理事会及び 89 年度第 1 回評議員会（同日の理事会の議事にほぼ同じ）
	◎1988 年度事業報告の件 ◆聖書研究会：徳永五郎 城西教会牧師（53 年文）により、マルコ福音書を学ぶ。 ◆夏期修養会（7/18～20 日）野尻湖東大学生寮 ◆合同祈禱会： 4 月　藤原位憲 巣鴨ときわ教会牧師　「ぶどう園のたとえ」 8 月　馬場進専務理事 9 月　定家修身　本郷弓町教会牧師　「新しき人」 10 月　成瀬治理事長 1 月　宮原守男監事「訣別の遺訓」 ◆OB 座談会 4/22　成瀬治理事長を囲む会 5/27　垣内史堂先輩（1970 年医）

	9/29　岩下昭比古先輩（1952 年農・三井デュポンフロロケミカル）「ピアノ演奏と音楽の話」 10/27　河竹和夫先輩（1949 年文・東京女子大教授）「国際コミュニケーションについて」 11/24　青池明先輩（1950 年医） ◆東大 Y にて行われた学 Y 活動：「学 Y ニュースレターが復刊（編集長は東大 Y の大賀英史兄）」、「関東地区 学 Y 卒業記念礼拝」、「茶道より日本文化を知る」、「関東地区 学 Y 新入生歓迎交流会」 ◎1988 年度収支決算の件 ◎100 周年記念募金の件（会員 230 名その他から総額約 840 万円の寄付）
1989/7/15	春季公開講演会：高エネルギー研究所前所長 西川哲治氏（1949 年理・国立高エネルギー物理学研究所長）「素粒子の世界」
1989/8/1	会報 91 号発行 ＊巻頭言：加藤庄六氏（1952 年経）「学 Y にリバイバルを！」 ＊三沢和彦兄「学生主事就任にあたって」 ＊舎生寄稿　14 篇 ＊本格的な蔵書の整理報告
1989/9/1	1989 年度第 2 回理事会：成瀬理事長、他理事出席 ◎1989 年度下期事業計画の件 ◎評議員任期満了に伴う委嘱の件など
1989/7/19	夏期修養会（～21 日）：東大教育学部野尻寮にて、テキストは青野大潮著「十字架の神学」
1989/11/4	秋季公開講演会　講師：魚住昌良 国際基督教大学教授（本会 OB）「文化の連続・非連続―中世都市ケルンの成立」
1989/12/8（平元）	クリスマス祝礼拝　説教：美竹教会 上田光正牧師（1962 年）「偉大なるへり下り」 出席者は、成瀬、馬場、駿河、岩井、野崎の各理事、森原、能美、二神の各評議員、関谷、神保、吉利氏など諸先輩、山口、岩崎、横田兄ご家族、新婚上野夫妻など 70 余名　㈫46 号 舎生劇：「西新宿物語」 ※岩井要氏による「六角テーブル」の修復が完了、お披露目あり
1989/12/9	会報 92 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長　「和解の福音」 ＊舎生寄稿　5 篇 ＊OB 寄稿：松野四郎氏（1931 年）「私の健康法」、　岡田良一氏（1941 年法）　「クリスマス劇の思い出」

	＊学Ｙ活動報告※この頃舎生の大賀英史兄を中心に、東大Ｙは精力的に学Ｙ活動に参画していた。
1990 年（平成 2 年）	
1990/1/25	1989 年度第 3 回理事会：成瀬理事長、他理事出席 ◎1989 年度事業計画の件（聖書研究会講師は引き続き月本昭男理事、合同祈禱会、座談会など） ◎1989 年度予算の件（ベッドやマットなどの取り換え購入のために営繕費予算を増額することなど） ◎理事・監事全員の任期満了に伴う改選の件など
1990/1/27	1989 年度第 2 回評議員会：1/25 理事会にほぼ同じ 議長は岡田良一氏、その他、森原、能美、五十嵐、石原、岩下、二神、梶村、合田の各評議員　㈫47 号
1990/5/12	1990 年度第 1 回理事会・評議員会：成瀬理事長、他理事が出席。評議員会の議事は理事会に同じ ◎1989 年度事業報告の件： ◆舎生数は 22 名 ◆聖書研究会（講師は月本昭男 立教大学助教授・本会理事） ◆合同祈祷会など 4 月　ベアンテ・ボーマン氏（チェリスト）　「神の御名」 5 月　弥永真生氏（1986 年卒）　「神様の計画」 6 月　野崎昭弘氏（1934 年理・理事） 8 月　三沢和彦学生主事　「聖書と祈り」 10/12　中村彊 牧師　「神は愛なり」 12/14　馬場進専務理事　「若い諸君へ」 1/11　宮原守男氏（1952 年法・監事）　「みことばを行うものとなれ」 3/8　馬場進専務理事　「新しい皮袋に」 ◆夏季修養会　（7/19～21 日、東大教育学部付属野尻寮に於いて実施。講師は望月牧師で、「『十字架の神学』の成立」を輪読。 ◆OB 座談会 4/27　成瀬治理事長　「ルターの信仰」 6 月　石川憲彦先輩（1973 年医） 2 月　野崎昭弘先輩（1959 年理・理事） ◎90 年度予算の件、◎給水設備補修の件 創立記念礼拝および祝会　説教：宮原守男監事（1952 年法）　「イエスの裁判」　※会報 93 号に講演録

1990/6/16	春季公開講演会　講師：高久史麿 東大医学部教授「日本の科学研究－現状と将来の展望」　※会報 94 号に講演録
1990/7/10	会報 93 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長　「ただ神の栄光のために」 ＊舎生寄稿　7 篇 ＊蔵書整理報告（蔵書印、ラベル貼り付け、コンピューターに登録など完了。 ＊OB 寄稿：梶村慎吾先輩（1969 年法)「『若竹』とのお別れ会」
1990/11/17	荒木亨 国際基督教大学教授（1957 年文・評議員）　「シフター・私的二項関係・御言葉－私小説と聖書の読み方」　※会報 95 号に講演録
1990/12/15	クリスマス礼拝および祝会　説教：宮木保彦 教団ロシアム教会副牧師 舎生劇：「くもの糸」
1990/12/15	会報 94 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長「慰め主としての聖霊」 ＊舎生寄稿　5 篇、特別寄稿として、三沢和彦学生主事　「ザビエルに導かれて生誕の地まで」
1991 年（平成 3 年）	
1991/1/24	1990 年度第 3 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1991 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈祷会、夏期修養会、座談会など ◎1991 年度予算の件 ◎小田原登志郎氏死去に伴う評議員補充の件、学生理事一部改選の件など
1991/1/26	1990 年度第 2 回評議員会（於 東京 YMCA ホテル） ◎1991 年度事業計画の件：聖書研究会：佐藤研氏に依頼・交渉、合同祈祷会、座談会など
1991/5/11	創立記念礼拝（説教：宮田光雄 東北大教授)「みつばさの蔭にーヨッヘン・クレッパーの信仰のうた－※会報 95 号に講演録
1991/5/11	1991 年度第 1 回理事会・評議員会：理事会は成瀬理事長、他理事が出席。評議員会の議事は、理事会にほぼ同じ ◎1990 年度事業報告の件 ◆聖書研究会：引き続き月本昭男先生（1971 年文・理事）により、テーマは「詩篇を読む」 ◆夏期修養会：8/6～8 日に、東大教育学部付属野尻寮に於いて実施。講師は、佐藤司郎 信濃町教会牧師 ◆合同祈禱会

	4/12　雨宮栄一 東駒形教会牧師　「ベテスタの池の話」 6/14　大蔵浩之氏（1971 年経）　「海外のキリスト者の現状」 7/12　馬場進専務理事　「御霊によって歩きなさい」 10/11　佐藤司郎 牧師　「すべて重荷を負うているものは、私のところに来なさい」 2/14　二神康郎氏（1960 年農）「私の信仰生活」 ◆OB 座談会 4 月　成瀬治理事長 5 月　柴沼明先輩（1950 年法・文） 10 月　駿河敬次郎理事　「ザンビアの話」 11 月　井上忠先輩（1948 年文） 2 月　高島光世先輩（1946 年農） ◎1990 年度決算の件、◎給水設備補修の件など
1991/6/22	公開講演会　講師：榊裕之 東大生産研教授　「マイクロエレクトロニクスと量子力学」
1991/7/4	1991 年度第 2 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎下半期事業計画の件 ◎役員任期満了に関する件など
1991/7/10	会報 95 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長「死への備え」 ＊舎生寄稿　4 篇 ＊馬場進専務理事　「入舎選考の在り方」 ＊退舎生寄稿　4 篇
1991/11/7	1991 年度第 3 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎評議員 19 名の任期満了に伴う改選の件：年齢層を若い方に移行する方針であることと、評議員数は定款では 16 名以上 30 名以内と規定されており、従来の 20 名にはこだわらないことを確認 新評議員は、森原元夫（1927 年法）、岡田良一（1941 年法、農）、楠田洋（1942 年法）、能美英彦（1943 年工）、五十嵐雄一（1948 年法）、石原力（1948 年医）、橋本光男（1949 年理）、岩下昭比古（1952 年農）、加藤庄六（1952 年経）、高久史麿（1954 年医）、今村一男（1955 年医）、荒木亨（1957 年文）、二神康郎（1960 年農）、原田明夫（1963 年法）、梶村慎吾（1969 年法）、岩見宣治（1971 年工）、浦西友義（1974 年経）、山口栄一（1977 年理）、合田隆史（1978 年法）の以上 19 名 ◎給水設備補修の件（老朽化により給排水管を全面的に取り換える工事が必要で見積額は 1970 万円で不足分は定額貯金の一部を取り崩す。工事期間は 92 年 4 月から 6 月）

	◎その他：ファミール本郷から「外壁等の補修について同一時期の補修工事と、合わせてマンション管理組合に加入」の要望があったが、「保全整備について共同責任を担いつつも、組合には従来通り加入しない」ことが確認された。
1991/11 月	公開講演会　講師：斎藤晧彦 日本 YMCA 同盟学生部委員長・鳥取大教授）　「この状況の中で、育てつつ、育てられる」
1991/12/11	クリスマス祝礼拝　奨励：成瀬治理事長「神われらと共にいます」、奏楽：岩下昭比古氏 新舎生による劇「ルカによる伝説」 出席者は、森原、関谷、岡崎、角田、岡田、能美、粂野、徳久、和久田、野崎、二神、大木、原田明夫、梶村、岩見、石川、小林、安野、近藤、瀬下、柴田、松田、大賀の各先輩　㈫51 号
1991/12/14	会報 96 号発行 ＊巻頭言：宮本武之助先生　「東大 YMCA と私」 ＊舎生寄稿 4 篇 ＊「続 入舎選考会と寄宿舎の在り方」　馬場進専務理事、三沢和彦学生主事、柴谷光信兄の 3 篇
1992 年（平成 4 年）	
1992/1/30	1991 年度第 3 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1992 年度事業計画の件 ◆聖書研究会：講師は引き続き、佐藤研 立教大学助教授に依頼 ◆合同祈祷会：4 月の奨励は根津教会 中村彊牧師に依頼、公開講演会など ◎1992 年度予算の件 ◎建物・設備保全の件（今後増加すると予想される高額な修繕費の確保の方法等を検討するため「建物・設備保全委員会」の設置を決定）
1992/2/1	評議員会（於：東大山上会館）：建物・設備及び外壁の補修工事に関しマンション側と歩調を合わせて行う必要があること等について審議
1992/3/7	1991 年度第 2 回評議員会（於：東大山上会議所） ◎1992 年度事業計画の件 ◆聖書研究会：奨励は引き続き、佐藤研 立教大学助教授 ◆合同祈祷会：4 月の奨励は中村彊 根津教会牧師 ◎1992 度予算の件、◎建物・設備保全の件 ◎役員改選の件：3/31 に理事 15 名全員が任期満了につき改選
1992/4/30	1992 年度臨時理事会：成瀬理事長、他理事が出席。現在の理事は、成瀬治、馬場進、駿河敬次郎、清水博、徳久俊彦、高井康雄、関口哲生、

	岩井要、野崎昭弘、垣内史堂の各氏、学生理事：小谷明生、五十川陽洋、小泉和史、高井啓介、湯地晃一郎兄の計 15 名、監事は弥永真生氏、主事は三沢和彦兄 ◎理事長互選の件（全員一致により成瀬理事長の留任を決定） ◎建物・設備保全委員会の件：92 年度に給水管交換工事に 1,970 万円、93 年度に外壁補修工事に 1,892 万円を支出する。今後は長期的な観点から、建物保守と資金調達について委員会を立ち上げて、対策を検討する。またこれを機に、本会の存在意義や活動方針のビジョンを検討すべきとの意見あり
1992/5/9	創立記念礼拝・祝会　奨励：市瀬晴夫氏（当会 OB・医師）「主に導かれて」
1992/5/9	1992 年度第 1 回理事会及び 1 回評議員会：理事会は成瀬理事長、他理事が出席。評議員会の議事は理事会にほぼ同じ ◎舎生数：現在 20 名（3 月に 7 名退舎、4 月に 6 名入舎） ◎1991 年度事業報告 ◆聖書研究会：佐藤研 立教大学助教授を講師として、ロマ書を学ぶ。 ◆夏期修養会：東大教育学部池の平寮において、テーマは「山に登る」 ◆合同祈禱会 4/11　ベヤンテ・ボーマン宣教師（チェリスト）　「神の御旨に従って生きる」 5/9　山本三和人 ロゴス教会牧師　「文学的神奉仕」 6/13　中村彊 根津教会牧師　「神は愛なり」 7 月　佐藤陽二 牛込キリスト教会牧師 9 月　大口邦雄先生（1956 年理） 10 月　佐藤司郎 信濃町教会牧師 11 月　山本将信 西片町教会牧師 12 月　雨宮栄一 東駒形教会牧師 1 月　藤原位憲 巣鴨ときわ教会牧師 2 月　宮原守男監事（1952 年法）　「エマオへの道」 ◆OB 座談会 4 月　成瀬治理事長 5 月　森重勝先輩（1959 年教養） 6 月　熊代昭彦先輩（1963 年法）　「これからの厚生行政の展望」 9 月　梶村慎吾先輩　「賛育会について」 10 月　森重勝先輩　「ロマネスク教会を訪ねるフランスの旅」 11/9　沖見勝也先輩（1966 年工）　「情報ネットワークの進化と今後の発展」

	1/23　荒井嵩先輩（1990 年法・自治省） ◎1991 年度事業計画の一部変更（給水管工事は経費（営繕費）ではなく、固定資産取得の支出に変更） ◎1991 年度収支予算変更承認の件（給水管工事に伴う予算の変更） ◎1991 年度収支計算書報告の件など
1992/6/13	公開講演会　講師：大久保忠旦 東大農学部教授（1956 年農）「草原植生と家畜―環境問題との関連で考える」
1992/7/2	1992 年度第 2 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1992 年度下期事業計画の件（合同祈祷会、座談会、公開講演会など） ◎建物外壁補修の件（1993/2 月頃着工を目途にマンションと共同で工事を行う計画で調整中、これに伴う本会の資金繰りについては継続審議）など
1992/7/11	会報 97 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長「愛と栄誉」 ＊OB 寄稿：　妹尾次郎先輩（1935 年理）　「河田茂先輩の遺著」、山本富雄先輩　「東大 YMCA 在京 OB 有志の会だより」、　岩見宣治先輩（1971 年工）　「会館建物老朽化の話」 ＊舎生寄稿 4 篇 ＊三沢和彦 学生主事「東大 YMCA の今後を考える－第 1 回入舎選考会に伴う最近の問題点」（新入舎生の応募の減少や選考会の長時間化など）
1992/11/14	公開講演会　講師：加美山節 賛育会理事（1943 年）　「東大 YMCA と社団法人賛育会」
1992/12/11	会報 98 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長 ＊舎生寄稿　5 篇　※最近の東大 Y の活動を見直したいという小論を含む。 ＊三沢和彦 学生主事「東大 YMCA の今後を考える－第 2 回入舎選考会に伴う最近の問題点」
1992/12/19	クリスマス礼拝及び祝会　奨励：雨宮栄一牧師「求めよ、まことの光を。」 舎生劇：「取税人ザアカイ物語」
1993 年（平成 5 年）	
1993/2/4	1992 年度第 3 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1993 年度事業計画の件

	◆聖書研究会：奨励は引き続き佐藤研 立教大学助教授 ◆合同祈祷会、公開講演会など ◎1993 年度予算の件など ◆建物設備修理保全の件：全員一致にて理事会提案を承認
1993/2/6	1992 年度第 2 回評議員会　2/4 理事会議事事項にほぼ同じ
1993/5/8	創立記念礼拝・祝会　奨励：成瀬理事長「主にある交わり」
1993/5/8	1993 年度第 1 回理事会及び第 1 回評議員会：成瀬理事長、他理事が出席。評議員会の議事は理事会にほぼ同じ ◎1992 年度事業報告の件 ◆舎生数は 21 名、うちプロテスタントは 12 名、カトリックは 9 名 ◆聖書研究会：昨年に引き続き、佐藤研 立教大学助教授を招き、「マルコの福音書」を学ぶ。 ◆夏期修養会（7/29～31）　東大野尻寮において 7 名参加。「アンリ・セルーヤ著『神秘主義』をテキストに議論 ◆合同祈禱会 4/9　宮原守男 監事（52 年法） 5/14　中村彊 根津教会牧師 7/9　馬場進 専務理事 10/8　佐藤司郎 信濃町教会牧師 11/12　佐藤陽二 牛込キリスト教会牧師 1/14　定家修身 本郷弓町教会牧師 2/11　西村俊昭 砧教会牧師 ◆OB 座談会 5/22　山田祐彰先輩（87 年農・NGO 活動推進センター） 9/25　弥永真生先輩（86 年法・筑波大学助教授） 10/22　谷岡文城先輩（88 年法・大蔵省）※現姓：桜内文城氏 11/26　川越厚先輩（ライフケアシステム・メディカルディレク） 1/28　八木征司先輩（新日鉄情報通信システム） 2/25　水本和実（朝日新聞） ◆建物外壁大規模補修工事の件（屋上防水を除き 6/10 までにほぼ完了、外壁は当初見込みより劣化が進んでいた） ◎1992 年度決算の件 ◎楠田洋評議員の逝去に伴う補充の件（後任は、東大生産研究所 原島文雄教授に決定） ◎関西 OB 会の件など
1993/5/23	春季公開講演会　講師：日野原重明 国際聖路加国際病院長　「いのちをみつめて」　東大五月祭会場にて実施　※会報 100 号に講演録

1993/7/11	会報 99 号発行 ＊巻頭言　三沢和彦学生主事 ＊舎生寄稿　5 篇 ＊OB 寄稿：妹尾次郎（1935 年理）氏　「内ケ崎作三郎先輩の一著書とご活躍の一端」、山本富雄氏（1916 年経・元青年海外協力隊カウンセラー）　「東大 Y 在京 OB 会だより（1936～43 年卒)」、原崎郁平氏「追想（大学卒 50 年記念として)」
1993/10/23	関西 OB 会：大阪朝日新聞「うつぼクラブ」にて、24 名出席。講演：山形謙二氏「終末医療の現場より」
1993/11/6	秋季公開講演会　講師：駿河敬次郎理事（葛南病院院長）　「アフリカの今」（ザンビアの小児医療を通して）
1993/11/19	臨時理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎建物・設備大規模修理による募金の件；一昨年来大規模補修に計 3,700 万円の経費を要し、運用資産 8,000 万円が大幅に減少。加えて来年以降に、寄宿舎の内装補修に 1,500 万円の経費が見込まれることから募金が必要となった。 ◎募金計画の概要：名称は「寄宿舎建物設備修繕募金」、目的は、「1994～1996 年度に行う寄宿舎内部改修資金及び寄宿舎維持修繕募金の計 2,000 万円」、目標金額は 1,000 万円で全会員に募金を要請、期間は 1993 年 12 月から 1 年間 ◎評議員選任の件（大島誠氏の辞任に伴い、倉光泰隆氏と霜垣幸浩氏に依頼することを決定）
1993/12/11	クリスマス祝礼拝　奨励：中沢宣夫先生（本会 OB）「新しい人」 舎生劇：「三番目の十字架」
1993/12/11	会報 100 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長　「イエスはともにいます」 ＊OB 寄稿：関口哲生氏「関西 OB 会だより」、山形謙二氏（72 年理）「終末期医療の現場より」、高橋佑一郎氏（1987 年文）「北米の教会とアジアの教会管見」、築山俊昭氏「補遺二件」、蒲田常治氏「ひろげよう愛の輪を」、大津秀暁氏（1990 年理）「会報 100 号によせて」、小谷明生氏「外から東大 YMCA を眺めてみて」、　矢治健太郎「これからの YM に望むこと」 ＊100 号記念特集「会報をふりかえって―会報を通して YM の 105 年を浮き彫りにする！」 （執筆者：五百旗頭薫、五十川陽洋、松井隆造、小泉和史、宮沢啓明、弓田竜、柳原克彦、若松英士の舎生諸兄） ＊五月祭講演会講演録　講師：日野原重明 国際聖路加国際病院長「い

	のちを見つめて」 ＊舎生寄稿　5 篇 ＊「スクープ電撃結婚！　あの毛利兄、遂に・・・」
1994 年（平成 6 年）	
1994/1/29	1993 年度第 3 回理事会・第 2 回評議員会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1994 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈祷会、座談会、公開講演会など ◎1994 年度予算の件 ◎理事改選の件：評議員会において理事・監事の改選（任期は 94 年 4/1～96 年 3/31） 先輩理事：成瀬治 成城大学教授（1950 年）、馬場進（1930 年）、駿河敬次郎 市川葛南病院院長（1944 年）、高井康雄 東京農大教授（1947 年）、徳久俊彦 大成火災海上専務取締役（1953 年）、岩井要 真設計事務所長（1954 年）、関口哲生 神戸海星女子大教授（1954 年）、清水博 金沢工業大学教授・場野研究所長（1956 年）、野崎昭弘 大妻女子大教授（1959 年）、垣内史堂 東邦大学医学部教授（1970 年） 学生理事：岩佐明彦、大川真理、五百籏頭薫、宮澤啓明、弓田竜の各兄 監事：宮原守男 弁護士（1952 年）及び弥永真生 筑波大学助教授 ◎評議員改選の件：1993/7/1、11/19、及び 1994/1/28 の理事会にて次期評議員が選出された（任期は 2 年）。岡田良一（1941 年日本海運会館監査役）、能美英彦（1943 年・開発設計㈱）、五十嵐雄一（1948 年・イオン興産）、石原力（1948 年・賛育会病院長）、橋本光男（1949 年）、岩下昭比古（1952 年）、加藤庄六（1952 年・ロンロー・パシフィック㈱）、高久史麿（1954 年・国立国際医療センター）、今村一男（1955 年・ますみ会クリニック）、荒木亨（1957 年・国際基督教大学）、二神康郎（1960 年・東食）、原島文雄（1962 年・東大生産技術研究所）、原田明夫（1963 年・法務省）、梶村慎吾（1969 年・賛育会）、木村庸五（1970 年・弁護士）、小堀洋志（1971 年・鹿島建設㈱）、月本昭男（1971 年・立教大学）、市川祐三（1974 年・総理府）、浦西友義（1974 年・東京国税局）、倉光泰隆（1978 年・東京銀行）、霜垣幸浩（1984 年・東京大学）の各氏 ◎建物設備補修募金：目標額 1,000 万円のところ 6 月 20 日現在で、126 名から約 704 万円の入金） ◎鈴木道剛氏（1974 年文・岡山大学助教授）が、立教大学「辻荘一・三浦アンナ記念学術奨励賞（キリスト教美術研究部門）」を受賞
1994/5/14	創立記念礼拝・祝会　奨励：関谷正彦 元聖公会司祭　「日本における明治以降のキリスト教を回顧し、大志をもって将来を迎えたい」　※会

	報 102 号に講演録
1994/5/14	1994 年度第 1 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席。第 1 回評議員会：議事は理事会にほぼ同じ ◎1993 年度事業計画の一部変更の件、93 年度予算補正の件 ◎1993 年度事業報告の件 ◆舎生数（年平均）19 名（うち留学生 3 名） ◆聖書研究会：　講師は、佐藤研 立教大学助教授「マルコによる福音書」 ◆夏期修養会：8/11～13 日に東大野尻湖寮にて実施 ◆合同祈禱会： 4/9　宮原守男 監事 5/13　山本将信 西片町教会牧師 7/8　中村彊 根津教会牧師 10/7　細川勝利 浜田山キリスト教会牧師 12/9　尾山令仁 聖書キリスト教会牧師 1/13　雨宮栄一 東駒形教会牧師 3/10　佐藤司郎 信濃町教会牧師 ◆OB 座談会 4/20　成瀬治 理事長ほか 3 名の理事 5/27　高沢金吾先輩　「宇宙について」 6/24　岩井要先輩　「学生時代の思い出と新舎屋建築の苦労話」 9/30　藤島尚和先輩　「公文教育について」 10/28　粂野文雄先輩 11/25　市川祐三先輩 1/27　前川守先輩 ◆他大学 YMCA との交流 5 月に英国 RICHMOND COLLEGE の学生約 20 名が来舎、交流会を実施 6 月に早稲田大学 YMCA とのサッカーの試合などを実施 ◎1993 年度決算の件 ◎12/1　東大 YMCA「建物・設備補修募金のお願い」を発出。募金目標額：1 千万円、期間：1993 年 12 月～1994 年 12 月末日。募金総額は 3 月末現在で約 640 万円）の件 ◎日本 YMCA 同盟委員に木村庸五氏が就任
1994/6/11	春季公開講演会　講師：杉山好東大名誉教授（恵泉女子大学教授）「青年バッハの旅立ち」　※会報 102 号に報告
1994/7/16	会報 101 号発行

	＊巻頭言：成瀬治理事長「聖徒の交わり」 ＊永松克巳先生（1933 年文・1994/2/17 帰天）追悼：　河田弘氏（河田茂氏の長男・賛育会後援会長)「わが信仰の兄、先生」、古川清氏（1940 年農)「回想」、岡田良一氏（1941 年法)「永松さんを偲ぶ」、山本富雄氏「故永松主事を偲び、舎生に訴える」、加美山節氏（ICU 基金理事、日本 YMCA 同盟理事長)「永松克己先生と ICU」、永松正子氏「思い出すこと」(※1945 年 5 月の空襲ではバケツリレーで火災を免れたこと、その後青年会の二舎に家族で住んでいたことなど記述あり） ＊OB 寄稿：妹尾次郎氏「ジョン・アール・モット氏のこと」、山本富雄氏「東大 YM・OB 会だより」(1936～1943 年卒の在京 OB 会)、 粂野文雄氏「1952～54 年卒業同期会」、合田隆史氏「感謝（ニューヨークでの礼拝と交わり)」、岡田謙介氏（1979 年農)「謹賀新年」(コロンビアから)、橋本徹氏（1986 年工)「ボストンより」、近藤信和氏（1987 年法)「イギリス渡航」 ＊舎生寄稿　17 篇
1994/10/16	第 1 回会館内部補修についての委員会（徳久、岩井、小堀氏と、舎生：岩佐、若松兄、事務：加藤さん） 岩佐明彦兄より「舎の補修に向けて」の報告があり、現在の募金総額の 800 万円以内で計画すること、舎生ができる所は自力で行うこと、基本調査・工事範囲とついては小堀洋志氏に検討を依頼することなどが確認された。
1994/12/10	クリスマス祝礼拝　奨励：月本昭男 立教大学教授　「イエス・キリストの『誕生』に想うこと」 舎生劇：「イカロスの卵」(劇音楽は小泉和史兄作曲）
1994/12/10	第 2 回東大 YMCA 会館内部補修についての委員会（成瀬、岩井、小堀、三沢氏と、舎生：岩佐、若松兄、事務：加藤さん） 岩佐明彦兄の「舎生による内装補修計画」の中間報告、見積もり結果（設備類を除く内装工事のみで 1,300 万円余）の報告があり、さらに具体案の検討を進めることが確認された。その後、岩佐明彦兄から 1995/06/15 付け「東大 YMCA 内装工事に関して」のメモが提出された。
1994/12/10	会報 102 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長「悔い改めて主を迎えよ」 ＊三沢和彦学生主事「東大 Y の伝統である『無限の可能性』に賭ける」、「スケバン刑事 II と物理学」 ＊三沢和彦兄の退舎に寄せて、舎生から寄稿 7 篇 ＊舎生寄稿　8 篇

	＊追悼：馬場進専務理事「関谷正彦先輩（1932 年法・1994・8/27 帰天）　※関谷氏の奥様は森有正氏の妹
1994/12/17	秋季公開講演会　講師：三浦永光氏 「環境問題と自然観の転換」
1995 年（平成 7 年）	
1995/1/17	**阪神淡路大震災**
1995/1/28	定期評議員会及び理事会開催；成瀬理事長欠席の為駿河理事が議長 ◎1995 年度事業計画、収支予算 ◎学生理事 1 名辞任に伴う補欠理事選出（岩佐明彦兄⇒武田誠兄） ◎建物内部補修の件
1995/2/4	1994 年度第 3 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1995 年度事業計画承認の件、◎1995 年度予算の件 ◎建物内部補修の件：「内装補修委員会報告」のとおり、見積金額は内装・照明・冷凍機交換等を含めて約 1,500 万円であり、さらに改修内容・規模の再検討を進めること ◎補修募金状況報告の件：募金総額は 3 月末現在で約 860 万円
1995/5/13	創立記念礼拝及び祝会：会館再建 20 周年 奨励：馬場進前専務理事　「我が酒杯は溢るるなり」　※会報 103 号に講演録
1995/5/13	1995 年度第 1 回理事会・第 1 回評議員会：理事会は成瀬理事長、他理事が出席。評議員会の議事は理事会にほぼ同じ ◎1994 年度事業報告の件 ◆平均舎生数：21 名（うち留学生 3 名） ◆聖書研究会：泉守彦先生（東大倫理学科大学院卒、東大特別研究員、ロマ書などパウロ思想の研究）を招き、ルカによる福音書を学ぶ。 ◆夏期修養会（8/8～10 日）　東大乗鞍寮に於いて、「互いの交わり」をテーマに実施。 ◆合同祈禱会 4/14　宮原守男 監事 5/12　佐藤陽二 牛込キリスト教会牧師 7/2　尾山令仁 聖書キリスト教会牧師 10/13　三沢和彦 学生主事 11/10　定家修身 弓町本郷教会牧師 12/8　細川勝利 浜田山キリスト教会牧師 2/9　雨宮栄一 東駒形教会牧師 ◆OB 座談会 5/26　山口栄一先輩（1977 年理）　「常温核融合とフランスでの研究生活」

	6/23　加藤庄六先輩（1952 年）　「ヨーロッパ放浪記」 10/27　小堀洋志先輩（1971 年工）　「アメリカから見た日本」 11/24　山田祐彰先輩（1987 年）　「ブラジルの森林学」 2/23　高橋雅二先輩（1961 年）　「外交官の仕事と生活」 ◎1994 年度決算の件、 ◎建物内部補修の件 ◆10/6　第 1 回寄宿舎内装補修委員会（委員会に先立ち、岩井理事、岩佐明彦学生理事が各室点検を実施)、11/28 内部状況の点検（岩井理事、小堀洋志評議員、及びリフォーム会社大興物産)、1/10 第 2 回内装補修委員会を実施。補修必要箇所は、①外部金具の故障、②照明器具の全般的な老朽化、③天井剥離、④壁のビニールクロスの破損・汚れ、⑤床のモザイクパーケットの剥がれや浮きなど
1995/6/3	春季講演会　講師：杉山好東大名誉教授　「大学都市ライプツィヒとバッハ」　※会報 104 号に報告
1995/7/3	1995 年度第 2 回理事会：成瀬理事長は欠席、駿河敬次郎理事他が出席 ◎建物設備補修の件 ◎1995 年度下期事業計画の件：聖書研究会（3 月末まで、泉守彦 明治学院大講師による「ローマ人への手紙」)、合同祈祷会、公開講演会など
1995/7/6	会報 103 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長「仕えあうかたち」 ＊OB 寄稿：山本富雄氏「1935～45 年卒同期会」、粂野文雄氏「51～55 年同期会」、「小堀洋志氏・吉岡直人氏「『若手会』第？会親睦会の報告」、梶村慎吾氏「吉野作造記念館開館する」 ＊舎生寄稿 9 篇
1995/10/18	臨時理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎建物内部補修追加（床）の件、◎補修募金の件 ◎評議員改選の件：選出された次期評議員は計 28 名で、以下のとおり。任期は 1996 年 1 月 1 日～97 年 12 月 31 日)。　岡田良一（1941 年法)、能美英彦（1943 年工)、五十嵐雄一（1948 年法)、石原力（1948 年医)、橋本光男（1949 年理)、岩下昭比古（1952 年農)、加藤庄六（1952 年経)、高久史麿（1954 年医)、今村一男（1955 年医)、荒木亨（1957 年文)、二神康郎（1960 年農)、原島文雄（1962 年工所)、原田明夫（1963 年法)、梶村慎吾（1969 年法)、木村庸五（1970 年法)、小堀洋志（1971 年工)、月本昭男（1971 年文)、市川祐三（1974 年経)、浦西友義（1974 年経)、倉光泰隆（1978 年法)、霜垣幸浩（1984 年工）の各氏※以上再任、橋本章（1959 年法)、黒川次郎（1960 年法)、高澤金吾（1964 年工)、飯高茂（1965 年理)、榊裕之（1968 年工)、吉

	岡直人（1972 年理)、北彰（1973 年文）の各氏　以上新任
1995/11/11	関西 OB 会：大阪サイエンスクラブにて、25 名参加。阪神淡路大震災の年
1995/11/18	秋季公開講演会　講師：浅見定雄 東北学院大学教授（神学博士） 「新宗教と日本の若者達―カルトの問題とは」
1995/12/9	クリスマス礼拝　説教：徳永五郎 東京城西教会牧師（先輩会員） 「キリストの貧しさ」 舎生劇：「靴屋のマルチン」（トルストイ民話集より）団長：渡辺頼勝兄、60 余名が参加 ※内装工事がこの前日に完了、見違えるほどきれいになった会館で祝会を開催　㈼63 号
1995/12/11	会報 104 号発行 ＊巻頭言：成瀬治理事長「ふたたび『聖徒の交わり』」 ＊追悼：吉川需先生　岡田良一氏（1941 年法)「吉川さんの思い出」、能美英彦氏（1943 年工)「優しい眼差し」、藤原郁夫氏（1943 年医）「吉川君と音楽に関する私的な思い出」、白戸四郎氏（1948 年医)「吉川需兄を偲んで」、渡邉守道氏（1948 年法)「需ちゃんを思う」、成瀬治氏（1950 年文)「吉川さんの思い出」、岩井要氏（1954 年工)「吉川需さんと私」、荒木亨氏（1957 年文)「吉川先生を想う」 ＊舎生寄稿　11 篇 ＊五百旗頭薫兄　「高田畊安先輩の足跡―南湖院をしのぶ」 ＊OB 寄稿：　木村梯一氏（1989 年工）　「関西 OB 会報告」
1996 年（平成 8 年）	
1996/1/27	評議員会 出席は、岡田、五十嵐、橋本、今村、霜垣の各評議員のほか、黒川、高沢、吉岡の新任評議員 ◎理事・監事改選の件：全員の任期満了に伴い、以下の理事・監事を指名した。任期は 1996 年 4 月 1 日から 1998 年 3 月 31 日まで） 理事：駿河敬次郎氏（1944 年医)、高井康雄（1947 年農)、成瀬治（1950 年文)、徳久俊彦（1953 年経)、岩井要（1954 年工)、関口哲生（1954 年工)、清水博（1956 年薬)、野崎昭弘（1959 年理)、垣内史堂（1970 年医）の各氏　※以上再任　大口邦雄（1956 年理）新任、新任学生理事は、奥山博史、清水知足、井川修、渡辺頼勝、松田恵利也の各兄。監事：宮原守男氏（1952 年法）及び弥永真生氏（1986 年法）　以上再任 馬場進理事より退任の申し出があり、理事会はこれを了承した。後任理

	事は大口邦雄氏
1996/2/1	1995 年度第 4 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1996 年度事業計画の件（聖書研究会、合同祈祷会、座談会、公開講演会など） ◎1996 年度予算の件 ◎常務（専務）理事選任の件、（徳久俊彦氏が 1996 年 4 月より常務理事に就任） ◎建物内部補修工事の件（1995/7/17～8/25、2,350 万円）など ◎客室料金を改定（会員及び家族は、洋室 4,000 円、和室 3,000 円）
1996/3/26	**地下鉄南北線「東大前」駅　開業、東大 YMCA は、駅から 1 分の至近距離となった。**
1996/4/8	はがき通信第 64 号発行、今号から徳久 新常務理事が発行責任者 ＊定期評議委員会及び理事会　＊建物補修募金　＊創立記念礼拝及び会員総会　＊公開講演会 ＊新舎生募集　＊「地下鉄が便利になりました」
1996/5/11	創立記念礼拝　奨励：徳久俊彦常務理事「変わらざるもの、変わるべきもの」　※会報 105 号に講演録
1996/5/11	1996 年度第 1 回理事会：徳久常務理事、他理事が出席。第 1 回評議員会 ◎理事長選出の件：理事の互選により、理事長は成瀬治氏（再任）、常務理事は、徳久俊彦氏（新任）が選出された。 ◎1995 年度事業報告の件 ◆舎生数：23 名（うち留学生 3 名） ◆聖書研究会：引き続き、泉守彦 明治学院大学講師（東大倫理卒）を招き、「ローマ人への手紙」を読む。 ◆1995/7/31（平 7）夏期修養会（～8/2）　東大山中寮にて、講師は泉先生 ◆合同祈禱会 4/13　宮原守男 監事 5/11　佐藤司郎 信濃町教会牧師 6/8　弥永真生 監事（筑波大助教授） 7/13　佐藤研 立教大学助教授 10/12　二俣松四郎 弓町本郷教会 12/14　山本裕司 西片町教会牧師 2/9　雨宮栄一 東駒形教会牧師 ◆OB 座談会 5/25　窪田明先輩（1957 年）　「カナダ・日本・アメリカでの生活」 9/28　野崎昭弘先輩（1959 年）　「ギリシャ人の考えたこと」

	10/26　関栄次先輩（1953 年）　「外国から見た日本」 11/30　山本富雄先輩（1941 年） 2/22　谷岡文城先輩（1988 年） ◆内装工事報告　学生委員 岩佐明彦兄 ◎1995 年度決算の件 ◎その他 ①会館内部補修の募金は、311 人の会員から総額：約 1,800 万円 ②内外学生センター（旧学徒援護会）から留学生宿舎提供に対する補助金として年間 11 万円を受領　③馬場専務理事に名誉理事をお願いする件（寄付行為の改訂を伴うこと、寄付行為には専務理事の規定がないことなどにより改訂が必要との議論） ④理事各位との連絡方法の充実など 1996 年度第 1 回評議員会：議事は理事会にほぼ同じ
1996/5/25	公開講演会　講師：宮田光雄 東北大学名誉教授　「それでもリンゴを植えよう～世紀末を目指して～」　※会報 106 号に講演録
1996/7/12	会報 105 号発行 ＊巻頭言：駿河敬次郎理事 ＊追悼：徳久俊彦氏「安井琢磨先生（1931 年経・1995/12/17 帰天）を偲ぶ」 ＊追悼：保田幹男氏（1941 年農）「志保田進兄（41 年農・1995/12/24 帰天）を偲びて」、　古川清氏（1940 年農）「追悼の辞」 ＊舎生寄稿　8 篇 ＊「南北線開通（1996 年 3 月）のお話」 ＊荒木亨氏（1957 年文）　「年表作成の頃」（OB 座談会より） ＊OB 通信：粂野文雄氏（1953 年農）「第 3 回 OB 同期会（51～55 年卒）報告」
1996/7/13	1996 年度第 2 回理事会：成瀬理事長、他理事が出席 ◎1996 年度下期事業計画の件（聖書研究会：東駒形教会 雨宮栄一牧師によるマルコ福音書、合同祈祷会、座談会、公開講演会など） ◎馬場専務理事の名誉理事推挙の件 ◎監督官庁に 95 年度事業報告及び決算書を提出する件など ＃6/15 日本 YMCA 同盟委員会において、高野孫左衛門氏任期満了で退任し、後任に岡田久雄氏（三菱電機副社長）が就任 ㈫65 号
1996/10/19	公開講演会：杉山好 恵泉女学園大学教授・東大名誉教授　「バッハの宗教改革カンタータを巡って」　※会報 107 号に報告
1996/12/14	クリスマス祝礼拝　説教：東駒形教会 雨宮栄一牧師「博士の贈り物」 舎生劇：「ペテロ」（チェーホフ作「学生」より）　55 名の先輩・家族

	が参加
1996/12/14	会報 106 号発行 ＊巻頭言：徳久俊彦常務理事 ＊特集「追悼　大塚久雄先輩」徳久俊彦氏「大塚久雄先輩を偲ぶ」、隅谷三喜夫氏「大塚先生と大塚史学」、住谷一彦先輩に聞く「大塚久雄先生と私」 ＊追悼：「若泉敬兄（1954 年法・1996/7/28 帰天」、関口哲生氏「渡邉肇兄（1958 年経・1996/10/26 帰天）を偲ぶ」、「故 宮内啓行兄（1979 年・1995/10/31 帰天)、記念会報告」（1977～1982 年卒一同)・岩崎英二氏（1979 年工)、山口栄一氏（1977 年理） ＊特集「YM 就職戦線」 ＊舎生寄稿　3 篇
1997 年（平成 9 年）	
1997/1/25	1996 年度第 2 回評議員会： ◎1997 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈祷会、座談会、公開講演会など ◎1997 年度予算の件
1997/2/1	1996 年度第 3 回理事会： ◎1997 年度事業計画承認の件：聖書研究会、合同祈祷会、座談会、公開講演会など ◎1997 年度予算承認の件 ◎理事長交代の件：1997 年 4 月 1 日より、大口邦雄理事が理事長に就任することを承認可決
1997/5/10	創立記念礼拝：大口邦雄理事長「信仰と知性」　※会報 107 号に講演録
1997/5/10	第 1 回評議員会・理事会： ◎1996 年度事業報告の件 ◆聖書研究会（雨宮牧師は岐阜に赴任のため 1 年で終了） ◆夏期修養会（7/31～8/2）　於：東大山中湖寮　テーマ：「職業と信仰」、「教会活動と個人」 ◆合同祈祷会： 4/11 宮原守男 監事 5/9 佐藤陽二 牛込キリスト教会牧師 7/13 定家修身 弓町本郷教会牧師 9/12 若松英士兄（舎外会員） 12/12 徳久俊彦 常務理事 ◆OB 座談会

	5/30 荒木亨　「青年会の年表作成の頃」　※会報 105 号に報告 6/27 榊裕之　「エレクトロニクスの進展と社会－基礎科学と社会変革の視点から」 9/26 山本富雄/河田弘（慶応大学 Y の OB）「第 2 次大戦直前の学 Y 運動」　※会報 106 号に報告 10/24 住谷一彦　「大塚久雄先生と私」　※会報 106 号に報告 11/28 高沢金吾　「次世代航空機の開発とその課題」 1/23 西村和雄　「複雑系経済学と私」 2/27 岩島久夫　「変質した冷戦後の国際情勢と日本」など） ◆年次別同期会：　4/27 第 3 回 OB 同期生談話会（1951～1955 年卒）※会報 105 号に報告 ◎その他 ◆6/21 都教育委に 95 年度事業報告を提出 ◆松田智雄先生より約 1 千冊の蔵書の寄贈を受ける。
1997/5/17	公開講演会：　荒井献先生「腸のちぎれる思いに駆られてー岩波版・新約聖書翻訳の意図と特徴について」　※会報 108 号に講演録
1997/7/10	会館玄関脇のガラスが何者かにより破られる。明らかに人為的な行為ながら詳細は不明のまま
1997/8/31	会報 107 号発行 ＊巻頭言：高井康雄理事「終戦前後の舎生活を振り返って」 ＊大口邦雄氏「理事長就任にあたって」 ＊特集　追悼「宮本武之助先輩（1930 年文・1997/3/6 帰天)」　徳久俊彦氏「宮本先輩を想う」、　馬場進名誉理事「宮本武之助君の思い出」、　寺田武男氏（一橋大学 YMCA OB）「宮本武之助先生との出会いと別れ」、　岩井要氏「宮本武之助先生と教会建築」 ＊舎生寄稿　10 篇 ＊山本富雄先輩（1941 年経）「第二次大戦直前の学 Y 運動」　※OB 座談会より ＊徳久俊彦氏「堀江薫雄先輩（1928 年法・当時 94 歳）に聞く」 ＊OB 寄稿：山本富雄先輩「1935～1945 年卒 OB 会」、高井康雄理事（1947 年農）「終戦直後在舎生の会」、田中敬一氏（1954 年工）「1951～55 年卒同期会」（岩島久夫氏の講演あり）
1997/9/6	理事会
1997/11/8	公開講演会　講師：杉山好 恵泉女学園大学教授、東大名誉教授）先生「ヘンデルの広さとバッハの深さ」
1997/12/6	97 年度理事会 ◎評議員改選の件（12 月末に任期が満了する全評議員の改選を行い、

	以下の次期評議員を選出 石原力、加藤庄六、高久史麿、今村一男、荒木亨、橋本章、黒川次郎、二神康郎、原島文雄、原田明夫、高沢金吾、飯高茂、榊裕之、梶村慎吾、木村庸五、小堀洋志、月本昭男、吉岡直人、北彰、市川祐三、霜垣幸浩の各氏（以上再任)、北村一男、狩野照、松村寛三郎、久保田省吾、山口栄一の各氏（以上新任)、計 19 名。岡田良一、能美英彦、五十嵐雄一、橋本光男、岩下昭比古、浦西友義、倉光泰隆の各氏は退任 ◎寄付行為内規の件：内規として「顧問推挙に関する規定」及び「名誉理事推挙に関する規定を採択。「顧問」は評議員・会員として、「名誉理事」は理事として永年多大な貢献をした者の中から推挙する。
1997/12/13	クリスマス祝礼拝　説教：上林純一郎牧師「Rejoice 喜べ！」
1997/12/13	会報 108 号発行 ＊巻頭言：岩井要理事「きらめく作品の群れに囲まれて」 ＊成瀬治前理事長「理事長職を終えて」 ＊岩井要氏「職業としての建築家―プロフェッションの倫理について」 ※OB 座談会より ＊舎生寄稿　3 篇 ＊97 年度夏期修養会報告 ＊追悼：「湯浅恭三兄」（1924 年法・1997/8/3 帰天）　斎藤総衛 前日本 YMCA 同盟総主事「湯浅恭三先生を偲ぶ」、　徳久俊彦氏「湯浅恭三先輩のこと」、　馬場進氏「湯浅恭三さんの思い出」 ＊追悼「黒沼栄一兄（1941 年理・1997/8/13 帰天)」　赤間道義氏（1941 年文)「黒沼栄一先輩の思い出」、　片岡眞一氏「黒沼栄一先輩を偲ぶ」 ＊OB 寄稿：徳久俊彦氏「追悼　植松健一先生（早大 YMCA 前理事長・1997/9/13 帰天)」、徳久俊彦氏「星島二郎先輩とアンジェラスの鐘」、梶村慎吾氏「55 年代在舎生懇親会」報告と西山竜平レクイエム「わだつみの声」上演のお知らせ
1998 年（平成 10 年）	
1998/1/31	1997 年度第 3 回理事会： ◎事業計画承認の件：◆創立 110 周年記念事業としてシンポジウム開催などの諸活動 ◆聖書研究会（引き続き、上林純一郎牧師)、合同祈祷会、座談会、公開講演会など ◆創立 110 周年記念募金の件、◆賛助会員の拡大の件、◆「自由文庫」設置の件（大口理事長からの提案で、先輩に文庫・新書など 1 冊ずつの寄贈を依頼し、食堂などに書棚を置く。ただし、一切の管理をしない無

	管理方式とする案）などの事業計画あり ◎1998 年度予算の件、◎寄付行為内規の改正の件（「顧問」に関する件）、顧問推挙の件≪岡田良一（1941 年法卒）、能美英彦（1943 年工）、五十嵐雄一（1948 年法）、橋本光男（1949 年理）、岩下昭比古（1952 年農）の各氏 5 名に顧問を委嘱する≫など 1997 年度第 2 回評議員会：議事は理事会議事に加え、理事・監事改選の件（3 月末をもって任期満了となる全理事・監事の改選を行い、以下の理事・監事を選出した。大口邦雄、徳久俊彦、駿河敬次郎、成瀬治、岩井要、関口哲生、野崎昭弘、垣内史堂、渡辺頼勝、井川修、中村義哉、小倉和夫（以上再任）、橋本徹、原島文雄、蛯浦道生の各氏（以上新任）　計 15 名。退任は、高井康雄、清水博、奥山博史の各氏の 3 名。監事は、宮原守男氏、弥永真生氏（以上再任）
1998/5/16	創立 110 周年記念礼拝　奨励：日本 YMCA 同盟 斎藤総衛名誉主事「信仰と行為」　※会報 109 号に講演録 ◎記念フォーラム　榊裕之教授「科学技術の進展と人間・社会」、　コメンテーター：原田明夫、田辺功、石川憲彦、清水正之の各氏　司会；北彰氏
1998/5/16	1998 年度第 1 回評議員会・理事会 ◎寄付行為一部改訂の件：①賛助会員は個人に加え法人を含める」ことに改訂、②専務理事を新たに設置、③「評議員の議長は理事長とする」と読めるので「互選」に改訂、④「総会の議決」の規定を削除（「総会」の組織がない） ◎1997 年度決算の件 ◎名誉理事推挙の件：「名誉理事推挙に関する規定」（1997/12/6 理事会決定）に基づき、高井康雄元理事長を推挙（1969 年に理事、1976 年に理事長就任。会館再建と、その後の本会活動を主導し、夕栴日誌・早栴日誌の製本化にも尽力） ◎1998 年 12 月末現在、在舎生は 24 名で」ほぼ満室 ◎1997 年度事業報告の件 ◆聖書研究会（本年度より、早稲田教会 上林順一郎牧師による「ルカによる福音書」） ◆夏期修養会（7/31～8/2）　千葉県九十九里の徳久俊彦氏の別邸にて、15 名参加 　テキストは宮田光雄集・聖書の信仰から「世に勝つ信仰」 ◆合同祈祷会 4/10 宮原守男 監事 5/8 泉守彦先生（明治学院大学講師）

	6/12 山下智子 弓町本郷教会伝道師 7/10 渡辺信夫 東京告白教会牧師 9/11 原田一之 東京キリストの教会牧師 11/13　佐藤司郎 信濃町教会牧師 ◆OB 座談会： 6/26 井川貴博　「富士通・国際法務での経験」 9/25 垣内史堂理事　「免疫学の話」 10/30 駿河敬次郎理事　「チャレンジングライフ～小児外科のパイオニアとして」 1/29 徳久俊彦　「損害保険と私」 2/26 野崎昭弘　「数学教育について」 ◆11/3 同志会とスポーツ大会 ◆卒業年次別 OB 会の件 4/12　昭 21～24 卒の会、12 名参加 4/19　1987 年前後卒の「華の会」、9 名参加 4/26　昭 26～30 卒の会、11 名参加 6/6　昭 40 年代卒の会、15 名参加 9/26　昭 30 年代卒の会・20 名参加） ◎その他 ◆税務を依頼していた中川省三氏の死去に伴い、新たに平野昭宏氏に税務・会計事務を委託した。 ◆9/27 宮田光雄先生の「一麦寮 25 周年記念会」 ◆10/3 桃山学院大学 太田雅夫教授が来会（吉野作造、星島二郎、鈴木文治先輩の早祷日誌会報等を閲覧） ◆10/13 星島二郎先輩の追悼文集「一粒の麦」出版記念会（徳久理事が出席） ◆2/17 遠藤楽氏（旧会館の設計者・遠藤新先輩のご子息）との縁が広がり、先輩の業績を研究しているグループが資料調査や家具の実測に来訪した。 ◆12/1 アメリカ合同メソジスト教会 張瑞雄牧師来会（1934 年に在舎していた黄彰輝氏の教え子で、伝記を作成予定）などを報告 ◎創立 110 周年記念事業の件：記念募金（98 年 6 月から 1 年間、目標 800 万円） ◆記念フォーラム（榊裕之教授の講演）など ◆6/27 東京都に 96 年度事業報告と会計報告を提出
1998/6/13	公開講演会：隅谷三喜男 東大名誉教授　「成田の空と大地」　※会報 110 号に講演録

1998/7/30	夏季修養会（～8/1、千葉県野栄町にて、12 名参加）
1998/8/1	会報 109 号発行 ＊巻頭言：関口哲生氏「年々新たなるつながりを思うー創立 110 周年に寄せてー」 ＊大口邦雄理事長　「創立 110 周年の祈り」 ＊徳久俊彦氏　「創立記念日報告」 ＊舎生寄稿　9 篇 ＊OB 寄稿：山本富雄氏「1935～45 年卒のシニア OB 会」、徳久俊彦氏「『終戦直後』同窓会」、徳久俊彦氏「1950～55 年卒業同窓会」、徳久俊彦氏「故きを温ねて～先輩にお話を伺う」、徳久俊彦氏「入江寛二先輩（1936 年経）に聞く」、周藤勝一氏（1965 年薬）、梶村慎吾氏「アメリカの高齢者施設に学ぶ」、徳久俊彦氏「西山竜平作曲『わだつみの声』上演」
1998/9/5	1998 年度第 2 回理事会：大口理事長、他理事が出席 ◎1998 年度上期事業報告の件 ◎1998 年度下期事業計画の件
1998/11/3	関西 OB 会：関口哲生理事の世話役で、神戸六甲山荘にて開催。関西在住 19 名と東京から大口理事長以下 4 名参加。藤田卓男氏（1952 年医卒）による「カルシュウムと生活習慣病」の講演あり
1998/11/21	公開講演会：杉山好東大名誉教授「バッハシリーズ＝待降節のカンタータ」
1998/12/12	クリスマス祝礼拝　奨励：弓町本郷教会 定家修身牧師「光は暗闇の中で輝いている」。 祝会は先輩 29 名、家族 9 名、舎生 24 名の計 64 名が参加 舎生劇：「セロ弾きのゴーシュ」
1998/12/12	会報 110 号発行 ＊巻頭言：野崎昭弘理事「より広く、より高く」 ＊徳久俊彦氏「東大 YMCA　110 周年略史の試み」 ＊舎生寄稿　3 篇 ＊OB 座談会より：二神康郎先輩「欧米流通業の新潮流」 ＊追悼：徳久俊彦氏「中江憲先輩（1929 年文・1998/10/28 帰天）追悼」 ＊OB 寄稿：高井康雄氏「第 2 回終戦直後同窓会」、梶村慎吾氏「1957 年～1969 年同期会報告」、徳久俊彦氏「続　故きを温ねて～京都に猿橋先輩を訪ねる」

1999 年（平成 11 年）	
1999/1/30	1998 年度第 3 回理事会及び評議員会 ◎1999 年度事業計画の件、◎1999 年度予算の件 ◎「浅野順一記念奨学金」の件：「組の会」代表宮原守男氏から依頼のあった同奨学金の運営委託を受諾することとし、以下の大綱で進める方針を決定。概略は、①資金総額：5 千万円、②対象：当会に関係のある留学生など、運営方針：返済を要しない給付として 10 年程度存続目途、③運営機関：大口理事長、徳久俊彦、野崎昭弘、宮原守男、岩井要の 5 名による運営委員会を構成など
1999/2/10	理事会
1999/4/17	東大 YMCA 第 2 回フォーラム　発題：高久史麿 自治医科大学長「高度先進医療と生命倫理」、司会：田辺功氏、コメンテーター：宮原守男、宮田親平、垣内史堂、清水正之の各氏)、80 名参加　※会報 11 号に報告
1999/5/15	創立 111 周年記念礼拝　奨励：加美山節先輩（1943 年経)「東大 YMCA110 周年に思うこと」　※会報 111 号に講演録
1999/5/15	1999 年度第 1 回理事会・評議員会 ◎1998 年度事業報告の件： ◆舎生数 3 月に 6 名が退舎、4 月に 6 名が入舎、留学生の国籍は、アメリカ、韓国、中国、ボリビア、インドネシア、シンガポール ◆聖書研究会（昨年に引き続き、早稲田教会 上林順一郎牧師）を招き、「ルカによる福音書」を学ぶ。 ◆夏期修養会：7/31～1、千葉県九十九里の徳久俊彦氏別邸において、12 名参加。テキストは「ダライラマ、イエスを語る」 ◆学内伝道活動：「12 月クリスマス夕食会：橋本徹氏（1957 年）のスピーチ」、「五月祭講演会協賛：Dr. Hugh Ross 氏（天文学者）の講演会」、「五月祭講演会協賛：　佐々木満雄氏（1967 年）の講演会」 ◆合同祈禱会 4/9 宮原守男 7/9 定家修身 弓町本郷教会牧師 10/15 佐藤義孝氏（キャンパスクルセード・フォー・クライスト） 11/22 山北宣久 聖が丘教会牧師 1/14 山本裕司 牧師 ◆OB 座談会 6/25 高井康雄名誉理事　「地球環境の危機と問題土壌」 9/24 徳久理事　「東大学生基督教青年会 110 年史」　※会報 110 号に報告

	10/22 二神康郎評議員　「欧米流通業の新潮流」 11/26 大蔵浩之氏　「金融界から見た日本経済の現状と今後の展望」 1 月　清水知足兄・菊池裕生兄　「社会人 1 年目としての生活」 2 月　徳久俊彦氏　「讃美歌とは何か」 ◆卒業年次別 OB 会の件： 4/18 昭 26～30 年卒の同窓会（宮原守男氏による「裁判の話」 4/25 戦争直後卒業生の会（高井康雄氏以下 19 名参加） 6/6 戦前卒業生の会（山本富雄氏世話人で、木下順二氏以下 16 名参加） 8/8 若手会（1970 年前後卒、9 名参加） 8/31 昭 30 年代卒業生の会（20 名参加） 2/10 追分会（昭和 30 年代前半卒業の OB 会）　（17 名参加）　※会報 111 号に報告 ◎1998 年度決算の件 ◎寄付行為改訂の件、◎協力会員・家族会員制度の発足の件 ◎創立 110 周年記念募金の件：4/23 現在で、405 万円の募金受領 ◎その他：6/30 東京都教育委員会に 97 年度事業報告及び決算書を提出
1999/8/10	会報 111 号発行 ＊巻頭言：大口邦雄理事長「20 世紀の終わりに」 ＊OB 寄稿：橋本光男氏「森と木の会」、徳久俊彦氏「東大 YMCA 追分会」、徳久俊彦氏「1951～55 年卒同窓会」 ＊舎生寄稿 7 篇 ＊徳久俊彦氏（1953 年経）「加藤庄六氏（52 年経・1999/1/10 帰天）を偲ぶ」、（岩島久夫氏（1952 年法）「『庄六兄』を偲んでーわが信仰と行動のモデル」 ＊追悼：百瀬泉（1941 年文）「ある友との交わりー大木善和兄（61 年文・1998/2/23）の昇天に寄せて」
1999/9/4	1999 年度第 2 回理事会：大口理事長、他理事出席 ◎1999 年度上半期事業報告の件：合同祈禱会、OB 座談会 ◎1999 年度下半期事業計画の件 ◎評議員改選の件：現評議員は 1999 年 12 月末で任期満了につき改選が必要 なお、理事は 2000 年 3 月末で任期満了につき、来年 1 月の評議員会にて選任が必要 ◎創立 110 周年記念募金の使途の件：9 月末終了時点で、194 名の会員から約 430 万円の寄付あり。記念事業、建物設備の補修、資料の整理等の使途を決定

	◎卒業年次別同窓会： 4/17 昭 26～30 年卒の同窓会（12 名参加） 5/29 森と木の会（15 名参加） 7/2 戦前卒業生の会（参加 18 名） ◎浅野順一記念奨学金の報告
1999/11/20	秋季公開講演会　講師：杉山好東大名誉教授「青年期のバッハ…オドリベット」
1999/12/11	クリスマス祝礼拝　説教；内坂晃牧 砧教会師（聖研講師）「闇は光に勝たなかった」、57 名参加 舎生劇：「男はつらいよー長崎純情編ー」（山田洋二原作）
1999/12/11	会報 112 号発行 ＊巻頭言：原島文雄理事（1962 年工）「50 年前の宿題」 ＊舎生寄稿　8 篇 ＊追悼：徳久俊彦氏　「佐藤次郎先輩を送る」 ＊OB 寄稿；山本富雄氏（1941 年経）「1935～45 年シニア OB 会」、蒲田常治氏（1922 年工・詩人）「世界の旗　世界の歌」 ＊報告：徳久俊彦氏「賛育会の現況」、「西山竜平先輩の『わだつみのこえ』全曲上演」、　「山本富雄先輩　国際協力功労者として表彰さる」、「『安井文庫』埼玉大学に開設」
2000 年（平成 12 年）	
2000/1/29	1999 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎図書・資料整理の推進のため、「資料委員会」の設置が決定され、荒木亨氏を中心に 10 名の委員が選任された。 ＃役員改選の件：2000 年 3 月末に任期満了を迎える理事・監事全員の改選が行われ、原島文雄、垣内史堂理事が退任、月本、吉岡両氏が選出された。再任の先輩理事は、大口邦雄（理事長)、徳久俊彦氏（常務理事)、駿河敬次郎、成瀬治、岩井要、関口哲生、橋下徹、野崎昭弘の各氏、学生理事は勝部圭一、花川耕介、ダニエル・ヘラー、宮川尚久の各兄。監事は、宮原守男、弥永真生の両氏 その他：浅野順一記念奨学金は 6 名の学生（中国、日本各 1 名、韓国 4 名）　㈫75 号
2000/5/13	創立 112 周年記念礼拝　奨励：石原力 社会福祉法人興望館理事長 「凡てのこと相働きて益となる」
2000/6/10	公開講演会：荒木亨氏（1957 年文)「東大学生基督教青年会、森有正、オーギュスタン・ベルク」※東大 YMCA の資料整理の前提として青年会の歴史を改めて学ぶこととし、3/4 と 4/1 に荒木亨氏の発題で勉強会

	を行ったので、締めくくりに本講演会を開催した。会報・日誌の整理が進められている。※会報 113 号に講演録
2000/7/15	会報 113 号発行 ＊巻頭言：月本昭男氏（1971 年文）　「重箱の隅をつつけよ」 ＊追悼：増田陸郎（1938 年医）　「角田資敏君の昇天を悼みつつ（1937 年工・1999/11/29 帰天)」 ＊追悼：徳久俊彦氏（1953 年経)「角田先輩を偲ぶ」
2000/9/2	2000 年度第 2 回理事会 ◎下半期事業計画の件
2000/10/28	関西 OB 会：神戸 YMCA 会館において、若林信生氏、渡辺聡氏など 16 名参加（東京からは大口理事長夫妻、徳久氏、加藤せつ氏）　※会報 114 号に報告
2000/11/4	公開講演会：杉山好 恵泉女学院教授「宗教改革の音楽家バッハ」
2000/12/9	クリスマス祝礼拝　説教：宮木保彦 曙教会牧師　「喜びと平和に満たされて」 舎生劇：「男はつらいよー長崎純情編―」（山田洋二原作・下斗米一明脚本）
2000/12/9	会報 114 号発行 ＊巻頭言：吉岡直人氏（1972 年理）　『宇宙原理』　と『人間原理』 ＊10/21 座談会：「内坂晃先生に聴く」 ＊退舎生は語る：清水知足氏（1998 年法)、堀史彦氏（1999 年経)、下斗米一明氏（法学政治学研究科） ＊追悼：佐藤淨氏（1957 年経)「三宅省三君（1957 年法・2000/10/17 帰天）のご逝去を悼んで」、山本富雄氏（1941 年経)「人見楠郎兄（1941 年文・2000/11/4 帰天）を偲ぶ」、徳久俊彦氏「三人の先輩を送る」堀江薫雄先輩（1928 年法・2000/8/27 帰天)、三宅省三先輩、人見楠郎先輩
2001 年（平成 13 年）	
2001/2/3	2000 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2000 年度事業報告の件： ◆聖書研究会（内坂晃先生による創世記の学び)、合同祈禱会、OB 座談会など ◎2001 年度事業計画の件：聖書研究会（内坂晃先生が 2 年間を終えて終了)、合同祈禱会、OB 座談会、公開講演会など ◎2001 年度予算の件 ◎ファミール本郷駐車場用地買収及びマンション管理組合加入の件：マ

	ンション側は現管理組合を法人化し、土地取得する意向（取得価格は1,500 万円、当会は持ち分 14.7%で約 217 万円を支出し、管理組合加入の方向で交渉にあたる予定　※しかし組合加入はその後受け入れられないと回答） ◎礼拝堂のスピーカー寄贈の経緯報告（杉山好先生の知人　松村貴志子氏から先生に託された寄付金により購入・寄贈されたもの） ◎「学会センター」から地下室の使用を止め、退去する旨の通知あり ◎浅野記念奨学金の支給状況を報告 ◎会費改定の件：現行 3 千円を 5 千円に改定し、一定年齢以上の会員は 3 千円とする案で相談
2001/5/19	創立 113 年記念礼拝 開会祈祷：大口邦雄理事長、奨励：清水護先輩（92 歳）「回顧と感謝」 ※会報 115 号に報告 礼拝後に浅野記念奨学金の受給者を代表して、李英珠さん（東大博士課程）が研究発表
2001/5/19	2001 年度第 1 回評議員会・理事会 ◎2000 年度事業報告の件： ◆聖書研究会：内坂晃先生による創世記の学び ◆キャンパス向け伝道企画　「YMCA OPEN HOUR」を開催 ◆夏季修養会（7/31～2）：千葉県野栄町の徳久理事別邸にて、13 名参加 ◆合同祈禱会 2000/4/13 宮原守男先輩　「ニコデモ老人」 5/11 山本裕司 西片町教会牧師　「復活説を迎えて」 7/20 藤原淳賀 東京基督教大学牧師 12/14 松本敏之 弓町本郷教会牧師　「暗闇に輝く光」 1/11 早稲田教会 上林順一郎牧師　「終わりから生きる」 ◆OB 座談会 5/25 月本昭男氏（1971 年文）　「重箱の隅をつつけよー旧約研究 30 年」 7/27 佐々木徹氏（1985 年工）　「ベンチャー企業経営経験談」 10/26 島田宗洋氏（1966 年医）　「心臓四方山話」　※会報 114 号に懇談録 1/25 小谷明生氏（1994 年経）　「エチオピアにおける開発援助の体験から」 2/22 星野利幸氏（1983 年教養）　「数値シミュレーションの開発を手掛けて」

	◆年次別同期会 2000/3/4 若手会：9 名参加 4/8 第 4 回 森と木の会（終戦直後卒業生の会）　※会報 113 号に報告 4/15 昭 26 年～30 年卒の同期会※会報 113 号に報告 7/1 シニア OB 会（昭 10 年から 20 年卒）　14 名参加　※会報 114 号に報告 ◎2000 年度決算の件 ◎基本財産繰り入れの件：00 年度決算の約 382 万円の収支差額のうち、清水護氏からの寄付金 200 万円を基本財産に繰り入れることとした。 ◎年会費改定の件：本年度より年会費を現行 3,000 円から 5,000 円に引き上げる（学生会員を除く）こととし、「会員及び会費に関する規程」を改正した。 ◎その他：6/14 東京都教育委員会に 99 年度事業報告及び収支報告を提出
2001/5/25	馬場進 前本会専務理事の「お別れの会」　司会：徳久俊彦、祈祷：大口邦雄理事長、説教：大浦勝 牧師、弔辞：清水護 元国際基督教大学教授　80 名が参加 馬場進氏は 1930 年経卒、2001/5/1 に帰天、95 歳
2001/5/26	五月祭講演会　講師；速水優日銀総裁「土の器に納めた宝」　※学内キリスト教サークルの協働
2001/7/14	公開講演会：富阪キリスト教センター 薛恩峰（シュエ・エンフェン）牧師「中国のキリスト教」　※会報 116 号に講演録
2001/7/20	会報 115 号発行 巻頭言：徳久俊彦氏（1953 年経）　「信仰と学問」 追悼：徳久俊彦氏（1953 年経）　「馬場進さん（1930 年法・2001/5/1 帰天）を送る」 追悼：増田陸郎氏（1938 年医）　「妹尾次郎兄（1935 年理・2001/3/20 帰天）を偲ぶ」 追悼：徳久俊彦氏「妹尾次郎先輩のこと」、「浦田常治先輩（1947 年工・2001/2/17 帰天）のこと」
2001/9/1	2001 年度第 2 回理事会：大口理事長、他理事が出席 ◎2001 年度上期事業報告の件、 ◎2001 年度下期事業計画の件 ◎評議員改選の件；2001 年 12 月末にて任期満了にとなる評議員について、全員を再任したうえ、4 氏を加えて、以下の体制とした。石原力、北村一雄、苅野照、松村寛三郎、久保田省吾、高久史麿、今村一男、荒木亨、和久田康雄、橋本章、黒川次郎、二神康郎、原田明夫、高沢金

	吾、飯高茂、榊裕之、湯原哲夫、梶村慎吾、木村庸五、月本昭男、吉岡直人、北彰、高本真一、山口栄一、霜垣幸浩の各氏（以上再任）、＊市川祐三氏は遠隔地転勤のため退任。新任は浦西友義、合田隆史、藤井信吾、三沢和彦の 4 氏。定数 30 名以内のうち総数は 29 名、任期は何れも 2002/1/1～2003/12/31 ◎明年度以降の理事体制の件（懇談）；現理事は 2002 年 3 月末で任期満了につき、2002/2/2 予定の評議員会において選任の必要あり。徳久常務理事は、賛育会理事長職と恵泉女学園役員に専念するため、辞任の申し出がある。一方かねてより昭和 20 年代卒の役員（現在 26 名中 6 名）のは引退案がある。 ◎貸事務室（収益事業）契約の件：2001/8/21 付の（株）東信堂との契約を承認 ◎浅野記念奨学金の支給状況を報告
2001/11/10	公開講演会　杉山好先生「バッハと大学」、 「寄贈スピーカーの披露と感謝会」（寄贈者 松村貴志子氏を招待）
2001/12/8	クリスマス祝礼拝　説教：松本敏之 経堂緑岡教会牧師　「主のよき力に守られて」、70 名が参加。※会報 117 号に説教録 舎生劇：「白雪姫 in the ジブリワールド」（団長：藤田義崇兄、台本：近藤陸矢兄）
2001/12/8	会報 116 号発行 巻頭言：駿河敬次郎（1944 年医）　「クリスマスに思う」 追悼：徳久俊彦氏（1953 年経）　「三輪和敏先輩（1937 年文・2001/6/2 帰天）を偲ぶ」、「中原賢次先輩（1926 年法・2001/7/3 帰天）を偲ぶ」 追悼：中原真澄氏「『美田』と『神の国』―中原賢次を送って」 追悼：岡崎滉先輩（1929 年農・2001/8/30 帰天） 追悼：稲木昇先輩（1947 年法・2001/9/20 帰天） 追悼：関口哲生氏（1954 年工）「柴谷貞雄さん（1932 年法・2001/9/24 帰天）を偲ぶ」 10/20「篠原真弓さんの魂の平安と篠原兄及びお子様のなぐさめ、励ましを祈る会」報告 10/26「三宅省三さんの思い出を語る会」報告
2002 年（平成 14 年）	
2002/2/2	2001 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2001 年度事業報告：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会など ◎2002 年度事業計画の件、◎2002 年度予算の件 ◎理事・監事全員の任期満了による改選の件：現理事は 02/3/31/付で

	任期満了となる。新理事体制は、大口邦雄、徳久俊彦、岩井要、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、月本昭男、吉岡直人、中村義哉の各氏（以上再任)、野口吉三郎（1959 年法)、梶村慎吾（1969 年法)、グナワン・ヘンリー、石渡裕太、佐藤央雅、田川義之氏の各氏（以上新任)、監事は宮原守男氏、弥永真生氏（以上再任)、駿河敬次郎、成瀬治両理事は勇退 ◎名誉理事委嘱の件：駿河敬次郎、成瀬治両氏に名誉理事を委嘱する。 ◎理事会・常務理事選任の件：新理事体制で選任の結果、理事長に大口氏を再任、常務理事に野口氏を選出した。
2002/5/18	創立 114 周年記念礼拝　証詞：岩井要理事「信徒の旅立ち（ヘブライ人への手紙 11 章 8-13)」、50 余名参加　※会報 117 号に講演録 併せて「創立 114 周年記念写真展示会」を開催
2002/5/18	評議員会・理事会：評議員会：議長は北村一男氏 ◎2001 年度事業報告の件 ◆聖書研究会（弓町本郷教会 松本敏之牧師によるヨハネ福音書とブラジル音楽) ◆夏季修養会（8/1～2)：神奈川県営「三浦ふれあいの村」にて、12 名参加 ◆合同祈禱会 4/12 宮原守男氏　「マグダラのマリア」 5 月 牧野 宮原伝道所牧師　「我らの父よ」 6/14 上田光正 美竹教会牧師　「コリント I -15 章」 7/12 小泉健 五反田教会牧師　「祈りについて」 9/13 徳久俊彦理事　「我信ず」 10/11 高尾浩史 武蔵野自由福音教会伝道師　「祈り」 11/15 山本裕司 西片町教会牧師　「アドベントの意味」 1/24 上林順一郎 早稲田教会牧師　「情熱と責任と叡智と」 2/14 戒能信生 東駒形教会牧師　「一週間の宗教的休暇」 ◆OB 座談会 5/31 川浦徹先輩　「企業財務での経験～IR＝投資家向け広報活動とは何か」 6/28 岩井要先輩　「日本の近代建築と青年会出身の建築家」 9/27 海老沢功先輩　「シュバイツァー博士の横顔」　※会報 116 号に報告 10 月岡村光倫先輩　「小さな会社に入った YMCA 舎生の半年後」 11/22 岩見宣治・塚本文武・半田武比古の各先輩　「空港の話」 1/31 岩島久夫氏　「9・11 同時多発テロ発生の背景と多様化する国際安

	全保障環境」 ◆年次別同窓会： 4/21 昭 26-30 年卒の会（束野宗利氏「これからの食糧問題」、13 名出席） 4/21 カップルの会（宗教音楽研究会合唱団の仲間） 4/29 森と木の会（終戦直後卒業生の会、若林信生、中平健吉氏を含め 15 名出席） ※以上は会報 115 号に報告 7/10 シニア OB 会（戦前卒業生の会、増田陸郎氏「聖地巡礼の話」、9 名出席 ※会報 116 号に報告 9/7 さりげなく集う YM の会（原田明夫検事総長就任祝賀、33 名出席） ※会報 116 号に報告 10/20 若手会（1970 年前後卒業生の会、13 名出席） ◎2001 年度決算の件 ◎退任常務理事に対する退職慰労金贈呈の件 ◎その他 ◆浅野記念奨学金の報告 ◆マンション管理組合加入問題は、組合費の使途が当会と関係が薄いものが多く、また非公式に駐車場使用料を組合に差し出せとの要求が出されたため、加入しない旨の回答をしたが、その後まったく反応がないままに推移 ◆5/22 東京都教育委員会に 2000 年度事業報告及び収支報告書を提出
2002/5/23	公開講演会　講師：野田英二郎氏（日中友好会館副会長、本会協力会員）、30 名出席。※会報 117 号に講演録
2002/6/8	公開講演会　講師：富岡幸一郎 関東学院大学文学部助教授　「カールバルトと現代」　※会報 118 号に講演録
2002/8/1	会報 117 号発行 ＊巻頭言：野口吉三郎 常務理事　「よき共同体の生い立ち」 ＊退任挨拶：徳久俊彦　理事　「常務理事としての 6 年」
2002/9/7	2002 年度第 2 回理事会：大口邦雄理事長、他理事出席 ◎2002 年度下期事業計画の件 ◆聖書研究会（弓町本郷教会 松本敏之牧師によるヨハネ福音書） ◆合同祈禱会：9/12 武蔵野自由福音教会 小川国光牧師などを計画 ◆OB 座談会：9/26 村上俊一氏 1966 卒　「病理学から見た生命倫理」 ◆公開講演会など ◎その他

	◆寄宿舎の冷房設備設置の件 ◆女子学生入居のため、女子用トイレ・浴室設置の件 ◆東京都教育委員会の監査における指摘事項の件：①入舎募集を東大生に限ることは望ましくない、②寄宿舎の非課税認定基準は「1 室 15 ㎡以下」と「舎費 2 万円以下」、③評議員数が理事数に比して過大、④流動運用資産が過大、⑤ホームページによる財務資料の公開など ◆東京大学学内団体の「東京大学総長賞」受賞（当会指導顧問教官 霜垣幸浩助教授より連絡あり）
2002/11/9	公開講演会：講師：杉山好 東大名誉教授「バッハの器楽曲とカンタータの接点について」
2002/11/11	駿河敬次郎氏が「キリスト教功労者顕彰」を受賞　※会報 118 号に報告
2002/11/30	関西 OB 会：講師 井出千束氏（1967 年医卒）「脊椎の再生＝最近の動向」、21 名出席 ※会報 119 号に講演録
2002/12/14	クリスマス祝礼拝　説教：上田光正 美竹教会牧師（1962 年教養卒）「恐れるな」 ※会報 119 号に説教録 舎生劇：「世界で一番馬鹿な旅人」　65 名参加
2002/12/14	会報 118 号発行 巻頭言：大口邦雄（1956 年理・本会理事長） リレー随想：大沢寿一氏（1932 年工）　「追分回想」（吉野作造先生とのエントツ会など）、岡田良一氏（1941 年法）「東大 YMCA と私」、青木康氏（1954 年法）「学 Y と私」、川原正言氏（1959 年工）「この世界はどう動くのかな」 聖研：松本敏之 経堂緑岡教会牧師　「アメリカの武力行使に反対する」
2003 年（平成 15 年）	
2003/2/8	2002 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎事業報告：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、関西 OB 会、公開講演会など ◎寄宿舎運営改善の件 ①寄宿舎募集要項の変更 ◆現行の応募資格「キリスト者またはキリスト者たらんとする男子東大生」の原則を維持するが、特に希望する場合は、「A：東大女子学生、B：主として OB 会員の子弟の男女他大学生、C：（空室がある場合には）OB 会員・東大教授・当会に関係の深いキリスト教教職者等の推薦

	による 1 年以内の短期逗留」も選考により入舎を認める。 ◆「キリスト者たらんとする」者の具体的な基準の運用については、現在の高校生の教会離れの現況に鑑み、1〜2 年生については、キリスト教の知識が少ない者でも「キリスト教に多大な関心を持つ者」は弾力的に対応する。 ◆外国人留学生の枠は全体で 5〜7 人以内を目安とし、常時 25 名程度の入居者の確保を目指す。 （参考）＊女子学生の入舎状況（京大地塩寮は 24 人中 6 人、東北大渓水寮は 14 人中 3 人、九大名島寮は 11 人中 4 人）＊「入寮資格にキリスト者であることを問わない」と明記する寮は、京大地塩寮、北大汝洋寮、九大名島寮 ＊受洗礼者の入寮状況（早大信愛学舎は 12 人中 0 人、九大名島寮は 10 人中 1 人、東北大渓水寮 14 人中 2 人） ②環境改善設備工事の実施：空調設備の増設・改修、電気設備容量の増強、浴室増設・洗面所改装などの居住環境改善工事を実施する（工事費用：3,000 万円)。 ③舎費の改訂：舎費合計で現行 44,000 円⇒53,000 円に改訂、内訳としては、部屋代（18,000 円⇒20,000 円)、食材費（10,000 円据置き)、賄人件費負担（4,000 円⇒7,000 円)、光熱水費等（8,000 円⇒9,000 円)、空調設備負担金（0 円⇒4,000 円)、自治庶務雑費（4,000 円据置き)。また入舎一時金は 40,000 円⇒50,000 円（うち 25,000 円は退舎時返済）に改訂。なお、値上げは 03 年 7 月から 3 年間で、激変緩和措置を講じつつ実施する。 ◎特別寄付金募集の件：特別工事 3,000 万円の実施による資金減少に対応して、特別寄付を募集する。実施期間は、監督官庁の許可取得後 03 年秋以降 3 年間、目標金額は 2,000 万円 ◎03 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、関西 OB 会、公開講演会など ◎03 年度予算の件：
2003/3/5	ファミール本郷の漏水事故により浸水被害が発生。復旧工事の負担につきマンション側と協議し、9/22 に示談が成立。当方は、礼拝堂の天井・床、3F と 4F の壁面張替え、314 号室の補修を行い、その費用：約 1,500 万円を受領した。
2003/5/10	第 115 周年創立記念礼拝　奨励：橋本徹 本会理事　「主のみ心のままに」、50 余名出席。※会報 119 号に講演録
2003/5/10	2003 年度第 1 回評議員会・理事会 ◎2002 年度事業報告： ◆聖書研究会：松本敏之 弓町本郷教会牧師によるヨハネ福音書（松本

	先生は 4 月から経堂緑岡教会牧師） ◆夏季修養会（7/29～30）:「自らのキリスト教信仰について語る」、秋川渓谷国民宿舎にて 15 名参加 ◆合同祈禱会 4/11 宮原守男氏（本会監事）　「ヨハネの甘え」 5/9 鋤本幸司先輩　「預けること」 6/13　中村圭助 小石川ルーテル教会牧師　「私にとっての祈り」 7/11 小林宏 銀座教会牧師　「祈りの本質とは何か」 9/12 小川国光 武蔵野自由福音教会牧師　「伝道と愛」 10/10 山本裕司 西片町教会牧師　「自由を与える神」 11/14 牧野 宮原伝道所牧師　「闇が濃くなっている」 ◆OB 座談会 7/25 花川耕介先輩（2003 年・新領域創成科学研究科卒）「フィンランドの留学を終えて」 9/26 村上俊一先輩（1966 年医）　「生命倫理　生まれてから死ぬまで」） 10/24 矢治健太郎先輩（1991 年教養）　「天文学と畑中武夫」 11/28 山口周三先輩（1964 年法）　「真善美・信仰＝南原繁先生に学ぶ」 1/30 和久田康雄先輩（1957 年法卒）　「陸海空の交通安全のために」 2/27 野口吉三郎常務理事（1959 年法卒）　「学生・社会生活で感じたこと」 ◆世代別同窓会 4/13 森と木の会（終戦直後卒業生の会、15 名出席） 4/20 昭和 26～30 年卒業生の会（12 名出席） 4/26 さりげなく集う YM の会（昭和 32～41 年卒業生の会、26 名出席） ※以上 3 件は会報 117 号に報告 ◎他大学交流：11/30「同志会」と親睦体育会開催
2003/6/7	春季公開講演会　講師：小塩節 前フェリス女学院長　「ドナウ川のほとりでー4 世紀史上初のゲルマン語聖書の謎」、65 人出席
2003/7/22	会報 119 号発行 ＊巻頭言：宮原守男監事（1952 年法）　「ペテロとパウロの剣」 ＊リレー随想：福場博康氏（1945 年農）「青年会時代追想」、奥田健二氏（49 年法）「親鸞聖人から学ぶ」、谷啓輔氏（1953 年法）「青年会寄宿舎と私」 ＊報告：中村義哉 学生主事　「YM 洪水事件顛末記」

	＊追悼：徳久俊彦理事（1953 年経）「『サマリア人』を継ぐ者　隅谷三喜男先生を偲ぶ」
2003/9/20	理事会：大口理事長、他理事が出席 ◎2003 年度上期事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、公開講演会など ◎会館建物外壁補修工事の件：外壁等の劣化が見られるため、マンション側の外壁等大規模修繕工事に合わせて、当方の会館・寄宿舎部分の外壁等改修工事を行うもの。現在の見積り経費は 3,000 万円で、2004 年 5 月理事会にて最終決定したうえで、同 9～10 月に工事を実施する予定 ◎特別醵金募集実施の件：03/2/8 評議員会・理事会にて決定した特別寄付金募集については、「汚水排水管の全面更新及び生活環境改善工事」（工事費約 3,500 万円）が完了し、また新たに外壁補修工事を実施することとしたため、次のとおり、会員に特別醵出をお願いする。（特別寄付金：3,000 万円以上、期間：2003 年 10 月～2006 年 9 月、特別借用金：限度額 2,000 万円、期間 2006 年 9 月から最大 5 年間） ◎評議員全員任期満了による改選の件：昨今の当青年会の運営課題に鑑み、全員を再任する。この結果、評議員は以下の各氏。石原力、北村一雄、苅野照、松村寛三郎、久保田省吾、高久史麿、今村一男、荒木亨、和久田康雄、橋本章、黒川次郎、二神康郎、原田明夫、高沢金吾、飯高茂、榊裕之、湯原哲夫、梶村慎吾、木村庸五、垣内史堂、岩見宣治（再度新任）、大蔵浩之、北彰、高本真一、浦西友義、山口栄一、合田隆史、藤井信吾、三沢和彦の各氏（定数 30 名以内のうち総数は 29 名、任期は 2004/1/1～2005/12/31） なお、次回改選時（2006/1/1）より、「80 歳以上または、任期中に 80 歳を迎える評議員は、原則として勇退する」こととする。 ◎2003 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、公開講演会、社内音楽会など
2003/11/15	東大 YMCA 音楽会（グランドピアノ寄贈感謝記念）　ピアノ演奏：後藤直子氏、津田美佐子氏、大島由里氏、合唱：アカデミカ・コール有志、器楽演奏：舎生・OB など
2003/11/8	秋季公開講演会　講師：杉山好先生「対話の音楽家　バッハ」、57 人出席
2003/12/13	クリスマス祝礼拝　説教：菅原力 弓町本郷教会牧師　「飼い葉桶に横たわるキリスト」　※会報 121 号に説教録 舎生劇：「ヨセフ物語」（団長：玉置恵一、脚本：細野篤・鹿島真人）
2003/12/13	会報 120 号発行 ＊巻頭言：梶村慎吾氏（1969 年法）

	リレー随想：村松武司氏（1955 年医・薬）「神様への手紙」、　細越康暢氏（1953 年理）「世相雑感」、高野晋氏（1961 年文）「ますますの『戦後』」 ＊寄稿：徳久俊彦氏（1953 年経）「斉藤惣一大先輩について」、安達貴教氏（1996 年経）　「フィリップ・アリエス『〈子供〉の誕生』を巡る、ある経済学徒の見方―アナール学派とマルクス学派の融合への一試論」
2004 年（平成 16 年）	
2004/2/21	2004 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2003 年度事業報告の件、◎2004 年度事業計画の件、◎2004 年度予算の件 ◎理事監事全員任期満了改選の件：理事は理事会提案のとおり改選し、監事は全員を再任した。また理事選任後の互選により、理事長に大口邦雄氏、常務理事に野口吉三郎氏（1959 年法）が選任された。この結果、新理事体制は、大口邦雄、野口吉三郎、徳久俊彦、岩井要、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、梶村慎吾（1969 年法）、月本昭男、吉岡直人、学生理事は中村義哉、村上善道、田川義之、細野篤、松下幸敏、監事は宮原守男、弥永真生（以上再任）の各氏 ◎学生主事委嘱の件：学生主事に中村義哉氏が再選された。任期は 1 年間 ◎その他 ◆浅野記念奨学金の件 ◆2002 年 7 月に行われた東京都教育委員会の監査結果に基づく指導書を 2003 年 7 月に受領。「保有株式の処分」と「内部留保率の適正水準化」に留意されたい、との指摘があった。
2004/5/16	創立 116 周年記念礼拝　奨励：宮田光男 東北大名誉教授「《荒野の 40 年》以後―V ヴァイゼッカーの政治思想」　※会報 121 号に説教録
2004/5/16	2004 年度第 1 回評議員会・理事会 ◎2003 年度事業報告 ◆聖書研究会：上田光正 美竹教会牧師（1961 年教養卒・本会 OB）による「ローマ人への手紙」 ◆夏季修養会（7/22～24）：「小学唱歌と讃美歌の関係を探る」、草津温泉リゾートホテルにて 13 名参加 ◆合同祈禱会 4/10 宮原守男 本会監事 「ペテロの不器用」 5/8 平野耕一郎 東京ホライズン代表　「ヤベツの祈り」 6/12 安海春男 東京インドネシア教会牧師　「福音の本質」

	7/10 内坂晃 稲城教会牧師　「内村鑑三 人生最大の遺物」 9/11 佐々木満雄 弁護士　「どんなことでも くよくよするな」 10/9 山本裕司 西片町教会牧師　「ダビデ王の物語」 11/12 戒能信生 東駒形教会牧師　「空白」 1/15 三谷康人 VIP クラブ東京会長　「逆転勝利の人生」 2/12 江渕篤史 日本キャンパスクルセード スタッフ「あなたの神はどのような神ですか」 3/11 小野浩司 YMCA 同盟関東スタッフ　「視点の転換」 ◆OB 座談会 6 月 松田恵利也先輩（1998 年工学系研究科）　「新幹線も家庭も安全運転で」 9 月 渡辺頼勝先輩（2001 年医卒）　「職業としての医師」 10/23 増島俊之氏（元総務事務次官・中央大教授）　「天国と地獄」 1/29 中島昭夫先輩（1969 年工）・朝日新聞記者）　「情報公開法とその使い勝手」 2/26 呉正憲先輩（2002 年経）　「大会社に入ってしまった OB の 1 年」 ◆年次別同期会 4/12 森と木の会（1945～50 年卒業生の会）　※会報 119 号に報告 4/19 昭和 26～30 年卒業生の会　※会報 119 号に報告 9/29 シニア OB 会（昭和 12～19 年卒業生）※会報 120 号に報告 ※以上 2 件は会報 119 号に報告 ◎2003 年度決算の件 ◎修繕工事等 ◆外壁補修工事の件：工期（8/17～12/26、ファミール本郷と同時施工)、見積金額（約 2,800 万円） ◆2 階の旧賄い人室に浴室を新設。旧トイレを改修して女性用トイレを新設（いずれも女子学生受け入れの準備のため)） ◎特別醵金中間報告の件：寄付金（2004/5/15 現在、157 人、送金額約 1,400 万円)、借用申出額（15 人、約 900 万円） ◎その他：6/27 東京都教育委員会に 2000 年度事業報告及び収支報告書を提出
2004/5/29	春季公開講演会　月本昭男 立教大学文学部教授「旧約聖書と現代／一神教は暴力的か」　※会報 121 号に講演録
2004/7/26	会報 121 号発行 巻頭言：橋本徹氏（1957 年法・本会理事） ＊リレー随想：石原力氏（1948 年医)「戦争末期の青年会」、前田宗治

	氏（1953 年工）「北欧と出会って 40 年余」、三浦永光氏（1961 年教養）「政治における言葉の魔力と戦争」、岡本謙一氏（1968 年理）「近況報告」、清水正之氏「差異をうけとめる感性」 ＊投稿：徳田信氏（修 1 年）「再洗礼信仰と戦争批判」
2004/9/18	2004 年度第 2 回理事会 ◎2004 年度上期事業報告の件 ◆聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会など ◎「寄宿舎建物・設備補修」特別寄付金中間報告の件：「借入金」の借入は中止（外壁補修工事費が予算より大幅に削減でき、また特別寄付金の入金が速やかに進行して、借入の必要が解消） ◎2004 年度下期事業計画の件：公開講演会は杉山好名誉教授によるバッハ講演会を予定していたが、外壁補修工事等により、来年春に延期する。 ◎その他 ◆浅野順一記念奨学金の報告 ◆同盟委員に梶村慎吾理事を選任（前任は岩井要理事） ◆短期留学生逗留： 6/7～7/24、Joel Joos ベルギー・ライデン大学教授「丸山真男、津田左右吉の研究」
2004/11/20	関西 OB 会　特別講演：西村和雄 京都大学経済研究所教授「学力論争とは何であったかー本当の生きる力をつける教育とは」、関口哲生氏（1954 年工）「こぼれ話あれこれ」 ※会報 122 号に講演録と報告
2004/12/11	クリスマス祝礼拝　奨励：山北宣久 聖ヶ丘教会牧師（日本キリスト教団議長）　「最後の機会」　※会報 123 号に説教録 舎生劇：「聖なる夜の贈り物」（団長：中山淳雄）
2004/12/11	会報 122 号発行 ＊巻頭言：徳久俊彦氏（1953 年経）　「ディーン・リーパーのこと」 ＊リレー随想：住谷一彦氏（1949 年文）「青年会寄宿舎生活の思い出」、藤村洋氏（1953 年工）「天を仰いで、地を這って」、成田勝彦氏（1960 年工）「ヒトとエネルギー」、中島昭夫氏（1969 年工）「巣立って、舞い戻る我が『古巣』」、岡本嘉六氏（1971 年農）「食・いのち・環境を繋ぐもの」 ＊寄稿：平井満喜男氏（1937 年文）「真鍋中隊長の思い出」、増田陸郎氏（1938 年医）「私の青年会時代のこと」 ＊追悼：徳久俊彦氏（1953 年経）「高崎望君（1955 年医・2004/4/26 帰天）を悼む」

2005 年（平成 17 年）	
2005/2/19	2005 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2004 年度事業報告 ◆公益法人制度改革法案が審議中。2006 年通常国会において成立すれば、2-3 年の移行措置を経て施行されるので、対応策の準備が必要 ◆寄宿舎建物補修特別醵金は 2/15 現在約 1,800 万円の募金あり ◆聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、公開講演会など ◎2005 年度事業計画の件　◆聖書研究会：近藤勝彦氏、創立記念礼拝、公開講演会 ◎2005 年度予算の件 ◎その他報告 ◆女子学生の入舎について、学生理事から報告は以下の通り。 『理事会はすでに女子学生の入舎を認めており、すでに女性用設備の改修も完成している。現状で女子学生の入舎申し込みがなかったわけではないが、まだ一人も入舎していない。2005/1/13 の臨時舎内総会において議論の結果、参加者 16 名のうち、女性入舎に賛成が 2 名、反対が 12 名、保留が 2 名で、舎生側としては、当面女性は受け入れないことで総意を得た。反対意見の中心は女性が入った場合の生活上の危惧であり、キリスト教的にも保守的にならざるを得ないとの趣旨。また現には舎生の努力の結果、今春は男子学生で満員であり、応募者を断っている状況である。この問題の決定権が理事会にあることは承知しているので、対処方法につき理事会においても真摯に話し合っていただきたい。』 これを踏まえ、理事会で活発な議論が行われた。結論的には、現段階では、募集基準の変更ではなく、「ただ今は、女子の方は受け付けていない」旨を募集案内等に記載することを容認する、とのコンセンサスが得られた。 ◆浅野記念奨学金の件：年間を通じ、5 名に支給
2005/5/14	創立 117 周年記念礼拝　奨励：木村庸五（本会評議員）「憲法とキリスト者」、40 名参加。※会報 124 号に講演録
2005/5/14	2005 年度第 1 回評議員会・第 1 回理事会 ◎2004 年度事業報告の件 ◆舎生数は 22 人～24 人で推移した。 ◆聖書研究会：上田光正 美竹教会牧師（1961 年教養卒）を講師に迎え、ローマ人への手紙」を学ぶ。 ◆夏季修養会（8/25～26）：聖書研究「キリスト教の教派」、東大農学部生命科学研究所付属 科学の森研究センター 秩父演習林川俣学生宿舎にて、参加 11 人

	※会報 122 号に報告 ◆秋季公開講演会は、会館の外壁等大規模修繕工事のために中止 ◆合同祈禱会： 4/8 宮原守男 監事　「パウロの挫折」 5/13 後藤茂末 南浦和教会牧師　「キリストと呼ばれるイエスの系図」 6/10 渡辺大修 弓町本郷教会伝道師　「祈る時には」 9/9 瀬戸重樹氏（伝道者不登校生塾）　「キリストの愛に生きよ」 10/14 堀江綾子 神学生（聖ヶ丘教会）　「縦と横」 11/11 所 悠 調布バプテスト協力牧師　「カレブのように」 1/13 藤川義人 神学生　「サムソンの祈り」 2/10 粕谷甲一 神父　「‘聖体の年‘　再起への希望をこめて」 ◆OB 座談会、 4/22 湯原哲夫先輩・榊裕之東大教授 6/24 三沢和彦先輩（本会評議員）「創造的研究開発への道・量子波束制御」 7/22 勝部圭一先輩（1998 年理）「地図事業に携わって感じること」 9/22 萩野瑞先輩（1962 年法）「JICA12 年と最近考えること」 10/28 原崎郁平先輩（1942 年工）「物つくりの現場から」 11/25 真野玄範先輩（1995 年文）「エキュメニカルと YMCA、NCC」 1/27 大橋祐治先輩（1958 年経）「私の信仰、非暴力平和部隊の挑戦」 ◆世代別同窓会 4/15 森と木の会（終戦直後卒業生の会、14 名出席）　※会報 121 号に報告 5/22 昭和 26～30 年卒業生の会、9 名出席）　※会報 121 号に報告 11/15 シニア OB 会（昭和 12～19 年卒業生の会、8 名出席）　※会報 122 号に報告 9/3 さりげなく集うカップルの会（谷間ゆかり「ルリスダンラバレ」 於：西片町、8 組・19 名出席）　※会報 122 号に報告 ◎2004 年度決算の件：外壁補修工事の減により有価証券取崩し（1,000 万円）が不要となった。当期収支差額は 210 万円の減で、2 月の見込み（500 万円減）より好転した。特別醵金は、05/5/10 現在で 1,800 万円 ◎次期理事長の人選については、協議の結果、原田明夫氏（1963 年法卒、前検事総長、現在スタンフォード大学客員教授）が最適任であり、大口理事長より理事会の総意として就任要請をすることとした。 ◎その他： ◆外壁補修工事は 2004/8/9 着工したが、遅延して、2005 年 3 月完工 ◆短期留学生として、Joel Joos　ベルギー・ライデン大学教授が逗留

	（6/7～7/24)、丸山真男、津田左右吉の研究のため ◆新潟県中越地震　ボランティア活動に舎生が 5 名参加 ◆教会キャラバン：弓町本郷、西片町、富士見町、聖が丘、美竹、池袋教会を訪問 ◆6/24 東京都教育委員会に 2003 年度事業報告及び収支報告書を提出
2005/6/11	春季公開講演会　講師：杉山好東大名誉教授　「宮廷音楽家バッハ」、50 人出席 ※会報 123 号に講演録
2005/7/20	会報 123 号発行 ＊巻頭言：関口哲生（1954 年工）　「高齢者介護が、今、新しくなっている」 ＊リレー随想：五十嵐雄一氏（1948 年法)「東大 YMCA 外史」、雨宮新氏（1953 年法)「老いを生きる人々と共に」、白井文夫氏（5194 年法)「随想」、百瀬泉氏（1956 年文)「使徒パウロとの出会いー『トレフォンターノ』教会の思い出」、高橋雅二氏（1961 年法)「二度あることは三度ー出会いの不思議」、須藤自由児（1969 年工)「私の青春・YM 寮」、石川憲彦氏（1973 年医)「雑念」 ＊追悼：徳久俊彦氏（1953 年経)「渡辺忠雄（1924 法・2005/4 帰天）大先輩を送る」、関榮次氏（1953 年法)「『中澤さん』(1953 年文・2004/10/14 帰天）を偲ぶ」、徳久俊彦氏（53 年経)「ゼール・ゾルガー（魂への配慮者）中澤宣夫さん」、岩井要氏（1954 年工)「中澤宣夫兄を悼む」
2005/9/17	2005 年度第 2 回理事会；大口邦雄理事長、他理事出席 ◎2005 年度上期事業報告並びに 2005 年度下期事業計画の件 ◆4 月当初から 25 人在舎、うち留学生 3 人 ◆聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会 ◎2005 年度予算執行の一部変更の件； ◆投資有価証券のハイイールド・オープン債は今年度中に処分し、通常の債権に切り替える。 ◆舎費を本年 10 月より値上げする（舎費全体で 50,000 円、うち寮費 34,000 円、食費 15,000 円、庶務費 1,000 円)。 ◎評議員全員任期満了（2006/1/1～2007/12/31）による改選の件：勇退予定は 6 名、その他は全員再任の方向。12 月までに候補者の意向確認を行う。 ◎「寄宿舎建物・設備補修」特別寄付金中間報告：2005 年 8 月現在で、2,068 万円 ◎その他

	◆ファミール本郷の消防訓練に参加 ◆7 月に厨房土間、休憩室とトイレなど一部改修を実施
2005/10/22	公開講演会　講師：徳善義和 ルーテル神学大学名誉教授（元神学校校長）　「自由と愛に生きる『キリスト者の自由』を巡って」、40 人出席 ※会報 124 号に講演録
2005/12/8	会報 124 号発行 ＊巻頭言：野崎昭弘氏（1959 年理）　「過度の単純化を恐れる」 ＊リレー随想：田浦武雄氏（1948 年文）「青年会寄宿舎生活の想い出」、深瀬忠一氏（1953 年法）「或る寮生」、徳永五郎（1954 年文）「出会い」、清水博氏（1956 年医薬）「青年会宿舎の日々とその後」、原田明夫氏（1963 年法）「東大 YMCA から戴いたもの」、大蔵浩之氏（1971 年経）「素朴な信仰」、国生肇（1971 年法）「刑事司法への国民参加雑感」 ＊追悼：北村一男（1948 年経）「孟信さん（1955 年医・2004/4/26 帰天）を偲んで」、増田陸郎氏（1938 年医）「山本富雄君（41 年経・2005/8/5 帰天）の死を悼みて」、徳久俊彦氏（1953 年経）「山本富雄先輩を惜しむ」 ＊遺稿：山本富雄氏「ジャングル・エレジー」、「アメリカ俘虜記」
2005/12/10	クリスマス祝礼拝　説教：近藤勝彦 東京神学大学教授「クリスマスの 2 つの名」 舎生劇：「ヤコブ物語」（団長：内山健太郎、脚本：小野雄人）
2006 年（平成 18 年）	
2006/2/18	2005 年度第 3 回評議員会・理事会 ◎事業計画承認の件 ◎収支予算承認の件 ◎理事・監事改選の件 3/31 を以て任期満了となるため、以下のとおり改選した。 先輩理事：徳久俊彦、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、野口吉三郎、梶村慎吾、月本昭男（以上重任）、原田明夫、清水正之（以上新任）、※大口邦雄、岩井要、吉岡直人の各理事は辞任） 学生理事：西浜悟史、内山健太郎、小野雄人、鹿島真人、細野篤　※中村義哉、田川義之、王嶺、松下幸敏の各理事は辞任 監事：宮原守男、弥永真生（以上重任） ◎理事長選任の件 新理事の互選により原田明夫氏を選任した。
2006/5/13	創立 118 周年記念礼拝　奨励：原田明夫理事長　「隔ての壁を超える

	途」（エフェソ書 2 章 14～16 節）　※会報 125 号に講演録
2006/5/13	2006 年度第 1 回評議員会・理事会 ◎2005 年度事業報告の件 ◆4 月当初より 25 名在舎、10 月に家庭事情により 3 名退舎 ◆聖書研究会：近藤勝彦 東京神学大学教授を講師として、「キリスト者のアイデンティティ」、「贖罪の信仰」、「洗礼の意味」を学習 ◆夏季修養会（8/29～30）：伊豆大島・波浮港・都立大島セミナーハウスにて、14 名参加 ◆7/9 日本バプテスト連盟恵約宣教教会とのソフトボールの交流戦 ◆合同祈禱会 4/14 宮原守男 本会監事「トマスの疑い」 6/16 松本敏行 経堂緑が丘教会牧師「手をさしのべて」（コンゴ共和国難民申請者のグローシャル・アルセン氏同席） 7/14 三浦真琴 滝乃川教会神学生「神のおられるところ」 9/15 北村裕樹 弓町本郷教会伝道師「神の招き」 10/20 太田修 春風寮長「私にとっての聖書」 11/17 日野宝子 代田教会神学生「蒔かれた種の話」 1/12 河瀬愛子 ホーリネス本田教会「ロシア宣教に召されて」 2/9 草島豊 日本 YMCA 同盟牧師「自らの分別に頼らず、主を覚える」 ◆OB 座談会 4/28 新入生歓迎会、橋本章　賛育会理事長出席 5/26 清水知足先輩(1998 年法)　「外務省の業務・ODA の現状」 6/16 懇親晩餐会（パレスホテル）　駿河敬次郎先輩（1944 年医） 9/29 平野昭弘先輩（1982 年法）　「『軍縮地球市民』の創刊について 11/24 梶村慎吾先輩（1969 年法）　「広島アウシュビッツ平和行進；社会福祉の現状」 1/19 前川守先輩（1982 年文）　「我が国の経済・社会の変遷・職業選択」 ◆世代別同窓会 4/9 森と木の会（終戦直後卒業生の会）　12 名出席　※会報 123 号に報告 4/16 昭和 26～30 年卒業生の会、14 名出席)、岩下昭比古氏のピアノ独奏鑑賞 10/18 合同同窓会「岩下さんアンコールの会」、18 名出席 11/8 シニア OB 会（昭和 12～19 年卒業生の会、及び 80 歳以上の会)、6 名出席 11/19 さりげなく集う YM の会、30 名出席）※会報 124 号に報告

	◎2005 年度決算の件 ◎大口理事長辞任に伴う理事 1 名選任の件；理事候補は長島章氏で 2006/6/1 に就任見込み。任期は前任者の残任期間で、2008 年 3 月 31 日まで。 ◎学生主事委嘱の件：4 月 1 日より田川義之氏に委嘱する（追認）。任期は 1 年 ◎その他： ◆浅野順一記念奨学金：前年度継続者 2 名に加え、新規に 4 名決定 ◆教会キャラバン：経堂緑が丘教会、信濃町教会、西片町教会 ◆短期留学生（研修医師）：ザンビア Tsibu,BBUKU 氏が 7/20～8/11 に逗留 ◆加藤せつさんが退職、在籍は 1975/6/1～2006/7/11 の 31 年 2 か月 ◆6/27 東京都教育委員会に 2004 年度事業報告及び収支報告書を提出
2006/6/17	春季公開講演会　講師：榊裕之 当会評議員「技術と人の関わりを考える…地における技術と天上への祈り」、清水正之 当会理事「技術者と倫理・・・理科系大学の経験を基にして」
2006/7/11	会報 125 号発行 ＊巻頭言：橋本章（1959 年法）「賛育会の歩みとともに」 ＊リレー随想：上柳昭治氏（1950 年農）「YM の時代とその後―出会いの想い出―」、宮田親平氏（1954 年医）「空中を飛んだ話」、大久保忠旦氏（1956 年農）「中国東北部を旅して考える」、赤堀恒雄氏（1959 年法）「今思うこと」小池将文氏（1970 年法）「還暦を迎えて」、岩見宣治氏（1971 年工）「貧しきこと」 ＊追悼：徳久俊彦氏（1953 年経）「平井満喜男先輩（1937 年文・2005/11/26 帰天）のこと」、関口哲生（1954 年工）「古川清先輩（1940 年農・2005/6/13 帰天）を偲ぶ」、徳久俊彦氏「鮎澤真澄さん（52 年文・2005/10/28 帰天）を偲ぶ」
2006/9/16	2006 年度第 2 回理事会：原田明夫理事長、他理事が出席 ◎2006 年度上期事業報告並びに下期事業計画について ◎野口常務理事辞任に伴う新常務理事選任の件：野口氏より辞任の申し出があり、これを承認するとともに、後任の常務理事に長島章氏を選任した。 ◎宿舎・建物補修特別寄付金の件：2006 年 9 月現在で、入金額計は 2,218 万円となった。目標額の 3,000 万円は未達ながら過去最高の募金額を達成。当初資金枯渇も危惧されたが、結果として若干の余資、積立金を残し、一連の設備補修を完了した。
2006/10/28	関西 OB 会　講師：速水正憲 京都大学ウイルス研究所教授（1967 年

	農)「サルから学ぶ HIV との共生・・・HIV の起源と将来、そのワクチン開発」　※会報 126 号に報告と寄稿
2006/11/11	秋季公開講演会　講師：杉山好東大名誉教授　「バッハのカンタータに見る信仰と希望と愛～音楽と霊感をもってする生ける福音伝達」
2006/12/9	クリスマス祝礼拝　説教：山本裕司 西片町教会牧師　「クリスマスは真夜中の祭り」 舎生劇：「銀河鉄道の夜」(団長：金寛英、脚本：半田秀雄)
2006/12/9（平18)	会報 126 号発行 ＊巻頭言：原田明夫理事長（1963 年法)「グローバル化の潮流と国家の在り方」 ＊リレー随想：河竹和夫氏（1949 年文)「私の本郷時代"四年半"」、久保田省吾（1954 年法)「思い出す事ども」、黒岩恭浩氏（1956 年工)「卒業後の 50 年―ワイズメンズクラブ他」、紅山雪夫氏（1960 年教育・法)「古代からの信仰を伝えてきた西アジアやアフリカのキリスト者たち」、寺尾榮祐氏（1964 年経)「中途半端な人生」、久保田信行氏（1968 年法)「サラリーマン生活を終えて」
2007 年（平成 19 年）	
2007/2/17	2006 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2007 年度事業計画の件、◎2007 年度収支予算の件 ◎学生主事選任の件：田川義之氏の任期の 1 年間延長を決定した。
2007/5/12	第 119 周年創立記念礼拝　奨励：橋本章 賛育会理事長「賛育会―隣人愛の実践を目指して」
2007/5/12	2007 年度第 1 回評議員会・理事会 ◎2006 年度事業報告の件 ◆舎生数は 4 月当初 23 人でスタート、その後 23～25 人で推移、以降 3 月まで 26 人在舎 ◆聖書研究会：今年度も引き続き、近藤勝彦 東京神学大学教授を講師として、聖書の基本的な事柄を学んだ。 ◆夏季修養会：8/8～8/9 に奥多摩の福音の家にて、11 名参加 ◆教会キャラバン：三軒茶屋教会 ◆合同祈祷会 4/13 宮原守男 本会監事　「イエスの弟子ヤコブ」 6/8 鍋谷憲一 根津教会牧師　「愛」 7/14 坪井節子 カリコン子供センター理事長　「子供達の人権の問題」 9/15 山本昇氏（国際ギデオン協会）　「ギデオン協会とは」 10/23 左藤順 牛込キリスト教会牧師　「心と魂のはたらき」

	11/9 吉田茉莉子 契約宣教教会牧師 「いける命の水」 1/11 橋本いずみ 富士見町教会牧師 「賜物と招き」 2/8 長島章 本会常務理事 「私の信仰遍歴」 ◆教会キャラバン：弓町本郷教会、根津教会、池袋東教会 ◆OB 座談会 7/27 元田浩先輩（1965 年工）「明示的な理解に魅せられて（原子力から人工知能まで)」 9/28 片平洌彦先輩（1966 年医） 「日本国憲法と私たちの命、健康、平和」 11/23 中川健朗先輩（1983 年工） 「科学官僚としての歩みから」 1/25 福島一生先輩（2004 年法） 「三年目の転職～天職を探して」 ◆年次別同期会 4/8 森と木の会（1945 年～50 年卒業生の会） ※会報 125 号に報告 ◎2007 年度事業計画の件など ◎その他：7/29 当会主催の青年交流会 弓町本郷教会において、40 数名が参加
2007/6/2	春季公開講演会 講師：石川憲彦 林試の森クリニック院長（1973 年医卒)「人間の心は何故病むのか」(副題：「生物学的精神医学の発展と社会病理学の衰退の影で、飼い主を見失った羊達の迷走」) 65 名参加 ※会報 127 号に報告
2007/8/10	会報 127 号発行 巻頭言：長島章 常務理事（1962 年法） 「歴史を通して働かれる神」 リレー随想：白戸四郎氏（1948 年医)「終戦直後の東大 YMCA」、岩下昭比古（1952 年経)「あるキリスト者夫人の物語」、西村俊昭氏（1954 年文)「思い出す事ども」、磯田一雄氏（1960 年文)「彼我相学から彼我相楽へー『日台連句』の試み」、青本健作氏（1963 年法、)「闘病時代の寅彦」、島田宗洋氏（1966 年医)「不作為の罪」 追悼：「木下順二さん（1939 年文・2006/10/30 帰天）を偲ぶ」 雨宮新氏（1928 年法)、嶋三四郎氏（1939 年工)、河竹和夫氏（1949 年文)、橋本光男氏（1949 年理)、上柳昭治氏（1950 年農)、柴沼明氏（1950 年法)、徳久俊彦氏（1953 年経)、岩井要氏（1954 年工)、白井文夫氏（1954 年法）
2007/9/15	2007 年度第 2 回理事会 ◎2007 年度上期事業報告の件、◎2007 年度下期事業計画の件 ◎評議員定時改選の件：退任 2 名、再任 26 名
2007/11/17	秋季公開講演会 講師：杉山好 東大名誉教授「年末年始のバッハ声楽曲―クリスマスを巡るアドヴェントエピファニー用作品」、65 名出席

2007/12/8	クリスマス祝礼拝　礼拝説教：大住雄一 東京神学大学教授「神我らと共に」 ※会報 129 号に講演録 舎生劇：「シモンとイエス」（団長：陳崇、脚本：全員）
2008 年（平成 20 年）	
2008/1/7	会報 128 号発行 ＊巻頭言：月本昭男理事（1971 年文）　「ささやかな国際交流」 ＊リレー随想：小林正樹氏（1954 年法）「身辺雑感」、関澤純氏（1966 年農）「私の出生のいきさつと東大 YMCA」 ＊追悼：徳久俊彦氏（1953 年経）「松村寛三郎さん（1952 年医・2007/10/2 帰天）の思い出」
2008/5/10	第 120 周年記念創立記念礼拝　講師：上田光正 美竹教会牧師「歴史を変える神の言葉」　※会報 129 号に説教録
2008/5/10	2008 年度第 1 回評議員会・第 1 回理事会 ◎2007 年度事業報告の件 ◆舎生数：2007 年 3 月の退舎生が 11 名と多く、4 月当初は 18 名でスタートしたが、その後入舎募集活動を積極的に行った結果、7 月時点で 25 名までに回復。2008 年度は 3 月の退舎予定者が 3 名と少なく、25 名以上の水準を維持する見込み。 ◆聖書研究会： 2007 年度から大住雄一 東京神学大学教授を講師として「マタイ福音書」を学ぶ。 ◆8/8～9 夏季修養会：伊豆下田の東大下賀茂寮にて、10 名参加 ◆2/26 香港 YMCA 来訪と交流会開催　※会報 127 号に報告 ◆学 Y 全国・海外プログラム関東地区報告会　東大 YMCA 於いて、東大、早稲田、立教、中央、ICU の各 YMCA が参加 ◆合同祈禱会： 4/12 宮原守男 本会監事　「ステパノの殉教」 6/14 荒川博行 カトリック梅田教会司祭　「祝福と呪い」 7/12 白正煥 用賀教会牧師　「共に生きる」 9/13 斎藤真行 聖が丘教会神学生　「原体験」 10/11 東条隆進 信愛学舎会長　「二足のわらじを履き続けるか」 11/8 柴田園子 聖が丘教会神学生　「光」 1/11 安井宣夫 本郷ルーテル教会牧師　「呼ばれる」 2/14 李相勲 牧師（在日韓国基督教会総会事務局幹事）　「豊かさの創造」 ◆OB 座談会： 5/24 島田宗洋先輩（1966 年医）　「心臓ペースメーカーの父　田原

	淳」 7/26 花川耕介先輩（2000 年工）　「フィンランドの建築物と建築士として」 9/27 五百旗頭薫先輩（1996 年法）　「これまでの歩みから」 10/25 原田明夫理事長　「検事生活を振り返って」 1/24 三沢和彦先輩（1987 年理）「職業としての学問」 ◆世代別同窓会 4/14 木下順二氏を偲ぶ会（25 名出席） 6/2 若手会（15 名出席） 10/6 さりげなく集う YM の会（27 名出席） 若手会（加藤せつ姉感謝の会・憲法について考える会、14 名出席） ◆東京都教育委員会の監査の件：5 年ぶりの監査で、指摘事項としては①評議員の数が多すぎる。新定款を作る際は理事と概ね同数にとどめられたい。②寮生の対象を東大生に限ることは公益性基準（不特定多数）に合致しない（＊結果的に東大生になるのは仕方なし)、その他総じて伝票等を精査の上、しっかりと処理されており、優秀との評を受けた。 ◎その他：貸事務室契約更新の件 ◆6/25 東京都教育委員会に 2006 年度事業報告、収支報告書を提出
2008/6/7	公開講演会　講師小塩節 フェリス女学院理事長「音楽の都ウイーンの謎」　※会報 130 号に講演録
2008/8/17	会報 129 号発行 ＊巻頭言：原田明夫理事長（1963 年法）　「中国との対話について」 ＊リレー随想：渡邉守道氏（1948 年法)「東大青年会と私―60 年余前を振り返って」、束野宗利氏（1951 年法)「渺茫記」、原田郁夫氏（1952 年工)「一老人の想い」、筒井正明氏（1966 年文)「45 年前の自分からの手紙」 ＊追悼：徳久俊彦氏（1953 年経)「増田陸郎先輩（1938 年医・2007/8/1 帰天）のこと」
2008/9/13	2008 年度第 2 回理事会 ◎2008 年度上期事業報告の件、◎2008 年度下期事業計画の件 ◎公益認定のための新定款の内容の件
2008/11/1	関西 OB 会　特別講演：山川一郎氏（京大 YMCA OB・1960 経)「学 Y 運動の現状についてー私の経験と将来への願い」　※会報 130 号に報告
2008/11/8	公開講演会　杉山好 東京大学名誉教授「バッハの名曲を聴く（BMV1,140）　50 名参加
2008/12/13	クリスマス祝礼拝　説教：菅原力 弓町本郷教会牧師「神の愛が現れるとき」　※会報 131 号に説教録

	舎生劇：「愛のあるところに神あり」
2008/12/13	会報 130 号発行 ＊巻頭言：徳久俊彦理事（1953 年経）「学 Y120 周年に思う」 ＊リレー随想：：萩野谷興氏（1963 年法）「韓国人学者 姜東鎮氏と民事裁判」、井出千束氏（1967 年医）「入舎から 40 年」 ＊120 周年記念特別寄稿：中村義哉氏（2000 年経）「最近 20 年間の寄宿舎としての東大 Y の変化と不変―舎内総会議事録（1998～2007）を通して」、大澤寿一氏（1932 年工）「ある有料老人ホームでの生活体験からー白寿そしてその後―」
2009 年（平成 21 年）	
2009/2/14	2008 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2008 年度事業報告の件 ◎2009 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会 ◎学生主事選任の件：2009 年度の学生主事として、村上善道氏（総合文化研究科大学院博士課程 2 年）を選任した。 ◎公益財団法人となるべく公益認定の取得を目指すことの承認の件：2008 年 12 月より公益法人法制が施行され、5 年以内に公益財団法人か一般社団法人に移行しなければならない。東大 YMCA は、以下の理由から公益財団法人となることを目指したい。 1. ステータスシンボル（社会から公益性が認められる） 2. 寄付金が寄付者の所得控除に対象となる。 3. 当財団にとって、受取利息が非課税となり（一般財団法人は課税）、収益事業に係わる法人税が大幅に軽減される。将来の問題として、固定資産税がどうなるかの不安を解消できる等メリットが享受できる。一方、監督官庁の監督下に引き続きおかれることとなる。
2009/5/9	創立記念礼拝　説教：賀来周一 福音ルーテル教団引退牧師「現代社会の忘れ物」、35 名出席。※会報 131 号に説教録
2009/5/9	2009 年度第 1 回評議員会・第 1 回理事会 ◎2008 年度事業報告 ◆舎生数：2008 年度は、前年度の退舎生が 3 名と少なく、年度前半で 28 名と満杯になり、年間平均では 27 名弱と予算（24 名）を大きく上回った。しかし、年度末から本年 4 月にかけて退舎生が 11 名と近年にない多数に上り、4 月末現在で 17 名と低水準となった。今後強力な入舎勧誘を行う。 ◆聖書研究会：引き続き、大住雄一 東京神学大学教授により「マタイ福音書」を学ぶ。 ◆夏季修養会（9/29～30）　講師：関智征先輩（2003 法卒）、秩父の旅

	館にて、16 名参加 ◆合同祈禱会： 4/10 宮原守男本会監事　「バルナバ～パウロの信仰上のコーチ」 6/12 関智征（2003 年法）　「許しの力を与える方」 7/10 濱田真喜人 聖が丘教会神学生　「誓うということ」 9/11 藤原淳賀 恵約宣教教会牧師　「神に捧げるということ」 10/9 明神恵子 本会事務　「証」 11/27 羽島健司 東京神学大学神学生（2007 文卒）　「どちらも成し遂げる」 1/15 阿久戸光晴 聖学院大学学長　「死臭への怒り」 2/26 田川義之（学生主事）　「神を畏れ敬えば」 ◆OB 座談会 5/22 霜垣幸浩先輩（本会評議員 1984 年工）「YM 時代から現在の研究生活を振り返って」 7/24 関智征先輩（2003 年法）　「使える人より仕える人」 9/25 中島伸一先輩（本会評議員 1964 年法）　「信仰と社会人生活」 10/30 窪田明先輩（1957 年法）　「カナダの選挙制度」 1/29 月本昭男先輩（1971 年法 本会理事）　「学問と人生」 ◆世代別同窓会 4/9 森と木の会（終戦直後卒業生の会、10 名出席）　※会報 129 号に報告（住谷一彦氏） 4/12 同期会（51～55 年卒の会、10 名出席） 10/4 さりげなく集う YM の会、22 名出席） 10/23 追分会（10 名出席） ◆公益法人認定法が 2008/12/1 に施行。移行期間は 5 年。当会も来年度は本格準備の年になる。 ◎2008 年度決算 収入面で舎生の増加に伴う寮費の増加と寄付金収入の増加があり、支出面で水道光熱費の値上がりに伴う増加と修繕費の増加があったが、わずかながら経常利益 25 万円を計上できた。 ◎その他：6/20 東京都教育委員会に 2007 年度事業報告、収支報告書を提出
2009/6/13	公開講演会　講師：船本弘毅 関西学院大学名誉教授・前東洋英和女学院院長　「新しい時の兆しー今の時と聖書」　※会報 132 号に講演録
2009/7/17	会報 131 号発行 ＊巻頭言：関口哲生理事（1954 年工）「『軍事力か、和解で平和か』の分かれ道～最近のテレビ深夜番組などの世相から」

	＊リレー随想：高久史麿氏（1954 年医）「我が国の医療を巡る諸問題」、倉沢隆平氏（1963 年医）「吉沢國雄先生を偲んで」、五十嵐正宣「思いつくままに」、篠原正雄（1971 年理）　「絶滅危惧種若手会のバトン 7 をやっと伝えるの弁」 ＊追悼： 徳久俊彦理事（1953 年経）「西山竜平大先輩（1931 年文・2008/11/2 帰天）のこと」 ＊追悼：徳久俊彦理事「植木光教氏（1950 年法・2009/6/6 帰天）急逝」
2009/9/12	2009 年度第 2 回理事会（出席は原田明夫、長島章、徳久俊彦、橋本徹、野崎昭弘、梶村慎吾、山本義人、税所真也、織田拓磨、中島彰氏の 10 名、欠席は関口哲生、野口吉三郎、清水正之、月本昭男、久保田力氏の 5 名、出席監事は宮原守男、弥永真生氏の 2 名、明神恵子姉：陪席） ◎2009 年度上期事業報告の件 ◆聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会など ◆その他：「昨今の舎生減少に関する説明と対策」（村上善道学生主事のメモがあり、本理事会までに提出されたものと思われる。その概略は以下のとおり。①2008 年度末に 28 名いた舎生は、現在は 16 名。その原因は、2008 年度後半から、一部の特定舎生の問題行動によって空前絶後の混乱が発生し、多くの舎生に嫌気が広がり、7 名もの途中退舎が発生したことによる。②このところ、外国人留学生の枠を広げ、大学院生の制限の撤廃や研究生の入舎許可など入舎生の増加策を進めてきたが、2005 年度以降は舎の活動に参加せず、最低限の義務も果たさない不適格な舎生が入舎して、舎が完全に機能不全に陥った。③女性の入舎についても、2003～4 年に舎内での女性問題があったことから、反対する舎生が多い。④OB の役員におかれては、単に入舎資格を緩めて入舎生を増やすべきという安易な議論は止めてほしい。 ◎2009 年度下期事業計画の件 ◎新定款の骨子の件：種々の意見が出された。 ◎いずれ定める新定款上の評議員の選任方法に係わる許可申請の件：2008 年 11 月 18 日付けの東京都生活文化スポーツ局から「特例財団法人における最初の評議員の選任について」の通達（別紙 1「最初の評議員の選任方法についての考え方」、別紙 2「申請書」別紙 3「最初の評議員の選任方法の案」を含む）があり、最初の評議員を選任するにはその方法について、理事会の決議を経て、旧主務官庁の認可を受けることとされた。その趣旨は最初の評議員がその後の運営に強い権限を持つことから、旧法人の延長ではなく、新たに中立・公平な立場で選任する必要

	があるとするものである。理事会では、この通達を踏まえ、中立的な立場にある者が参加する「評議員選定委員会」を設置し、この機関決定に従い最初の評議員を選任することとした。
2009/11/14	公開講演会　講師：杉山好 東大名誉教授「バロック音楽の高峰をたどってークリスマスの出来事の意味を考える」
2009/12/11	会報 132 号発行 ＊巻頭言：野崎昭弘理事（1959 年理）　「我、よき友を知る」 ＊リレー随想：徳久俊彦氏（1953 年経)「高久さんからのバトン」、上田豊三氏（1961 年法)「断想 50 年」、飯高茂氏（1965 年理)「私の健康法」 ＊追悼：二神康郎氏（1960 年農)「故窪田明さん（1957 年経・2009/5/14 帰天）を偲んで」 ＊追悼：徳久俊彦氏「植木光教さん（1950 年法・2009/6/6 帰天）を偲ぶ」 ＊OB 通信：徳久俊彦氏「黄彰輝先輩（1937 年文）のこと」
2009/12/12	クリスマス祝礼拝　説教：亀岡顕 本郷中央教会牧師「イエスに会いたいなら」 舎生劇：「クリスマス・キャロル」
2010 年（平成 22 年）	
2010/2/13	2009 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2009 年度事業報告の件、◎2010 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会など ◎2010 年度予算の件：舎費収入は 22 人ベース（2009 年度は平均 17 名)、会費収入は前年度並みの 150 万円を見込む。 ◎理事・監事全員任期満了改選の件：OB の理事・監事は辞意を表明している橋本徹理事を除き全員再任。この任期中（～2012 年 3 月 31 日）に公益認定申請を行う予定。2010 年 4 月 1 日からの理事は、原田明夫、長島章、徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、野口吉三郎、梶村慎吾、月本昭男、清水正之、天野翼、織田拓磨、山田望、中島彰、日野義友の各氏 14 名、監事は宮原守男、弥永真生氏の 2 氏 ◎理事長・常務理事選任の件：理事長に原田明夫氏、常務理事に長島章氏を選任 ◎学生主事選任の件：朴大信氏（人文社会系研究科宗教学専攻修士 2 年）を選任 ◎その他： ◆公益法人認定に関する準備については、今年中に新定款の内容を中心に都教育委員会の内諾をとりつけ、来春許可申請ができればと考えてい

	る。 ◆2010 年 1 月 1 日現在の評議員は 24 名で任期は 2011 年 3 月 31 日まで。名簿は以下のとおり。高久史麿、橋本章、黒川次郎、二神康郎、高橋雅二、原島文雄、青本健作、高沢金吾、中島伸一、飯高茂、村上俊一、榊裕之、湯原哲夫、木村庸五、垣内史堂、岩見宣治、大蔵浩之、高本真一、浦西友義、市川祐三、山口栄一、藤井信吾、霜垣幸浩、三沢和彦の各氏
2010/5/8	創立 122 周年記念礼拝　説教：大住雄一 東京神学大学教授「希望へと救われる」
2010/5/8	2010 年度第 1 回評議員会・理事会 ◎2009 年度事業報告の件 ◆舎生数：2008 年度はほぼ満室で推移したものの、2009 年度末前後の退舎生が 11 名と多数の反面、入舎生が僅か 1 名となったため、舎生数は 16 名に止まり、その後、増減があったが、2010 年 4 月現在も 17 名で推移 ◆聖書研究会：引き続き、大住雄一 東京神学大学教授により「詩篇」を学ぶ。 ◆夏季修養会（9/28～29）：箱根ロッジ富士見苑にて、9 名出席 ◆合同祈禱会： 4/9 関智征先輩（2003 年法）　「愛とは何か」 6/11 小森禎司 桜美林大学名誉教授　「神の御業」 7/9 井本祐介 キャンパスクルセードフォクライスト宣教師　「聖霊」 9/10 山口和憲 弓町本郷教会伝道師　「ある婚礼での出来事」 10/8 宮崎綾子 東京神学大学神学生（聖が丘教会）　「この世を生きる」 11/12 戸井田学 東京神学大学神学生（千歳船橋教会）　「素晴らしいデザイナーの発見」 1/14 片岡宝子 経堂北教会副牧師　「キリストと結ばれている」 ◆OB 座談会 5/28 中村義哉先輩（2000 年経）　「寮生活から将来設計等々」 7/23 野崎昭弘本会理事（1959 年理）　「大学教授としての経験から」 9/24 藤井信吾本会評議員（1983 年法）　「取手市長になって」 10/22 藤森研先輩（1974 年法）　「新聞記者としての経験から」 1/21 青本健作本会評議員（1963 年法）　「半世紀前の世界」 ◆世代別同窓会 4/11 同期会（51～55 年卒の会、8 名出席） 4/11 若手会（1970 年前後卒、13 名出席）

	4/18 森と木の会（終戦直後卒業生の会、12 名出席） 10/20 さりげなく集う YM の会、25 名出席） 12/9 追分会（9 名出席） ◎2009 年度決算の件：舎生数の減少に伴い舎費収入が前年度比 576 万円の減少、運用益収入が増加し、収入合計では 425 万円減少した。支出は、食費、水道光熱費の減少により、支出合計では 315 万円の減少、減価償却負担後は 87 万円の赤字となった。 ◆その他：6/17 東京都教育委員会に 2008 年度事業報告、収支報告書を提出
2010/6/12	公開講演会　講師：賀来周一 福音ルーテル教会牧師・キリスト教カウンセリングセンター長「この『私』は死んだらどうなるのですか」
2010/7/20	会報 133 号発行 ＊巻頭言：宮原守男監事（1952 年法）　「私の東大 YMCA での思想遍歴」 ＊リレー随想：木下毅氏（1960 年教・法)「東京大学学生キリスト教青年会との絆」、小堀洋志氏（71 年工）にインタビュー ＊追悼：「河竹和夫先輩（1949 年文・2009/11/16 帰天）を偲んで」 北村一男氏（1948 年経)、柴沼明氏（1950 年法)、徳久俊彦氏（1953 年経)、黒川次郎氏（1960 年法)、 徳久俊彦氏「奥田健二先輩を偲ぶ」
2010/9/11	2010 年度第 2 回理事会 ◎2010 年下期事業計画の件 ◎2010 年上期事業報告の件 ◆舎生数は 4 月以降 17 名で推移したが、現在は 15 名で空室が多い。秋以降の舎生募集が課題 ◆聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、公開講演会など ◎2010 年度収支見込の件：舎生数の減少により、事業収入、食費収入が予算比で 325 万円の減少する見込み、このため有価証券について債権の入替えを行い、130 万円の売却益を確保する。今年度収支は 50 万円程度の赤字の見込み ◎公益認定に係るスケジュールの件：今後定期理事会・評議員会で必要な決議を行い、年度内に公益認定の取得を目指す。
2010/10/2	関西 OB 会　講師：山形謙二氏（1972 年理)「死を生きる・・・ホスピス医療の現場から」、神戸 YMCA にて、13 名出席（東京から理事長、常務理事が出席） ※会報 134 号に報告
2010/11/13	公開講演会　講師：杉山好 東大名誉教授「BACH 講演会」

2010/12/11	クリスマス祝礼拝　説教：菅原力 弓町本郷教会牧師 舎生劇：「賢者の贈り物」
2010/12/11	会報 134 号発行 ＊巻頭言：原田明夫理事長（1963 年法）「『ジャパン・アズ・ナンバーワン』から 30 年」 ＊リレー随想：前田宗治氏（1953 年工）「デンマークという国（国民の幸福度世界で一位の国)」
2011 年（平成 23 年）	
2011/2/12	2010 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2010 年度事業報告の件、◎2011 年度事業計画の件 ◎2011 年度予算の件：舎生数を年平均 19.8 人ベース（2010 年は 15.6 人）とすれば、2010 年度の有価証券売却益減 130 万円、寄付金収入減 110 万円を考慮しても、利息収入増、賃貸更新料収入、減価償却費の減少もあり、2010 年同様収支トントンに近い線になると思われる。 ◎学生理事の選任：2 名が退任し、斎藤虎象、ダヴィドムルヤディの 2 名を選任。学生主事は引き続き、朴大信氏に委嘱 ◎公益財団法人への移行の件： ・当法人は法令により、2013/1/30 までに、公益財団法人又は一般財団法人に移行しなければならない。いずれの場合も当局の認可を受ける必要がある。 ・公益財団法人となれば、①ステータスシンボル（社会から公益性が認められる)、②寄付金が寄付者の所得控除に対象となる、③受取利息が非課税（現在 50 万円⇒0 円）となり（一般財団法人は課税)、収益事業に係わる法人税が大幅に軽減され、固定資産税が減免される、などのメリットが享受できる。一方、ディメリットとしては、①監督官庁の監督下に引き続き置かれることとなり、収支相償原則の徹底などの制約があること、②将来にわたって認定基準をクリアし続けなければ認定取り消しのリスクがあること、などがあげられる。 ・審議の結果、公益法人への移行方針が決定され、本年 5 月以降に公益認定申請を行い、2012 年 3 月までに認定の取得を目指すこととなった。 ・今後のスケジュールは、①11 年 3 月に最初の評議員選任委員会開催、②3 月～5 月に東京都教育委員会と認定に関する折衝、③5 月に理事会・評議員会にて、「定款の変更案」の決議、諸規定の決議、移行後の理事・監事の検討、公益認定申請の決議、④6 月～9 月に移行認定の申請、12 年 2 月に評議員会にて、移行後の理事・監事の選任、⑤同 3 月に認定通知書を受領のうえ、4 月に登記等の移行手続きを行う。

	◎「最初の評議員」選任委員の件： 最初の評議員選任は当法人に「評議員選定委員会」を設置して行うことで、都教育委員会から認可されている。これに基づき、委員会メンバーとして、木村庸五氏（評議員)、宮原守男氏（監事)、堀建二氏（外部委員・電気通信大学特任教授)、寺尾栄祐氏（外部委員・社会福祉法人賛育会理事)、明神恵子氏（事務局員）の 5 名を選任した。
2011/3/11	**東日本大震災　発生**
2011/5/14	創立 123 周年記念礼拝　説教：賀来周一 福音ルーテル教会牧師「信仰において譲らず、愛において譲る・・・割礼問題から見えてくるもの」
2011/5/14	2011 年度第 1 回評議員会・理事会 ◎2010 年度事業報告の件 ◆聖書研究会；菅原力 弓町本郷教会牧師を講師として「マルコ福音書」を学ぶ。 ◆夏季修養会（9/8～9)：伊東市旅館にて、修士 2 年生が多く論文準備のために参加者 5 名のみ ◆合同祈禱会： 4/29 長島章 本会常務理事「青年会と寄宿舎」 6/10 浜田真喜人 聖が丘教会神学生　「センチネル」 7/8 スルヤハレファ 東京インドネシア福音教会牧師　「あらわになるもの」 9/9 宮崎綾子 東京神学大学神学生（聖が丘教会）　「求めよ、さらば与えられん」 10/14 増田将平 青山教会牧師　「私の価値」 11/11 伊藤英志 三軒茶屋教会牧師　「霊の導きによって歩む」 2/17 山口和憲 弓町本郷教会牧師　「救い主の ID」 ◆OB 座談会； 5/27 月本昭男 本会理事（1971 年文・D）　「テル・レヘシュ（イスラエル）発掘調査の活動について」 7/22 岩島久夫先輩（1952 年法）　「軍事アナリストの立場から」 9/30 黒川次郎先輩（1960 年法）　「メディアの行方」 10/28 村山斉先輩（1986 年理 D）　「宇宙に終わりはあるか」 2/24 丸川正吾先輩（2005 年法） ◆世代別同窓会： 4/17 同期会（51～55 年卒の会、12 名出席） 6/16 若手会（70 年前後卒、8 名出席） 12/11 さりげなく集う YM の会、20 名出席） 12 月　追分会（10 名出席）

	◎2010 年度決算の件 ◎公益認定を申請する件 ◆公益財団法人東京大学学生キリスト教青年会の定款（案） ◆役員の報酬及び費用弁償に関する規定 ◆会員・賛助会員の会費に関する規定：会員：年 5,000 円（学生：3,000 円)、賛助会員：5,000 円以上 ◎評議員選定委員会規則制定の件 ◎評議員選定委員に対し「最初の評議員」候補者を推薦する件 ◎その他：6/17 東京都教育委員会に 2009 年度事業報告と収支計算書を提出
2011/6/11	春季公開講演会　講師：船本弘毅 日本基督教団牧師・前東洋英和女学院院長「キリスト者の自由・・・今の時代をどう生きるか」　会報 135 号に講演録
2011/9/10	2011 年度第 2 回理事会：原田理事長、他理事が出席 ◎2011 年度上期事業報告の件 ◎2011 年度下期事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、修養会、公開講演会など ◎2011 年度収支見込の件 ◎「最初の評議員」選定結果報告の件 ◎公益認定作業の進捗状況
2011/11/19	秋季公開講演会　講師：大貫隆 東京大学名誉教授「『死人たち』には未来がある」、40 名出席 ※に講演会記録
2011/12/10	クリスマス祝礼拝　説教：亀岡顕 本郷中央教会「前進か後退か」 舎生劇：「Le Petit Prince」
2012 年（平成 24 年）	
2012/1/18	東大 YMCA 会報 136 号発行 ＊巻頭言：原田明夫氏（1963 年法）「政治と社会のあり方が問われている」 ＊柳谷雄介（1991 年農）新生釜石教会牧師 支援記：徳久俊彦（1953 年経） ＊追悼：関栄次氏（1953 法）「岩井要兄のこと（2011/9/22 帰天)」、関口哲生氏（1954 年工）「人々と共に、時代と共に～生きている教会堂～人をつなぐ」、徳久俊彦氏（1953 年経）「岩井要君を送る」、宮原守男氏（1952 年法）「故岩井要君への追悼」（現東大 YMCA 会館建築設計者、その他教会堂建築の設計実績多数)、鈴木道剛氏（1974 年文）「杉山好

	先生（2011/9/10 帰天）をお送りする」、徳久俊彦氏「杉山好先生を送る」（東大名誉教授、東大 YMCA 公開講演会で長年継続して「バッハ・ゼミ」を開催。）、村山斉氏（1986 年理）「哲二さんを偲ぶ（2010/12/15 帰天）」（西川先生は、東大名誉教授、物理学者、粒子加速器を研究、牧師としても定期的に説教）、村上善道氏（2004 年文）「在りし日の野口吉三郎常務理事（59 年・2011/3/9 帰天）を想う」
2012/2/18	2011 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2011 年度事業報告の件 ◎2012 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、修養会、公開講演会など ◎2012 年度予算の件：舎生数を今年度比横ばいの 19 人として、大口寄付金の計上を見込まず、家賃更新料の減を見込んでも、利息収入の増加があり、若干の経費圧縮できれば、多少の黒字もありうる。 ◎公益認定取得の件：公益認定申請を 2011 年 12 月 8 日付で行い、同 12 月 22 日の公益認定委員会で承認された。 ◎評議員改選結果報告の件：2012 年 4 月 1 日の評議員名簿は以下のとおり、任期は 2015 年 5 月まで。橋本章、黒川次郎、二神康郎、高橋雅二、青本健作、中島伸一、村上俊一、垣内史堂、岩見宣治、霜垣幸浩の各氏 ◎「最初の評議員」選定結果報告の件 ◎理事・監事全員任期満了改選の件：2012 年 4 月 1 日の理事・監事名簿は以下のとおり、任期は 2015 年 5 月まで。（理事）原田明夫、長島章、徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、梶村慎吾、月本昭男、清水正之、可児邦広、千葉岳洋、樋口崇、山城一平の各氏、（監事）木村庸五、弥永真生の両氏 ◎理事長・常務理事選任の件：理事長に原田明夫氏、常務理事に長島章氏を選任した。 ◎常務理事の報酬に関する件：公益財団法人では常務理事の報酬は理事会の決議事項とされている。2012 年度の報酬は、月額 85,000 円（年額 102,000 円）とする。 ◎学生主事選任の件：学生主事に、税所真也を選任 ◎新定款・諸規定承認の件
2012/4/1	当会は 4 月 1 日に公益財団法人として設立登記し、新たな「公益財団法人 東京大学学生キリスト教青年会」としてスタートした。 【評議員名簿】、橋本章、黒川次郎、二神康郎、高橋雅二、青本健作、中島伸一、村上俊一、垣内史堂、岩見宣治、霜垣幸浩の各氏（任期は 2015 年 5 月まで）

	【理事名簿】原田明夫、長島章、徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、梶村慎吾、月本昭男、清水正之、可児邦広、千葉岳洋、樋口崇、山城一平の各氏(任期は 2014 年 5 月まで) 【監事】木村庸五、弥永真生の両氏(任期は 2016 年 5 月まで) ※理事長（設立登記は「代表理事」）原田明夫氏、常務理事長島章氏
2012/5/12	創立 124 周年記念礼拝　説教：鍋谷謙一 根津教会牧師「153 匹　ヨハネ福音書 21 章 1～14 節」45 名出席　※会報 137 号に説教記録
2012/5/12	2012 年度第 1 回評議員会・第 1 回理事会 ◎公益認定取得並びに公益財団法人設立登記終了の報告の件 2011 年 12 月 8 日に公益認定申請、同 12 月 22 日に公益認定委員会で承認、2012 年 3 月 22 日に認定書受領、同 4 月 1 日に設立登記し、当会は同日公益財団法人としてスタートした。 ◎2011 年度事業報告の件： ◆舎生数は、前年から増加（15.6 人⇒18.0 人） ◆聖書研究会；菅原力 弓町本郷教会牧師を講師として「マルコ福音書」を学ぶ。 ◆春季修養会（3/8～9）　講師：早矢仕宗伯 武蔵野福音自由教会牧師、奥多摩バイブルシャレーにて、ほぼ全員の 15 名が参加　＊例年の夏期修養会に代えて実施 ◆合同祈禱会 4/21 中島彰氏　「震災ボランティアに参加して」 7/7 中程愛美 弓町本郷教会伝道師　「信仰において生きるとは」 9/8 宮崎綾子　頌栄教会伝道師　「信仰による改革」 10/13 関川美樹 東京神学大学 M1 神学生　「神様の時間」 11/17 竿代照夫 インマヌエル中目黒キリスト教会牧師　「与える幸い」 1/26 三橋侑子 東京神学大学神学生　「終わりを見据えて生きる今」 2/9 朴憲郁 東京神学大学教授　「信仰者の自由」 ◆OB 座談会 5/26 原田明夫　本会理事長（1963 年法卒） 7/28 王嶺先輩（2007 法卒）　「中国の若者事情」 10/27 上田光正先輩（1962 教養卒）　「日本キリスト教団の歩み」 2/23 桧山卓也先輩　「東大 YM を出てから、退舎後 1 年の若い先輩との交流」 ◆世代別同窓会： 4/16 同期会（51～55 年卒の会)、11 名出席 6/14 若手会（70 年前後卒)、13 名出席

	10/1 さりげなく集う YM の会、25 名出席 3/15 追分会、5 名出席 ◆全国学生 YMCA 寮関係者協議会（於：東大 YMCA 会館)、長島常務理事/中島理事によるプレゼンテーション「東大 YMCA の現状と課題」 ◎2011 年度決算の件：舎生数の増加により事業収入と食費収入が前年比 147 万円増加、債権の入替えにより利息収入が 82 万円増加した。一方、債権売却益が 135 万円減少、寄付金が 44 万円減少、営繕費等が 45 万円増加し、経常利益は 60 万円を計上 ◎その他 ◆2012/5/12 より、加藤せつさんの入院費の負担軽減と手持ち資金支援のための募金を開始した。(募金者 158 名、募金総額は 637 万円となった) ◆2012/6/1 より 12 月末日までの期間で、新生釜石教会会堂再建及び同教会が行う被災者支援事業のために、「釜石支援募金」を行うこととした。(募金総額は 171 万円となった) ◆3/11 の東日本大震災の会館建物への影響について、㈱シミズライフケアによる実地検分を行った結果、「会館の一部にひび割れが散見されるものの今回は構造的な問題はない。但し若干補修を要するものあり」との評価。補修は 7 月に完了、費用は約 227 万円で、資金は修繕引当資産から充当した。 ◆6/17 に東京都教育委員会に 2010 年度事業報告と収支計算書を提出
2012/6/30	春季公開講演会　講師：富岡幸一郎 関東学院大学教授・文芸評論家 「内村鑑三とカールバルト・・・ローマ書解釈の共時性」、45 名出席 会報 138 号に講演会記録
2012/7/31	東大 YMCA 会報 137 号発行： ＊巻頭言：木村庸五氏（1970 年法）　「日本におけるキリスト教・キリスト教会」 ：随想：富森啓二氏（1956 年法）　「凱旋なき凱旋」 ＊総務部「第 39 回学生 YMCA 夏期ゼミナール」参加報告 ＊長島常務理事報告　「公益財団法人に移行」 ＊追悼：雨宮新氏（1953 年法)「粂野文雄君を偲ぶ（1953 年農・2012/2/11 帰天)」(東大キリスト者平和の会主催)、徳久俊彦氏（1953 年経)「粂野文雄・信子夫妻を送る」、「森岡巌先輩を送る（2012/2/1 帰天)、深瀬忠一氏「森岡巌先輩を送る」(新教出版社「福音と世界」編集長、同社長、ボンヘファーの紹介とキリスト者の戦争責任の問題など)
2012/9/8	2012 年度第第 2 回理事会：原田明夫理事長、他理事が出席 ◎2012 年度上期事業報告の件

	◎2011 年度下期事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、修養会、公開講演会など ◎2012 年度収支見込の件 ◎募金に関する中間報告の件 ◎その他：在舎延長申請が舎生総会で否決された舎生がその後退舎せず、不当に居室の占拠を続けるという事案が生じ、2012 年 1 月頃から常務理事及び理事長が本人との交渉・勧告などを行ってきた。その後工学部博士課程に在籍しているとの申告は偽りであることが判明した。
2012/11/10	関西 OB 会　講師；山口栄一 同志社大学大学院教授「東電原発事故の本質―JR 福知山線事故との精神的類似性」※会報 139 号に講演記録
2012/11/24	秋季公開講演会　講師：船本弘毅 関西学院大名誉教授　「何ゆえイエスはー不安・不信の時代と信仰」、48 名出席。※会報 139 号に講演会記録
2012/12/8	東大 YMCA 会報 138 号発行 ＊巻頭言：橋本章氏（1959 年法）「東日本大震災から 1 年 7 か月」 ＊OB の声 20 篇（今号から開始） ＊総務部「第 40 回学生 YMCA 夏期ゼミナール」参加報告
2012/12/8	クリスマス祝礼拝　説教：賀来周一 日本福音ルーテル教会定年牧師（キリスト教カウンセリングセンター相談所長）「愛と死の季節、クリスマス」　※会報 139 号に説教記録 舎生劇：「モモ」
2013 年（平成 25 年）	
2013/2/9	2012 年度第 2 回評議員会・第 3 回理事会 ◎2012 年度事業報告の件、◎2012 年度収支見込の件 ◎2013 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、修養会、公開講演会など ◎2013 年度予算の件 ◎理事 1 名辞任の件：月本昭男理事の辞任を承認した。 ◎常務理事に対する報酬の件；常務理事の報酬を、年前半は月額 8.5 万円、後半は 12.5 万円とする。 ◎学生主事選任の件：引き続き税所真也氏を選任 ◎故加藤せつ姉よりの寄付受け入れの件など：寄付総額（12/5/12～9/30）は 637 万円、うち加藤さんの口座へ 300 万円を振込み、郵送料等を除き残金は 332.5 万円となった。このうち 29 万円を釜石募金に振り向け、303.5 万円を当会に寄付することとした。また、釜石支援募金は加藤せつさんの寄付を含め総額 200 万円となった。

2013/5/11	創立 125 周年記念礼拝　説教：菅原力 弓町本郷教会牧師　「招かれている今を生きる」
2013/5/11	2013 年度第 1 回評議員会・第 1 回理事会 ◎2012 年度事業報告の件： ◆聖書研究会：菅原力 弓町本郷教会牧師を講師として「マルコ福音書」を学ぶ。 ◆春季修養会（3/17～18）：日光オリーブの里にて、奨励：塚本良樹 KGK 主事、11 名参加 ◆合同祈禱会 4/19 滝田新二 片柳福音自由教会牧師　{ライフサイクルとソウルサイクル} 6/14 白畑司 市が尾キリスト教会牧師　「目をさまして祈りなさい」 7/4 岡田朋記 東京神学大学神学生　「後まで残る捧げものとは」 9/13 姫井雅夫 赤坂教会牧師　「人生の目的」 10/25 中島彰 東京神学大学神学生（当会 OB）　「主を待ち望む」 11/15 申起燮 麻布福音教会牧師　「福音をもったエリート」 1/24 朴憲郁 東京神学大学教授・牧師　「新しい生き方」 2/21 近藤修司 浜寺聖書教会牧師　「希望における成長」 ◆OB 座談会 5/31 駿河敬次郎先輩（1944 年医）　「御恩寵の下で」 7/26 水上拓郎先輩（2004 年農）　「キリストの道を歩んで」 9/27 浦西友義先輩（1974 年経）　「YM を出てから」 1/31 半田淳比古先輩（2008 年医） 2/28 山口栄一先輩（1977 年理 D）「東電原発事故の本質―JR 福知山線事故との精神的類似性」　※会報 139 号に記録 ◆世代別同窓会： 4/14 同期会（51～55 年卒の会）、8 名出席 6/23 若手会（70 年前後卒）、9 名出席 10/6 さりげなく集う YM の会）、24 名出席 ◆「故加藤せつさんをしのぶ会」　2013/1/19　本会礼拝堂にて、54 名出席 ◎2013 年度事業計画の件：聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会、修養会、公開講演会など ◎2012 年度決算の件：舎生の減少により事業収入と食費収入は前年比 100 万円の減、寄付金収入は加藤せつ姉からの寄付等により 613 万円の増、また 13 年秋の空調システム改修に備えて、今年度決算で、大修繕積立金の 500 万円の積増しを行う。

	◎その他：6/13 東京都教育委員会に 2011 年度事業報告と収支計算書を提出
2013/6/8	春季公開講演会　講師：山口周三氏（64 年法卒）「南原繁の生涯に学ぶ」　50 名参加 ※会報 139 号に講演記録
2013/8/6	東大 YMCA 会報 139 号発行 ＊巻頭言：原田明夫氏（1963 年法）「混迷を続ける経済・社会・政治と議会制民主主義」 ＊「加藤せつさんを偲ぶ」　5 篇 ＊釜石より「被災地でキリスト者の声を聞く」（柳谷雄介 新生釜石教会牧師）
2013/9/14	2013 年度第 2 回理事会：原田明夫理事長以下理事が出席 ◎2013 年度上期事業報告の件 ◆舎生数は 16～17 名で推移、増加対策が必要 ◆2013 年版の新しい会員名簿を発行。名簿の更新は舎生中心で行ったが、作業上は多くの困難があったとの記録がある。 ◎2013 年度下期事業計画の件 ◎資産買替資金引当金勘定創設の件：公益財団法人には「資産買替資金引当金勘定」を創設し、無税にて費用計上することが可能となったため、理事会で決議のうえ、今後 5 年間は毎年 84 万円を費用計上する。 ◎加藤せつ姉の寄付金の処理とエアコンの更新工事の件
2013/10/3	2 月の理事会で、女性入舎の受け入れが正式に決定されたのを受けて、10 月に受け入れ準備のための舎内総会を開催
2013/11/9	秋季公開講演会　講師：柳谷雄介 新生釜石教会牧師（1993 年農卒）「世界中が祈った日」　※会報 140 号に講演録
2013/12/14	クリスマス祝礼拝　説教：船本弘毅 東京女子大元学長「東方で見た星」　※会報 141 号に説教録 舎生劇：「この世に降りし神の御子」
2013/12/14	東大 YMCA 会報 140 号発行 巻頭言：清水正之氏（1971 年文）「『文化と超越』再考」 ＊徳久俊彦氏（1953 年法）「日本 YMCA 人物辞典余話」 ※日本 YMCA 結成 100 周年を記念して 2003 年に「新編　日本 YMCA 史」を刊行
2014 年（平成 26 年）	
2014/2/8	2013 年度第 3 回理事会：原田明夫理事長、他理事が出席 ◎2013 年度事業報告の件、◎2013 年度収支見込の件

	◎2014 年度事業計画の件、◎2014 年度収支予算の件 ◎常務理事の報酬に関する件：2014 年度から報酬総額を予算通り 126 万円とする。 ◎学生主事選任の件：引き続き税所真也氏を選任 ◎寄宿舎に女子学生を受け入れる件：2014 年 4 月以降の女子学生受け入れを決定した。東大生の 3 割程度が女子学生であり、現に入舎希望者がいること、設備面ではそれほど問題ないこと、一方男子舎生の減少傾向が続いていることなどがその背景であり、現舎生間でも賛否両論があり、議論を続けた結果、舎生の総意が受け入れに賛成との報告を受けたために今般の決定となった。なお、これに伴い新年度より入寮選考基準のうち「東京大学の男子学生」を「東京大学の学生（含む女子)」と変更する。
2014/3/13	東大 YMCA 寄宿舎に女子学生を受け入れ開始。同 4 月 13 日に初めての女子学生リン・リリアナさん（公共政策大学院 1 年）が入舎
2014/5/10	126 周年創立記念礼拝　説教：菅原力 弓町本郷教会牧師「起き上がりなさい」　ヨハネ 5 章 1～9A ※会報 142 号に説教記録
2014/5/10	2014 年度第 1 回評議員会・第 1 回理事会 ◎2013 年度事業報告 ◆聖書研究会上半期は、菅原力 弓町本郷教会牧師を講師として「マルコによる福音書」を学び、下半期は、阿久戸光春 聖学院大学理事長/東京池袋教会牧師を講師として学ぶ。 ◆修養会：3/6～7）奥多摩バイブルシャレーにて、16 名が参加 ◆合同祈禱会 4/11 富永憲司 柏木教会牧師　「『放蕩息子のたとえ』を読む」 5/9 阿久戸光晴 聖学院大学長　「現代日本の急務と課題」 6/13 及川信 中渋谷教会牧師　「その水をください」 7/11 桜井圀郎 日本長老教会牧師　「神の前にたつ＝人生の基礎」 9/12 滝田新二 片柳福音自由教会牧師　「ビジョンの人モーセに学ぶ～神との出会い」 10/10 山本裕司 西片町教会牧師　「待つことに耐える」 11/28 岡田大輔 日本聖書学院学長　「無題（テモテへの手紙Ⅱ3;14-7)」 2/13 姫井雅夫 赤坂教会牧師 ◆OB 座談会 5/30 木村庸五先輩（1970 年法）　「自民党の憲法改正草案について」 7/25 三浦永光先輩（1961 年教養）　「福島と足尾鉱毒事件をつなぐも

	の」 9/26 徳久俊彦先輩（1953 年経）「YMCA 人物辞典余話」　（高久史麿、橋本徹、岩見宣治の各氏が同席） 10/31 朴大信先輩夫妻（2011 年人社研究科）　「YM 寮で生活して」 2/27 矢治健太郎先輩（1991 年教養）　「太陽活動と我が人生」 ◆年次別同期会 4/13 昭 26～30 卒同期会、8 名出席 5 月追分会 7/13 若手会、11 名出席 10/5 さりげなく集う YM の会、26 名出席 ◎2013 年度決算の件 ◎理事全員任期満了の件（理事会が推薦⇒評議員会が決定） 【理事名簿】原田明夫、長島章、徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、梶村慎吾、月本昭男、清水正之氏（以上再任）、西部悠太（聖研）、木原盾（総務）、岩谷雄介（企画）、王旭東（文共）の諸兄（以上学生理事）。原田明夫理事長、長島章常務理事は再任 ◎その他：6/20 東京都教育委員会に 2012 年度事業報告並びに収支報告と提出
2014/6/21	春季公開講演会　講師：船本弘毅 関西学院大名誉教授　「聖書は今の時代に何を語るか」（詩篇 119 章 9～16 節）　※会報 141 号に講演録
2014/8/7	会報 141 号発行 ＊巻頭言：山口栄一氏（1977 年理）「沈みゆく船・日本を救え」 ＊初めての女子学生の入舎「新舎生の声」 ＊総務部報告：「舎生減少に対応するために、入舎業務は総務部に移行」、「ポスター、Twitter アカウントの作成、ブログのコンテンツの充実、Wikipedia のページ作成など東大 YMCA の情報宣伝に努力」、「新舎生は 4 月以降 4 名（うち女子 3 名）入舎、さらに 8 月以降に 2 名（うち女子 1 名）が入舎予定」
2014/9/13	第 2 回理事会：原田明夫理事長、他理事が出席 ◎2014 年度下期事業計画の件、◎2014 年度上期事業報告の件 ◆舎生数は 4 月より 16 名で推移、現在は 18 名。女子学生が 6 名入舎したことが増加に寄与 ◎2014 年度収支見込の件 ◎吉野作造記念館の支援の件：記念館の困難な経営状況により支援依頼があり、当会としては賛助会費として年 5～10 万円の寄付を検討したい。 ◎寄宿舎の留学生枠の件：留学生の受け入れ枠は近年拡大してきてお

	り、現在は 9 名（収容能力 27 名の 1/3）で今後もこれを維持する。なお、国別配分枠は特に設けないが、偏らないように運用する（現在は 1 国 3 名まで)。なお、現在は、中国 3、韓国 2、マレーシア 2、インドネシア 1、アルゼンチン 1 名が在舎 ◎今後の理事・評議員の選定のあり方の件：今後評議員会において役員選考委員を選出するよう提案する。
2014/10/25	秋季公開講演会　講師：金澤正剛 国際基督教大学名誉教授　「キリスト教音楽の始まり」　※会報 144 号に講演録
2014/11/8	関西 OB 会　講師：木村梯一氏（1989 年工卒)「内側から見た日本の電子産業」　大阪 YMCA 国際文化センターにて、15 名参加。※会報 142 号に報告掲載
2014/12/9	会報 142 号発行 ＊巻頭言：原田明夫氏（1963 年法)「『グローバル化』する世界における対話の必要性」 ＊清水博（1956 年薬）　「<いのち>の持続可能性」 ＊総務部：東大 YMCA の主催　「学生 YMCA 同盟と東大 YMCA の集い」 ＊聖研部：「東大 YMCA 読書会」を開始：第 1 弾は『告白』（アウグスティヌス）
2014/12/13	クリスマス礼拝・祝会　説教：阿久戸光晴 聖学院大学理事長・院長 「旅へ出かけるクリスマス・旅から帰るクリスマス」 舎生劇：「現代版ヨブ記」
2015 年（平成 27 年）	
2015/2/7	第 3 回理事会：原田明夫理事長、他理事が出席 ◎2014 年度事業報告、◎2014 年度収支見込み ◎2015 年度事業計画の件、◎2015 年度予算の件 ◎学生主事選任の件：学生主事として木原盾兄を選任する。また、兄が在任中に短期留学する可能性があり、また博士課程の在舎生も多くなったので、兄との年齢差を埋めるために「副主事」を置くこととする。なお、副主事の配置は、木原兄の在任中に限った措置とする。
2015/4/25	2015 年度第 1 回理事会 ◎2014 年度事業報告の件 ◆聖書研究会：講師は昨年に引き続き　阿久戸光晴先生 ◆合同祈禱会 4/10 仲宗根正美氏（ホープオブ東京教会）　「クリスチャンの特権」 6/12 伊藤英志 三軒茶屋教会牧師　「新約聖書と旧約聖書」

	7/10 渡辺二郎先生（相原キリスト集会） 9/11 上田光正 曳舟教会牧師　「ヨブの信仰」 10/13 山本裕司 西片町教会牧師　「弱く見える部分がかえって必要」 11/10 楊先生（東京陽光基督教会牧師）　「信仰の特徴」 1/29 李エリア宣教師（早稲田大学研究所）　「まず神の国と神の義を求めよ」 2/12 菅原力 弓町本郷教会牧師　「種の力を信じなさい」 ◆OB 座談会 5/22 中島彰先輩（2012 年教養）　「東神大ライフ」 6/22 山口栄一先輩（1977 年理 D)「グローバルリーダーを育成する新しい大学院の挑戦」 9/25 竹川彬史先輩（2013 年公共政策大学院）　「シンクタンクの仕事」 11/27 小川有美先輩（1987 年教養卒）　「環境・原発の政治」 1/22 田川義之先輩（2009 年工 D）　「東大 Y での信仰生活・共同生活」 ◆読書会及び賛美集会：10 月より毎週土曜夜に読書会が行われ、アウグスティヌスの「告白」を読了、引き続きボンヘッファーの「共に生きる生活」を読む予定。また、毎週火曜夜に賛美集会が開かれるようになった。 ◆10/30「学生 YMCA 同盟と東大 YMCA の集い」（東大 YMCA 主催） 講師：森小百合 YMCA 同盟学生 Y 専従スタッフ「世界と日本の YMCA 運動の歴史、現在の学生 YMCA 同盟の活動」 ◆年次別同期会：10/11 さりげなく集う YM の会　26 名出席 ◎2014 年度決算の件 ◎常務理事選任の件：長島章常務理事の退任希望を受け、常務理事は当分の間、原田明夫理事長が兼務する。なお事務局長として桃井明男氏を迎え、長島氏が行っていた仕事の大部分をカバーする体制とする。 ◎学生理事の交替：新任は、申ヨハン（総務)、リンリリアナ（聖研)、王旭東（文共)、張ヨウホウ（企画)。木原盾は学生主事、西部悠太は副主事に就任 ◎その他：6/26 に東京都管理法人課に 2013 年度事業報告並びに収支報告を提出
2015/5/23	創立 127 周年記念礼拝　説教：菅原力 日本キリスト教団新生教会牧師「夜明けの岸辺」 ※会報 143 号に説教録
2015/5/23	2015 年度第 1 回評議員会

	※内閣府より「公益財団法人においては理事会と評議員会の開催日は14 日間以上空ける必要がある」との指示があったので、理事会を4/25、評議員会を 5/23 の開催とした。 ◎2015 年度事業計画の件、◎2015 年度収支予算の件、◎学生主事交替の件、◎常務理事変更の件、◎2014 年度事業報告、◎2014 年度決算の件、◎学生理事交替の件、以上、審議内容は 4/25 理事会とほぼ同様
2015/6/13	春季公開講演会　講師：船本弘毅 関西学院大名誉教授「今、キリスト者であることーボンヘッファーの思想と信仰を読み直す」　50 名参加 ※会報 143 号に講演録
2015/7/30	会報 143 号発行 ＊巻頭言：野崎昭弘氏（1957 理）「国立大学の学費値上げについて」 ＊総務部：舎生の男女比、日本人・留学生比が共に 1：1 となる。「寮生活の手引き」を 9 年ぶりに改訂
2015/9/19	2015 年度第 2 回理事会原田明夫理事長、他理事が出席 ◎2015 年度上期事業報告、◎2015 年度収支見込の件、◎2015 年度下期事業計画の件 ◎留学生受け入れ時期の一次変更の件：2014/9/13 理事会において「留学生は収容能力の 1/3 程度の 9 名の枠を設ける」ことが確認されている。今般、舎生数を確保する観点から、退舎時期がはっきりしている留学生がいる場合に限り、募集時期を早めて募集・面接を行うこととする。（一時的に留学生枠を超える可能性を容認する） ◎理事・監事・評議員の選任：現在の任期 2016/5/14 まで。本人から辞退の申し出がない限り全員の再任の方向で手続きをする。
2015/10/31	秋季公開講演会　講師：金澤正剛 国際基督教大学名誉教授「キリスト教音楽」　40 名参加。　※会報 144 号に講演録
2015/10/31	関西 OB 会　発題：山本彼一郎弁護士（1973 年法）「第二次砂川事件最高裁判決ほか 3 件の判例」、「信仰と聖書について」　※会報 144 号に講演録
2015/11/12	聖書研究会特別講演　講師：阿久戸光晴 聖学院大学理事長・院長「聖書の読み方」　※会報 144 号に講演録
2015/12/12	クリスマス祝礼拝　説教：鍋谷謙一 日本基督教団根津教会牧師　「思い悩むな」 舎生劇：「信仰と勇気の物語―エステル記―」　※会報 145 号に説教録
2015/12/17	会報 144 号発行： ＊巻頭言：徳久俊彦氏（1953 年経）「先輩の足跡を辿って」 ＊文共部報告：舎内蔵書の整理と図書目録の電子リスト、総会議事録の

	データベース化
2016 年（平成 28 年）	
2016/2/13	2015 年度第 3 回理事会：原田理事長、他理事出席 ◎2015 年度下期事業報告、◎2015 年度収支見込の件 ◎2016 年度事業計画の件、◎2016 年度予算の件 ◎評議員選定委員選任の件：2016 年 5 月に任期満了を迎える評議員を選定するため、評議員選定委員を岩見宣治評議員、木村庸五監事、明神恵子事務局員、吉岡直人外部委員、小堀洋志外部委員の 5 名を選任する。 ◎学生主事選任の件：引き続き木原盾氏を選任 ◎資産買替資金引当金枠増額の件：引当金の計上金額については、改めて坪 100 万円で計算し直して、毎年 515 万円の引当金を計上することとなる。
2016/4/23	2016 年度臨時評議員会 ◎2016 年度事業計画及び 2015 年度収支予算の件 ◎評議員選任の件：岩見評議員選定委員会委員長（現評議員）より、2016 年 3 月 26 日に選定委員会が開催され、審議の結果、理事会から推薦があった評議員候補者が全員選定された旨、報告あり 【評議員名簿】　二神康郎、高橋雅二、青本健作、中島伸一、村上俊一、霜垣幸浩の各氏（以上再任）、吉岡直人、中村義哉、田川義之、三浦真の各氏（以上新任） ◎理事選任の件：原田理事長から現理事全員の再任と理事 2 名の新任、及び学生理事 4 名の候補者の説明があり、これを可決した。 【理事名簿】　原田明夫、長島章、徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、梶村慎吾、清水正之（以上再任）、垣内史堂、岩見宣治、古屋玲奈、平井正道、康佳慧、金子友紀の各氏（以上新任） ◎監事選任の件：理事長から現監事全員の再任の提案があり、これを可決した。 【監事】木村庸五、弥永真生の両氏 ※以上の任期はいずれも 2016 年 5 月から 2020 年定時評議員会終結の時まで
2016/4/23	2016 年度第 1 回理事会 ◎理事・監事改選の件 ◎2015 年度事業報告 ◆舎生数は 17 名、うち女性 7 名、留学生 7 名（中国 3、ポルトガル、インドネシア、マレーシア、韓国各 1 名） ◆聖書研究会　講師：阿久戸光晴 聖学院大学理事長・院長

	◆合同祈禱会 4/9 浦田慎二郎 カトリック下井草教会神父　「イエス、弟子たちに現れる」 5/14 早矢仕宗伯 東京武蔵野福音自由教会牧師　「交わり招かれて」 6/11 杉本智俊 新生キリスト教会連合・町田クリスチャンセンター牧師「気づきの重要性」 7/9 新川代利子 ウェスレアン・ホーリネス教団淀橋教会　「労苦の実り」 9/10 リチャードローズ カルバリー・チャペル府中牧師　「Old School Church」 10/8 蔦田康毅　東京国際基督教会牧師　「主にある交わりの特徴」 11/19　山本裕司 西片町教会牧師　「渇かない水」 1/14 早矢仕宗伯 東京武蔵野福音自由教会牧師　「祈り」 3/17 滝田新二 片柳福音自由教会 ◆OB 座談会 5/28 渡辺頼勝先輩（2001 年医）　「形態機能と社会機能を取り戻す顔の治療」 6/25 長島章 前常務理事（1962 年法）　「東大 YMCA の現状と課題」（東大 YMCA150 周年に向けて） 7/30 特別 OB 座談会　「共同生活で得たもの、大学の意義、天に宝を積む生き方とは？」　清水正之 聖学院大学学長、山口栄一 京都大学大学院教授、合田隆史 尚絅大学学長。※会報 144 号に記録 9/24 大口邦雄元理事長（1956 年理・D）　「寮での記憶、少年時代の思い出を語る」 10/22 西道隆臣先輩（1984 年薬）　「信仰の歩みから仕事の内容を語る」 2/25 戸川武則先輩（2011 教育学研究科　）「子育てから考える」 ◆年次別同期会 10/10 第 16 回さりげなく集う YM の会　24 名参加 11/26 追分会　10 名参加 ◆官庁関係：6/18 東京都管理法人課に 2014 年度事業報告等を提出。7/16 役員変更登記完了。10/8 東京都生活文化局都民生活部管理法人課公益法人係による立入検査 ◎2015 年度決算の件 ◎理事長・常務理事選任の件：原田理事長より役員の状況を鑑みて、当分の間、理事長が常務理事を兼務するとの提案があり、これを可決した。最終的には 7/21 理事会の書面決議による。

	◎日本 YMCA 同盟代議員選任の件；梶村慎吾氏を選任（任期：2016/07～18/06 の 2 年間） ◎大規模修繕工事・サッシ更新工事の件：マンションの大規模修繕工事（同時施工で YM 負担分あり）とサッシ更新工事、階段等修繕工事を行う。費用は合計約 2,900 万円の見込み。
2016/5/21	創立 128 周年記念礼拝　説教 山本裕司 日本キリスト教団西片町教会牧師「二重三重の封印」　※会報 145 号に説教録
2016/5/21	2016 年度第 1 回評議員会（新旧合同） ◎2016 年度事業報告の件、◎2016 年度予算の件
2016/6/25	春季公開講演会　講師：高本真一 三井記念病院院長（1973 年医）「患者とともに生きる～ミッションに生きる～」、43 名参加。※会報 145 号に講演録
2016/8/2	会報 145 号発行 ＊巻頭言：月本昭男氏（1971 年文）「ベルゴリオからフランシスコへー教皇フランシスコの評伝を読む」 ＊村上俊一氏（1966 年医）「心の科学」
2016/9/10	2016 年度第 2 回理事会：原田理事長、他理事が出席 ◎2016 年度上半期事業報告の件、◎2016 年度収支見込の件 ◎2016 年度下半期事業計画の件 ◎大規模修繕工事・サッシ更新工事及び募金の件：工事は本年秋に開始の予定。YM 部分に係る費用は 2380 万円。また本工事を行うため、「大規模修繕募金」を行う（期間は 2016 年 10 月から 2017 年 12 月まで）。
2016/9/19	聖書研究会・修養会（～20）　講師：阿久戸光晴 聖学院大学理事長・院長
2016/10/22	秋季公開講演会　講師：金澤正剛 国際基督教大学名誉教授「キリスト教音楽史の裏街道―ラウダの流行からオラトリオの誕生まで」、30 名参加　※会報 146 号に講演録
2016/11/12	関西 OB 会　発題：柴谷光信氏（1992 年経）発題：「これからのエネルギービジネスについて」　11 名参加　※会報 146 号に講演録
2016/12/10	クリスマス礼拝・祝会　説教：姫井雅夫 日本キリスト教団赤坂教会牧師　「あなたがたのために」　※会報 147 号に説教録
2016/12/8	会報 146 号発行 ＊巻頭言：木村庸五氏「信教の自由と平和のゆくえ」 ＊随想：中川徹氏（1963 年理）『自由』vs『愛』：人類文化を貫く未解決の『主要矛盾』

2017 年（平成 29 年）	
2017/2/18	2016 年度第 3 回理事会：長島章理事、他理事が出席（原田理事長は欠席） ◎2016 年度事業報告の件、◎2016 年度収支見込みの件 ◎大規模修繕工事報告の件、◎2017 年度事業計画の件 ◎2017 年度予算の件：再来年の 130 周年記念に向けて、記録を作るための予算を「その他の経費」に含めることとした。 ◎学生主事選任の件；昨年に引き続き木原盾氏を選任 ◎理事長及び常務理事の件：病気療養中の原田理事長兼常務理事の病状と意向が報告され、臨時に理事長臨時代行として徳久俊彦理事、常務理事代行として長島章理事を選任
2017/4/15	原田明夫理事長　葬儀（2017/4/6 帰天）、青山葬儀場にて、東大 YMCA 青本健作氏が弔事
2017/4/22	2017 年度第 1 回理事会 ◎理事長選任の件：原田理事長の逝去に伴い、徳久俊彦理事を理事長に選任した。 ◎2016 年度事業報告の件 ◆舎生数：21 名、うち女性 8 名、留学生 7 名（中国、韓国各 2、インドネシア、マレーシア、ポルトガル各 1） ◆聖書研究会：引く続き、阿久戸光晴 聖学院大学理事長・院長を講師に迎えた。1 月からは、左近豊 日本基督教団美竹教会主任担当教師にお願いしている。 ◆関東地区学生 YMCA 聖書研究会：6/16 に当会礼拝堂にて、講師は阿久戸光晴先生。立教、清泉、慶応、早稲田、大宮 YMCA から 36 名出席 ◆合同祈禱会 4/14 重田稔仁 上野の森キリスト教会牧師　「ゲッセマネの祈り」 5/10 ジェームズ・フーストン師との交流会 5/12 斎藤美沙子 東京喜び教会伝道師　「目の開かれた者」 6/9 敦賀章博 日本長老教会：久我山キリスト教会牧師　「召しと、決断。その潔さ」 7/14 蔦田康毅 東京国際基督教会牧師　「ディボーション」（詩篇 1 章 1～3） 9/8 ジョン 日本福音自由教会宣教師　「万華鏡のような民族；（黙示録 7 章 9～10） 10/13 菅原力 日本基督教団新生教会牧師　「成長する種」（マルコ 4 章 1～34） 11/17 左近豊 日本基督教団美竹教会主任担当教師　「信仰の歩み」（申

	命記 7 章 6～8） 1/12 早矢仕宗伯 東京武蔵野福音自由教会牧師　「交わり」（ヨハネの手紙 4 章 7～21） 2/16 ジョン 日本福音自由教会宣教師　「一つの肩」（セパニヤ書 2 章 1～3、3 章 9） ◆夏季修養会：9/19～20 に中央工学校・軽井沢南ヶ丘クラブにて開催。講師は阿久戸光晴先生、6 名参加 ◆修養会：3/10～11 奥多摩福音の家にて、13 名参加 ◆OB 座談会 5/26 三浦真先輩（2005 経卒）「『最も重要な掟』に従って生きる」 7/28 吉岡直人先輩（1972 理 D）「宇宙原理と人間原理」 9/22 梶村慎吾理事（1969 法卒）「第 5 回同盟協議会報告等」 11/24 朴大信先輩（2011 人文社会研究所卒） 1/26 岩佐明彦先輩（1994 工）「仮説のトリセツーもし、仮設住宅で暮らすことになったら」 ◆近隣教会訪問 5/30 日本聖公会東京教区 東京聖テモテ教会　司祭：香山洋人牧師 6/13 日本基督教団弓町本郷教会　大澤宣牧師 7/3 日本福音ルーテル教会 安井宣生牧師 ◆年次別 OB 会 5/23 追分会　9 名参加 6/25 若手会 10/1 さりげなく集う YM の会　24 名参加 ◎2016 年度決算の件 ◎日本 YMCA 同盟代議員選任の件 ◎その他： ◆6/16 東京都管理法人課に 2015 年度事業報告等を提出 ◆公益財団法人ホームページを開設
2017/5/13	創立 129 周年記念礼拝　説教：左近豊牧師「アーモンドの枝を見たもの」　出席者 26 名 ※会報 147 号に説教録
2017/5/13	2017 年度第 1 回評議員会 ◎2016 年度事業報告の件、◎2016 年度決算の件 ◎理事選任の件：新理事として月本昭男 上智大学神学部特任教授（71 文）、学生理事として、吉田聖、山岸純平、呉爾傑兄を選任した。任期はいずれも 2018 年定時評議員会終結のときまで
2017/6/17	春季公開講演会　講師：船本弘毅 関西学院大名誉教授・東京女子大学

	元学長）　「究極のものと究極以前のもの～ボンヘッファーの信仰に学ぶ～」　※会報 148 号に講演録
2017/7/7	会報 147 号発行 巻頭言：篠原正雄氏「上州安中、柏木義円牧師のこと」 随想：島田宗洋氏（1966 年医）「リビング・ウイル」 追悼：青本健作氏　「原田明夫さんへの弔事（2017 年 4 月 6 日帰天）」
2017/9/16	2017 年度第 2 回理事会　徳久俊彦理事長、他理事が出席 ◎2017 年度上半期事業報告の件、◎2017 年度収支見込みの件 ◎2017 年度下半期事業計画の件 ◎次年度理事長及び常務理事選任の件 ◎学生主事選任の件：木原盾氏の留学・退舎に伴い、後任に、康佳慧氏（法学政治学研究科博士課程・2015 年入舎）を選任した。任期は 1 年
2017/9/16	故原田明夫前理事長を偲ぶ会　追悼説教：広田叔広梅が丘教会牧師「最期の祈り」　※会報 148 号に説教録
2017/11/4	秋季公開講演会　講師：金澤正剛 国際基督教大学名誉教授「宗教改革 500 年をめぐって」　（宗教改革の結果、音楽がどのように変わったか？）　※会報 148 号に講演録
2017/11/11	関西 OB 会は、発題：丸川正吾氏と関口哲生理事、神戸 YMCA にて 14 名出席。　※会報 148 号に報告
2017/12/9	クリスマス礼拝・祝会　説教：大澤宣 日本基督教団弓町本郷教会牧師「希望のしるし」　※会報 149 号に説教録
2017/12/8	会報 148 号 ＊巻頭言：小堀洋志氏（1971 年工）「たとえ泥臭くても」 ＊随想：関澤純氏（1966 年農）「福島原発事故被災者から見た緊急時対応と基本的人権の尊重」 ＊OB の声：宮田光雄氏（1951 年法）「吉野作造先生と私」 ＊原田前理事長（2017/4/6 帰天）への追悼文：徳久俊彦氏（1953 年経）、木下毅氏（1960 年教）、二神康郎氏（1960 年農）、島田宗洋（1966 年医）、岡本謙一氏（1968 年養）、梶村慎吾氏（1969 年法）、広田叔広 梅が丘教会牧師　「前夜式・告別式式辞」、「追悼説教」
2018 年（平成 30 年）	
2018/2/17	2017 年度第 3 回理事会：徳久俊彦理事長、他理事が出席 ◎理事長職務執行状況報告； ◆「税額控除に係わる証明書」の有効期間：現行「2017/10/28 まで」につき、改めて 8/15 に同証明書申請を行い、11/15 に交付された。 ◆大規模修繕募金が 12 月末に終了し、寄付金総額は約 675 万円となっ

	たこと等を報告 ◎次年度理事及び常務理事選任の件：2018 年 5 月の定時評議員会終了の時をもって理事任期が終了するため、改めて選任が必要。野崎理事より退任したい旨の申し出があった。
2018/4/21	2018 年度第 1 回理事会 ◎2017 年度事業報告 ◆舎生数は 23 名、うち女性は 7 名、留学生は 7 名（韓国 3 名、中国、ポルトガル、インドネシア、シンガポール各 1） ◆聖書研究会：引き続き講師は、左近豊 日本基督教団美竹教会牧師で、「詩篇」を中心に ◆春季修養会：3/9～10　東山荘にて、9 名参加 ◆合同祈禱会 4/13 蔦田康毅 東京国際基督教会牧師　「イースター」（マタイ 21 章 1～11） 5/11 重田稔仁 上野の森キリスト教会牧師　「聖書ディスカッション」 6/8 小幡塁 JECA 永福南キリスト教会牧師　「証」（ヨハネ 21 章 24～25） 7/12 三宅規之 めぐみ福音キリスト教会牧師 9/14 井上武 レデンプトール修道会神父　「キリストの自由」 10/12 北川正弥 日本基督教団代々木中部教会牧師　「怪力サムソン」 11/9 鈴木啓之 国際基督教会宣教師「へりくだる者に恵みを」 1/11 Duane Dietze 日本福音自由教会宣教師 「主の誠実とそれへの応答」 2/8 朴大信 東京神学大学大学院生　「主の教えに生かされる慰め」 ◆7/27 関東地区学生 YMCA 聖書研究会を当会礼拝堂にて実施。東大、立教、清泉、慶応、早稲田、中央、大宮 YMCA から 25 名参加。講師は、左近豊 日本基督教団美竹教会牧師 ◆OB 座談会 5/18 西部悠太先輩（2016 年農・生命科学研究科）　「学生時代・今の職業など」 7/13 徳久俊彦理事長　「東大 YMCA の歴史から」 9/21 梶村慎吾理事（1969 法卒）　「第 6 回日本 YMCA 同盟協議会報告等」 10/19 千葉岳洋先輩（2014 年卒）：ピアノ演奏と音楽家として生きることなどのお話 1/18 中川徹先輩（1963 年卒）　「人類文化の主要矛盾の克服のために『自由』と『愛』と『倫理』」

	◆年次別 OB 会 4/12 追分会　11 名出席 9/16 若手会　9 名出席 10/7 さりげなく集う YM の会　18 名出席 11/8 追分会　9 名出席 ◎その他 ◆6/22 東京都管理法人課に 2016 年度事業報告等を提出 ◆日本 YMCA 同盟代議員に引き続き梶村慎吾氏を選任（ただし次回評議員会で理事に選任の場合）
2018/5/12	創立 130 周年記念礼拝　説教：阿久戸光晴 聖学院大学理事長・院長 「AI　時代の新しい学問の構築」　35 名参加。※会報 149 号に説教録
2018/5/12	2018 年度第 1 回評議員会 ◎2017 年度事業報告の件、◎2017 年度収支計算書の件 ◎理事選任の件：本日の評議員会をもって理事全員が任期満了となるため、次期理事を次のとおり選任した。 【理事名簿】　徳久俊彦、長島章、関口哲生、梶村慎吾、清水正之、垣内史堂、岩見宣治、月本昭男、山岸純平の各氏（以上再任)、浜村俊傑、浅見啓一藤原智也の各兄（以上新任）野崎昭弘氏は退任。理事は 12 名、任期は 2018 年 5 月～2020 年定時評議員会の終結の時まで
2018/6/23	2018 年度第 2 回理事会 ◎代表理事選任の件：代表理事に徳久俊彦理事を選任し、常務理事は当面代表理事（理事長）が兼務することを決定した。
2018/6/23	春季公開講演会　講師：月本昭男理事　「旧約聖書の現代的意味～出エジプト伝承を中心に～」　33 名参加。※会報 150 号に講演録
2018/7/9	会報 149 号発行 巻頭言：徳久俊彦氏（1959 年経）　「130 周年を迎えて」 OB の声：木下毅氏（1960 年教）　「生きた信仰とは？」 ＊原田前理事長（17/4/6 帰天）への追悼文：萩野谷興氏（63 年法） ＊創立 130 周年記念特集：中島伸一氏（1964 年法)「閑話三題、梶村慎吾氏（1969 年法）　「創立 130 周年に思う」、中所武司氏（1969 年工)「50 年前（1968 年）は大学紛争の年だった」、水上拓郎氏（2004 年農)「葡萄の木に接木された小さな信仰の歩み」、木原盾氏（2017 年育)「退舎して 1 年を経て～キリスト者の多様性～」
2018/9/8	2018 年度第 3 回理事会：徳久俊彦理事長、他理事が出席 ◎2018 年度上半期事業報告の件 ◎2018 年度収支見込みの件 ◎下半期事業計画の件

2018/11/10	関西 OB 会　神戸 YMCA にて 11 名参加。講師：鈴木道剛 東北学院大学教授「アイドル（偶像）よりイコン（聖像）へ〜芸術と科学と現実生活を支える受肉」 ※会報 150 号に報告
2018/11/24	秋季公開講演会　講師：金澤正剛 国際基督教大学名誉教授「教会暦と音楽」　20 名参加
2018/12/9	クリスマス礼拝・祝会　説教：藤森友紀 日本基督教団富士見町教会牧師　「光は暗闇の中に輝く」34 名参加　　※会報 150 号に報告
2018/12/25	会報 150 号発行 ＊巻頭言：山口周三氏（1964 年法)「南原繁先生から学んだこと」 ＊事業部報告 ▷総務：舎生は 22 名、ここ 2 年程、学部生が増加 学生 YMCA との交流として、夏期ゼミやオリエンテーションに参加 ▷企画：、公開講演会、OB 座談会など ▷聖研：早天祈禱会（出席率が比較的高い)、　月末には「月末恵み会」を開催。聖研は毎月第三木曜、合同祈禱会は毎月第二木曜 ▷文共：会報発行、蔵書貸出制度など
2019 年（平成 31 年／令和元年）	
2019/2/9	2018 年度第 4 回理事会 ◎理事長・常務理事の職務執行状況報告の件 ◆10/25 東京都の立ち入り検査が実施された。事務的な不備事項のほか、「入寮選考基準では常務理事を選考者と定めているが、2017 年度以降は常務理事が不在のため基準のとおり実施されていないこと」、及び「理事長が常務理事を兼務しているが、これは法令及び当会定款に違反しており、かつ違反の認識がないこと」の重要な指摘があり、合わせて東京都から同生活文化局都民生活課に出頭を命じられた。これを受けて 1/21 に理事長と事務局長が赴き、事務的な不備を謝罪のうえ、今後の対応方針案を説明した。 ◎2018 年度事業報告の件、◎2018 年度収支見込みの件 ◎2019 年度事業計画の件、◎2019 年度収支予算の件 ◎理事長・常務理事選任の件
2019/4/20	2019 年度第 1 回理事会 ◎理事長・常務理事職務執行状況報告 ◎2018 年度事業報告の件 ◆舎生数：19 名、うち女性 7 名、留学生 4 名（中国、韓国、インドネシア、シンガポール各 1)

	◆聖書研究会　講師：洪徳憙 日本基督教団洗足教会牧師（ルカによる福音書を中心に） ◆関東地区学生 YMCA 聖書研究会　11/29　当会礼拝堂にて実施。東大、清泉、慶応、中央、一橋、YMCA から 31 名参加。講師は洪徳憙先生 ◆合同祈禱会 4/12 岡谷和作 KGK 主事　「マルコによる福音書 12 章 1〜11」 6/7 松坂政広 上野の森キリスト教会副牧師　「助け手とは」 7/12 小川国光 日本恵約キリスト教会牧師　「コリント人への手紙第一 13 章 1〜13」 9/13 斎藤正 日本基督教団根津教会牧師　「ルカによる福音書 5 章 1〜11」 10/11 敦賀章博 日本長老教会久我山キリスト教会牧師　「詩篇 126 篇」 11/18 山本裕司 日本基督教団西片町教会牧師　「創世記 28 章 10〜22」 1/10 瀬戸高志 レデンプトール修道会神父　「イエスの招きを生きる」 2/14 左近深恵子 日本基督教団美竹教会牧師　「キリストの道」 ◆OB 座談会 5/24 米倉将吾先輩（2024 年卒）　「ご自身の寮生活、信仰、研究などのお話」 7/26 小堀洋志先輩（1971 年工卒）　「東大 YMCA より生まれた賛育会について」 9/27 関智征先輩（2003 年卒）　「当時の寮生活やご自身の信仰、現在までの活動などのお話」 10/18 石川憲彦先輩（1973 年医卒）　「障害を持つ子供達との関わりなどのお話」 1/24 古屋玲奈（2017 年卒）　「漫画家としての生活や寮生活の思い出などのお話」 ◆年次別同期会 6/9 追分会　10 名出席 6/14 若手会　12 名出席 10/6 さりげなく集う YM の会　19 名出席 11/5 寺尾榮祐兄を偲ぶ会　9 名出席 11/8 若手会・オリエント博物館見学会（月本昭男館長主催）と懇親会 ◎2018 年度決算の件 ◎諸規定制定の件：「入舎選考基準」「経理規程」「印章取扱規程」「公開

	講演会及び講師謝礼に関する規程」「個人情報管理規程」を改訂した。 ◎理事長・常務理事選任の件：徳久理事長から、来年 5 月に理事全員が任期満了を迎えるにあたり、理事長（代表理事）を辞任したい旨の申し出があった。常務理事については篠原正雄氏を候補者とする案が出され、5 月の評議員会に同氏及び伊村大吾、松永るつ、中山貴絵の学生理事候補者を推薦することとした。また事務局長は引き続き置きたいとの強い要望が出された。 ◎学生主事選任の件：藤原智也氏を選任 ◎その他； ◆2019 年 4 月より、東大内でのサークル活動顧問は霜垣幸浩 工学系研究科教授（1984 年卒）から五百旗頭薫 法学政治学研究科教授（1996 年卒）に交代する。 ◆6/14 東京都管理法人課に 2017 年度事業報告などを提出 ◆2018/10/25 の東京都の立ち入り検査については、1/21 に理事長が説明に赴いた後、2/28 に文書で回答した。これに対し 3/27 に「速やかに対応を進められたい」との回答があった。
2019/5/11	創立 131 周年記念礼拝　奨励：パウロ眞野玄範 日本聖公会横浜教区（甲府聖オーガスチン教会・長坂聖マリア教会）司祭　「エキュメニカル運動の経験」　出席者 25 名 ※会報 151 号に説教録
2019/5/11	2019 年度第 1 回評議員会 ◎篠原正雄氏が新理事に選任された。任期は 2021 年 5 月まで
2019/6/15	春季公開講演会　講師：五百旗頭薫 東京大学教授「吉野作造の歴史認識」　23 名参加。　※会報 151 号に講演録
2019/7/1	会報 151 号発行 ＊巻頭言：青本健作氏（1963 年法）　「ノートル・ダムと森有正」 ＊関西 OB 会予告編：関口哲生氏（1954 年工） ＊三浦真氏（2005 年経）　「東大 YMCA への寄付について」 ＊追悼：村松武司（1955 年医・薬）「畏友 宮田新平兄（1954 年医・薬卒 2018/12/18 帰天）を悼む」
2019/9/14	2019 年度第 3 回理事会　徳久理事長、他理事が出席 ◎2019 年度上半期事業報告の件、◎2019 年度上半期収支報告の件 ◎2019 年度下半期事業計画の件 ◎評議員選定委員選任の件：選定委員は、吉岡直人評議員、木村庸五監事、明神恵子事務局員、及び外部委員として小堀洋志氏と平野明宏氏の計 5 名を選任した。 ◎理事会・事務局の体制の件：篠原新理事を紹介。20 年 5 月の評議員

	会開催の日をもって、篠原理事を除く理事・監事・評議員が任期満了になる。新体制のもとで、常務理事の選任、事務局体制を整えることとした。 ◎その他：建物賃貸借契約により、㈱東信堂と契約を更新（期間：2019/8/22～2021/8/21）
2019/11/16	関西 OB 会　京都大学 YMCA 会館にて、「今、取り組んでいること、考えていること、学んでいること、お気に入りの一冊など」で発題・懇談 9 名出席　※会報 152 号に報告
2019/11/9	秋季公開講演会　金澤正剛 国際基督教大学名誉教授「クリスマスと音楽」
2019/12/14	クリスマス礼拝・祝会　説教：北川美奈子 三軒茶屋教会副牧師「インマヌエル～神は共におられる」
2019/12/23	会報 152 号発行 ＊巻頭言：関栄次氏（1953 年法） ＊夏期修養会報告：徳永友花氏（2018 年工）　「ノンクリスチャン向けの聖書学びの会」 ＊追悼；高沢金吾氏「佐野謙一君の思い出（1984 年工・2019/11/8 帰天)」
2020 年（令和 2 年）	
2020/2/8	2019 年度第 3 回理事会：徳久理事長、他理事が出席 ◎2019 年度事業報告の件、◎2019 年度収支見込みの件 ◎2020 年度事業計画の件、◎2020 年度予算の件 ◎理事・評議員候補者推薦の件、◎理事長・常務理事選任の件 ◎特定費用準備資金取扱規則（案）の件：都から指摘された「規則案」を作成した ◎退職金規定（案）
2020/2/29	東大 YMCA 医師懇談会：会館礼拝堂にて開催。先輩医師を中心に、初めての試みとして、YM 出身の医師各位に呼び掛けて、一堂に会して顔合わせのうえ、専門分野、社会福祉法人・賛育会の現状と将来の課題などについて情報交換・懇談を行った。医師 6 名、賛育会関係者など計 13 名が出席　※会報 154 号に篠原正雄氏による議事報告
2020/3/16	評議員選定委員会：新型コロナウイルスの感染予防対策のため、委員会は書面決議により、候補者全員を選任した。
2020/4/30	2020 年度第 1 回理事会（新型コロナウイルスの感染予防対策のため、書面決議による開催とした） ◎2019 年度事業報告の件

◆舎生数：16 名、うち女性 5 名、留学生 7 名（中国、韓国、インドネシア各 2、ルワンダ 1)。寄宿舎においては 4 月現在で新型コロナ感染の影響は少なく、2 週間の隔離者 3 名も舎に戻り、通常の生活を送っている。
◆聖書研究会　講師：洪徳憙先生（日本基督教団洗足教会）　7～12 月はヨハネ福音書を中心に、1 月はルツ記、2 月は雅歌
◆10/17 関東地区学生 YMCA 聖書研究会　当会礼拝堂にて実施。東大、清泉、慶応、中央、一橋、YMCA から 31 名参加。講師は洪徳憙先生
◆合同祈禱会
4/11 リチャード・イースト KGK 主事　「主にあって喜びなさい」
6/6 小川堅・真理子 東京恵約キリスト教会宣教師（タンザニア派遣宣教師）　「期待される種のしもべ」
7/11 原田元道 日本福音自由教会 TMC 牧師　「ローマ人への手紙 5 章 6～11」
9/12 石丸泰樹 日本基督教団牧師　「使徒言行録 4 章 1～22」
10/10 北原和夫 日本基督教団三軒茶屋教会副牧師　「コロサイ人への手紙 3 章 12～17」
11/14 青山潤 日本福音キリスト教会連合・浜田山キリスト教会牧師　「ヨハネによる福音書 1 章 1～5」
1/30 赤城海 聖書宣教会牧師　「福音と伝道」
2/13 安海靖郎 インドネシア福音教会牧師　「終末と使命」
◆日曜夜の聖書の学びの会：徳永友花氏と Duane Dietze 日本福音自由教会宣教師夫妻による自由参加の集会。テキストは「始めて聖書を開く人のための 12 のステップ」。月に 1 回実施
◆OB 座談会
5/23 ガイビン・ヘロル先輩（2013 年卒）　「ご自身の人生の振り返りとこれからの展望などのお話」
9/26 徳永悠希先輩（2019 年卒）　「ご自身のクリスチャンとしての歩みや現在の仕事（㈱AQUA 勤務）などのお話」
11/28 三浦真先輩（2006 年卒）　「ご自身のクリスチャンとしての歩みや公認会計士のキャリア、タラントンの教えなどのお話」
1/23 鹿島真先輩人（2007 年卒）　「NHK 番組プロデューサーの仕事のお話など」
◆年次別同期会
10/5 さりげなく集う YM の会　23 名出席
11/20 追分会　7 名出席

	11/22 若手会　10 名出席 ◎2019 年度決算の件：収入では、舎生数の減少による食費収入が減少、会費も漸減傾向にあり、運用益も運営環境の変化により減少した。支出では、修繕工事が頻発し修繕費が増加した。 ◎学生主事選任の件：同主事に藤原智也氏を選任（重任）した。任期は 1 年間 ◎その他：6/26 東京都管理法人課に 2018 年度事業報告等を提出
2020/5/9	創立 132 周年記念礼拝　※コロナ禍により中止
2020/5/9	2020 年度第 1 回評議員会：新型コロナ対策のため、書面決議により開催 ◎2019 年度事業報告の件、◎2019 年度決算の件 ◎役員の任期満了改選の件： 【理事名簿】　長島章、関口哲生、梶村慎吾、清水正之、垣内史堂、岩見宣治、月本昭男（以上再任)、中村義哉、徳永友花、吉田聖の各氏（以上新任）　任期は 2020 年 5 月～2022 年定時評議員会の終結の時まで。篠原正雄、伊村大吾、松永るつ、中山貴絵の各理事は改選期に当たらず継続、徳久俊彦理事は退任 【監事】木村庸五、弥永真生（以上再任）
2020/5/9	2020 年度第 2 回理事会 ◎代表理事選任の件：先の評議員会において、任期満了に伴う理事・監事及び新任理事が選任された旨報告があった。これを踏まえ、代表理事（理事長）を選任したい旨説明があり、月本昭男理事を選任することを決議した。 ◎常務理事選任の件：月本議長より常務理事を選任したい旨発言があり、篠原正雄理事を選任することを決議した。
2020/8/7	会報 153 号発行 ＊巻頭言：月本昭男氏（1971 年文)「新理事長挨拶」、徳久俊彦氏「理事長退任の挨拶」 ＊徳永友花氏（2018 年工)「ノンクリスチャン向けの聖書学びの会　その 2　神を知る過程」 ＊市川祐三氏（1949 年経）　「コロナウイルスに関する雑感」 ＊追悼：徳久俊彦氏「『平和憲法とともに』～深瀬忠一の人と学問～について（53 年法・2015/10/5 帰天)」、「束野宗利さん帰天のこと（51 年法・2018/12/29 帰天)」、「百瀬泉さん追悼（56 年文・2019/1/23 帰天)」、関口哲生氏（1954 年工)「藤村洋兄を偲ぶ（1953 年 2020/1/9 帰天)」
2020/9/12	2020 年度第 3 回理事会：新型コロナ対策のため、書面決議により開催

	◎2020 年度下期事業計画の件 ◎事業執行状況、上期事業及び 20 年度収支見通しの報告
2020/12/7	会報 154 号発行 ＊巻頭言：合田隆史氏（1978 年法）　「旅人よ」 ＊関澤純氏（1966 年農）　「『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）とメンタルヘルス対応の必要性』」（国連ポリシーブリーフ）を通して考える。 ＊関口哲生氏（1954 年工）　「『コロナ禍　いかに生きるか』　旧約聖書と本会報を読む」 ＊追悼：関口哲生氏　「関栄次兄　松本高校から僚友の外交官人生を偲ぶ（53 年・2020/7/16）」
2020/12/12	クリスマス礼拝・祝会　説教：徳田信 日本基督教団大津教会担任牧師（06 年総合文化研究科卒）　「思い巡らすマリア」　※コロナ禍により舎生のみオンラインで実施
2021 年（令和 3 年）	
2021/1/17	「第 1 回東大 YMCA 会館将来構想懇話会」を開催（コロナ禍により Zoom により開催） ・会館の建物は建築後 50 年近くを経過した。緊急に具体的な将来計画を策定しなければならない状況ではないが、会館の将来の可能性と方向性などについて、世代横断的なメンバー構成で意見交換を行った。 ・検討メンバーは、月本昭男理事長、篠原正雄常務理事、岩見宣治理事、小堀洋志氏（1971 年工）、市川祐三（1974 年経）氏、岩佐明彦氏（1994 年工）、中村義哉理事（2000 年経）、徳永友花理事（2018 年工）、花川耕介（2003 年新領域創成科学）兄、吉田聖兄（舎生）の 10 名 ・20 年後くらいを想定してマンションの建替えに合流する案や早めに現会館部分を他に売却して移転する案などがあるが、いずれにしろ東大 YMCA という組織の将来のあり方の議論と一体であり、今後とも幅広く議論を進めることとしたい。
2021/2/20	2020 年度第 4 回理事会：新型コロナ対策のため、書面決議により開催 ◎2020 年度事業報告の件、◎2021 年度事業計画の件 ◎2021 年度予算の件：3 月に退舎生が多く、一方コロナ禍により新入舎生の募集が難しい状況で、予算面では困難が予想される。 ◎第 1 回「第 1 回東大 YMCA 会館将来構想懇話会」の報告
2021/4/24	2021 年度第 1 回理事会：新型コロナ対策のため、書面決議により開催 ◎2020 年度事業報告の件

	◆舎生数：20 名、うち女性 6 名、留学生 10 名（中国 1、韓国 6、インドネシア 2、ルワンダ 1）（2021 年 3 月 31 日現在） ◆聖書研究会は、4 月・5 月は中止、6 月以降は Zoom で開催、講師は 11 月まで洪徳憙先生（日本基督教団洗足教会)。1 月から大塚啓子 日本基督教団目黒原町教会牧師によりマルコ福音書を通読 ◆OB 座談会は 4 月・5 月は中止のうえ、6 月以降は Zoom で開催 6/25 浜村俊傑先輩（2019 年教育学研究科卒）　「臨床心理学の研究や信仰の歩みのお話など」 7/23 岩谷雄介先輩（2015 年法科大学院卒）　「寮での生活や現在の企業法務弁護士の仕事の話など」 9/24 ウンイキット先輩（2018 年農学生命科学研究科卒）　「信仰の歩みや学生時代の話など」 10/22 谷田巌先輩（2015 年農学生命科学研究科卒）　「海洋生物の研究や現在の仕事のお話など」 2/25 三島潤平先輩（2020 年工学系研究科卒）　「寮生活や現在の IT コンサルタントの仕事のお話など」 ◆春季・秋季公開講演会は中止。関西 OB 会は中止 ◆年次別同期会 ・若手会はコロナ禍の中で活動を継続するために、毎月 1 回 Zoom によるビデオフォーラムを開催。講師は主にメンバーが持ち回りで卓話を行う形式で、参加者は若手会に限らず、前後世代の OB 会員が出席 ・聖書を学ぶ会は、Zoom により月 1 回のペースで開催 ◎2020 年度決算の件 ◎評議員選定委員会規則改定の件：書面及び電磁的記録による決議ができるように条文追加 ◎学生主事選任の件：下田優太兄を選任した。任期は 1 年間 ◎その他：6/26 東京都管理法人課に 2018 年度事業報告等を提出
2021/5/8	創立 134 周年記念礼拝　説教：太田信三 日本聖公会東京教区・東京聖テモテ教会「イエスとの出会い」　＊オンラインによる開催　※会報 155 号に説教録
2021/5/8	2021 年度第 1 回評議員会　＊書面決議による開催
2021/6/12	春季公開講演会　講師：月本昭男本会理事長・上智大学名誉教授 「旧約聖書と現代―『エデンの園』の物語に見る人間観」　※会報 156 号に講演録
2021/7/29	会報 155 号発行 ＊巻頭言：柳谷雄介氏（1993 年農）　「あれから 10 年」（新生釜石教会牧師）

	＊追悼：徳久俊彦氏　「関栄次君を送る（1953 年・2020/7/16)」、「紅山雪夫さん追悼（1960 年育・法、2020/5/8 帰天)」 ＊関口哲生氏（1954 年工）　「東大 Y 会員を結ぶ絆　後輩・先輩をつなぐ会報」 ＊梶村慎吾氏（1969 年法）　「東大 YMCA 会館・寄宿舎の建替えについて」 ＊学内掲載用ポスターを一新
2021/9/11	2021 年度第 2 回理事会：新型コロナ対策のため、書面決議により開催 ◎2021 年度上半期事業報告の件 ◆舎生数：12 名、うち女性 3 名、留学生 6 名（韓国 3，インドネシア 2、ルワンダ 1)、新型コロナ禍などにより、新入舎生の勧誘が困難な状況 ◎2021 年度下半期事業計画の件 ◎常務理事選任及び事務局運営の件 ◎その他： ◆7/1 東京都管理法人課に 2020 年度事業報告等を電子申請により提出。また、理事の変更登記が 7/6 に完了したので、7/8 に 2021 年度「役員変更等届」を電子申請により提出。 ◆8/23 当会館地下 1 階を使用している㈱東信堂との契約更新手続きを行った（期間は 2021/8/22～23/8/21)。
2021/10/30	東大 YMCA 理事・監事懇談会：コロナ禍により、対面での理事会が開催できなかったため、オンライン併用で懇談会を臨時に開催した。 出席理事・監事：月本昭男、篠原正雄、長島章、関口哲生、梶村慎吾、清水正之、垣内史堂、岩見宣治、中村義哉、徳永友花、堀洸太郎、テオロドス・ジョナタン・ウイジャヤ、木村庸五の各氏 議事要旨：①舎生募集の強化が急務であり、理事会と舎生ともども早急に様々な募集活動を展開する。②ホームページは現在版の更新を図りつつ、本来は会員相互のコミュニケーションの場としても有効であるので、法人運営、舎生の活動の両面からページの構成や内容の充実を図る。そのための検討体制を早急に整える。③留学生の卒業後の状況を把握し、会報の配信、会費の納入につなげる。③会館再建問題と将来構想及びそのための募金活動については、理事会のオーソライズのもとに、早急に法人としての検討体制を整える。④来年度以降の理事体制と事務局体制については、人選も含めて早期に準備を進める。
2021/11/6	秋季公開講演会：金澤正剛 国際基督教大学名誉教授「レクイエムの歴史」＊オンライン併用による開催　※会報 156 号に講演録
2021/11/13	関西 OB 会　＊Zoom で開催。

2021/12/11	クリスマス祝礼拝：江藤直純 日本福音ルーテル教会引退牧師　「赤ん坊と十字架」　＊コロナ禍により舎生のみで実施　※会報 157 号に説教録
2021/12/15	会報 156 号発行 ＊巻頭言：税所真也氏（2009 年文）　「東大 YMCA に感謝して」 ＊近藤信和氏（1987 年法）　「南原繁研究会や高円寺東集会に入会して」 ＊中村義哉氏（2000 年経）　「東大 YMCA 会館・寄宿舎建て替え等の問題について」 ＊「さりげなく集う YM の会で出された東大 YMCA 会館・寄宿舎建て替え等の問題点に関する意見」（幹事団：山口周三、島田宗洋、関澤純、垣内史堂、梶村慎吾の各氏）
2022 年（令和 4 年）	
2022/2/12	2021 年度第 3 回理事会：月本理事長、他理事が出席（Zoom 併用で開催） ◎2021 年度理事長・常務理事職務執行状況報告：寄宿舎内でのコロナ感染者発生はなく、この中で、クリスマス祝礼拝、公開講演会、聖書研究会、合同祈禱会、OB 座談会などの事業はオンライン開催を交えて実施した。また 10/30 には、対面による理事・監事懇談会を実施した。 ◎2021 年度事業報告の件 ◆舎生数：10 名、うち女性 2 名、留学生 6 名（韓国 3，インドネシア 2、ルワンダ 1） ◎2021 年度収支見込みの件、◎2022 年度事業計画の件 ◎2022 年度予算の件：舎生数の減少に伴い、年間 15 名で予算を組む。 ◎学生主事選任の件：張亨碩（チャン・ヒョンソク）氏（情報理工学研究科 D1・2021/3/3 入舎）。就任期間は、前学生主事 下田優太氏の残期間と併せて 23 年 3 月末まで ◎理事推薦の件
2022/4/23	2022 年度第 1 回理事会：月本理事長、他理事が出席（Zoom 併用で開催） ◎2021 年度事業報告の件 ◆舎生数：12 名、うち女性 1 名、留学生 6 名（韓国 2、インドネシア 2、ルワンダ 1、中国 1）。※4 月には 15 名になった。 ◆聖書研究会　講師：大塚啓子 日本基督教団目黒原町教会牧師　「ヨブ記」 ◆合同祈禱会 4/8 山本裕司 日本基督教団西片町教会牧師　「復活の主、つきぬ宴」

	5/13 間島直之 日本同盟基督教団多摩教会　「生きる望み」 6/10 アイダル・ホアン・カルロス カトリック麹町・聖イグナチオ教会神父　「イエスを眺める」 10/14 本田勝弘 日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団日本中央聖書会牧師　「そういうわけだから」 11/18 小暮泰久 イエズス会無原罪聖母修道院霊性センター神父　「聖霊との協働（シュネルギア）」 12/16 小宮山祐一 日本キリスト改革派綱島教会牧師 1/27 佐倉泉 カトリック麹町・聖イグナチオ教会祭壇奉仕者・サレジオ会翻訳担当　「祈りについて」 2/10 片山はるひ 上智大学神学部教授　「『こころ』をつなげる祈り」 ◆OB 座談会 5/27 菅野紀子先輩（2019 年農卒）「現在研究していることやフィリピン留学、信仰のお話など」 9/18　OB・OG 座談会及び交流会　「東大 YMCA 寮の現在」（元学生主事の下田優太氏を中心に） 10/7 駿河敬次郎」先輩（1944 年医卒）「ふるさと 101 年のこの地上の旅路」 ◆現舎生・OBOG 交流会（旧「ノンクリスチャン向けの聖書の学びの会」） 4/25、5/30、6/27、7/18、8/29,10/28、1/29 に開催 ◆年次別同期会 4/25 拡大若手会ビデオフォーラム（毎月 1 回で 12 回実施） 10/7 さりげなく集う YM の会 ◎2021 年度決算の件：コロナ禍により舎生募集が困難で収入減、修繕費・鳩害対策等による支出増、及び有価証券売却損があり、当期損益は約 833 万円の赤字 ◎理事推薦の件：5 月に任期満了となる理事 9 名について全員を再任し、新理事として、山口栄一氏、合田隆史氏、張亨碩（チャン・ヒョンソク）氏を推薦することを決定 ◎東大 YMCA 会館将来構想検討会議の件：同会議の設置を決定 ◎その他 ◆休学中の在舎身分の取扱い、入舎・在舎プロセスの改訂：休学予定者が舎にとどまる場合は、①東大で休学手続きを取る前に寄宿舎総会に認めてもらうこと、②事務局に「休学理由書」及び「休学期間記載の在学証明書」を提出することとした。（これは 4/17 寄宿舎総会で決定したもの）

	◆3 階・4 階の廊下やベランダに鳩が巣を作り、糞害などが生じたので、殺菌消毒の上、ネットを張るなどの対策工事を行った。
2022/5/14	創立 134 周年記念礼拝　説教：大塚啓子 日本基督教団目黒原町教会牧師「祈りの交わり」　※会報 157 号に講演録
2022/5/14	2022 年度第 1 回評議員会 ◎2022 年度事業計画の件、◎2022 年度収支予算の件、◎2021 年度事業報告の件、◎2021 年度決算の件を審議。以上、議事は前回理事会にほぼ同じ ◆「東大 YMCA 会館将来構想検討会議」を設置し、法人として将来構想の検討を進める準備をしていることを報告した。
2022/6/11	春季公開講演会　講師：金ゼヒョ 韓東大学教授「ニューノーマル時代御国を生きる　Entrepreneurial engineer」
2022/6/22	2022 年度第 2 回理事会（書面決議） ◎22 年度第 1 回評議員会において理事が選任されたので、改めて互選により月本昭男氏を代表理事に選任した。
2022/7/15	会報 157 号発行 巻頭言：眞野玄範氏（1995 年教育）　「一つとなりますように」 ＊追悼：徳久俊彦氏（1953 年経)「高久史麿君を送る（1954 年医・2022/3/24 帰天)」、徳久俊彦氏（1953 年経)「宮原守男君を偲ぶ（1952 年法・2021/12/14 帰天)」
2022/9/10	2022 年度第 3 回理事会：月本理事長、他理事が出席 ◎理事長職務執行状況報告 ◎2022 年度上半期事業報告の件、◎2022 年度下半期事業計画の件 ◎日本 YMCA 同盟代議員選任の件：篠原理事を再任（1 期 2 年） ◎その他 ◆6/23 東京都管理法人課に 2020 年度事業報告等を提出 ◆理事の変更登記が 7/11 に完了したので、7/20 に 2022 年度「役員変更等届」を提出
2022/9/17	2022 年度第 3 回理事会
2022/11/12	関西 OB 会：京都大学 YMCA 会館　京大 Y 地塩寮との交流会。19 名参加：京大 Y9 名、東大 Y10 名（うち関西 3 名）　※会報 158 号に報告
2022/11/19	秋季公開講演会　講師：山本芳久 東京大学大学院総合文化研究科教授「トマス・アクィナスの感情論―『愛』と『希望』―」　※会報 157 号に講演録
2022/12/10	クリスマス祝礼拝　説教：アンドレア高木賢一 カトリック神田教会主任司祭「ルカによる福音書 2 章 1～20　誕生物語」　※会報 159 号に説教録

2022/12/15	会報 158 号発行 ＊巻頭言：山口栄一氏（1977 年理）　「人生を三回楽しむ秘訣」 ＊月本昭男理事長　「榊裕之さん、文化勲章を受賞」 ＊岡村俊雄氏（1968 年工）　「出エジプト記について」
2023 年（令和 5 年）	
2023/1/22	第 1 回東大 YMCA 会館将来構想検討会議 ・2022 年度第 1 回理事会（4/23）において、建物竣工後 48 年を迎える当会館・寄宿舎の将来の老朽化建替え等に対応するために、 同検討会議の設置を決定した。 ・検討事項は、①建物がマンションとの区分所有であることを念頭に、再建の方法や時期の想定、②舎生数の減少傾向を踏まえ、YM の将来の活動と建物の必要規模の想定、③再建基金の募金開始、④会館竣工 50 周年記念事業の開催の可否など ・検討メンバーは、山口周三（1964 年法)、関澤　純（1966 年農)、梶村慎吾（1966 年法)、小堀洋志（1971 年工)、山口栄一（1977 年理）合田隆史（1978 年法)、岩佐明彦（1994 年工)、中村義哉（2000 年経)、徳永友花（2018 年工）の各氏及び月本昭男理事長、篠原正雄常務理事、岩見宣治管理担当理事
2023/2/25	2022 年度第 4 回理事会：月本昭男理事長、他理事が出席 ◎2022 年度理事長職務執行状況報告：寄宿舎総会の老朽化に伴うエアコン更新工事、LED 照明への更新工事、入舎生の多様化に伴い、入舎選考、舎の運営などを再検討する必要があること、新しい住所録の作成のための意向調査の件などを報告 ◎2022 年度事業報告の件、◎2022 年度収支見込みの件 ◎2023 年度事業計画の件、◎2023 年度予算の件 ◎学生主事選任の件：張亨碩（チャン・ヒョンソク）氏を重任 ◎日本 YMCA 同盟代議員選任の件：篠原理事を再任（1 期 2 年） ◎その他：
2023/2/25	榊裕之氏の文化勲章受賞記念祝会　※会報 160 号に講演録 ・祝辞：月本理事長、梶村慎吾氏、木村庸五氏、川越厚氏、北彰氏 ・記念講演「大学での学びについて考えるー60 年近い大学暮らしの振り返りと次世代への期待―」 ・司会：垣内史堂氏
2023/4/17	第 1 回東大 YMCA 会館 50 周年記念事業・募金小委員会を開催 ◆会館将来構想検討会議の一環として小委員会を開催（座長：関澤純氏） 会館竣工 50 周年を記念して、式典、特別講演会、OB 座談会の開催や、

	会報 50 周年記念号や年表・小冊子の発行などが候補に挙げられるとした。 ◆会館再建募金小委員会を開催（座長：山口周三氏） ・本来、再建募金はある程度具体的な将来計画をまとめたうえで実施すべきことながら、会館 50 周年の節目や会員の高齢化を考慮して、早期に募金を開始することとした。募金趣意書の作成、募金のための特定口座の開設、遺贈などの幅広い募金方法の設定、会員住所録の改訂などを提言した。
2023/4/22	2023 年度第 1 回理事会 ◎理事長職務執行状況報告： ◎2022 年度事業報告の件 舎生数：15 名、うち女性 4 名、留学生 7 名（韓国 3、インドネシア 2、ルワンダ、台湾各 1） ◆聖書研究会　講師：4～11 月は大塚啓子 日本基督教団目黒原町教会牧師を講師にヨブ記を学ぶ。1～2 月は月本昭男理事長 ◆早天祈祷会：日々の祈祷会のほか、「月末めぐみ会」を実施 ◆合同祈禱会 6/30 ホアン・カルロス・アイダ カトリック聖イグナチオ教会司祭（上智大学名誉教授）　「オリゲネスによるイエスの弟子になるための 7 つのすすめ」 7/28 アンドレア高木賢一 カトリック神田教会主任司祭　「神の再発見、人の再発見」 9/22 藤原誠 シオンの群れ教会会員（東京理科大学応用数学科助教）「わたしはあなたとともにいる」 10/13 ロバート・ディーターズ カトリック教会司祭（イエズス会士、上智大学名誉教授）　「なぜイエスが祈るのか」 11/10 松原智 笹塚キリスト教会牧師（聖契神学校講師）「神が喜ばれる祈り～主の祈り」 1/12 村岡信慎 カトリック・イエズス会ブラザー 2/9 後藤満喜 東京ティラナスホール主事 ◆OB 座談会 5/11 映画「パッション」（2001 年）の上映会 9/29 康佳慧先輩（2019 年卒舎・法学政治学研究科在学中）　「寮での研究生活、信仰生活のお話など」 10/27 徳永友花先輩（2019 年卒舎・工学系研究科修了）　「博士時代の研究と博士人材の重要性のお話など」 11/24 吉田聖先輩（2021 年卒舎・工学系研究科修了）

	1/26 浜村俊傑先輩（2019 年卒舎・教育学研究科修了） ◆現舎生 OBOG 交流会 4/23 近藤陸矢先輩「リオと物産と私」 6/4 バイブルプロジェクト動画「聖書って何？」 7/16 バイブルプロジェクト動画「使徒の働き」 9/24 ダニエル・ヘラー先輩「三方よしとものづくり経営：世界の貧困問題と極端な格差社会の出口戦略になれるのか」 10/29 バイブルプロジェクト動画「イザヤ書 概観」 12/11 バイブルプロジェクト動画「ガラテヤ人への手紙 概観」 3/18 関口哲生先輩「私の教養教育と東大 Y」 ◆年次別同期会 4/24 拡大若手会ビデオフォーラム（毎月 1 回で 11 回実施） 9/29 さりげなく集う YM の会 ◎2022 年度決算の件：LED 照明、鳩害対策、エアコン更新工事などの支出が増加 ◎理事候補推薦の件 ◎その他 ◆6/23 東京都管理法人課に 2021 年度事業報告等を提出
2023/5/13	創立 135 周年記念礼拝　説教：奈良部恒平 日本福音ルーテル教会牧師「主の言葉に従って旅立った」　※会報 159 号に説教録
2023/5/13	2023 年度第 1 回評議員会 ◎2023 年度事業計画の件、◎2023 年度予算の件 ◎2022 年度事業報告の件、◎2022 年度決算の件 ◎理事選任の件：篠原正雄、堀洸太郎、テオロドス・ジョナタン・ウイジャヤの 3 人の理事の任期満了に伴い、篠原正雄（重任)、セーンダンヨーエ・シャリテ（新任)、崔民赫（新任）の 3 理事を選任した。
2023/6/11	第 2 回東大 YMCA 会館 50 周年記念事業・募金小委員会を開催 ◆募金趣意書（案）の検討 ◆寄付・寄贈、遺贈などの募金方法と税制優遇措置及びその周知方法などを検討 ◆募金開始時期と募金依頼書送付の検討 ◆50 周年記念事業のイメージプラン
2023/6/24	春季公開講演会　講師：中島みぎわ ワールドビジョン・ジャパン戦略企画室長「グローバル課題を市民の力で解決するーNGO だからできること」　※会報 160 号に講演録
2023/7/8	第 2 回東大 YMCA 会館将来構想検討会議 ◆会館建物がファミール本郷との区分所有であり、YM 単独では動けな

	いこと、建設当時以降に建築基準法などが改正され、現在の階数・容積率での再建は困難であること、舎生数が徐々に減少しており、YM の将来規模を検討する必要があることなどを懸念している。 ◆建築の議論以前に東大 YMCA の将来構想を議論すべきであり、そのために「将来ビジョン小委員会」を設置した。メンバーは、山口栄一（座長)、合田隆史、岩佐明彦、中村義哉、徳永友花の各氏。(山口氏からケンブリッジ大学のコレッジの学生寮などの生活体験をプレゼンテーション)、その他、入舎資格の拡大などを検討 ◆建替えが遠い将来の場合、大規模改修の必要性と可能性 ◆募金計画、50 周年記念事業などの具体的な検討を進める。 ◆以上の検討会議の概要及び検討結果をとりまとめ、23 年 7 月発行の会報送付に同封して、会員各位に報告した。
2023/7/10	東大 YMCA 関西の会：「京大 Y 地塩寮生との交流会」　於：京都大学 YMCA 会館 ※会報 160 号に報告
2023/7/15	会報 159 号発行 ＊巻頭言：榊裕之氏（1968 年工）　「幅広い学びの場・自由闊達な研究の場としての大学への感謝」 ＊関澤純氏（1966 年農)：「福島原発事故への対応と地元民の基本的人権擁護について」 ＊追悼：関智征氏（2003 年法)「東大 YM 駿河敬次郎先輩を天の故郷にお送りして（43 年医・2023/3/21 帰天)」、徳久俊彦氏（1953 年経)「芹澤光治良先輩（1922 経）のこと」、徳久俊彦氏（1953 年経)「徳永五郎君を送る（54 年文・2023/1/6 帰天)」、二神康郎氏（1960 年農）　「萩野瑞兄を偲んで（62 年工・2023/1/24 帰天)」
2023/9/9	2023 年度第 2 回理事会：月本理事長、他理事が出席。 ◎理事長職務執行状況報告、◎2023 年度上半期事業報告の件、◎2023 年度下半期事業計画の件 ◎会館将来構想検討会議の件 ◎日本 YMCA 同盟代議員選任の件：篠原理事の後任として徳永友花理事を選出（2024 年 7 月から 2 年間) ◎東大 YMCA の会館・寄宿舎再建募金活動の開始について 「将来の会館・寄宿舎の再建事業に資するために、広く会員等からの寄付を募り、再建基金として管理する」趣旨で、募金を開始することを決定した。なお、このための募金専用口座を三井住友銀行に開設し、他の運営資金等に流用しないことを原則とした。 ◎その他：

	◆6/5 東京都管理法人課に 2022 年度事業報告等を提出 ◆7/20 本郷消防署から作成指示のあった「東大 YMCA 会館防災計画書」を提出
2023/10/13	徳久俊彦前理事長 逝去　※葬儀式辞は会報 161 号に報告
2023/11/25	秋季公開講演会　講師：福島揚 立教大学大学院講師（神学者、東京神学大学・日本聖書神学校講師)「破局の中の希望～終末論への手引き」 ※会報 161 号に講演録
2023/12/9	クリスマス祝礼拝　説教：太田信三 東京聖テモテ教会牧師（東京諸聖徒教会管理牧師）　※会報 161 号に説教録
2023/12/15	会報 160 号発行 ＊巻頭言：清水正之氏（1971 年文)「人生を巻き戻すということー巻頭言にかえてー」 ＊榊裕之氏「文化勲章受賞記念講演」 ＊追悼：萩野谷興氏（1963 年法）　「三浦永光兄を送る（61 年教養・2023/8/21 帰天)」
2024 年（令和 6 年）	
2024/2/17	2023 年度第 3 回理事会
2024/3/28	評議員選定委員会 出席者：木村庸五監事、小堀洋志外部委員、平野明宏外部委員、明神恵子事務局 次期評議員として、青本健作、岩佐明彦、田川義之氏（以上再任)、田川義之、倉光泰隆、塚本文武、高倉鉄夫、三沢和彦、五百旗頭薫、木原盾の各氏（以上、新任）の 9 名を選任した。
2024/4/27	2024 年度第 1 回理事会 ◎理事長職務執行状況報告 ◎2023 年度事業報告の件 ◆舎生数：舎生数：15 名、(うち女性 5、留学生 7)（韓国 2、インドネシア 2、中国、ルワンダ、台湾各 1) ◆聖書研究会：月本昭男理事長を講師に、年間 9 回実施。「イザヤ書を中心に」 ◆修養会（3/1～2 日）　於：富士吉田市立青少年センター ◆合同祈禱会 4/13 太田信三 東京聖テモテ教会牧師（同志会主事） 東大 Y14 名と同志会 4 名が参加し、祈祷会・茶話会を開催 7/13 カエタノ・コンブリ カトリックサレジオ会神父 ＃他資料では、佐倉泉 聖イグナチオ教会信徒「祈りについて」の記載

	あり 10/12 片山はるひ 上智大学神学部教授 2/8 小林祐 関東 KGK 主事 ◆卒舎生座談会（旧 OBOG 座談会） 5/25 平井正道兄（2017 年卒舎・法学政治学研究科法曹養成専攻科卒） 7/27 木原盾兄（2023 年卒舎・教育研究科卒） 9/28 藤原智也兄（2020 年卒舎・工学系研究科卒） 10/26 田村正徳兄（1974 年卒舎・医学部卒） 2/22 塚本文武兄（1983 年卒舎・経済学部卒） ◆年次別同期会 4/30 拡大若手会ビデオフォーラム（毎月 1 回、年間 11 回実施） 10/5 さりげなく集う YM の会　於：神田学士会館、17 名参加 ◎2023 年度決算の件 ◎理事候補推薦の件 ◎その他：3/17 防災訓練：ファミール本郷と合同で実施（初めての試み）
2024/5/11	創立記念式典　説教：朴大信 日本基督教団松本東教会牧師（2011 年人文卒）　「変わらぬもののために代わる」
2024/5/11	2024 年度第 1 回評議員会：議長は二神康郎評議員 ◎2024 年度事業計画の件、◎2024 年度収支予算の件 ◎2023 年度事業報告の件、◎2023 年度決算の件 ◎理事・監事選任の件：以下のとおり理事を選任した。 梶村慎吾、月本昭男、岩見宣治、清水正之、山口栄一、合田隆史、中村義哉、徳永友花の各氏（以上重任）、山本彼一郎、霜垣幸浩、三浦真、ブディオノ・クリスチャン・ミレニュー、佐藤洸大の各氏（以上新任） ※任期はいずれも 2026 年の定時評議員会終了の時まで 監事は、木村庸五、弥永真生の両氏（以上重任）※任期は 2028 年の定時評議員会終了の時まで なお、篠原正雄・崔民赫両理事は継続、関口哲生、長島章、垣内史堂、張亨碩の各理事は退任した。
2024/6/22	春季公開講演会　講師：川中子義勝 東京大学名誉教授「J・S バッハにおける詩と音楽」　61 名出席
2024/6/22	2024 年度第 2 回理事会（書面決議：理事長は、互選により、月本昭男氏の再任を決定）
2024/7/6	新旧役員懇談会を開催 ① 新入舎生の応募が非常に低調で舎生数が減少傾向にあるので、舎生募集の強化を図らなければならないこと、②舎生間、あるいは舎生と理

	事会などのコミュニケーションがとりづらくなっていて、舎内総会や各部活動の運営が難しくなっていること、③これらの課題に対して理事会がサポートしなければならないことなどが話し合われた。
2024/7/15	会報 161 号発行 ＊巻頭言：高本眞一氏（1973 年医・賛育会病院前院長）「共に生きる精神と患者中心の医療」 ＊秋季公開講演会　福島揚 立教大学大学院講師の講演録 ＊古賀博 早稲田教会牧師　「徳久俊彦さん（2023/10/13 帰天）葬儀式辞」
2024/9/14	2024 年度第 3 回理事会：月本昭男理事長、他理事が出席。評議員の陪席も可能とした。 ◎上半期事業報告・会計報告の件 ◎寄宿舎の運営について ◆7/6 の新旧役員懇談会での意見交換を踏まえて、舎生が困っている具体的な問題、あるいは YM が在学生にとって魅力がないということの原因、男女混住に起因する生活上あるいは舎の運営上の困難さ、最近多くなっている精神的な病の問題、舎監あるいはカウンセラー（顧問）、メンターの導入などについて意見交換を行った。 ◆徳永理事夫妻は、この近くに在住し、世代的にも最も舎生に近いので、従来から何かと舎生の相談役になっていただいているが、この際、改めて「舎生担当理事」をお願いし、引き続き特段の支援をお願いすることとした。
2024/10/26	秋季公開講演会　講師：氏家仁 吉野作造記念館館長　「ふるさとにおける、吉野作造と吉野作造記念館について」　※会報 163 号に講演録
2024/11/2	東大 YMCA 関西の会　TKP ゲートタワービルにて
2024/12/14	クリスマス祝礼拝　説教：大久保正禎 日本基督教団・西片町教会牧師 新舎生劇：マリアとヨセフ
2024/12/19	会報 162 号発行 ＊巻頭言：平野昭弘氏（1982 年法・賛育会病院理事長）　「会計士の仕事と賛育会・東大 YMCA」 ＊OB 寄稿： ・山形謙二氏　「私の辿ってきた道―ホスピスケアのチャレンジ」 ・小堀洋志氏　「徳久俊彦さんの思い出」 ・梶村慎吾氏　「徳久俊彦東大 YMCA 前理事長を偲ぶ」
2025 年（令和 7 年）	
2025/2/15	2024 年度第 4 回理事会：月本昭男理事長、他理事が出席。

	◎2024 年度事業報告の件、◎2024 年度決算の件、◎2025 年度事業計画の件、◎2025 年度予算の件 ◎学生主事選任の件：米倉敬宏兄（農学部獣医学科）を選任 ◎東大 YMCA 寄宿舎生活環境改善の件； ◆2024/12/9 東大 YMCA 舎生・役員懇談会を開催。完成後 50 年を経た寄宿舎の建物・設備に関する改善必要事項について、実態の確認や改善方法などを議論した。（出席者：月本、篠原、岩見、山本彼一郎、山口栄一、合田、霜垣、三浦、徳永の各理事、青本、倉光、高倉、塚本、木原の各評議員、木村監事、米倉、崔、佐藤光汰、道家、ワンハンリン、石井蓮の各舎生。） ◆寄宿舎における女性用トイレ・浴室の整備、個室の騒音対策、乾燥機付き洗濯機の購入、玄関のオートロック化、自転車置き場の改善などについて今後検討を進め、当面必要な改修工事費の予算化を図ること。これに合わせて、ファミール本郷のマンション建替えに関する調査について報告した。 ◎その他：25/9/19 東京都生活文化局都民生活部管理法人課による 6 年ぶりの立ち入り検査があり、11/7 付けの「貴法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査の結果について（通知）」を受領。役員就任予定者による履歴等の確認、評議員会の開催場所の記載、小口現金や残高照合などの責任者の確認等について改善すべきとの指摘があったので、早期に改善に努めなければならない。
2025/4/26	2025 年度第 1 回理事会 ◎2024 年度事業報告の件 ◆舎生数：3 月末現在は 15 名（うち学部 5、大学院 10 名、男子 10 名、女子 5 名)、留学生は 7 名（インドネシア 2、イラン、韓国、台湾、中国、ルワンダ各 1)。4 月段階では舎生数 19 名 ◆聖書研究会：月本理事長を講師として、ルカによる福音書のたとえ話を学ぶ。 ◆合同祈祷会：24 年度は卒舎生座談会と交互に隔月開催としている。 10/10 大塚啓子 日本キリスト教団目黒原町教会牧師 1 月ブラザー村岡先生（イエズス会ブラザー） 2 月後藤満喜 東京ティラナスホール主事 4 月太田信三 東京聖テモテ教会牧師 ◆卒舎生座談会 7/25 矢治健太郎先輩（1991 年教養・JAXA 火星探査チーム） 11/28 朴大信先輩（2011 年人文社会系研究科・松本東教会牧師） 2/27 高倉鉄夫先輩（1983 年経・本会評議員・賛育会理事・アートコミ

	ュニケーション銀座代表） ◆年次別同期会 4/21 若手会（1970 年前後卒業生の会）年度内にビデオ不フォーラムを 10 回開催 10/2　さりげなく集う YM の会　神田学士会館にて 13 名参加 2025/4/5　新舎一期生の会 ◎2024 年度決算の件 ◎寄宿舎環境整備ワーキンググループの件 ◆当会館・寄宿舎が完成後 50 年を迎え、建物設備の老朽化・不具合が目立ってきており、加えて、女子トイレ・浴室の整備やセキュリティ対策が不十分であることから、WG を設置して改善計画の検討を鋭意進めることとした。委員長は山口栄一氏（1977 年理)。 ◎理事候補推薦の件：次回評議員会において決定 ◎会館竣工 50 周年記念行事の件 ◆会館竣工 50 周年を記念して、記念式典（礼拝・講演会）及び祝賀会を行うこととした。(後日、11 月 23 日(日)の午後の日程で 4，礼拝説教は上田光正 日本キリスト教団協力牧師（62 年教養)、講演会講師は、建築家の團紀彦氏（1979 年工）と決定） ◎その他 ◆6/24 東京都管理法課に 24 年度事業報告を提出 ◆7/21 関東地区学生 YMCA 夏の交流会　東大 YMCA において「ウクライナ難民受け入れ事業」などについて議論（会報 162 号に報告）
2025/5/10	創立 137 周年記念式典　礼拝：北原和夫 日本基督教団三軒茶屋教会副牧師・元同志会理事長　「呼び集められた者たちの共同体」　※会報 163 号に説教録
2025/5/10	2025 年度第 1 回評議員会 ◎理事・監事選任の件：以下のとおり理事を選任した。 ・任期満了で再任：篠原正雄（1971 年卒)、新任学生理事 4 名：石井蓮、ワン ハンリン、北川絢野、太田萌 ・継続理事：月本昭男（1971 年卒)、岩見宣治（1971 年卒)、清水正之（1971 年卒)、山本彼一郎（1973 年卒)、山口栄一（1977 年卒)、合田隆史（1978 年卒)、霜垣幸浩（1984 年卒)、中村義哉（2000 年卒)、三浦真（2005 年卒)、徳永友花（2018 年卒）の各氏計 10 名（任期：2024 年 5 月～2026 年定時評議員会終了の時まで） 監事：木村庸五（1970 年卒)、弥永真生（1986 年卒）の両氏重任（任期：2024 年 5 月～2028 年の定時評議員会終了の時まで)。梶村慎吾氏（1966 年卒）は辞任、なお北川絢野姉は退舎に伴い 6 月に辞任

	評議員：青本健作（1963 年卒)、倉光泰隆（1978 年卒、塚本文武（1983 年卒)、高倉鉄夫（1983 年卒)、三沢和彦（1987 年卒)、岩佐明彦（1994 年卒)、五百旗頭薫（1996 年卒)、田川義之（2004 年卒)、木原盾（2017 年卒）の各氏、以上 9 名（任期：2024 年 5 月～2028 年定時評議員会終了の時まで）　※欠員 1 名
2025/6/28	2025 年度 春季公開講演会　講師：川越厚 在宅ホスピス研究所パリアン代表・森の診療所医師、1973 年医卒)「生存被爆者が『語ることのできなかった』苦しみ」
2025/7/10	会報 163 号発行 ＊巻頭言：篠原正雄常務理事（1971 年理)「東大 YMCA 会館竣工 50 周年　未来へ」 ＊秋季公開講演会　氏家仁氏「ふるさとにおける、吉野作造と吉野作造記念館について」 ＊クリスマス礼拝　大久保正禎牧師「光は闇深くに現れて」 ＊創立記念礼拝　北原和夫先生「呼び集められた者たちの共同体」 ＊OB 寄稿　追悼：梶村慎吾氏（1969 年法)「野崎昭弘大兄の思い出」
2025/9/13	2025 年度第 2 回理事会 ◎上半期事業報告及び会計報告 ◎寄宿舎リノベーション（生活環境改善整備）ワーキンググループから修繕計画案と工事費見積りについて報告 ◎50 周年記念式典及び祝賀会の開催、並びに 50 周年記念誌の編集・発行について報告。 ◎2025 年度下半期事業計画の件 ◎寄宿舎再建募金の件、及びリノベーション募金活動の開始の件
2025/10/13	臨時評議員懇談会 ◎寄宿舎リノベーション（生活環境改善整備）計画案と工事費見積りの報告、及びリノベーション募金活動の開始について
2025/11/23	東大 YMCA 会館竣工 50 周年記念式典　※ハイブリッドで開催、57 名出席 記念礼拝　上田光正 日本基督教団 伊東教会協力牧師（1952 年教養卒)「キリストはわたしたちの平和」 記念講演会　建築家 團紀彦氏（1979 年工)「大地と建築と祈りの場」 ※秋季公開講演会を兼ねる。 記念祝賀会　司会：高倉鉄夫評議員、歌唱、世代別先輩のスピーチ、舎生紹介など
2025/11/23	関西 OB 会　大阪市北区「ON the UMEDA」にて、参加者 4 名 ※会館竣工 50 周年記念式典に合わせて、ハイブリッドで参加

2025/12/8	会報 164 号発行 巻頭言：月本昭男理事長（1971 年文）「ホモ・クーランス(homo kurans)」 ＊春季公開講演会　川越厚氏（1973 年医）「生存被爆者が語ることのできなかった苦しみ」 ＊50 周年記念礼拝　上田光正牧師（1952 年教養卒）「キリストはわたしたちの平和」 ＊記念講演会　建築家 團紀彦氏（1979 年工卒）「大地と建築と祈りの場」 ＊OB 寄稿 ・追悼：二神康郎氏「野崎昭弘大兄の思い出」 ・追悼：飯高茂氏「野崎昭弘先輩を偲んで」 ・近藤信和氏「聖書の預言、預言者について」、「イスラエルの戦争について」
2025/12/13	クリスマス礼拝・祝会　説教：藤森勇紀 日本基督教団 富士見町教会牧師
2026 年（令和 8 年）	
2026/2/21	2025 年度第 3 回理事会 ◎2025 年度事業報告の件 ◆舎生数：1 月末現在は 20 名（うち学部 5、大学院 15 名、男子 13 名、女子 7 名)、留学生は 8 名（インドネシア 2、中国 2、イラン 1、韓国 1、シンガポール 1、台湾 1） ◆合同祈祷会：夏期牧師を招いて対面により実施 5～8 月（月 1 回）：太田信三 日本聖公会 東京テモテ教会牧師 9 月：藤森勇紀 日本基督教団 富士見町教会牧師 10 月：大塚啓子 日本基督教団 目黒原町教会牧師 ◆聖書研究会 4～7 月：大久保正禎 日本基督教団・西片町教会牧師 9～12、1 月：長谷川修一 立教大学文学部キリスト教学科教授 ◆卒舎生座談会（旧 OB/OG 座談会） 7/10　三沢和彦先輩、田川義之先輩 10/30　半田淳比古先輩 1/22　浅見啓一先輩 2/26　三浦真先輩 ◆修養会　静岡県網代にて宿泊、礼拝は伊東教会の主日礼拝に全員で出席、10 名参加。当日は記録的な大雪に見舞われる。 ◆年次別同期会

	4/27 若手会（1970 年前後卒業生の会）4 月から 2 月にビデオフォーラムを 9 回開催 4/5、5/24　新舎一期生の会 10/4　さりげなく集う YM の会　東大 YMCA にて 17 名参加 10/2　　神田学士会館にて 13 名参加 ◎2024 年度決算の件 ◎寄宿舎環境整備ワーキンググループの件 ◆当会館・寄宿舎が完成後 50 年を迎え、建物設備の老朽化・不具合が目立ってきており、加えて、女子トイレ・浴室の整備やセキュリティ対策が不十分であることから、WG を設置して改善計画の検討を鋭意進めることとした。委員長は山口栄一氏（1977 年理） ◎理事候補推薦の件：次回評議員会において決定 ◎会館竣工 50 周年記念行事の件 ◆会館竣工 50 周年を記念して、記念式典（礼拝・講演会）及び祝賀会を行うこととした。（後日、11 月 23 日(日)の午後の日程で 4，礼拝説教は上田光正 日本キリスト教団協力牧師（1962 年教養)、講演会講師は、建築家の團紀彦氏（1979 年工）と決定） ◎その他： ◎2025 年度事業報告及び収支見込みの件 ◎2026 年度事業計画、及び収支予算の件 ◎東京都都民生活部管理法人課からの通知（常務理事の報酬、遊休財産規制に抵触の件）に関する対応の件 ◎学生主事選任の件：米倉敬宏学生主事に辞任に伴い、後任に神野和磨兄（理学系研究科 M1）を選任、任期は 2026 年 4 月から 2027 年 3 月

（岩見　宣治）

6-2 記録資料

6-2-1　歴代理事長一覧（1906 年度～2025 年度）

創立者　大西祝、高田畊安他 7 名

初代理事長　斎藤十一郎（1906～1913）

第 2 代理事長　高田畊安（1913～1917）

第 3 代理事長　吉野作造（1917～1933・3・18<逝去>）

第 4 代理事長　岩住良治（1933～1946）

第 5 代理事長　斎藤　勇（1946～1952）

第 6 代理事長　堀　豊彦（1952～1975）

第 7 代理事長　高見穎治（1975・10・22～12・29<逝去>）

第 8 代理事長　高井康雄（1976～1984）

第 9 代理事長　成瀬　治（1984～1997）

第 10 代理事長　大口邦雄（1997～2006）

第 11 代理事長　原田明夫（2006～2017・4・6<逝去>）

第 12 代理事長　徳久俊彦（2017～2020）

第 13 代理事長　月本昭男（2020～）

（木原 友紀）

6-2-2　歴代常務理事等一覧（新舎：1975 年度～2025 年度）

1975～1994	馬場進（1930 経）専務理事
1994～1996	徳久俊彦（1953 経）専務理事代行
1996/4～2002/3/31	徳久俊彦（1953 経）常務理事
2002/4/1-2006/9/30	野口吉三郎（1959 法）常務理事
2006/10/1～2015/5	長島章（1962 法）常務理事
2015/5～2020/5	原田明夫理事長、徳久俊彦理事長が常務理事を兼務
	桃井明男事務局長
2020/5～2026/5	篠原正雄（1971 理）常務理事
2023/9～	岩見宣治（1971 工）管理担当理事
2024/9～	徳永（草間）友花（2018 工院）舎生担当理事

（篠原　正雄）

6-2-3　歴代理事・監事・評議員一覧（1947 年度～2025 年度）

	先輩理事･監事･評議員	学生理事･監事･学生主事
1947 年度（昭 22）	（理事長）斎藤勇（1946 年～）、（理事）石原謙、河田茂 （監事）木村健二郎　　※永松主事が辞任、後任は木下主事	石原力、江口篤寿、渡辺守道、五十嵐雄一、赤坂浩、岡本途也（監事）稲木昇
1948 年度（昭 23）	（理事長）斎藤勇、（理事）石原謙、河田茂、藤田逸男、木村健二郎 （監事）吉利和　　※木下主事が辞任、後任は吉川需主事	中平健吉、菅川薫、乙守恒一、橋本光男 （監事）田浦武雄
1949 年度（昭 24）	（理事長）斎藤勇、（理事）石原謙、河田茂、藤田逸男、木村健二郎 （監事）吉利和　　※木下主事が辞任、後任は吉川需主事	中平健吉、菅川薫、乙守恒一、橋本光男、（後期）植木光教、山崎保興、青池明、上柳昭治、柴沼明） （監事）青池明
1950 年度（昭 25）	（理事長）斎藤勇氏、（理事）木村健二郎、石原謙、河田茂、堀豊彦 （監事）吉利和、今井義量	岩島久夫、松村寛三郎、宮原守男、山崎保興、宮田光雄、中沢八郎
1951 年度（昭 26）	（理事長）斎藤勇氏、（理事）堀豊彦、木村健二郎、石原謙、河田茂氏 （監事）吉利和	岩島久夫、松村寛三郎、加藤庄六、宮原守男、永山和夫
1952 年度（昭 27）	（理事長）堀豊彦、（理事）木村健二郎、石原謙、河田茂氏、今井義量、石原憲治、宮本武之助、高見穎治、石川清 （監事）吉利和 ※斎藤勇理事長は辞任、後任は堀豊彦	原田真、谷啓輔、徳久俊彦、深瀬忠一、武田忠直 （監事）坂野晧平
1953 年度（昭 28）	（理事長）堀豊彦、（理事）河田茂、石原憲治、石川清、木村健二郎、今井義量 （監事）吉利和	白井文夫、岩井要、今村一男、高久史麿、杉浦淳三 （監事）孟信
1954 年度（昭 29）	（理事長）堀豊彦、（理事）河田茂、石原憲治、石川清、木村健二郎、今井義量	今村一男、広瀬清、大場昭、魚住昌良、臼井敏仁
1955 年度（昭 30）	（理事長）堀豊彦、（理事）河田茂、石	今村一男、広瀬清、大場

	原憲治、石川清、木村健二郎 （監事）吉利和	昭、魚住昌良、臼井敏仁、（後期）村尾裕史、鈴木一郎、大口邦雄、大久保旦 （監事）大場昭
1956 年度（昭 31）	（理事長）堀豊彦、（理事）河田茂、石原憲治、石川清、木村健二郎 （監事）吉利和	鈴木一郎、村尾裕史、荒木亨、宮木保彦、三宅晋、紅山雪夫、富森啓児 （監事）大場昭
1957 年度（昭 32）	（理事長）堀豊彦、（理事）河田茂、石原憲治、石川清、木村健二郎 （監事）吉利和　※主事は岩井要	石崎朋夫、前田昭雄、野崎昭弘、大口邦雄 （監事）鈴木一郎
1958 年度（昭 33）	（理事長）堀豊彦、理事：河田茂、石原憲治、石川清、高見顕治 （監事）宮原守男 ※木村健二郎理事は辞任、後任は高見顕治、吉利和監事は辞任、後任は宮原守男。主事は岩井要、大口邦雄	石崎朋夫、前田昭雄、野崎昭弘（監事）鈴木一郎
1959 年度（昭 34）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見顕治、河田茂、石原憲治、石川清 （監事）宮原守男　※主事は、高山茂七郎	佐々木文彦、二神康郎、磯田一雄、成田勝彦、三宅晋、（監事）高橋雅二
1960 年度（昭 35）		
1961 年度（昭 36）	（理事長）堀豊彦、（理事）石川清、石原憲治、高見顕治、吉利和 （監事）宮原守男	笹野修一、梶村慎吾、萩野谷興、柳沢忠、原田明夫、（監事）長島章
1962 年度（昭 37）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見顕治、石原憲治、吉利和、西川哲治 （監事）宮原守男	中川徹、青本健作、佐野謙一、小出達夫 （監事）大豆生田明宏 ※野崎昭弘主事が辞任、後任は木下毅
1963 年度（昭 38）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見顕治、石原憲治、吉利和、西川哲治 （監事）宮原守男	本荘仁、中島伸一、寺尾榮祐、川上征、高澤金吾 （監事）長島章
1964 年度（昭 39）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見顕治、石原憲治、吉利和、西川哲治 （監事）宮原守男	筒井正明、徳永隆史、島田宗洋、藤村誠、加藤信一

		（監事）村上俊一 ※主事は原田明夫
1965 年度（昭 40）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、石原憲治、吉利和、西川哲治 （監事）宮原守男	坂口忠、藤永敬士、関沢純、車田克彦、江藤良純 （監事）五十嵐正宣 ※主事は高澤金吾
1966 年度（昭 41）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、石原憲治、吉利和、西川哲治 （監事）宮原守男	井出千束、鈴木宣之、田辺功、渡辺尚彦、富永徹 （監事）梶村慎吾 ※主事は高澤金吾
1967 年度（昭 42）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、吉利和、石原憲治、西川哲治、高井康雄 （監事）宮原守男	清水徹、中島昭夫、垣内史堂、須藤自由児、佐藤良逸 （監事）町沢静夫 ※学生主事は五十嵐正宣
1968 年度（昭 43）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、吉利和、石原憲治、西川哲治、高井康雄 （監事）宮原守男	片平洌彦、川越厚、西田芳弘、森四郎、佐藤達三 （監事）赤尾直人
1969 年度（昭 44）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、吉利和、西川哲治、高井康雄 （監事）宮原守男 ※石原憲治理事は辞任	原研治、山形謙二、西村和雄、岩見宣治、国生肇、（監事）小堀洋志 ※五十嵐主事は辞任、後任は湯原哲夫
1970 年度（昭 45）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、吉利和、西川哲治、高井康雄 （監事）宮原守男	石川憲彦、月本昭男、嵐田和男、大蔵浩之、高見進 （監事）柳沼恵一
1971 年度（昭 46）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、吉利和、西川哲治、高井康雄 （監事）宮原守男	吉岡直人、田村啓一、尾山光一、若原秀樹、高本真一 （監事）森田英夫
1972 年度（昭 47）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、吉利和、西川哲治、高井康雄 （監事）宮原守男	田中潔、鐸木道剛、山下逸喜、廣井博、森田英夫
1973 年度（昭 48）		月本主事、岩見主事（再建担当）は辞任、後任は吉岡、篠原

1974 年度（昭 49）	（理事長）堀豊彦、（理事）高見穎治、高井康雄、西川哲治、岩井要 （監事）宮原守男 ※吉利和は辞任	中田晴雄、柳元章、片山啓、谷本亮二、田中令穂 （監事）田中潔 ※廣井博、森田英夫、山下逸喜、鐸木道剛、田中潔は辞任
1975 年度（昭 50）	※寄付行為改正により理事数を先輩 10 名、学生 5 名とする。常務理事を置く。 （理事長）高見穎治、（常務理事）馬場進、（理事）高井康雄、西川哲治、岩井要、駿河敬次郎、成瀬治、野崎昭弘、徳久俊彦 ※堀理事長が辞任、後任は高見穎治（12/29 高見穎治理事長が急逝）	清水正之、篠原正雄、片山啓、柳元章、中田晴雄
1976 年度（昭 51）	（理事長）高井康雄、（常務理事）馬場進、（理事）岩井要、駿河敬次郎、成瀬治、徳久俊彦、野崎昭弘、柴谷貞雄、石川憲彦 （監事）宮原守男 ※3/27 総会後の理事会にて、新理事長に高井康雄氏を決定	半田武比古、合田隆史、西正典、中塚隆、宮内啓行 （監事）芦川広 ※清水正之、篠原正雄、片山啓、柳元章、中田晴雄は辞任
1977 年度（昭 52）	（理事長）高井康雄、（常務理事）馬場進、理事：柴谷貞雄、駿河敬次郎、成瀬治、徳久俊彦、岩井要、野崎昭弘、石川憲彦 （監事）宮原守男	岩崎英二、柿谷均、宮内啓行、山口栄一、倉光泰隆 （監事）芦川広 ※半田武比古、合田隆史、西正典、中塚隆、宮内啓行は辞任
1978 年度（昭 53）	（理事長）高井康雄、（専務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、成瀬治、徳久俊彦、岩井要、野崎昭弘、石川憲彦、清水博 （監事）宮原守男	山口栄一、星野利幸、三井和彦、高谷武良、大江博 （監事）半田武比古
1979 年度（昭 54）	（理事長）高井康雄、（常務理事）馬場進、理事：柴谷貞雄、駿河敬次郎、成瀬治、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭	岡村善文、岡田謙介、大島誠、水本和実、高谷武良

	弘、石川憲彦 （監事）宮原守男	（監事）宮内啓行 ※山口栄一、星野利幸、三井和彦、大江博、半田武比古は辞任
1980 年度（昭 55）	（理事長）高井康雄、（常務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、成瀬治、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、石川憲彦 （監事）宮原守男	岡村善文、岡田謙介、大島誠、水本和実、高谷武良 （監事）岩崎英二 ※宮内啓行は辞任
1981 年度（昭 56）	（理事長）高井康雄、（常務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、成瀬治、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、石川憲彦 （監事）宮原守男	高谷武良、平野明宏、小山哲司、前川守、星地亜都司 （監事）藤井信吾 ※岩崎英二は辞任
1982 年度（昭 57）	（理事長）高井康雄、（専務理事）馬場進、理事：柴谷貞雄、駿河敬次郎、成瀬治、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男 （監事）宮原守男 ※石川憲彦は辞任、馬場常務理事の役職名を「専務理事」とする。	星地亜都司、岩城照彦、高倉鉄夫、塩見順一、戸辺一之 （監事）藤井信吾 ※高谷武良、平野明宏、小山哲司、前川守は辞任
1983 年度（昭 58）		
1984 年度（昭 59）	（理事長）成瀬治、（専務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男、高井康雄 （監事）宮原守男 ※高井理事長（76 年から 8 年間在位）が辞任、後任は成瀬理事長	上野直之、津村直、小谷賢昇、佐藤真二、西道隆臣 （監事）星地亜都司 ※星地亜都司、岩城照彦、高倉鉄夫、塩見順一、戸辺一之、藤井信吾は辞任
1985 年度（昭 60）	（理事長）成瀬治、（専務理事）馬場進、理事：柴谷貞雄、駿河敬次郎、高井康雄、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男 （監事）宮原守男	松隈潤、瀬下宏紀、橋本徹、高嶋祐一郎、弥永真生 （監事）星地亜都司 ※上野直之、津村直、小谷賢昇、佐藤真二、西道隆臣は辞任

1986 年度（昭 61）	（理事長）成瀬治、（専務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、高井康雄、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男 （監事）宮原守男（以上再任）	高嶋祐一郎、三沢和彦、小林和夫、井原和人、近藤信和 （監事）小川有美
1987 年度（昭 62）	（理事長）成瀬治、（専務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、高井康雄、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男 （監事）宮原守男	高嶋祐一郎、山田祐彰、松田俊一郎、村山斉、黒坂大路 （監事）小川有美 ※三沢和彦、小林和夫、井原和人、近藤信和は辞任
1988 年度（昭 63）	【理事・監事名簿】 （理事長）成瀬治、（専務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、高井康雄、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男 （監事）宮原守男、弥永真生 【新評議員】　※新寄付行為により新たに評議員を選出 森原元夫、小田原登志郎、岡田良一、楠田洋、能美英彦、五十嵐雄一、石原力、橋本光男、岩下昭比古、高久史麿、今村一男、荒木亨、二神康郎、原田明夫、梶村慎吾、岩見宣治、市川祐三、浦西友義、合田隆史、大谷遊介、計 20 名 ※就任は 1988/1/28 の評議員会	山田祐彰、荒井崇、柴田淳、大津秀暁、大高豪太
1989 年度（平元）	（理事長）成瀬治、（専務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、高井康雄、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男 （監事）宮原守男、弥永真生	新井崇、柴田淳、大津秀暁、柳谷雄介、柴谷光信 ※山田祐彰、大高豪太は辞任
1990 年度（平 2）	（理事長）成瀬治、（専務理事）馬場進、（理事）柴谷貞雄、駿河敬次郎、高井康雄、徳久俊彦、岩井要、清水博、野崎昭弘、月本昭男 （監事）宮原守男、弥永真生	柳谷雄介、柴谷光信、真野玄範、川上岳、デワルト・ヨーゼフ

1991 年度（平 3）	【評議員名簿】1992 年度 森原元夫、岡田良一、楠田洋、能美英彦、五十嵐雄一、石原力、橋本光男、岩下昭比古、加藤庄六、高久史麿、今村一男、荒木亨、二神康郎、原田明夫、梶村慎吾、岩見宣治、浦西友義、山口栄一、合田隆史、19 名 ※小田原登志郎氏死去に伴い評議員を補充	
1992 年度（平 4）	（理事長）成瀬治、（専務理事）馬場進、（理事）駿河敬次郎、清水博、徳久俊彦、高井康雄、関口哲生、岩井要、野崎昭弘、垣内史堂 （監事）宮原守男、弥永真生	小谷明生、五十川陽洋、小泉和史、高井啓介、湯地晃一郎 ※学生主事は三沢和彦
1993 年度（平 5）	【評議員名簿】1994 年度 岡田良一、能美英彦、五十嵐雄一、石原力、橋本光男、岩下昭比古、加藤庄六、高久史麿、今村一男、荒木亨、二神康郎、原島文雄、原田明夫、梶村慎吾、木村庸五、小堀洋志、月本昭男、市川祐三、浦西友義、倉光泰隆、霜垣幸浩 ※任期は 1994 年 1 月～95 年 12 月	
1994 年度（平 6）	（理事長）成瀬治、専務理事：馬場進、理事：駿河敬次郎、高井康雄、徳久俊彦、岩井要、関口哲生、清水博、野崎昭弘、垣内史堂 （監事）宮原守男、弥永真生　※理事任期は 94 年 4 月～96 年 3 月	岩佐明彦、大川真理、五百籏頭薫、宮澤啓明、弓田竜 ※学生主事：三沢和彦
1995 年度（平 7）	【評議員名簿】1996 年度 岡田良一、能美英彦、五十嵐雄一、石原力、橋本光男、岩下昭比古、加藤庄六、高久史麿、今村一男、荒木亨、二神康郎、原島文雄、原田明夫、梶村慎吾、木村庸五、小堀洋志、月本昭男、市川祐三、浦西友義、倉光泰隆、霜垣幸浩（以上再任）、橋本章、黒川次郎、高澤金吾、飯高茂、榊裕之、吉岡直人、北彰	岩佐明彦学生理事は辞任、後任は武田誠

	（以上新任） ※任期は 1996 年 1 月～97 年 12 月	
1996 年度（平 8）	（理事長）成瀬治、（常務理事）徳久俊彦、（理事）駿河敬次郎氏、高井康雄、成瀬治、岩井要、関口哲生、清水博、野崎昭弘、垣内史堂、大口邦雄 （監事）宮原守男、弥永真生（以上再任） ※馬場理事は辞任、理事後任は大口邦雄、常務理事は、徳久俊彦氏	奥山博史、清水知足、伊川修、渡辺頼勝、松田恵利也
1997 年度（平 9）	（理事長）大口邦雄、（常務理事）徳久俊彦、（理事）駿河敬次郎、高井康雄、成瀬治、岩井要、関口哲生、清水博、野崎昭弘、垣内史堂 （監事）宮原守男、弥永真生 ※成瀬理事長は辞任、後任は大口邦雄理事 【評議員名簿】1998 年度 石原力、加藤庄六、高久史麿、今村一男、荒木亨、橋本章、黒川次郎、二神康郎、原島文雄、原田明夫、高沢金吾、飯高茂、榊裕之、梶村慎吾、木村庸五、小堀洋志、月本昭男、吉岡直人、北彰、市川祐三、霜垣幸浩（以上再任）、北村一男、狩野照、松村寛三郎、久保田省吾、山口栄一（以上新任） ※任期は 1998 年 1 月～1999 年 12 月 ※岡田良一、能美英彦、五十嵐雄一、橋本光男、岩下昭比古、浦西友義、倉光康隆は辞任	奥山博史、井川修、渡辺頼勝、小倉知夫、中村義哉 ※清水知足、松田恵利也は辞任
1998 年度（平 10）	（理事長）大口邦雄、（常務理事）徳久俊彦、（理事）駿河敬次郎、成瀬治、岩井要、関口哲生、野崎昭弘、垣内史堂 ※高井康雄、清水博は退任 （監事）宮原守男、弥永真生（以上再任）	渡辺頼勝、伊川修、中村義哉、小倉和夫（以上再任）、橋本徹、原島文雄、蛯浦道生（以上新任） ※奥山博史は辞任
1999 年度（平 11）	（理事長）大口邦雄、（常務理事）徳久	中村義哉、勝部圭一、ダ

	俊彦、（理事）駿河敬次郎、成瀬治、岩井要、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、原島文雄、垣内史堂 （監事）宮原守男氏、弥永真生氏（以上再任） 【評議員名簿】2000 年度 石原力、高久史麿、今村一男、荒木亨、橋本章、黒川次郎、二神康郎、原田明夫、高澤金吾、飯高茂、梶村慎吾、榊裕之、木村庸五、北彰、市川祐三、霜垣幸浩、北村一男、狩野照、松村寛三郎、久保田省吾、山口栄一、和久田康雄、湯原哲夫、高本真一（以上再任）、垣内史堂、大蔵浩之（以上新任） ※加藤庄六、原島文雄、小堀洋志、月本昭男、吉岡直人は辞任 ※任期は 2000 年 1 月～2001 年 12 月	ニエル・ヘラー、花川耕介、宮川尚久 ※中村義哉、渡辺頼勝、伊川修、小倉和夫は辞任
2000 年度（平 12）	（理事長）大口邦雄、（常務理事）徳久俊彦、（理事）駿河敬次郎、成瀬治、岩井要、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、月本昭男、吉岡直人、 ※原島文雄、垣内史堂は辞任、月本昭男、吉岡直人は新任 ※任期は、2000 年 4 月～2002 年 3 月 （監事）宮原守男、弥永真生	（学生理事）勝部圭一、花川耕介、ダニエル・ヘラー、宮川尚久、呉正憲
2001 年度（平 13）	（理事長）大口邦雄、（常務理事）徳久俊彦、（理事）駿河敬次郎、成瀬治、岩井要、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、月本昭男、吉岡直人 （監事）宮原守男、弥永真生 【評議員名簿】2002 年度 石原力、北村一雄、苅野照、松村寛三郎、久保田省吾、高久史麿、今村一男、荒木亨、和久田康雄、橋本章、黒川次郎、二神康郎、原田明夫、高沢金吾、飯高茂、榊裕之、湯原哲夫、梶村慎吾、木村庸五、月本昭男、吉岡直人、北彰、高	花川耕介、呉正憲、中村義哉、関智一、鍬本幸司 ※勝部圭一、宮川尚久、ダニエル・ヘラーは辞任

	本真一、山口栄一、霜垣幸浩（以上再任）、浦西友義、合田隆史、藤井信吾、三沢和彦（以上、新任）、計 29 名 ※任期は 2002 年 1 月～2003 年 12 月、市川祐三は辞任	
2002 年度（平 14）	（理事長）大口邦雄、（常務理事）野口吉三郎（新任）、（理事）岩井要、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、月本昭男、吉岡直人（以上再任）、梶村慎吾（以上新任） ※徳久俊彦常務理事、駿河敬次郎、成瀬治両理事は辞任 （監事）宮原守男、弥永真生（以上再任）	中村義哉、グナワン・ヘンリー、石渡裕太、佐藤央雅、田川義之
2003 年度（平 15）	【評議員名簿】2004 年度 石原力、北村一雄、苅野照、松村寛三郎、久保田省吾、高久史麿、今村一男、荒木亨、和久田康雄、橋本章、黒川次郎、二神康郎、原田明夫、高沢金吾、飯高茂、榊裕之、湯原哲夫、梶村慎吾、木村庸五、垣内史堂、岩見宣治、大蔵浩之、北彰、高本真一、浦西友義、山口栄一、合田隆史、藤井信吾、三沢和彦、計 29 名 ※任期は 2004 年 1 月～2005 年 12 月	
2004 年度（平 16）	（理事長）大口邦雄、（常務理事）野口吉三郎、（理事）岩井要、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、梶村慎吾、月本昭男、吉岡直人 （監事）宮原守男、弥永真生	中村義哉、村上善道、田川義之、細野篤、松下幸敏 ※中村義哉主事は再任、任期は 1 年間
2005 年度（平 17）	【評議員名簿】2006 年度 久保田省吾、高久史麿、赤木俊光、橋本章、黒川次郎、二神康郎、高橋雅二、長島章、原島文雄、青本健作、原田明夫、高沢金吾、中島伸一、飯高茂、村上俊一、榊裕之、湯原哲夫、木村庸五、垣内史堂、岩見宣治、大蔵浩之、北彰、高本	

	真一、浦西友義、市川祐三、山口栄一、合田隆史、藤井信吾、霜垣幸浩、三沢和彦、計 30 名 ※任期は 2006 年 1 月～2007 年 12 月 ※石原力、北村一雄、苅野照、松村寛三郎、今村一男、荒木亨、和久田康雄、梶村慎吾評議員は辞任 ※原田明夫は 4/1 付、長島章は 6/1 付で評議員を辞任	
2006 年度（平 18）	（理事長）原田明夫、（常務理事）長島章、（理事）徳久俊彦、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、野口吉三郎、梶村慎吾、月本昭男、清水正之 ※任期は 2006 年 4 月～2008 年 3 月 ※野口常務理事は辞任、後任は長島章	学生理事：西浜悟史、内山健太郎、小野雄人、鹿島真人、細野篤 ※中村義哉、田川義之、王嶺、松下幸敏の各理事は辞任 ※学生主事は田川義之、任期は 4 月より 1 年間
2007 年度（平 19）	【評議員名簿】2008 年度 高久史麿、赤木俊光、橋本章、黒川次郎、二神康郎、高橋雅二、原島文雄、青本健作、高沢金吾、中島伸一、飯高茂、村上俊一、榊裕之、湯原哲夫、木村庸五、垣内史堂、岩見宣治、大蔵浩之、高本真一、浦西友義、市川祐三、山口栄一、合田隆史、藤井信吾、霜垣幸浩、三沢和彦、計 26 名 ※任期は 2008 年 1 月～2009 年 12 月	田川義之学生主事の任期を 1 年間延長
2008 年度（平 20）	（理事長）原田明夫、（常務理事）長島章、（理事）徳久俊彦、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、野口吉三郎、梶村慎吾、月本昭男、清水正之 ※任期は 2008 年 4 月～2010 年 3 月	山本義人、半田英雄、税所真也、斎藤健二、金寛英
2009 年度（平 21）	【理事・監事名簿】2009 年度 （理事長）原田明夫、（常務理事）長島章、（理事）徳久俊彦、関口哲生、橋本徹、野崎昭弘、野口吉三郎、梶村慎吾、月本昭男、清水正之	山本義人、織田拓磨、税所真也、中島彰、久保田力 ※学生主事は村上善道

	【評議員名簿】2010 年度 高久史麿、赤木俊光、橋本章、黒川次郎、二神康郎、高橋雅二、原島文雄、青本健作、高沢金吾、中島伸一、飯高茂、村上俊一、榊裕之、湯原哲夫、木村庸五、垣内史堂、岩見宣治、大蔵浩之、高本真一、浦西友義、市川祐三、山口栄一、合田隆史、藤井信吾、霜垣幸浩、三沢和彦、計 26 名 ※全員再任、任期は 2010 年 1 月～2011 年 12 月	
2010 年度（平 22）	（理事長）原田明夫、（常務理事）長島章、（理事）徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、野口吉三郎、梶村慎吾、月本昭男、清水正之 （監事）宮原守男、弥永真生氏 ※橋本徹は辞任 ※任期は 2010 年 4 月～2012 年 3 月	織田拓磨、天野翼、山田望、中島彰、日野祥智 ※山本義人、税所真也、久保田力は退任 学生主事：朴大信
2011 年度（平 23）	（理事長）原田明夫、（常務理事）長島章、（理事）徳久俊彦、関口哲生、野口吉三郎、野崎昭弘、梶村慎吾、月本昭男、清水正之 ※任期は 2011 年 4 月～2012 年 3 月まで 【評議員名簿】2011 年度　※3 月末まで 高久史麿、橋本章、黒川次郎、二神康郎、高橋雅二、原島文雄、青本健作、高沢金吾、中島伸一、飯高茂、村上俊一、榊裕之、湯原哲夫、木村庸五、垣内史堂、岩見宣治、大蔵浩之、高本真一、浦西友義、市川祐三、山口栄一、藤井信吾、霜垣幸浩、三沢和彦、計 24 名 ※任期は 2012 年 1 月～2012 年 3 月(3 か月のみ) ※赤木俊光、合田隆史は退任	中島彰、山田望、日野祥智、ダヴィド ムルヤディ、斎藤虎象、 ※天野翼、織田拓磨は退任 ※学生主事は引き続き、朴大信
2012 年度（平 24）	※4/1 付で公益財団法人として設立登記	可児邦広、千葉岳洋、樋

	（理事長/設立登記は「代表理事」）原田明夫、（常務理事）長島章、（理事）徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、梶村慎吾、月本昭男、清水正之 ※任期は、2012 年 4 月～2014 年 5 月 ※野口吉三郎は退任 （監事）木村庸五、弥永真生 ※監事任期は 2012 年 4 月～2016 年 3 月 【評議員名簿】2012 年度 ※公益財団法人として「最初の評議員」を選任 橋本章、黒川次郎、二神康郎、高橋雅二、青本健作、中島伸一、村上俊一、垣内史堂、岩見宣治、霜垣幸浩、計 10 名 ※任期は 2012 年 4 月～2016 年 5 月	口崇、山城一平 ※中島彰、山田望、日野祥智、ダヴィド ムルヤディ、斎藤虎象は退任 主事は税所真也
2013 年度（平 25）	月本昭男理事の辞任を承認	学生主事は、引き続き税所真也氏を選任
2014 年度（平 26）		西部悠太、木原盾、岩谷雄介、王旭東。 ※可児邦広、千葉岳洋、樋口崇、山城一平は退任。学生主事は、引き続き税所真也氏を選任。
2015 年度（平 27）	（理事長）原田明夫、（常務理事）長島章、（理事）徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、梶村慎吾、清水正之氏（以上再任） ※原田明夫理事長、長島章常務理事は再任 ※4/25 理事会において、長島章常務理事の退任希望を受け、常務理事は当分の間、原田明夫理事長が兼務し、外部から（事務局長）桃井明男を選任	王旭東（留任）、申耀翰、リン リリアナ、張燁萌（以上新任） ※木原盾、西部悠太、岩谷雄介は退任 ※学生主事：木原盾、副主事：西部悠太
2016 年度（平 28）	（理事長）原田明夫、（理事）長島章、徳久俊彦、関口哲生、野崎昭弘、梶村慎吾、清水正之（以上 7 名再任）、垣内史	古谷玲奈、平井正道、康佳慧、金子友紀の各氏（以上 6 名新任）

	堂、岩見宣治 ※任期は 2016 年 4 月 1 日～2018 年 5 月 （監事）木村庸五、弥永真生（再任） ※任期は 2016 年 4 月 1 日～2020 年 5 月 【評議員名簿】2016 年度 二神康郎、高橋雅二、青本健作、中島伸一、村上俊一、霜垣幸浩（以上 6 名再任）、吉岡直人、中村義哉、田川義之、三浦真（以上 4 名新任） 任期は、2016 年 4 月～2020 年 5 月	学生主事：引き続き木原盾
2017 年度（平 29）	※原田理事長の逝去に伴い、徳久俊彦理事を理事長に選任 （理事長）徳久俊彦、（理事）長島章、関口哲生、野崎昭弘、梶村慎吾、清水正之、垣内史堂、岩見宣治、月本昭男 ※任期は 2016/4/1～2018/5 月 （監事）木村庸五、弥永真生（再任） ※任期は 2016 年 4 月～2020 年 5 月	康佳慧、吉田聖、山岸純平、呉爾傑 ※古谷玲奈、平井正道、金子友紀は辞任 学生主事：康佳慧（木原盾の留学・退舎に伴う辞任）、任期は 1 年
2018 年度（平 30）	（理事長）徳久俊彦、（理事）長島章、関口哲生、梶村慎吾、清水正之、垣内史堂、岩見宣治、月本昭男 ※任期は 2018 年 4 月～2020 年 5 月 ※野崎昭弘は辞任 （監事）木村庸五、弥永真生（再任） ※任期は 2016 年 4 月～2020 年 5 月 ※長島章は常務理事を辞任、常務理事は当面理事長が兼務する。	浜村俊傑、浅海啓一、藤原智也※山岸純平、呉爾傑は辞任
2019 年度（平 31）	（理事長）徳久俊彦、（理事）長島章、関口哲生、梶村慎吾、清水正之、垣内史堂、岩見宣治、月本昭男（以上再任）、篠原正雄（新任） ※任期は 2019 年 5 月～2021 年 5 月 ※篠原理事の任期は 2021 年 5 月まで	伊村大吾、松永るつ、中山貴絵 ※浜村俊傑、浅見啓一、藤原智也は退任 学生主事：藤原智也
2020 年度（令 2）	（理事長）月本昭男、（常務理事）篠原正雄、（理事）長島章、関口哲生、梶村	中村義哉、徳永友花、吉田聖（以上新任）

	慎吾、清水正之、垣内史堂、岩見宣治（以上再任)、中村義哉、徳永友花（以上新任） ※徳久俊彦理事長は退任、後任理事長は月本昭男理事、常務理事は篠原正雄理事を選任 ※任期は 2020 年 5 月～2022 年 5 月 （監事）木村庸五、弥永真生（以上再任） ※任期は、2020 年 5 月～2024 年 5 月	学生主事：藤原智也（重任)、任期は 1 年間
2021 年度（令 3)	篠原正雄理事を重任（評議員会）のうえ、篠原正雄常務理事を選任（理事会）	堀洸太郎、下田優太、テオロドス・ジョナタン・ウイジャヤ ※吉田聖、伊村大吾、松永るつ、中山貴絵は退任 ※学生主事は下田優太、任期は 4 月から 1 年間
2022 年度（令 4)	（理事長）月本昭男、（常務理事）篠原正雄、（理事）長島章、関口哲生、梶村慎吾、清水正之、垣内史堂、岩見宣治、中村義哉、徳永友花（以上再任)、山口栄一、合田隆史（以上新任） ※篠原正雄は継続 ※岩見理事は管理担当理事とする。 ※任期は 2022 年/5 月～2024 年 5 月 （監事）木村庸五、弥永真生（以上再任)。 ※中島伸一評議員は辞任	堀洸太郎、テオロドス・ジョナタン・ウイジャヤ、張亨碩 ※下田優太は辞任 ※2/12 学生主事は、張亨碩（チャン・ヒョンソク)、任期は下田優太前学生主事の残期間と併せて 23 年 3 月末まで
2023 年度（令 5)	篠原正雄理事を重任（評議員会）のうえ、篠原正雄常務理事を選任（理事会）	張亨碩（継続)、セーンダンヨーエ・シャリテ（新任)、崔民赫（新任)、 ※堀洸太郎、テオロドス・ジョナタン・ウイジャヤ理事は任期満了に伴い辞任 ※学生主事は張亨碩を重任

2024 年度（令 6）	（理事長）月本昭男、（常務理事）篠原正雄、（理事）梶村慎吾、岩見宣治、清水正之、山口栄一、合田隆史、中村義哉、徳永友花（以上重任　事）、山本彼一郎、霜垣幸浩、三浦真（以上新任）、15 名 任期は 2024 年 5 月～2026 年 5 月まで ※関口哲生、長島章、垣内史堂は辞任、篠原正雄は継続 ※徳永理事は舎生担当理事とする。 （監事）木村庸五、弥永真生（重任） ※任期は 2024 年 5 月～2028 年 5 月 【評議員名簿】2024 年度　※3 月評議員選定委員会 青本健作、岩佐明彦、田川義之氏（以上重任）、倉光泰隆、塚本文武、高倉鉄夫、三沢和彦、五百旗頭薫、木原盾（以上新任）、計 9 名 ※任期は、2024 年 5 月～2028 年 5 月 ※二神康郎、高橋雅二、村上俊一、霜垣幸浩、吉岡直人は辞任	ブディオノ・クリスチャン・ミレニュー、佐藤洸大（新任）、崔民赫（継続）
2025 年度（令 7）	※篠原正雄理事は重任（任期は 2025 年 5 月～2027 年 5 月） （理事長）月本昭男、（理事）岩見宣治、清水正之、山本彼一郎、山口栄一、合田隆史、霜垣幸浩、中村義哉、三浦真、徳永友花（以上継続） ※任期は 2026 年 5 月 （監事）木村庸五、弥永真生（継続） ※梶村慎吾は辞任	石井蓮、ワン ハンリン、北川絢野、太田萌（以上新任） ※崔民赫、ブディオノ・クリスチャン・ミレニュー、佐藤洸大は辞任 ※張亨碩主事は辞任、後任は米倉敬宏、任期は 4 月より 1 年間

（岩見　宣治）

6-2-4　舎生数の推移（1945 年～2025 年）

	舎生数	備考
1945 年（昭和 20 年）	6～7 名	終戦前後の状況：舎生は 6-7 人のみ
1946 年（昭和 21 年） ▽ ▽ 1957 年（昭和 32 年）		※舎生数の資料なし
1958 年（昭和 33 年）	30 名	
1959 年（昭和 34 年）	36 名	6 月：一般舎生 33 名、客間に大学院生 3 名。寄宿舎常住人口は、鈴木一郎主事、事務員、炊事婦 2 名の計 4 名を加えて計 40 名
1960 年（昭和 35 年）	36 名	6 月：一般舎生 34 名、客間に大学院生 2 名
1961 年（昭和 36 年）	35 名	1 月会報：一般舎生数は 32 名　6/20 会報：一般舎生数 30 名、他に客間に 3 名が在住。12 月：3 舎生数は 5 名
1962 年（昭和 37 年）	35 名	他に舎外学生会員 9 名　※会員住所録より
1963 年（昭和 38 年）	33 名	※舎生便覧より
1964 年（昭和 39 年）	33 名	
1965 年（昭和 40 年）	35 名	7 月会報：舎生数 35 名、学部別には、本郷（法 7、経 2、文 2、工 6、理 2、農 3、薬 0、医 7）　駒場教養 4　大学院 2
1966 年（昭和 41 年）	33 名	他に舎外学生会員 3 名　※会員住所録より
1967 年（昭和 42 年）		
1968 年（昭和 43 年）	34 名	7 月会報；一般舎生 31 名と客間に 3 名在舎
1969 年（昭和 44 年）	23 名	11 月：空室 10 室あり ※寄宿舎の再建が具体化するなかで、入舎選考が困難な状況
1970 年（昭和 45 年）	34 名	舎生 31 名、客間 3 名、他に舎外学生会員 8 名　※舎生便覧より
1971 年（昭和 46 年）		
1972 年（昭和 47 年）		
1973 年（昭和 48 年）		3 月旧舎から舎生が退去、5 月から取り壊し工事に着手
1974 年（昭和 49 年）	17 名	1 月現在、建替え工事中の外部居住舎生への活動補助金の支給対象者は、17 名（月本、山下、市川、浦西、亀

		井、篠原、清水（久）、鐸木、高幣、田中（キ）、田中（令）、藤本、吉岡、片山、柳元、谷本、中田の各兄）
1975 年（昭和 50 年）	16 名	3/15 新館完成。下宿等に分宿中の旧舎生 7 名が入居開始 7 名（3 月） 11 月に新舎生 5 名が入会し、11 月現在 16 名。
1976 年（昭和 51 年）	22 名	3 月末舎生数 20 名、5 月：舎生数は 24 室中 22 名収容、5/10 会報：舎生数はほぼ 20 名
1977 年（昭和 52 年）	22 名	3 月末舎生数 15 名、3 月末：舎生数 20 名。9 月末舎生数 22 名
1978 年（昭和 53 年）		
1979 年（昭和 54 年）	18 名	7 月 18 名、うち留学生 2 名（米国 1、韓国 1）
1980 年（昭和 55 年）		
1981 年（昭和 56 年）	20 名	3 月末：舎生数 20、名うち留学生 3 名（韓国、台湾、北米、各 1）
1982 年（昭和 57 年）	25 名	3 月末：舎生数 25 名、新舎になって以降の最大の舎生数（残室は 1 室）
1983 年（昭和 58 年）	18 名	3 月末：舎生数は減少し、新舎生も入らず 9 月現在の舎生は 18 名
1984 年（昭和 59 年）	25 名	11 月：25 名、うち留学生 3 名（韓国、シンガポール、台湾、各 1）
1985 年（昭和 60 年）	25 名	1 月：舎生数 25 名、うち留学生 3 名（韓国、シンガポール、台湾、各 1） 7 月：舎生数 24 名（うち留学生 2 名）
1986 年（昭和 61 年）	23 名	3 月：舎生数 23 名、うち留学生 2 名、4 月：舎生数 23 名、うち留学生 3 名
1987 年（昭和 62 年）	24 名	4 月：舎生数 24 名、うち留学生 4 名（韓国 3、タイ 1）
1988 年（昭和 63 年）	18 名	会報：舎生数は平均 18 名、うち、学部生 12 名、院生 3 名、留学生 3 名
1989 年（平成元年）	22 名	7 月：舎生数 22 名、うち留学生 3 名）
1990 年（平成 2 年）	22 名	1 月：舎生数 22 名（うち留学生 4 名）
1991 年（平成 3 年）	21 名	7 月会報：21 名のうち留学生 3 名
1992 年（平成 4 年）	25 名	舎生数 25 名、うち学部・院生 22 名、留学生 3 名、年平均は 20 名 7 月会報：舎生数 21 名、うちプロテスタントは 12 名、カトリックは 9 名
1993 年（平成 5 年）	21 名	93 年度事業報告：平均舎生数 19 名、うち留学生 3 名

1994 年（平成 6 年）	21 名	94 年度事業報告：平均舎生数 21 名、うち留学生 3 名
1995 年（平成 7 年）	23 名	95 年度事業報告：舎生数 23 名、うち留学生 3 名 4 月～9 月は平均 22 名、10 月から 25 名、うち留学生 4 名
1996 年（平成 8 年）	18 名	12 月会報：前年度の満室に比して 4 月から 17 名でスタート、12 月は 18 名
1997 年（平成 9 年）	21 名	5 月：舎生数 21 名
1998 年（平成 10 年）	24 名	12 月末現在、舎生数は 24 名で、ほぼ満室。うち学部・院生 16 名、留学生 3 名、ゲスト留学生 5 名 1998 年度事業報告：舎生数 3 月に 6 名が退舎、4 月に 6 名が入舎、留学生の国籍は、アメリカ、韓国、中国、ボリビア、インドネシア、シンガポール
1999 年（平成 11 年）	23 名	1999 年度の平均舎生数は 22.7 名、留学生は米国、韓国、中国、ボリビア、インドネシア、デンマーク、シンガポール
2000 年（平成 12 年）	25 名	7 月：24 名、うちゲスト留学生 3 名 12 月：25 名、うちゲスト留学生 4 名
2001 年（平成 13 年	23 名	3 月末：舎生数は 23 名、うち留学生は、米国、インドネシア、韓国、ボリビア、ニュージーランド、チェコ、シンガポール
2002 年（平成 14 年	19 名	11 月：舎生数 19 名
2003 年（平成 15 年）	24 名	7 月：舎生数 24 名
2004 年（平成 16 年）	24 名	2004 年度事業報告：舎生数は 22 人～24 人で推移
2005 年（平成 17）	25 名	2005 年度事業報告：4 月現在 25 名在舎、うち留学生 3 名。10 月に 3 名退舎
2006 年（平成 18）	26 名	9/10　舎生数 26 名、うち留学生 4 名（韓国 2、中国、フィリピン各 1） 2006 年度事業報告：舎生数は、4 月当初 23 人でスタート、その後 23～25 人で推移、以降 3 月まで 26 人在舎
2007 年（平成 19）	25 名	2007 年度事業報告：2007 年 3 月の退舎生が 11 名と多く、4 月当初は 18 名でスタート、その後入舎募集活動により 7 月時点で 25 名までに回復
2008 年（平成 20）	28 名	5 月現在、舎生数 26 名、うち留学生 3 名（韓国 2、中国 1） 2008 年度事業報告：前年度の退舎生が 3 名と少なく、年度前半で 28 名と満杯になり、年間平均では 27 名弱。

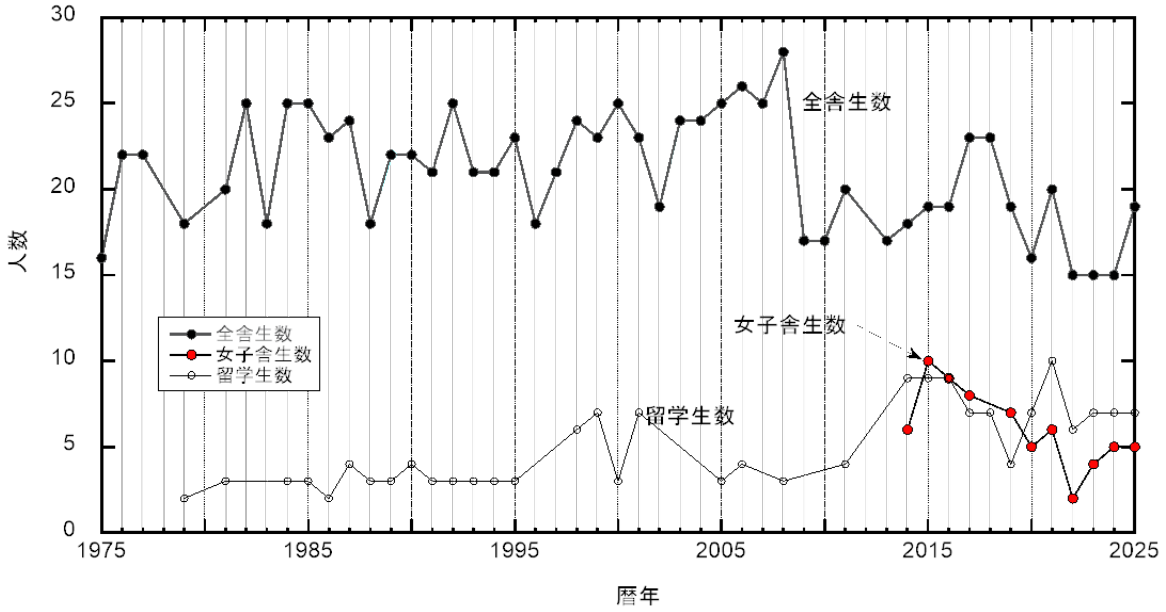
		しかし、年度末から本年 4 月にかけて退舎生が 11 名に上り、4 月末現在で 17 名
2009 年（平成 21）	17 名	9 月理事会報告：3 月末に 28 名いた舎生は、現在 16 名に減少。その原因は、2008 年度後半に発生した一部の特定寮生の問題行動による混乱より、7 名もの途中退舎が発生したこと。また、近年の外国人留学生の枠の拡大や、大学院生・研究生の増加により、2005 年度以降は舎の活動に参加しない不適格な舎生が入寮して、舎が機能不全に陥った。2 月：年度平均は 17 名
2010 年（平成 22）	17 名	4 月：舎生数 17 名、9 月：15 名で空室が多い。年度平均舎生数は 15.6 人
2011 年（平成 23）	20 名	6 月現在舎生数 20 名、うち留学生 4 名（韓国 2、中国 1、インドネシア 1） 5/12　2011 年度事業報告：舎生数は前年から増加（15.6 人⇒18.0 人）
2012 年（平成 24）		
2013 年（平成 25）	17 名	9/14 理事会◆舎生数は 16～17 名で推移、増加対策が必要 ※2 月の理事会で正式に 2014 年 4 月以降の女子学生受け入れを決定
2014 年（平成 26）	18 名	舎生数は 4 月より 16 名で推移、9 月現在は 18 名。うち留学生は 9 名（中国 3、韓国 2、マレーシア 2、インドネシア 1、アルゼンチン 1） 4 月に初めての女子学生が入舎して以降、女子学生が計 6 名入舎
2015 年（平成 27）	19 名	4 月：舎生数 19 名、うち女子 10 名、うち留学生 9 名 7 月会報：舎生の男女比、日本人/留学生比が共に 1：1 となる。
2016 年（平成 28）	19 名	3 月：舎生数 19 名、うち女性 9 名、留学生 9 名（中国 3、インドネシア 2、マレーシア 2、韓国 1、アルゼンチン 1） 4 月：舎生数は 17 名、うち女性 7 名、留学生 7 名（中国 3、ポルトガル、インドネシア、マレーシア、韓国各 1）
2017 年（平成 29）	23 名	4/22 理事会：舎生数 21 名、うち女性 8 名、留学生 7 名（中国、韓国各 2、インドネシア、マレーシア、ポルトガル各 1）

2018 年（平成 30）	23 名	2017 年度事業報告：3 月舎生数は 23 名、うち女性は 7 名、留学生は 7 名（韓国 3、中国、ポルトガル、インドネシア、シンガポール各 1）
2019 年（平成 31）	19 名	3 月：舎生数 19 名、うち女性 7 名、留学生 4 名（中国、韓国、インドネシア、シンガポール各 1）
2020 年（令和 2 年）	16 名	4/30 理事会：舎生数 16 名、うち女性 5 名、留学生 7 名（中国、韓国、インドネシア各 2、ルワンダ 1）
2021 年（令和 3 年）	20 名	3 月末：舎生数 20 名、うち女性 6 名、留学生 10 名（中国 1、韓国 6、インドネシア 2、ルワンダ 1）　※コロナ禍により新入舎生の募集が困難な状況 9 月：舎生数 12 名、うち女性 3 名、留学生 6 名（韓国 3、インドネシア 2、ルワンダ 1）
2022 年（令和 4 年）	15 名	2 月：舎生数 10 名、うち女性 2 名、留学生 6 名（韓国 3、インドネシア 2、ルワンダ 1）3 月末：舎生数 12 名、うち女性 1 名、留学生 6 名（韓国 2、インドネシア 2、ルワンダ 1 、中国 1）　※4 月には舎生数 15 名
2023 年（令和 5 年）	15 名	4 月：舎生数 15 名、うち女性 4 名、留学生 7 名（韓国 3、インドネシア 2、ルワンダ 1、台湾 1）
2024 年（令和 6 年）	15 名	4 月：舎生数 15 名、（うち女性 5、留学生 7）（韓国 2、インドネシア 2、中国、ルワンダ、台湾各 1）
2025 年（令和 7 年）	19 名	2024 年度事業報告：舎生数：3 月末現在は 15 名（うち学部 5、大学院 10 名、男子 10 名、女子 5 名）、留学生は 7 名（インドネシア 2、イラン、韓国、台湾、中国、ルワンダ各 1）4 月：舎生数 19 名
2026 年（令和 8 年）	20 名	1 月末：舎生数 20 名、うち女性 7 名、留学生 8 名（インドネシア 2、中国 2、イラン 1、韓国 1、シンガポール、台湾各 1）

注）年間で、月別に増減がある場合は、舎生数欄には多い方を記載した。

（岩見　宣治）

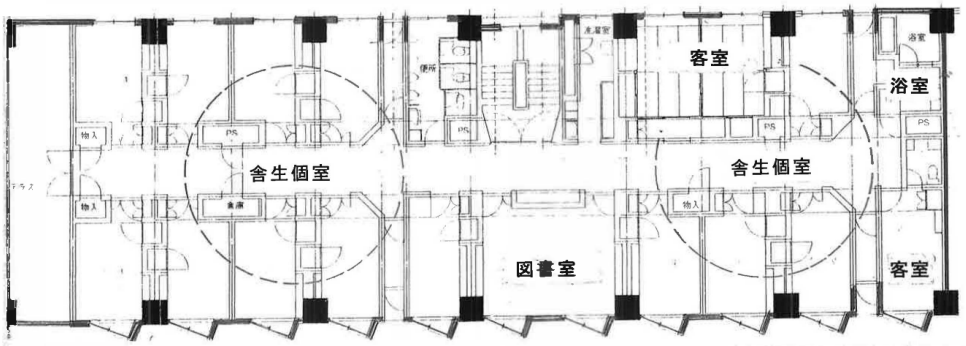
舎生数の推移（1975 年～2025 年）



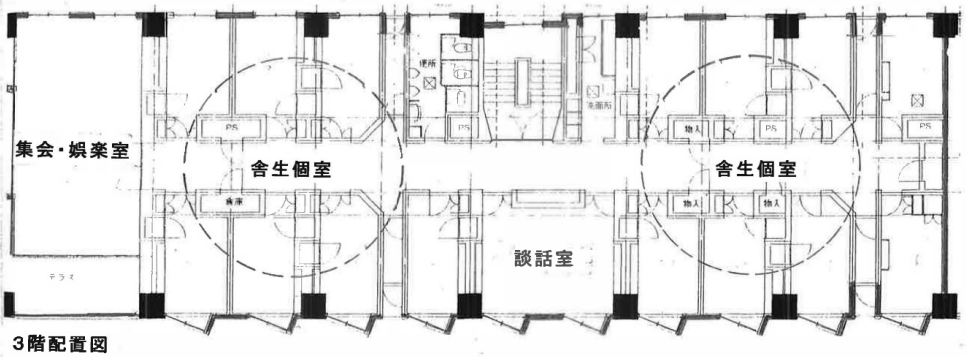
（山口　栄一）

6-2-5　会館・寄宿舎概略図

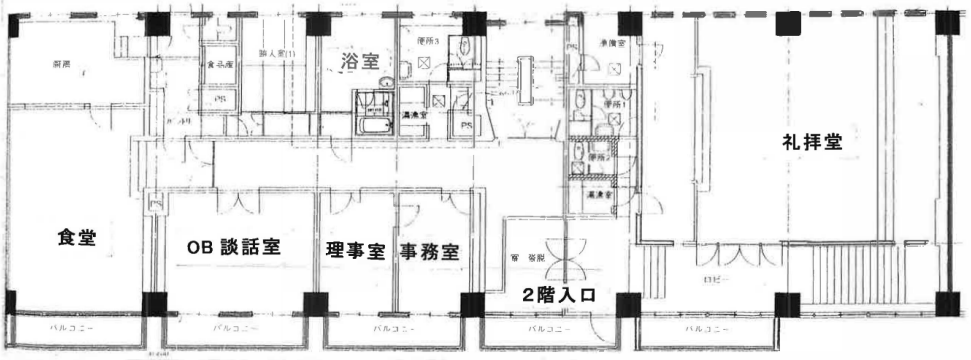
新会館・寄宿舎



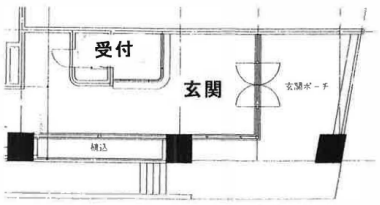
4階配置図



3階配置図



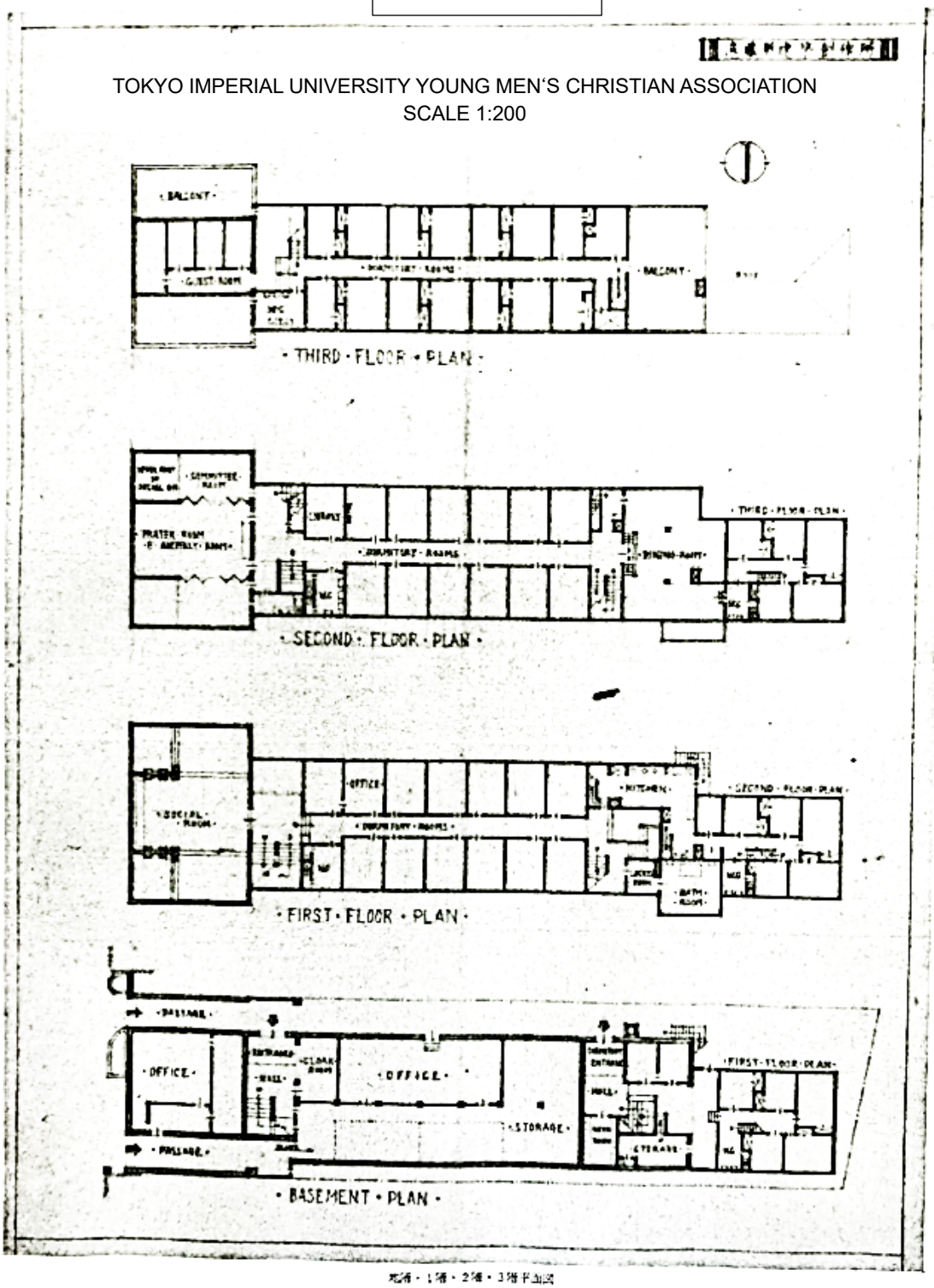
2階配置図



1階配置図

旧会館・寄宿舎

TOKYO IMPERIAL UNIVERSITY YOUNG MEN'S CHRISTIAN ASSOCIATION
SCALE 1:200



地階・1階・2階・3階平面図

あとがき

本記念誌は、2025 年に東京大学学生キリスト教青年会の現会館（いわゆる「新舎」）竣工 50 周年を迎えるにあたり、それを記念して編集されました。舎生、卒舎生をはじめご協力いただいたすべての皆様に、心から感謝申しあげます。

企画当初は 50 周年記念行事のおまけとして、無理せずできる範囲で、といった位置付けで始まったと思います。しかしながら、編集作業を始めてみると、山口栄一兄（編集作業グループリーダー）をはじめとする編集委員のみならず、現役舎生を含め多くの方々が、それぞれの賜物を生かしてたいへん積極的に本誌の作成に寄与してくださいました。中でも、月本理事長による巻頭言の「良心の砦」は、新舎 50 年にとどまらず、過去から未来へと続く本会の旗幟としてまことにふさわしいものにちがいありません。

さらに、特筆すべきは、本書の半分のページ数を占める「東大 YMCA 戦後 80 年史年表」です。これは、岩見宣治兄が管理担当理事を務めながら 2 年にわたって丹念に過去の理事会議事録を始めとする様々な資料を掘り起こして書き下ろしてくださったものであり、この場をお借りして深く感謝の意を表するものです。

編集委員一同精一杯努力しましたが、なお不正確なところや配慮の足りないところが多々あることと思います。あらかじめお詫び申し上げますとともに、今後の参考とさせていただきたく存じますので、お気づきのことなどございましたらお手数ですが編集委員会までお知らせいただけると幸いです。

本誌がこれからの本会の歩みに些かでも資することを祈念しつつ

（編集委員長　合田 隆史）

合田兄、山口兄の熱意にほだされて編集作業グループメンバーになりました。一連の作業を通して四十数年ぶりに旧交を温める機会を得たこと、また世代を超えた新たなつながりを得たことに静かな感動を覚えています。團兄による記念講演会の記録を任されいくぶん緊張しましたが、お話の内容には自分の中で温めていたテーマと重なるところもあり、当日は引き込まれて聞き入っていました。

本誌の編集に関わった皆さまのご尽力に敬意を表します。有難うございました。

（柿谷 均）

社会人になり少し遠ざかっていた東大 YMCA に、こうして改めて連なる機会をいただいたことに、感謝いたします。旧舎を含めた東大 YMCA の歴史に触れる機会にも恵まれました。

本誌が、節目を祝い、未来へつながる一冊となれば幸いです。膨大な年表作成作業をきめ細やかに遂行してくださった岩見兄と、編集委員長の合田兄、山口兄をはじめ、みなさまのご執筆・ご協力に、心よりお礼申し上げます。

（木原 友紀）

誤字脱字のチェック程度のお手伝いしかできませんでしたが、編集作業を通して YM のこれまでの貴重な歴史を再認識するとともに、年代を越えた編集委員各位から老若を問わず何とも言えないパワーをいただき、感謝しています。

世相が変調しそうな気配ですが、今後も YM が日々発展していかれることを祈念しています。

（倉光 泰隆）

2025 年 5 月に、第一子となる男の子を賛育会病院で出産しました。徳永龍（とくながりゅう）といいます。大変な困難の中、無料で医療奉仕をされていた青年会の先輩方を、とても誇りに思います。

卒舎生座談会を通じて、旧舎・新舎に関わらず、東大 YMCA で過ごした時間は特別なものだった、と多くの人が感じていることがよくわかりました。これからの若い人たちも、素晴らしい時間を東大 YMCA で過ごして欲しいと願っています。

（徳永 友花）

近くの森で直径 25 ㎝ほどで切り倒された赤松の年輪を数えたら 50 あった。50 年ってこんなものかと。我ら 50 年の歩みも神の御手の中にあると思う。今回過去の会報を読む機会が与えられた、懐かしくも尊しく。

［お願い：OB 談話室の写真、世代々々でぜひ整理を！］

（半田 武比古）

今回このような歴史ある寄宿舎の記念誌に編集作業グループメンバーの一員として現舎生の身ながら関わらせて頂けましたことに、この上ない喜びを感じております。卒舎生寄稿エッセイや岩見兄が作成された戦後 80 年史の年表等を拝見し、膨大な歴史の積み重ねの上に今の舎があるということを実感いたしました。

現舎生としての実感として、現在の舎は人数という点をはじめとして、厳しいとも言える状況にあると思っています。このような現状において、その歴史や伝統をどう守っていくか、重い課題として突きつけられたようにも思いました。しかしながら、必ずしも舎の未来が暗いものとは思いません。現舎生の持つエネルギーはもちろん、先輩方の舎に対する熱い想いを記念

誌からふんだんに感じたからです。自身はこの３月を持って退舎する身ではありますが、先輩方の後に連なり、舎を陰ながら支え、見守っていきたいと強く思っております。今後、未来の記念誌にどのような舎の歴史が刻まれていくのか、楽しみに思えてなりません。

（米倉 敬宏）

編集作業グループリーダーとして、皆さんの背中を押す仕事を拝命しました。

まずは、三沢和彦兄の章構成を土台にして、作業グループメンバーに各章の担当希望を名乗り出ていただき、夫々自律的に章の内容を構成していただきました。こうして 2025 年の 9 月に企画してわずか半年で、伏線が共鳴的に絡み合うようにしてゴールに辿り着きました。なお、各章の表紙はぜひ現舎生にお願いしたいと呼びかけたら、Theodorus J. Wijaya 兄が快く作成してくださいました。

ぼくは全体編集とともに、第２章の卒舎生寄稿エッセイを担当しました。当時いっしょに住んでいた旧友にエッセイの執筆を呼びかけると、すぐに「おお書くよ」と言ってくれ、あの頃のままの文体で思い出を書き上げてくれたのには、大感激。青春時代の絆がしっかりとつながっていることを感じました。また集まろうね。

（編集作業グループリーダー　山口 栄一）